

郡山市こども・若者計画策定にかかる 各種アンケート調査

－調査結果報告書－

令和6年12月

郡山市

<目 次>

I	調査概要.....	1
II	調査結果.....	3
1	【子育てしやすい環境づくりアンケート】（ニーズ調査）	3
(1)	お住まいの地域	3
(2)	こどもと家族の状況	4
(3)	保護者の就労状況	9
(4)	子育て世帯の家計の状況	19
(5)	平日の「定期的な教育・保育事業」の利用状況、利用希望.....	22
(6)	土曜日や休日、長期休暇中の「定期的な教育・保育事業」の利用希望.....	39
(7)	病気やケガの際の対応	44
(8)	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用状況.....	54
(9)	小学校就学後の放課後の過ごし方	61
(10)	地域の子育て支援事業の利用状況、利用希望.....	74
(11)	家庭の子育てについて	85
(12)	仕事と子育ての両立について	99
(13)	地域の子育て支援	103
(14)	今後の市の取組について	106
2	【こども・若者に関するアンケート調査】	112
(1)	回答者自身のことやご家族の状況について.....	112
(2)	日頃の意識と生活について	121
(3)	悩みごとや相談先について	159
(4)	郡山市の施策などについて	168
III	本市における課題.....	177
1	幼児教育・保育についての課題	177
2	放課後の児童の居場所についての課題	179
3	切れ目のない支援についての課題	181
4	生きづらさ等の問題を抱えるこどもについての課題.....	183
5	若者への支援についての課題	185
IV	使用した調査票.....	188
1	子育てしやすい環境づくりアンケート（未就学の保護者の方へ）	188
2	子育てしやすい環境づくりアンケート（小学生の保護者の方へ）	198
3	こども・若者に関するアンケート調査（10歳～14歳の方向け）	206
4	こども・若者に関するアンケート調査（15歳～39歳の方向け）	211

「こども」の表記について

本報告書では、原則としてひらがなの「こども」で統一していますが、アンケート調査票及び設問・回答に関する部分では漢字を用いて表記しています。

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、「郡山市こども・若者計画」の策定にあたり、国の「こども大綱」を勘案し、子育て世帯の意識と生活環境・子育てサービスの利用状況等の把握、および市内のこども・若者を取り巻く状況を把握することを目的として実施しました。

2 調査種別

- ・子育てしやすい環境づくりアンケート（ニーズ調査）
郡山市在住の未就学児、小学生を無作為抽出し、その保護者に回答を依頼
- ・こども・若者に関するアンケート調査
郡山市在住の10～14歳、15～39歳の市民を無作為抽出し、回答を依頼

3 調査期間

2024（令和6）年7月2日（火）～7月26日（金）

※集計には7月31日（水）までの回収票を含めています

4 調査方法

郵送配布/郵送及びWEB回収（回答率を向上させるため、WEB回答を併用）

5 回答状況

【子育てしやすい環境づくりアンケート】（ニーズ調査）

調査対象者	調査票配布数①	有効回答数②	有効回答率 ②／①
郡山市在住の未就学児の保護者	2,000 件	888 件	44.4%
郡山市在住の小学生の保護者	1,500 件	673 件	44.9%

【こども・若者に関するアンケート調査】

調査対象者	調査票配布数①	有効回答数②	有効回答率 ②／①
郡山市在住のこども（10～14歳）	2,000 件	815 件	40.8%
郡山市在住の若者（15～39歳）	2,000 件	519 件	26.0%

6 調査結果の見方

- n (number of cases) は回答割合算出における基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを表しています。
- 回答割合は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。したがって、単一回答式の質問においては、回答割合を合計しても 100.0%にならない場合があります。また、複数回答式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の割合を合計すると 100.0%を超える場合があります。
- 各設問において回答のなかった選択肢については、図表内で「-」と表記しています。
- 問 29 [問 23] のように質問番号を併記している場合、ニーズ調査の場合は前者が「未就学児」の、後者が「小学生」の調査票における番号であり、こども・若者調査の場合は前者が「10～14 歳」の、後者が「15～39 歳」の調査票における番号であることを示しています。
- 調査結果を図表にて表示していますが、表について、着色した数値は、各行の最大値です。
(無回答を除く)

Ⅱ 調査結果

1 【子育てしやすい環境づくりアンケート】（ニーズ調査）

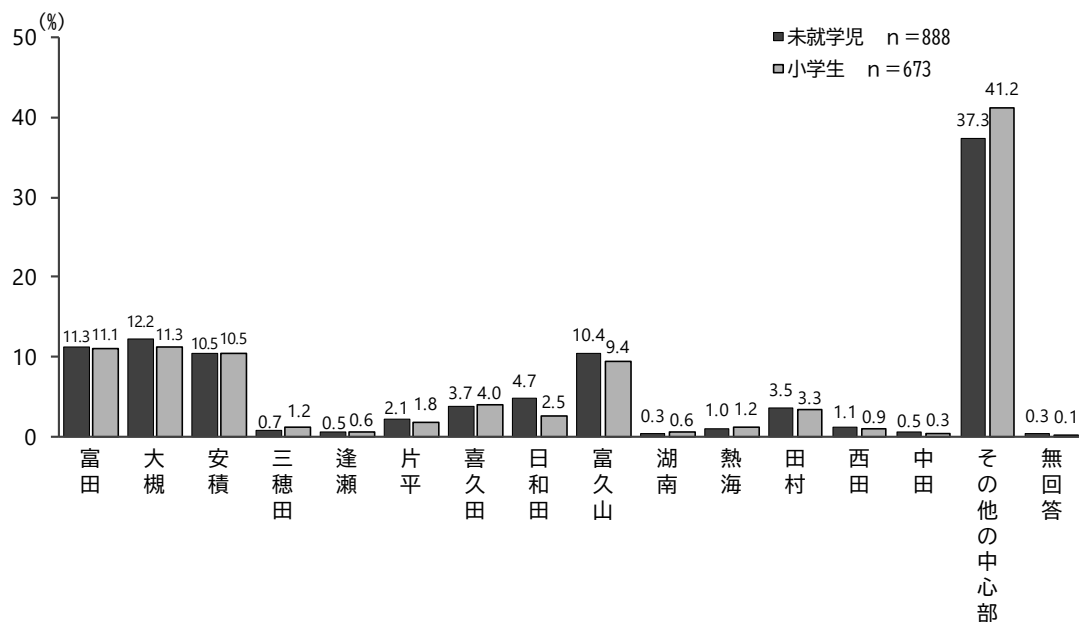
（１）お住まいの地域

① 居住地区

- ▶ 居住地区について、未就学児では、「その他の中心部」が 37.3%と最も高く、次いで「大槻」(12.2%)、「富田」(11.3%)となっています。
- ▶ 小学生では、「その他の中心部」が 41.2%と最も高く、次いで「大槻」(11.3%)、「富田」(11.1%)となっています。

問１ お住まいの地区はどちらですか。

(○は1つ)



Ⅱ 調査結果

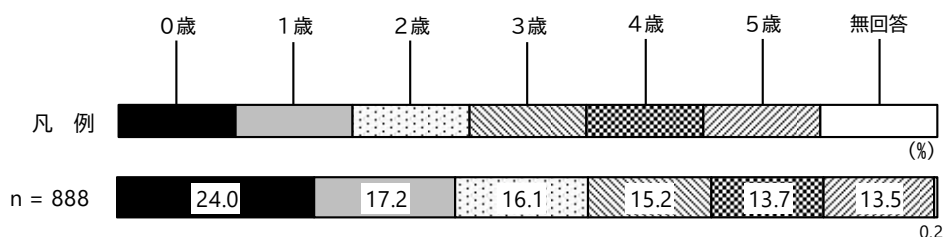
(2) こどもと家族の状況

① こどもの年齢・学年

- ▶未就学児のこどもの年齢については、「0歳」が24.0%と最も高く、次いで「1歳」(17.2%)、「2歳」(16.1%)となっています。
- ▶小学生のこどもの学年については、「2年生」が20.1%と最も高く、次いで「1年生」(19.9%)、「3年生」(17.2%)となっています。

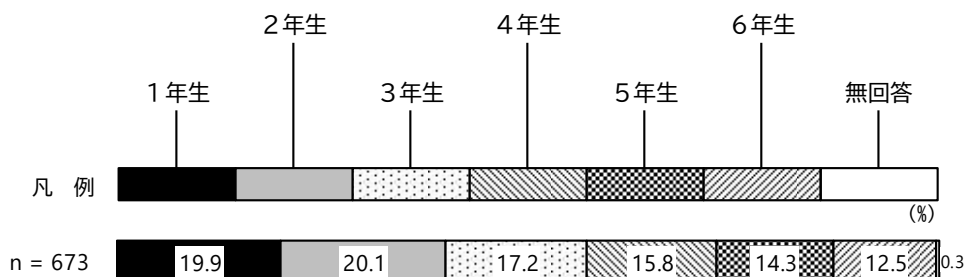
【未就学児】

問2 あて名のお子さんの年齢をご記入ください。 ([]内に数字で記入)



【小学生】

〔問2〕 あて名のお子さんの令和6年度の学年をご記入ください。



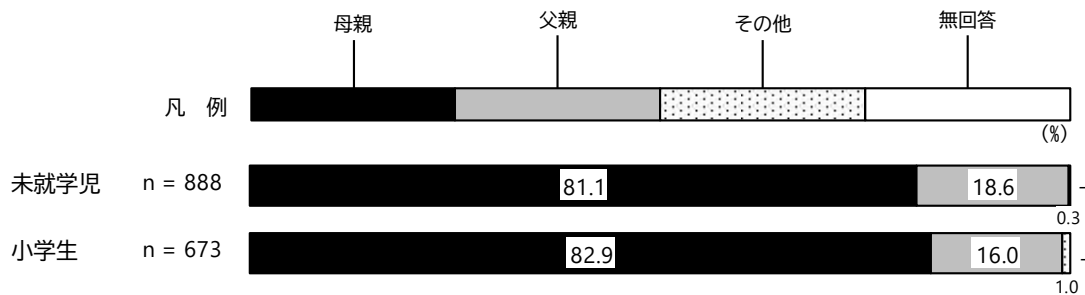
② 回答者

- ▶回答者について、未就学児では「母親」が81.1%と最も高く、次いで「父親」(18.6%)となっています。
- ▶小学生では、「母親」が82.9%と最も高く、次いで「父親」(16.0%)となっています。

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。

あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

(○は1つ)

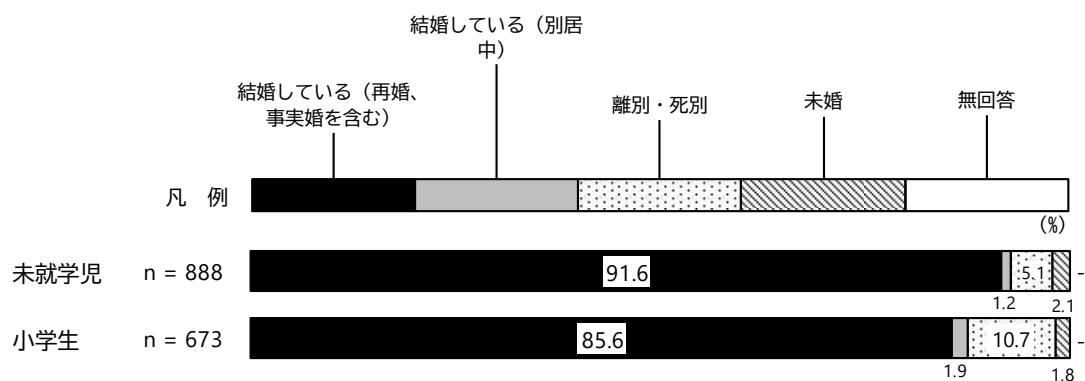


③ 保護者の婚姻状況

- ▶保護者の婚姻状況について、未就学児では「結婚している(再婚、事実婚を含む)」が91.6%と最も高く、次いで「離別・死別」(5.1%)、「未婚」(2.1%)となっています。
- ▶小学生では、「結婚している(再婚、事実婚を含む)」が85.6%と最も高く、次いで「離別・死別」(10.7%)、「結婚している(別居中)」(1.9%)となっています。

問4 この調査票にご回答いただいている方の婚姻状況についてお答えください。

(○は1つ)

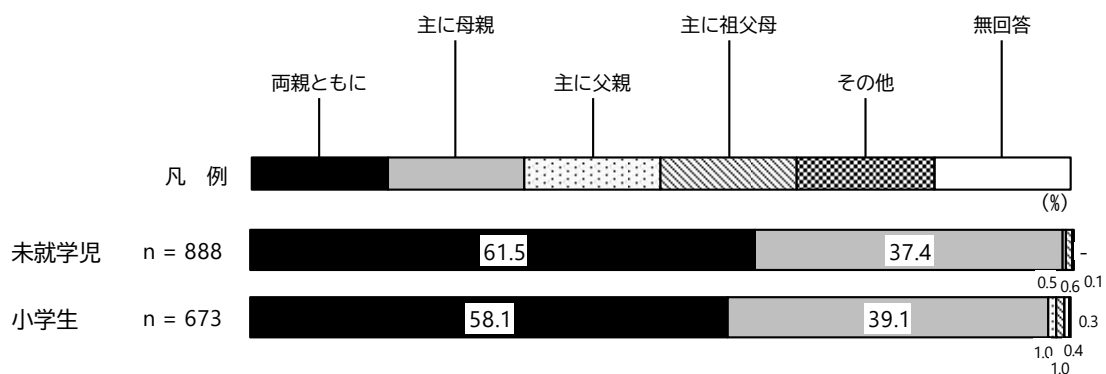


Ⅱ 調査結果

④ 子育てを主に行っている方

- ▶子育てを主に行っている方について、未就学児では「両親ともに」が61.5%と最も高く、次いで「主に母親」(37.4%)、「主に祖父母」(0.6%)となっています。
- ▶小学生では、「両親ともに」が58.1%と最も高く、次いで「主に母親」(39.1%)、「主に父親」(1.0%)、「主に祖父母」(ともに1.0%)となっています。

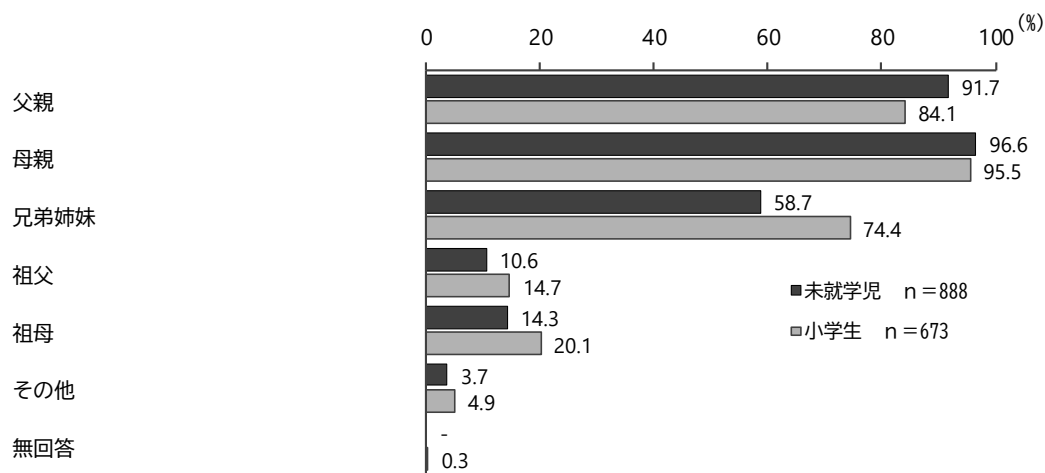
問5 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（○は1つ）



⑤ 家族構成

- ▶未就学児の家族構成については、「母親」が96.6%と最も高く、次いで「父親」(91.7%)、「兄弟姉妹」(58.7%)となっています。
- ▶同居している家族の人数について、兄弟では「1人」が63.9%と最も高く、次いで「2人」(27.4%)となっています。祖父では「1人」が98.9%、祖母では「1人」が95.3%、その他では「1人」が60.6%と、それぞれ最も高くなっています。
- ▶小学生では、「母親」が95.5%と最も高く、次いで「父親」(84.1%)、「兄弟姉妹」(74.4%)となっています。

問6 お子さんと同居しているご家族の構成はどのようになっていますか。お子さんから見た関係でお答えください。また、お子さんに兄弟姉妹がいる場合、その内訳もご記入ください。
(○はいくつでも、[]内は数字を記入)



(同居している家族の人数)

【未就学児】

区分	調査数 (件)	単位：%					
		1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
兄弟姉妹 合計	521	63.9	27.4	6.5	1.5	0.6	-
①未就学児	521	41.1	6.0	0.4	-	-	52.6
②小学生	521	47.4	10.7	0.8	-	-	41.1
③中学生	521	7.7	0.4	-	-	-	91.9
④高校生	521	3.8	0.6	-	-	-	95.6
⑤それ以上	521	1.2	3.3	-	-	-	95.6

区分	調査数 (件)	単位：%		
		1人	2人以上	無回答
祖父	94	98.9	0.0	1.1
祖母	127	95.3	0.8	3.9

区分	調査数 (件)	単位：%					
		1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
その他	33	60.6	24.2	6.1	3.0	0.0	6.1

※着色した数値は、各行の最大値

Ⅱ 調査結果

- ▶小学生の同居している家族の人数について、兄弟では「1人」が66.5%と最も高く、次いで「2人」(24.6%)となっています。祖父では「1人」が94.9%、祖母では「1人」が92.6%、その他では「1人」が60.6%と、それぞれ最も高くなっています。

(同居している家族の人数)

【小学生】

単位：％

区分	調査数 (件)	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
兄弟姉妹 合計	501	66.5	24.6	5.8	1.2	1.2	0.8
①未就学児	501	30.7	5.0	-	-	-	64.3
②小学生	501	33.5	3.8	0.4	-	-	62.3
③中学生	501	31.1	1.8	-	-	-	67.1
④高校生	501	15.0	1.2	-	-	-	83.8
⑤それ以上	501	4.8	1.4	-	0.2	-	93.6

単位：％

区分	調査数 (件)	1人	2人以上	無回答
祖父	99	94.9	1.0	4.0
祖母	135	92.6	0.0	7.4

単位：％

区分	調査数 (件)	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
その他	33	60.6	15.2	6.1	0.0	3.0	15.2

※着色した数値は、各行の最大値

(3) 保護者の就労状況

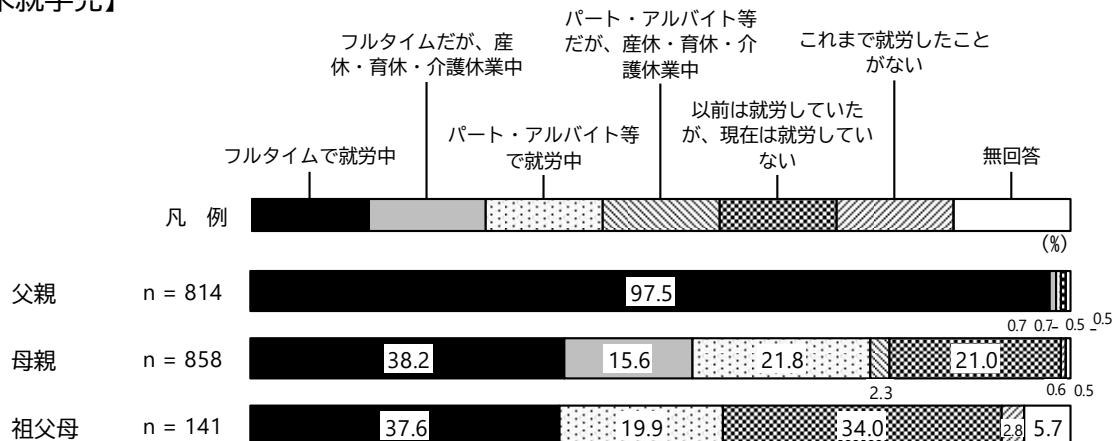
① 保護者の就労状況

- ▶保護者の就労状況について、未就学児の父親では「フルタイムで就労中」が97.5%と最も高く、次いで「フルタイムだが、産休・育休・介護休業中」、「パート・アルバイト等で就労中」(ともに0.7%)となっています。
- ▶未就学児の母親では、「フルタイムで就労中」が38.2%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労中」(21.8%)となっています。
- ▶未就学児の祖父母では、「フルタイムで就労中」が37.6%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」(34.0%)となっています。
- ▶小学生の父親では「フルタイムで就労中」が96.8%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」(1.4%)となっています。
- ▶小学生の母親では、「フルタイムで就労中」が48.5%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労中」(33.0%)となっています。
- ▶小学生の祖父母では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が53.8%と最も高く、次いで「フルタイムで就労中」(23.4%)となっています。

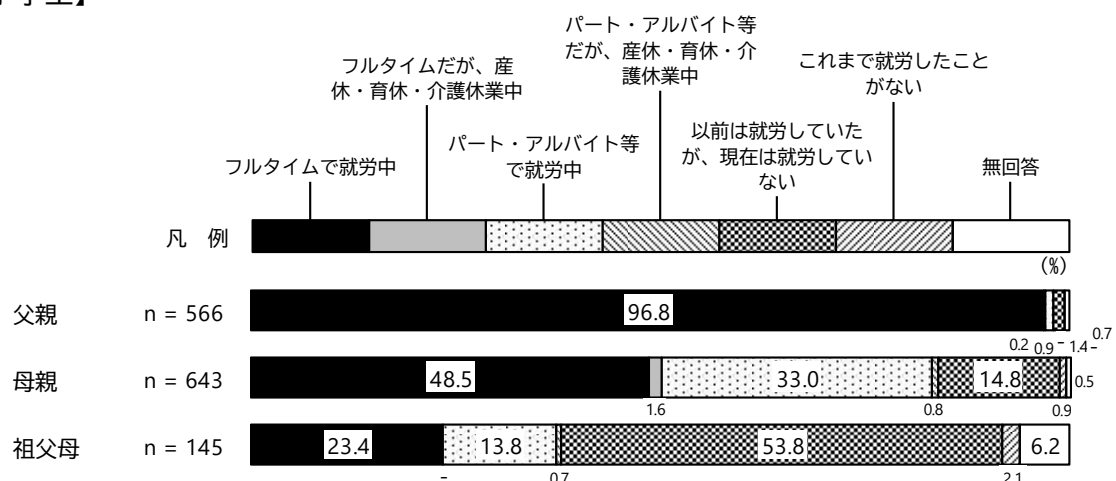
問7 あて名のお子さんの同居している保護者の、現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。

（父親・母親・祖父母それぞれのあてはまる項目1つに○）

【未就学児】



【小学生】



Ⅱ 調査結果

【こどもの年齢・学年別／母親の就労状況】

- ▶母親の就労状況について、こどもの年齢別でみると、未就学児では、“0歳”では「フルタイムだが、産休・育休・介護休業中」が最も高く、1歳以降では「フルタイムで就労中」が最も高くなっています。
- ▶小学生では、各学年で「フルタイムで就労中」の割合が最も高くなっています。

【未就学児】

単位：％

区分	調査数（件）	フルタイムで就労中	フルタイムだが、 産休・育休・ 介護休業中	パート・アルバイト等で就労中	パート・アルバイト等だが、 産休・育休・介護休業中	以前は就労していたが、 現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
0歳	206	11.2	52.9	8.3	7.3	20.4	-	-
1歳	149	38.3	8.7	23.5	0.7	28.2	-	0.7
2歳	136	52.2	4.4	19.1	1.5	20.6	0.7	1.5
3歳	134	50.0	0.7	26.9	1.5	20.1	0.7	-
4歳	117	47.9	4.3	29.1	-	16.2	1.7	0.9
5歳	115	46.1	-	33.9	-	19.1	0.9	-

※着色した数値は、各行の最大値

【小学生】

単位：％

区分	調査数（件）	フルタイムで就労中	フルタイムだが、 産休・育休・ 介護休業中	パート・アルバイト等で就労中	パート・アルバイト等だが、 産休・育休・介護休業中	以前は就労していたが、 現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
小学1年生	127	48.8	3.1	26.0	0.8	21.3	-	-
小学2年生	131	41.2	2.3	39.7	0.8	14.5	1.5	-
小学3年生	115	57.4	0.9	28.7	0.9	10.4	0.9	0.9
小学4年生	99	42.4	1.0	35.4	1.0	16.2	2.0	2.0
小学5年生	90	50.0	1.1	35.6	1.1	12.2	-	-
小学6年生	80	52.5	-	33.8	-	12.5	1.3	-

※着色した数値は、各行の最大値

② 保護者の就労日数と就労時間

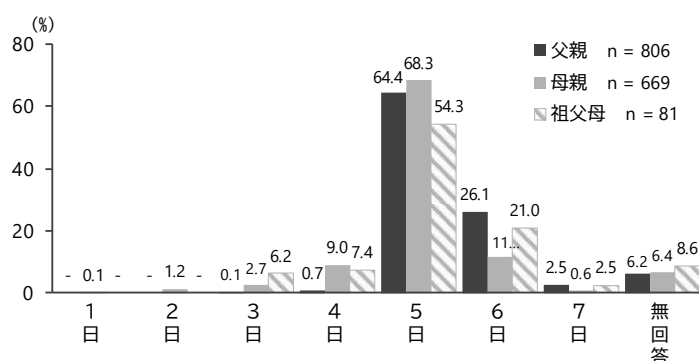
- ▶保護者の就労日数と就労時間について、未就学児の父親では、1週あたりの就労日数は「5日」が64.4%と最も高く、次いで「6日」(26.1%)となっています。1日あたりの就労時間は「8時間～9時間未満」が32.0%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」(21.2%)となっています。
- ▶未就学児の母親では、1週あたりの就労日数は「5日」が68.3%と最も高く、次いで「6日」(11.7%)となっています。1日あたりの就労時間は「8時間～9時間未満」が35.9%と最も高く、次いで「7時間～8時間未満」(15.1%)となっています。
- ▶未就学児の祖父母では、1週あたりの就労日数は「5日」が54.3%と最も高く、次いで「6日」(21.0%)となっています。1日あたりの就労時間は「8時間～9時間未満」が43.2%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」(13.6%)となっています。

【問7で①～④（就労している）を選んだ方のみ、お答えください。】

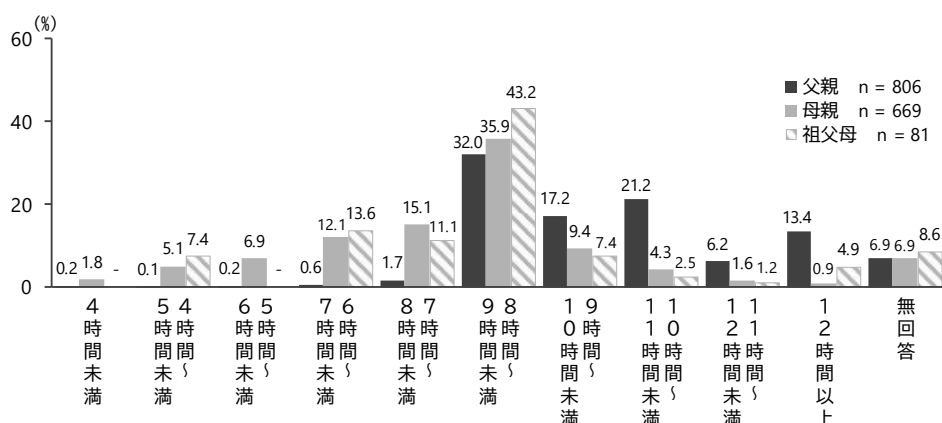
問8 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。それぞれ一定でない方は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（それぞれ数字で記入、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」は24時間制（例：午後6時→18時）で記入）

【未就学児】

（1週あたりの就労日数）



（1日あたりの就労時間）

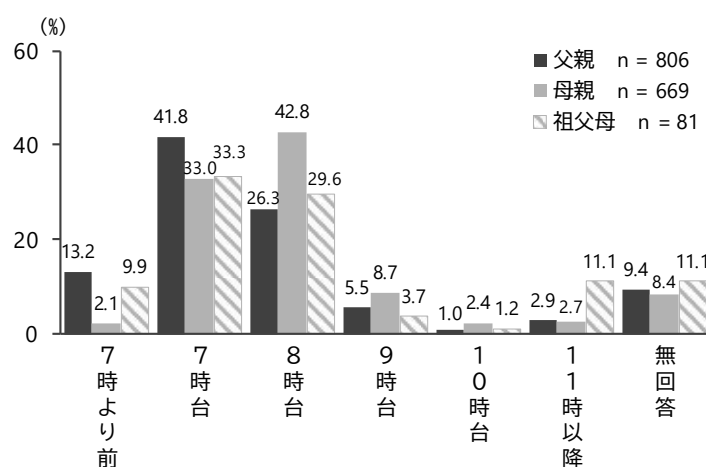


Ⅱ 調査結果

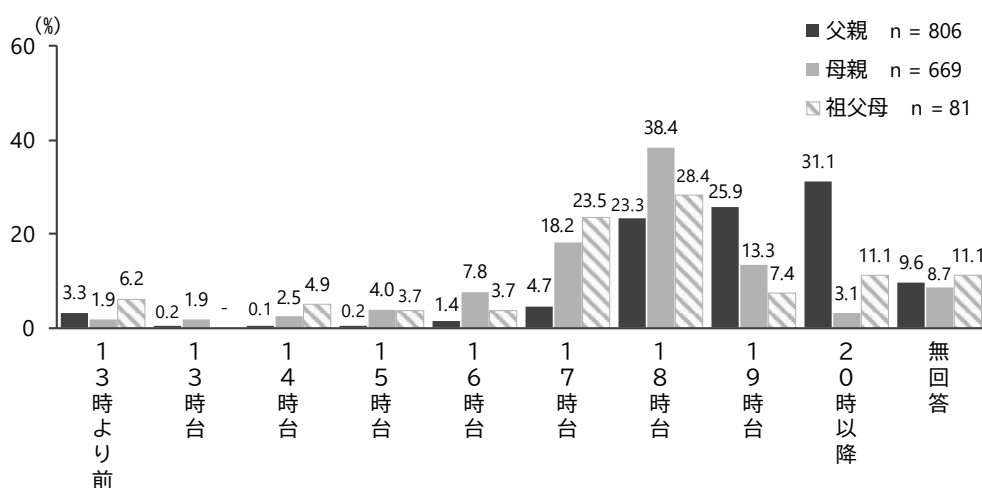
- ▶保護者の家を出る時間と帰宅時間について、未就学児の父親では、家を出る時間は「7時台」が41.8%と最も高く、次いで「8時台」(26.3%)となっています。帰宅時間は「20時以降」が31.1%と最も高く、次いで「19時台」(25.9%)となっています。
- ▶未就学児の母親では、家を出る時間は「8時台」が42.8%と最も高く、次いで「7時台」(33.0%)となっています。帰宅時間は「18時台」が38.4%と最も高く、次いで「17時台」(28.4%)となっています。
- ▶未就学児の祖父母では、家を出る時間は「7時台」が33.3%と最も高く、次いで「8時台」(29.6%)となっています。帰宅時間は「18時台」が28.4%と最も高く、次いで「17時台」(23.5%)となっています。

【未就学児】

(家を出る時間)



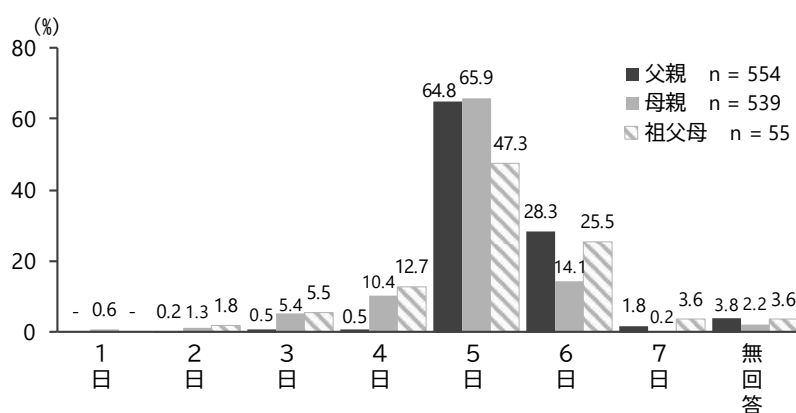
(帰宅時間)



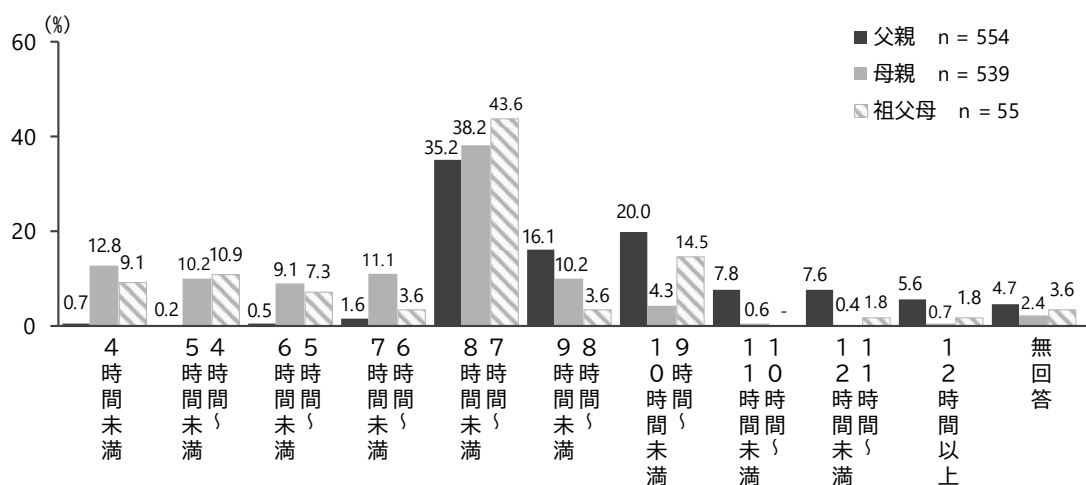
- ▶保護者の就労日数と就労時間について、小学生の父親では、1週あたりの就労日数は「5日」が64.8%と最も高く、次いで「6日」(28.3%)となっています。1日あたりの就労時間は「7時間～8時間未満」が35.2%と最も高く、次いで「9時間～10時間未満」(20.0%)となっています。
- ▶小学生の母親では、「5日」が65.9%と最も高く、次いで「6日」(14.1%)となっています。1日あたりの就労時間は「7時間～8時間未満」が38.2%と最も高く、次いで「4時間未満」(12.8%)となっています。
- ▶小学生の祖父母では、1週あたりの就労日数は「5日」が47.3%と最も高く、次いで「6日」(25.5%)となっています。1日あたりの就労時間は「8時間～7時間未満」が43.6%と最も高く、次いで「9時間～10時間未満」(14.5%)となっています。

【小学生】

(1週あたりの就労日数)



(1日あたりの就労時間)

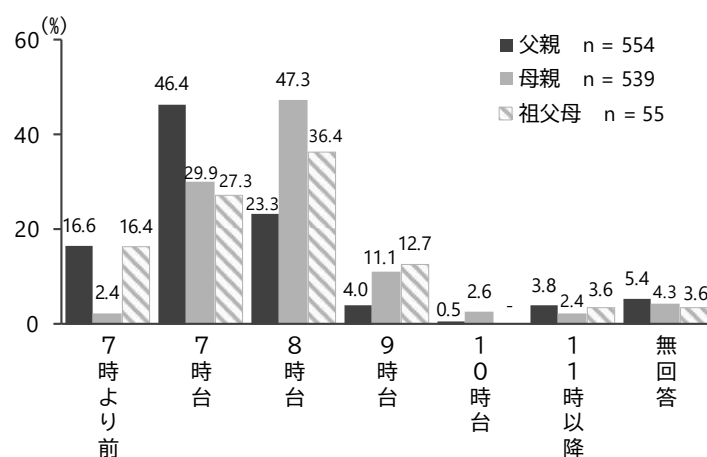


Ⅱ 調査結果

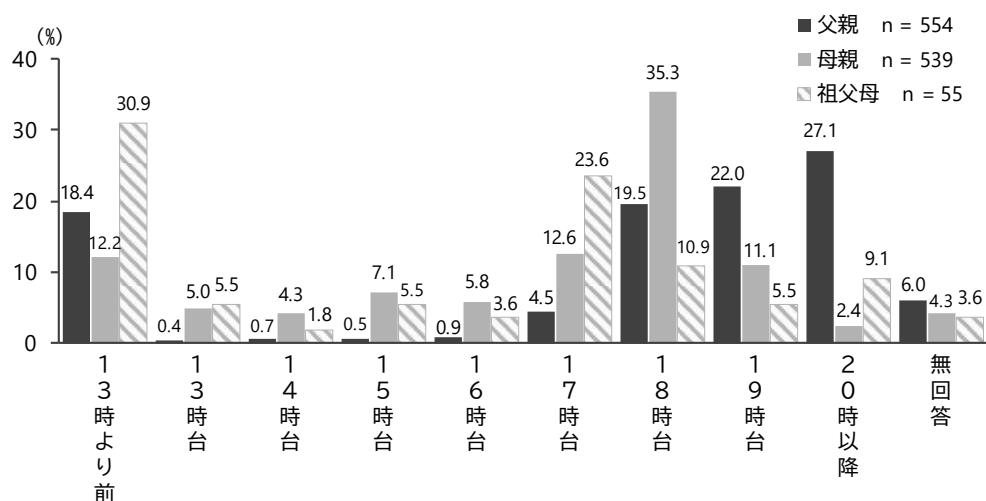
- ▶保護者の家を出る時間と帰宅時間について、小学生の父親では、家を出る時間は「7時台」が46.4%と最も高く、次いで「8時台」(23.3%)、「7時より前」(16.6%)となっています。帰宅時間は「20時以降」が27.1%と最も高く、次いで「19時台」(22.0%)、「18時台」(19.5%)となっています。
- ▶小学生の母親では、家を出る時間は「8時台」が47.3%と最も高く、次いで「7時台」(29.9%)となっています。帰宅時間は「18時台」が35.3%と最も高く、次いで「17時台」(23.6%)となっています。
- ▶小学生の祖父母では、家を出る時間は「8時台」が36.4%と最も高く、次いで「7時台」(27.3%)となっています。帰宅時間は「13時より前」が30.9%と最も高く、次いで「17時台」(23.6%)となっています。

【小学生】

(家を出る時間)



(帰宅時間)



③ フルタイムへの転換希望

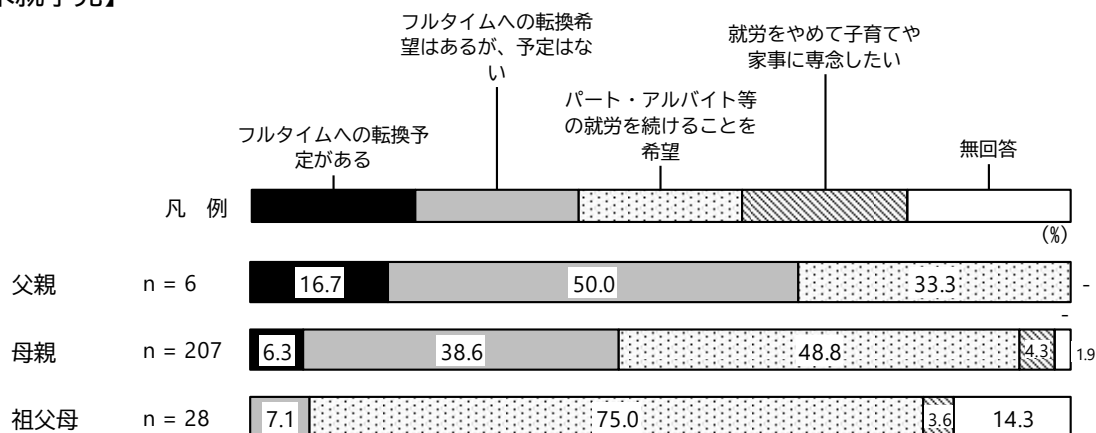
- ▶パート・アルバイト等で就労している保護者のフルタイムへの転換希望について、未就学児の母親では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が48.8%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない」(38.6%)となっています。
- ▶未就学児の祖父母では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が75.0%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない」(7.1%)となっています。
- ▶未就学児の父親の転換希望は、調査数(n)が少ないため参考値としての記載とします。
- ▶小学生の母親では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が54.4%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない」(33.6%)となっています。
- ▶小学生の祖父母では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が76.2%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換予定がある」(4.8%)となっています。
- ▶小学生の父親の転換希望は、調査数(n)が少ないため参考値としての記載とします。

【問7で③または④（パート・アルバイト等で就労している）を選んだ方のみ、お答えください。】

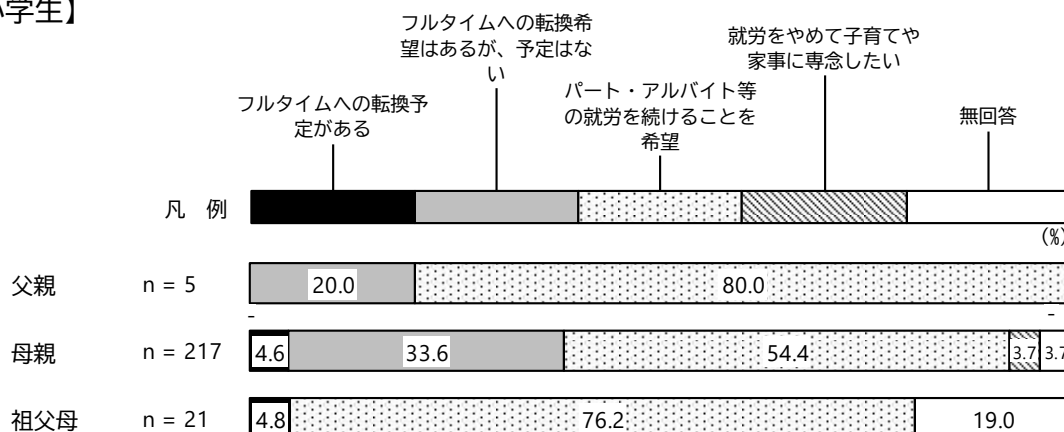
問9 フルタイムへの転換希望はありますか。

(父親・母親・祖父母それぞれのあてはまる項目1つに○)

【未就学児】



【小学生】



II 調査結果

④ 就労希望

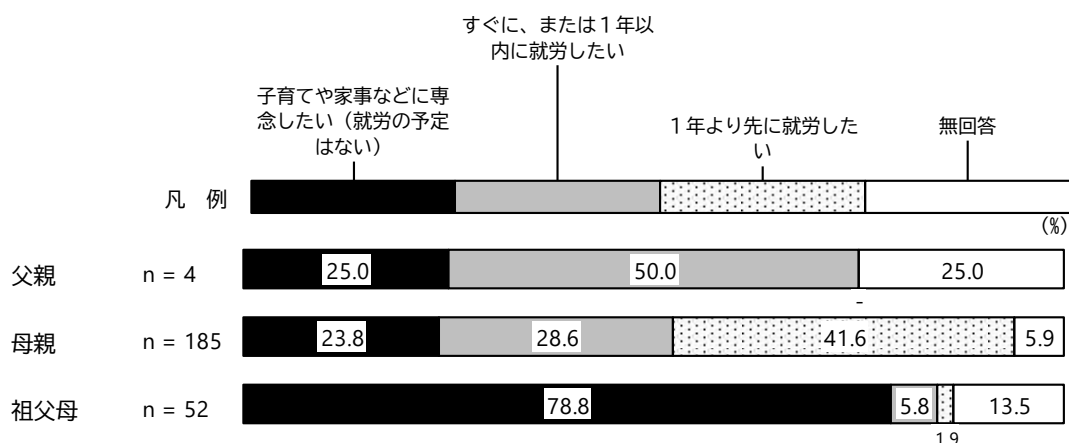
- ▶就労していない保護者の就労希望について、未就学児の母親では、「1年より先に就労したい」が41.6%と最も高く、次いで「すぐに、または1年以内に就労したい」(28.6%)となっています。
- ▶未就学児の祖父母では、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が78.8%と最も高く、次いで「すぐに、または1年以内に就労したい」(5.8%)となっています。
- ▶未就学児の父親の就労希望は、調査数(n)が少ないため参考値としての記載とします。
- ▶小学生の母親では、「1年より先に就労したい」が34.7%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(27.7%)となっています。
- ▶小学生の祖父母では、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が86.4%と最も高く、次いで「すぐに、または1年以内に就労したい」、「1年より先に就労したい」(ともに1.2%)となっています。

【問7で⑤または⑥(就労していない)を選んだ方のみ、お答えください。】

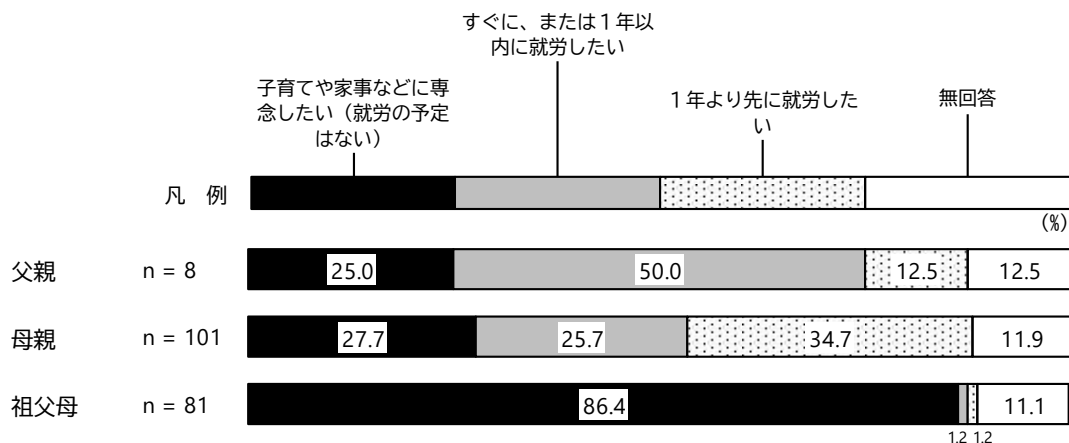
問10 就労したいという希望はありますか。

(父親・母親・祖父母それぞれのあてはまる項目1つに○)

【未就学児】



【小学生】



⑤ 希望する就労形態

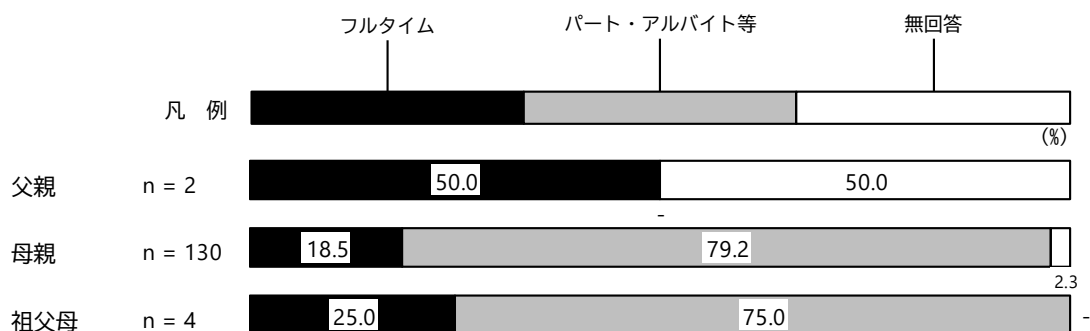
- ▶就労希望がある保護者の希望する就労形態について、未就学児の母親では、「パート・アルバイト等」が79.2%と最も高く、次いで「フルタイム」(18.5%)となっています。
- ▶未就学児の父親と祖父母の希望する就労形態は、調査数(n)が少ないため参考値としての記載とします。
- ▶小学生の母親では、「パート・アルバイト等」が82.0%と最も高く、次いで「フルタイム」(13.1%)となっています。
- ▶小学生の父親と祖父母の希望する就労形態は、調査数(n)が少ないため参考値としての記載とします。

【問10で②または③(就労したい)を選んだ方のみ、お答えください。】

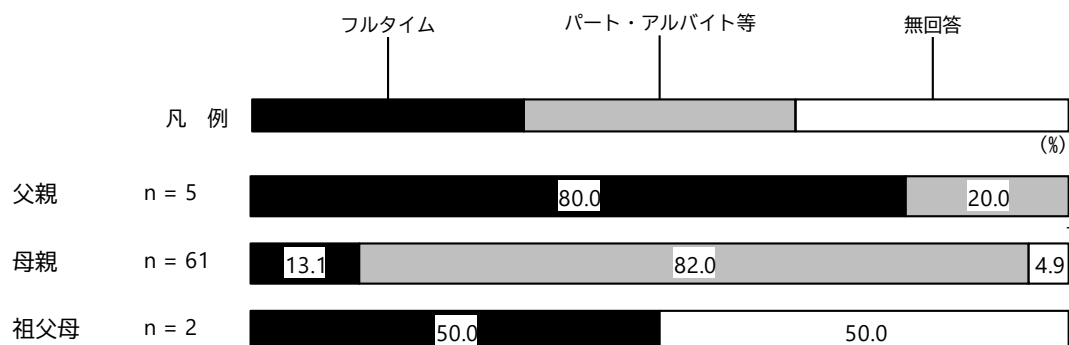
問11 どのような就労を希望しますか。

(父親・母親・祖父母それぞれのあてはまる番号1つに○、[]内は数字を記入)

【未就学児】



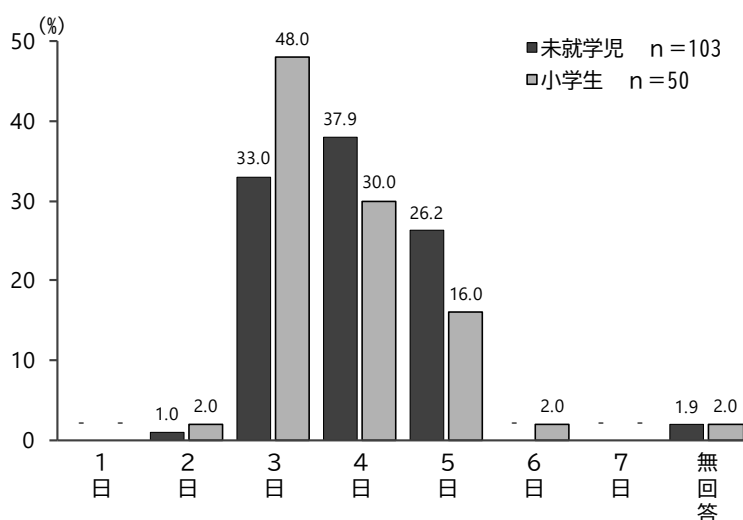
【小学生】



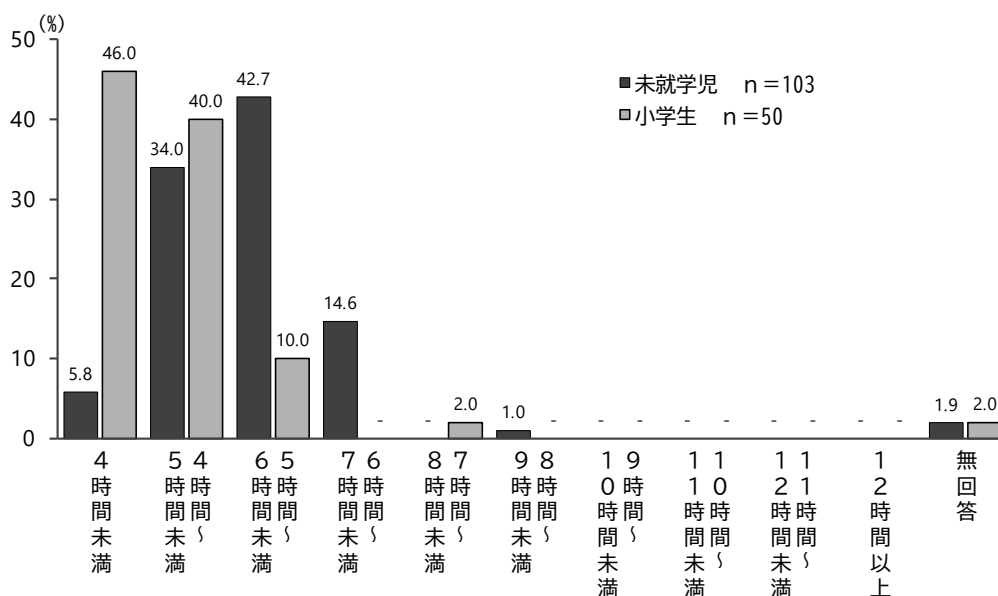
II 調査結果

- ▶母親が「パート・アルバイト等」を希望する場合の1週あたりの希望就労日数は、未就学児では、「4日」が37.9%と最も高くなっています。1日あたりの希望就労時間は、「5時間～6時間未満」が42.7%と最も高くなっています。
- ▶未就学児の祖父母の希望就労日数は、「3日」が2件、「5日」が1件となっています。希望就労時間は「4時間未満」、「4時間～5時間未満」、「9時間～10時間未満」がそれぞれ1件となっています。父親の調査対象者はいませんでした。
- ▶小学生では、「3日」が48.0%と最も高くなっています。1日あたりの希望就労時間は、「4時間未満」が46.0%と最も高くなっています。
- ▶小学生の父親の希望就労日数は、「3日」で1件となっています。希望就労時間は「4時間未満」で1件となっています。祖父母の調査対象者はいませんでした。

(「パート・アルバイト等」を希望する場合の1週あたりの希望就労日数)



(「パート・アルバイト等」を希望する場合の1日あたりの希望就労時間)



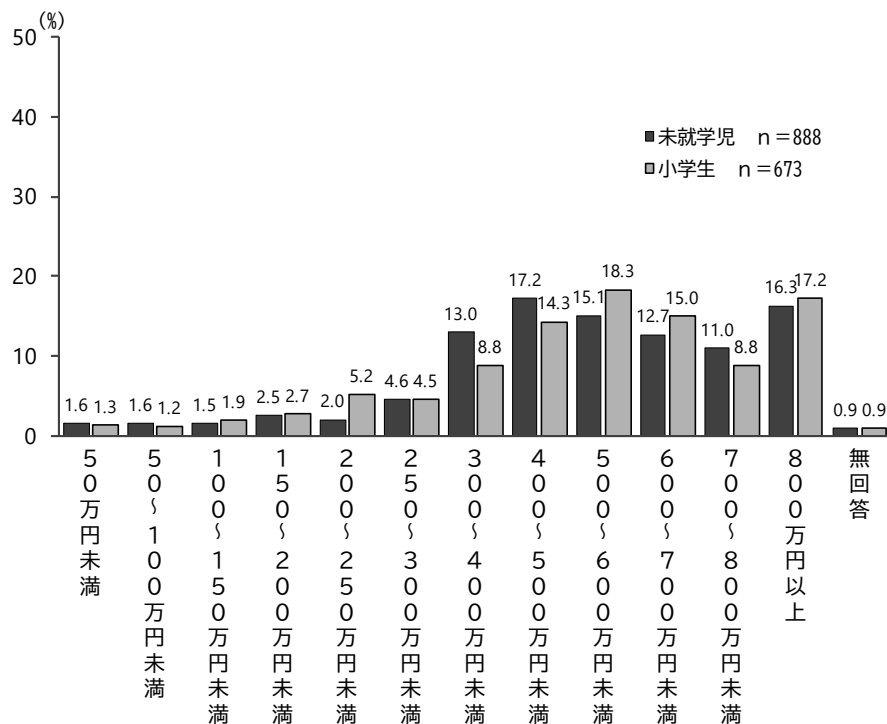
※父親と祖父母が希望する就労日数・時間については、調査対象者がいない、または調査数(n)が僅かであるためグラフを非掲載とします。

(4) 子育て世帯の家計の状況

① 世帯の年収

- ▶ 世帯の年収について、未就学児では「400～500 万円未満」が 17.2%と最も高く、次いで「800 万円以上」(16.3%)、「500～600 万円未満」(15.1%)となっています。
- ▶ 小学生では、「500～600 万円未満」が 18.3%と最も高く、次いで「800 万円以上」(17.2%)、「600～700 万円」(15.0%)となっています。

問 12 令和5年中の、世帯を合わせたの年収（手取りの収入。副業や各種手当も含む。）
は、およそどのくらいですか。 (○は1つ)



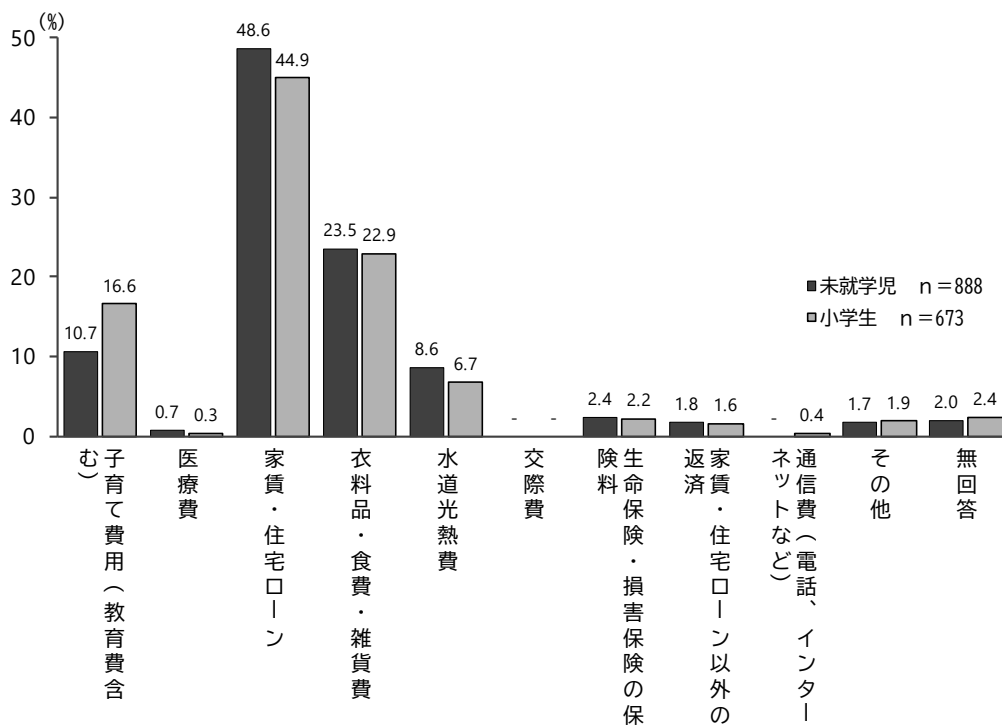
Ⅱ 調査結果

② 家計の負担

- ▶家計の負担となっている項目について、未就学児では「家賃・住宅ローン」が48.6%と最も高く、次いで「衣料品・食費・雑貨費」(23.5%)、「子育て費用(教育費含む)」(10.7%)となっています。
- ▶小学生では、「家賃・住宅ローン」が44.9%と最も高く、次いで「衣料品・食費・雑貨費」(22.9%)、「子育て費用(教育費含む)」(16.6%)となっています。

問 13 世帯の家計で最も負担となっているものは何ですか。

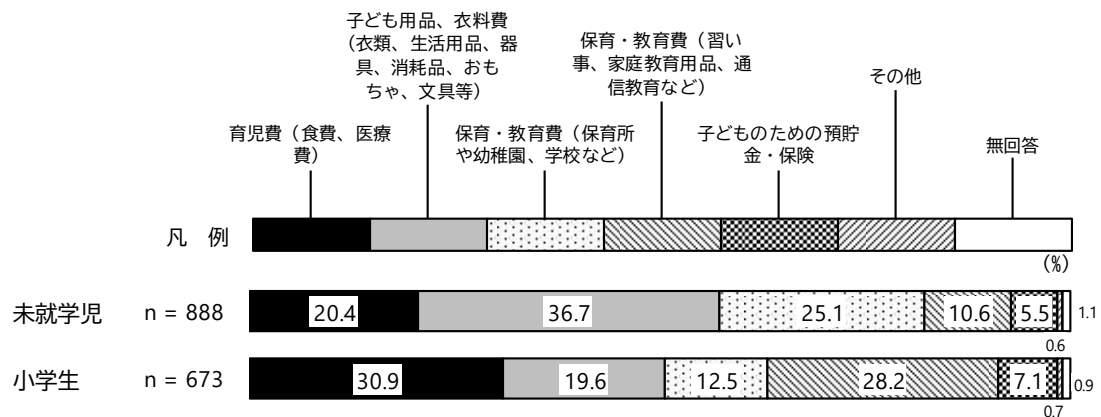
(○は1つ)



③ 子育て費用のうち、最大の支出項目

- ▶ 子育て費用のうち、最大の支出項目について、未就学児では「子ども用品、衣料費（衣類、生活用品、器具、消耗品、おもちゃ、文具等）」が36.7%と最も高く、次いで「保育・教育費（保育所や幼稚園、学校など）」（25.1%）、「育児費（食費、医療費）」（20.4%）となっています。
- ▶ 小学生では、「育児費（食費、医療費）」が30.9%と最も高く、次いで「保育・教育費（習い事、家庭教育用品、通信教育など）」（28.2%）、「子ども用品、衣料費（衣類、生活用品、器具、消耗品、おもちゃ、文具等）」（19.6%）となっています。

問 14 子育て費用のうち、最も支出の大きい項目はなんですか。 (○は1つ)



Ⅱ 調査結果

(5) 平日の「定期的な教育・保育事業」の利用状況、利用希望

① 「定期的な教育・保育事業」の利用状況・利用希望（未就学児のみ）

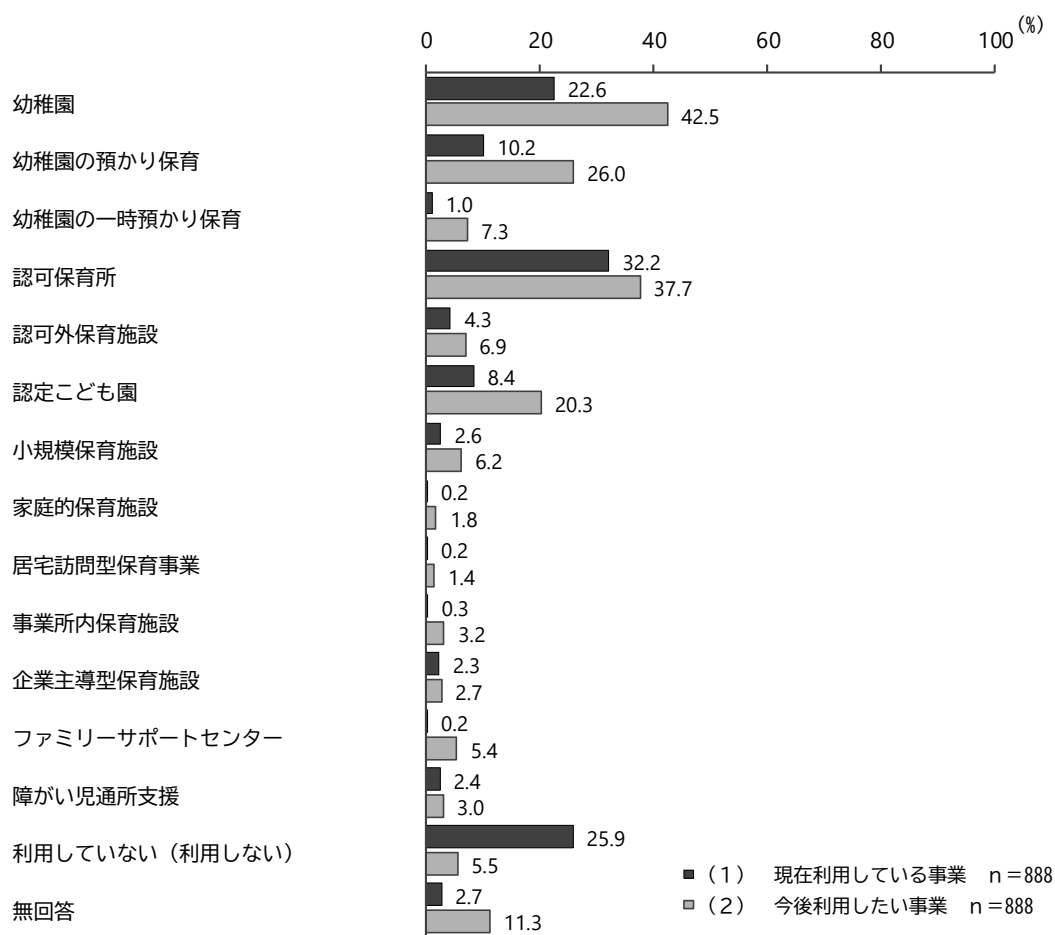
- ▶ 平日の「定期的な教育・保育事業」の利用状況・利用希望について、現在利用している事業では「認可保育所」が32.2%と最も高く、次いで「幼稚園」(22.6%)、「幼稚園の預かり保育」(10.2%)、「利用していない(利用しない)」(25.9%)となっています。
- ▶ 今後利用したい事業では、「幼稚園」が42.5%と最も高く、次いで「認可保育所」(37.7%)、「幼稚園の預かり保育」(26.0%)となっています。

問 15 あて名のお子さんについて、(1)、(2)それぞれの項目についてお答えください。

(1)現在、平日に定期的に利用している教育・保育事業

(2)現在、利用している・利用していないにかかわらず、平日の教育・保育事業として今後定期的に利用したいもの
(それぞれ○はいくつでも)

【未就学児】



【こどもの年齢別／定期的な教育・保育事業の利用状況】

- ▶「定期的な教育・保育事業」の利用状況について、こどもの年齢別でみると、他の年齢に比べ、“1～2歳”では、「認可保育所」の割合が高くなっています。また、他の年齢に比べ、“0歳”で「利用していない（利用しない）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	調査数（件）	幼稚園	幼稚園の預かり保育	幼稚園の一時預かり保育	認可保育所	認可外保育施設	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育施設	居宅訪問型保育事業	事業所内保育施設	企業主導型保育施設	ファミリーサポートセンター	障がい児通所支援	（利用していない）	無回答
0歳	213	0.5	-	-	11.7	2.3	3.8	3.3	0.5	-	-	1.9	-	0.5	68.1	8.0
1歳	153	1.3	-	0.7	46.4	3.9	4.6	3.9	-	-	-	3.9	-	0.7	33.3	2.6
2歳	143	9.8	2.8	2.1	44.8	6.3	4.9	5.6	-	-	0.7	4.2	-	0.7	21.0	2.1
3歳	135	45.2	19.3	1.5	35.6	3.7	14.1	0.7	0.7	1.5	0.7	0.7	1.5	4.4	2.2	-
4歳	122	49.2	26.2	0.8	26.2	9.0	15.6	-	-	-	0.8	0.8	-	3.3	0.8	-
5歳	120	52.5	24.2	1.7	37.5	1.7	12.5	0.8	-	-	-	0.8	-	6.7	-	-

※着色した数値は、各行の最大値

【こどもの年齢別／定期的な教育・保育事業の利用希望】

- ▶「定期的な教育・保育事業」の利用希望について、こどもの年齢別でみると、他の年齢に比べ、“0歳”では「認可保育所」、「認可外保育施設」、「認定こども園」、「小規模保育施設」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	調査数（件）	幼稚園	幼稚園の預かり保育	幼稚園の一時預かり保育	認可保育所	認可外保育施設	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育施設	業居宅訪問型保育事業	事業所内保育施設	企業主導型保育施設	ファミリーサポートセンター	障がい児通所支援	（利用していない）	無回答
0歳	213	44.6	24.4	13.1	59.6	15.0	33.8	16.0	3.3	0.5	5.6	3.3	6.6	0.9	3.3	3.8
1歳	153	49.7	27.5	11.1	40.5	3.3	22.9	5.2	2.6	1.3	3.9	2.6	6.5	2.0	6.5	8.5
2歳	143	44.1	27.3	4.2	38.5	5.6	14.7	4.9	1.4	0.7	1.4	2.1	3.5	2.1	4.9	14.0
3歳	135	40.7	27.4	4.4	25.2	3.0	15.6	2.2	0.7	1.5	1.5	2.2	3.7	5.2	5.9	12.6
4歳	122	33.6	23.8	1.6	20.5	7.4	15.6	0.8	-	0.8	2.5	1.6	4.1	2.5	9.8	18.0
5歳	120	39.2	26.7	5.0	25.8	2.5	10.0	1.7	1.7	4.2	2.5	3.3	7.5	7.5	4.2	16.7

※着色した数値は、各行の最大値

Ⅱ 調査結果

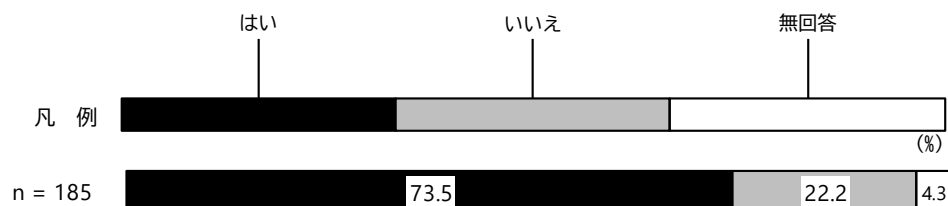
② 幼稚園の利用希望（未就学児のみ）

▶幼稚園の利用希望について、「はい」が73.5%、「いいえ」が22.2%となっています。

【問 15（2）で①又は②を選び、かつ③～⑤のいずれかを選んだ方のみ、お答えください。】

問 16 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。 (○は1つ)

【未就学児】



③ 教育・保育事業の利用頻度（未就学児のみ）

▶教育・保育事業の1週あたりの利用日数については、全てのサービスで、現在・希望ともに「5日」が最も高くなっています。

【問15の(1)で①～③のいずれかを選んだ方のみ、お答えください。】

問17 現在、利用している教育・保育事業はどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。複数選択している場合は、その合計の日数と時間を記入してください。

（〔 〕内は数字を記入、時間は24時間制（例：午後6時→18時）で記入）

【未就学児】

（利用日数）

		調査数	利用日数（1週あたり）／単位：構成比（％）					
			1日	2日	3日	4日	5日	無回答
全 体	現在	634	0.5	0.8	0.9	2.1	88.0	7.7
	希望	634	0.2	0.3	0.5	1.4	76.0	21.6
幼稚園	現在	201	0.5	-	0.5	1.5	93.5	4.0
	希望	201	-	-	-	1.5	79.6	18.9
幼稚園の預かり保育	現在	91	-	1.1	-	2.2	92.3	4.4
	希望	91	-	-	1.1	1.1	76.9	20.9
幼稚園の一時預かり保育	現在	9	11.1	-	22.2	-	66.7	-
	希望	9	-	-	-	-	88.9	11.1
認可保育所	現在	286	0.3	-	0.3	1.7	87.1	10.5
	希望	286	0.3	-	-	0.7	73.8	25.2
認可外保育施設	現在	38	-	-	2.6	2.6	81.6	13.2
	希望	38	-	-	-	2.6	76.3	21.1
認定こども園	現在	75	-	1.3	1.3	-	92.0	5.3
	希望	75	-	-	2.7	-	78.7	18.7
小規模保育施設	現在	23	4.3	-	-	4.3	60.9	30.4
	希望	23	-	4.3	-	-	52.2	43.5
家庭的保育施設	現在	2	-	-	-	-	100.0	-
	希望	2	-	-	-	-	100.0	-
居宅訪問型保育事業	現在	2	-	-	-	50.0	50.0	-
	希望	2	-	-	-	-	100.0	-
事業所内保育施設	現在	3	-	-	-	-	100.0	-
	希望	3	-	-	-	-	66.7	33.3
企業主導型保育施設	現在	20	-	-	-	10.0	85.0	5.0
	希望	20	-	-	-	5.0	75.0	20.0
ファミリーサポートセンター	現在	2	-	-	-	-	100.0	-
	希望	2	-	-	-	-	100.0	-
障がい児通所支援	現在	21	-	19.0	9.5	4.8	61.9	4.8
	希望	21	-	4.8	9.5	9.5	66.7	9.5

※着色した数値は、各行の最大値

Ⅱ 調査結果

▶教育・保育事業の1日あたりの利用時間については、「幼稚園」の現在では「5～6時間未満」が26.9%と最も高い一方、希望では「8～9時間未満」の17.9%が最も高く、現在と希望で差がみられています。

(利用時間)

		調査数	利用時間（1日あたり）／単位：構成比（％）										
			4時間未満	4～5時間未満	5～6時間未満	6～7時間未満	7～8時間未満	8～9時間未満	9～10時間未満	10～11時間未満	11～12時間未満	12時間以上	無回答
全 体	現在	634	2.7	4.9	10.1	5.7	5.7	24.0	19.6	20.3	3.3	0.8	3.0
	希望	634	1.3	1.3	5.7	6.5	7.1	21.1	16.4	16.4	5.0	2.4	16.9
幼稚園	現在	201	2.0	11.9	26.9	11.9	6.0	14.4	11.9	10.9	1.5	-	2.5
	希望	201	1.5	3.0	12.9	12.4	10.4	17.9	11.4	9.5	2.0	2.5	16.4
幼稚園の預かり保育	現在	91	6.6	1.1	6.6	3.3	9.9	26.4	23.1	19.8	2.2	-	1.1
	希望	91	3.3	-	3.3	2.2	8.8	23.1	19.8	15.4	3.3	4.4	16.5
幼稚園の一時預かり保育	現在	9	-	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	22.2	-	-	-
	希望	9	-	-	11.1	-	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	-
認可保育所	現在	286	1.4	-	0.3	1.7	6.6	28.7	25.9	27.6	3.8	-	3.8
	希望	286	0.7	-	0.3	2.4	5.6	19.6	21.0	23.1	6.3	1.7	19.2
認可外保育施設	現在	38	2.6	-	2.6	2.6	7.9	31.6	15.8	15.8	7.9	2.6	10.5
	希望	38	-	-	-	2.6	5.3	34.2	13.2	15.8	10.5	5.3	13.2
認定こども園	現在	75	2.0	4.0	9.0	3.0	2.0	21.0	15.0	12.0	4.0	2.0	1.0
	希望	75	1.3	2.7	9.3	5.3	6.7	25.3	14.7	9.3	5.3	2.7	17.3
小規模保育施設	現在	23	1.0	3.0	-	-	-	6.0	4.0	6.0	2.0	-	1.0
	希望	23	-	4.3	-	8.7	-	21.7	26.1	13.0	8.7	-	17.4
家庭的保育施設	現在	2	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-
	希望	2	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-
居宅訪問型保育事業	現在	2	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-
	希望	2	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-
事業所内保育施設	現在	3	-	-	-	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-
	希望	3	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-
企業主導型保育施設	現在	20	-	-	-	5.0	5.0	35.0	25.0	20.0	-	10.0	-
	希望	20	-	-	-	-	5.0	40.0	20.0	15.0	-	-	20.0
ファミリーサポートセンター	現在	2	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-
	希望	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-
障がい児通所支援	現在	21	28.6	4.8	9.5	9.5	4.8	23.8	4.8	9.5	-	-	4.8
	希望	21	14.3	4.8	14.3	14.3	4.8	23.8	4.8	9.5	-	-	9.5

※着色した数値は、各行の最大値

▶教育・保育事業の利用開始時間については、現在と希望でそれほど大きな差はみられませんでした。

(利用開始時間)

		調査数	利用開始時刻／単位：構成比（％）						
			7時より前	7時台	8時台	9時台	10時台	11時以降	無回答
全 体	現在	634	0.5	20.7	49.8	22.9	0.6	0.9	4.6
	希望	634	0.6	20.7	40.7	18.1	0.5	1.6	17.8
幼稚園	現在	201	1.0	11.9	47.3	30.3	1.0	2.0	6.5
	希望	201	1.0	12.9	40.3	23.4	0.5	2.5	19.4
幼稚園の預かり保育	現在	91	2.2	17.6	53.8	17.6	-	5.5	3.3
	希望	91	2.2	18.7	45.1	9.9	-	4.4	19.8
幼稚園の一時預かり保育	現在	9	-	11.1	33.3	33.3	-	11.1	11.1
	希望	9	-	22.2	33.3	22.2	-	11.1	11.1
認可保育所	現在	286	0.3	27.3	53.1	16.1	-	-	3.1
	希望	286	0.3	26.6	40.6	12.6	-	1.0	18.9
認可外保育施設	現在	38	-	23.7	44.7	21.1	-	-	10.5
	希望	38	-	26.3	44.7	15.8	-	-	13.2
認定こども園	現在	75	-	24.0	42.7	28.0	-	1.3	4.0
	希望	75	1.3	18.7	36.0	25.3	-	1.3	17.3
小規模保育施設	現在	23	-	17.4	43.5	21.7	4.3	-	13.0
	希望	23	-	21.7	30.4	26.1	4.3	-	17.4
家庭的保育施設	現在	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-
	希望	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-
居宅訪問型保育事業	現在	2	-	-	-	50.0	50.0	-	-
	希望	2	-	-	-	100.0	-	-	-
事業所内保育施設	現在	3	-	-	66.7	33.3	-	-	-
	希望	3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-
企業主導型保育施設	現在	20	-	10.0	70.0	15.0	-	-	5.0
	希望	20	-	10.0	60.0	10.0	-	-	20.0
ファミリーサポートセンター	現在	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-
	希望	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-
障がい児通所支援	現在	21	-	4.8	33.3	47.6	9.5	-	4.8
	希望	21	-	9.5	23.8	42.9	9.5	-	14.3

※着色した数値は、各行の最大値

II 調査結果

▶教育・保育事業の利用終了時間については、「幼稚園」の現在では「13 時台」が 23.4%と最も高い一方、希望では「18 時台」が最も高く、現在と希望で差がみられています。

(利用終了時間)

		調査数	利用終了時刻／単位：構成比 (%)									
			13時 より前	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時 以降	無回答
全 体	現在	634	3.3	8.5	7.6	3.5	14.4	27.1	30.1	0.8	0.2	4.6
	希望	634	3.0	2.7	4.6	5.2	11.7	20.2	26.7	7.4	0.8	17.8
幼稚園	現在	201	1.5	23.4	19.4	6.5	9.0	17.4	15.4	0.5	0.5	6.5
	希望	201	2.5	6.0	11.4	12.9	10.4	15.9	16.9	3.5	1.0	19.4
幼稚園の預かり保育	現在	91	2.2	3.3	3.3	7.7	17.6	36.3	25.3	-	1.1	3.3
	希望	91	3.3	1.1	1.1	6.6	9.9	24.2	27.5	4.4	2.2	19.8
幼稚園の一時預かり保育	現在	9	-	11.1	22.2	-	-	22.2	22.2	11.1	-	11.1
	希望	9	-	-	-	-	11.1	22.2	33.3	22.2	-	11.1
認可保育所	現在	286	2.1	-	0.3	1.7	18.9	36.4	36.0	1.4	-	3.1
	希望	286	1.7	-	0.3	0.7	10.8	24.5	30.8	11.5	0.7	18.9
認可外保育施設	現在	38	5.3	-	-	2.6	13.2	23.7	44.7	-	-	10.5
	希望	38	5.3	-	-	2.6	15.8	15.8	36.8	10.5	-	13.2
認定こども園	現在	75	4.0	9.3	9.3	1.3	16.0	26.7	29.3	-	-	4.0
	希望	75	2.7	5.3	8.0	4.0	14.7	24.0	20.0	2.7	1.3	17.3
小規模保育施設	現在	23	8.7	4.3	4.3	-	8.7	17.4	39.1	4.3	-	13.0
	希望	23	-	4.3	-	-	8.7	26.1	39.1	4.3	-	17.4
家庭的保育施設	現在	2	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-
	希望	2	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-
居宅訪問型保育事業	現在	2	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-
	希望	2	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-
事業所内保育施設	現在	3	-	-	-	-	-	33.3	66.7	-	-	-
	希望	3	-	-	-	-	-	33.3	66.7	-	-	-
企業主導型保育施設	現在	20	5.0	-	-	5.0	15.0	25.0	45.0	-	-	5.0
	希望	20	5.0	-	-	-	15.0	15.0	40.0	5.0	-	20.0
ファミリーサポート センター	現在	2	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	希望	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-
障がい児通所支援	現在	21	23.8	9.5	-	14.3	9.5	23.8	14.3	-	-	4.8
	希望	21	19.0	9.5	-	9.5	4.8	28.6	14.3	-	-	14.3

※着色した数値は、各行の最大値

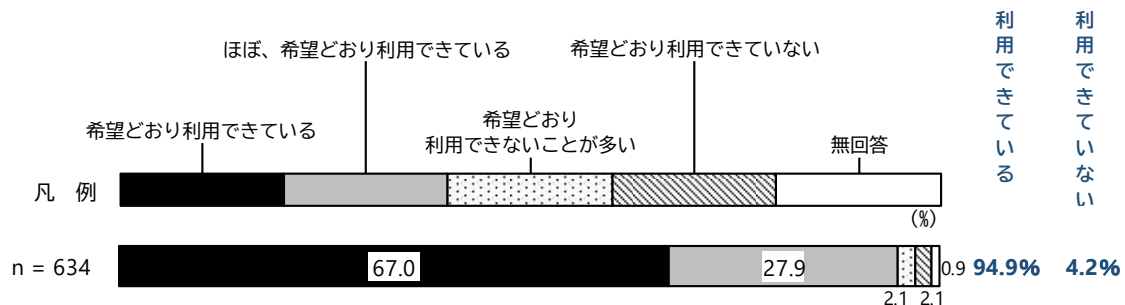
④ 教育・保育事業の利用状況（未就学児のみ）

▶現在、利用している教育・保育事業の利用状況について、『利用できている』（「希望どおり利用できている」＋「ほぼ希望どおり利用できている」）が94.9%、『利用できていない』（「希望どおり利用できないことが多い」＋「希望どおり利用できていない」）が4.2%となっています。

【問15の(1)で①～③のいずれかを選んだ方のみ、お答えください。】

問18 現在、利用している教育・保育事業は、施設の場所や利用時間について希望どおり利用できていますか。（○は1つ）

【未就学児】



【こどもの年齢別／教育・保育事業の利用状況】

▶現在、利用している教育・保育事業の利用状況について、こどもの年齢別でみた場合に、『利用できている』はそれぞれ9割台となっています。

【未就学児】

区分	調査数（件）	希望どおり利用できている					単位：%	
		希望どおり利用できている	ほぼ、希望どおり利用できている	希望どおり利用できないことが多い	希望どおり利用できていない	無回答	利用できている	利用できていない
0歳	51	70.6	25.5	2.0	2.0	-	96.1	4.0
1歳	98	65.3	28.6	2.0	3.1	1.0	93.9	5.1
2歳	110	60.0	32.7	2.7	3.6	0.9	92.7	6.3
3歳	132	65.2	30.3	3.0	0.8	0.8	95.5	3.8
4歳	121	66.1	28.1	1.7	1.7	2.5	94.2	3.4
5歳	120	76.7	20.8	0.8	1.7	-	97.5	2.5

※着色した数値は、各行の最大値

Ⅱ 調査結果

⑤ 教育・保育事業を利用している地区（未就学児のみ）

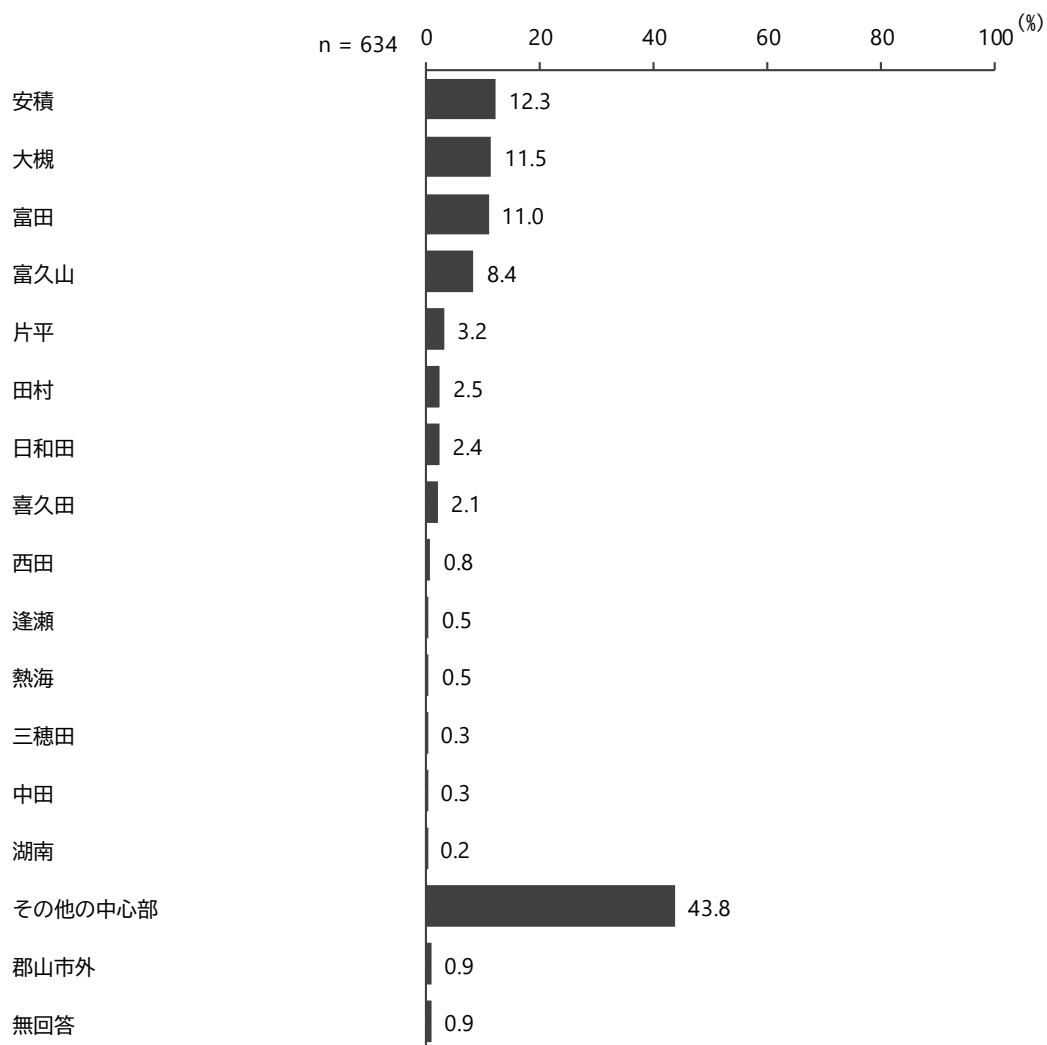
▶利用している教育・保育事業の地区については、「その他の中心部」が 43.8%と最も高く、次いで「安積」（12.3%）、「大槻」（11.5%）となっています。

【問 15 の(1)で①～③のいずれかを選んだ方のみ、お答えください。】

問 19 現在、利用している教育・保育事業の地区はどこですか。

（あてはまる番号すべてに○）

【未就学児】



【居住区域別／教育・保育事業を利用している地区】

- ▶利用している教育・保育事業の地区について、居住区域別にみると、“中心部＋南東部”と“北部”では「その他の中心部」が最も高く、“北部”では「富田」も同程度の割合となっています。また、“西部”では「大槻」が最も高くなっています。

【未就学児】

単位：％

区分	調査数 (件)	富田	大槻	安積	三穂田	逢瀬	片平	喜久田	日和田	富久山	湖南	熱海	田村	西田	中田	その他の 中心部	郡山市 市外	無 回 答
中心部＋南東部	336	4.5	5.1	19.3	-	-	0.3	0.3	0.6	3.0	-	-	3.9	0.0	0.6	62.5	0.9	0.6
西部	107	7.5	43.9	8.4	0.9	2.8	10.3	1.9	-	3.7	0.9	1.9	0.9	0.0	-	16.8	0.9	2.8
北部	189	24.9	4.8	1.6	0.5	-	4.2	5.3	6.9	20.6	-	0.5	1.1	2.6	-	25.9	1.1	0.5

※着色した数値は、各行の最大値

II 調査結果

⑥ 教育・保育事業の利用希望日数・時間（未就学児のみ）

- ▶ 1週あたり利用希望日数については、「5日」が85.7%と最も高くなっており、1日あたり利用希望時間については、「8時間～9時間未満」が23.3%と最も高くなっています。
- ▶ 利用希望開始時刻については、「8時台」が43.0%と最も高くなっており、利用希望終了時刻については、「18時台」が31.3%と最も高くなっています。

【問 15 の(2)で①～⑬のいずれかを選んだ方のみ、お答えください。】

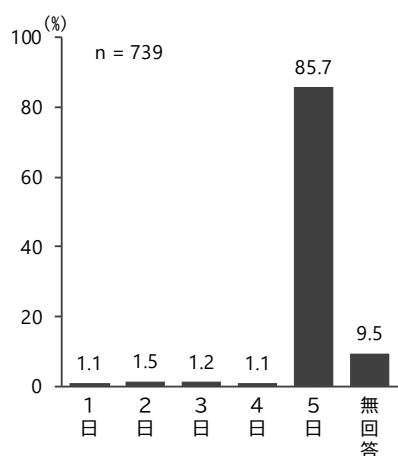
問 20 選んだ教育・保育事業を今後どのくらい利用したいですか。

複数選択している場合は、その合計の日数と時間を記入してください。

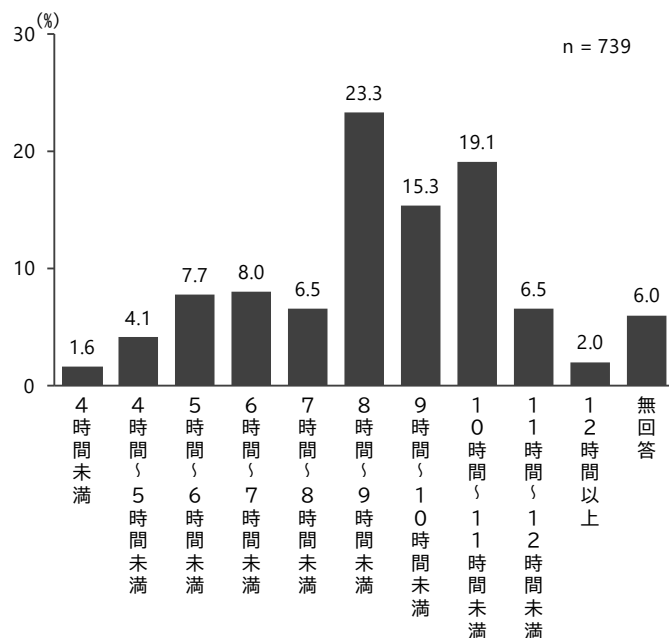
（[]内は数字を記入、時間は24時間制（例：午後6時→18時）で記入）

【未就学児】

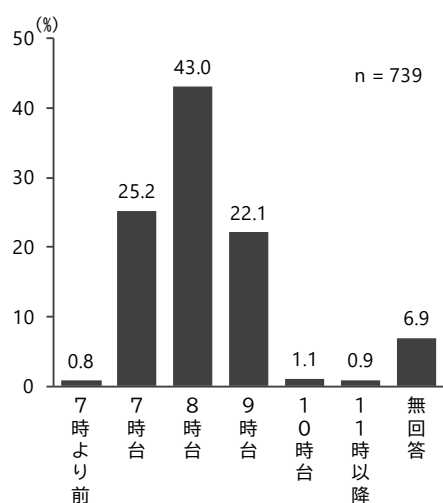
（1週あたり利用希望日数）



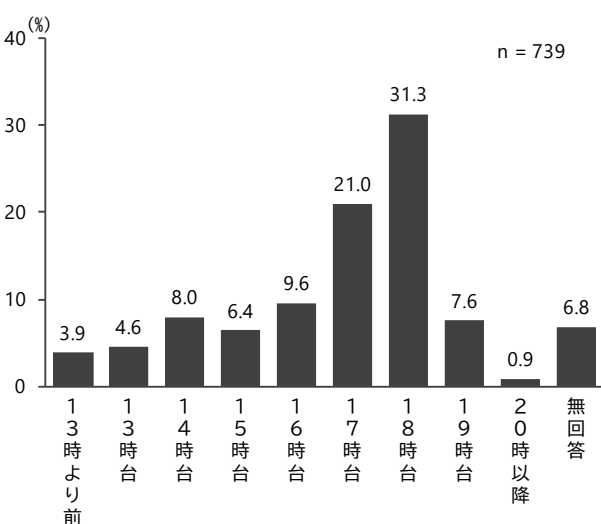
（1日あたり利用希望時間）



（利用希望開始時刻）



（利用希望終了時刻）



⑦ 教育・保育事業の利用希望地区・理由（未就学児のみ）

- ▶教育・保育事業を利用したい地区について、第1希望は、「その他の中心部」が37.8%と最も高く、次いで「富田」（12.7%）、「安積」（12.3%）となっています。
- ▶第2希望の地区は、「その他の中心部」が6.5%と最も高く、次いで「富田」、「大槻」（ともに6.2%）となっています。
- ▶第3希望の地区は、「富田」が2.7%と最も高く、次いで「その他の中心部」（2.6%）、「富久山」（2.4%）となっています。
- ▶第4希望の地区は、「富田」、「日和田」（ともに1.4%）と最も高く、次いで「喜久田」（1.1%）となっています。
- ▶第5希望の地区は、「日和田」が0.9%と最も高く、次いで「喜久田」（0.8%）、「大槻」、「安積」、「その他の中心部」（いずれも0.7%）となっています。

【問15の(2)で①～③のいずれかを選んだ方のみ、お答えください。】

問21 選んだ教育・保育事業を利用したい地区はどこですか。また、その地区を選んだ理由は何ですか。以下から選び、第1希望から第5希望までそれぞれ選択肢の数字をご記入ください。

【未就学児】

(教育・保育事業を利用したい地区)

上段：実数、下段：%

	調査数	富田	大槻	安積	三穂田	逢瀬	片平	喜久田	日和田
第1希望	739 100.0	94 12.7	86 11.6	91 12.3	1 0.1	2 0.3	14 1.9	20 2.7	24 3.2
第2希望	739 100.0	46 6.2	46 6.2	32 4.3	3 0.4	1 0.1	16 2.2	15 2.0	15 2.0
第3希望	739 100.0	20 2.7	4 0.5	10 1.4	6 0.8	2 0.3	7 0.9	7 0.9	16 2.2
第4希望	739 100.0	10 1.4	6 0.8	3 0.4	0 0.0	2 0.3	7 0.9	8 1.1	10 1.4
第5希望	739 100.0	4 0.5	5 0.7	5 0.7	1 0.1	1 0.1	4 0.5	6 0.8	7 0.9

上段：実数、下段：%

	調査数	富久山	湖南	熱海	田村	西田	中田	中その他の	無回答
第1希望	739 100.0	75 10.1	2 0.3	4 0.5	18 2.4	5 0.7	1 0.1	279 37.8	23 3.1
第2希望	739 100.0	39 5.3	0 0.0	0 0.0	5 0.7	0 0.0	1 0.1	48 6.5	472 63.9
第3希望	739 100.0	18 2.4	0 0.0	1 0.1	3 0.4	1 0.1	1 0.1	19 2.6	624 84.4
第4希望	739 100.0	4 0.5	0 0.0	1 0.1	0 0.0	2 0.3	1 0.1	5 0.7	680 92.0
第5希望	739 100.0	2 0.3	0 0.0	0 0.0	1 0.1	3 0.4	1 0.1	5 0.7	694 93.9

※着色した数値は、各行の最大値

II 調査結果

- ▶教育・保育事業を利用したい地区を選択した理由については、第1希望～第5希望全てで「自宅に近いため」が最も高くなっています。

(教育・保育事業を利用したい地区を選んだ理由)

	調査数	近 自 宅 に た め	近 親 族 の 住 居 に た め	近 職 場 に た め	あ る 通 勤 途 中 に た め	良 い 保 育 環 境 が あ る た め	そ の 他	無 回 答
第1希望	739 100.0	522 70.6	15 2.0	66 8.9	41 5.5	57 7.7	13 1.8	25 3.4
第2希望	739 100.0	147 19.9	19 2.6	45 6.1	27 3.7	17 2.3	9 1.2	475 64.3
第3希望	739 100.0	48 6.5	13 1.8	19 2.6	16 2.2	6 0.8	13 1.8	624 84.4
第4希望	739 100.0	21 2.8	5 0.7	8 1.1	9 1.2	5 0.7	11 1.5	680 92.0
第5希望	739 100.0	12 1.6	9 1.2	3 0.4	4 0.5	4 0.5	13 1.8	694 93.9

※着色した数値は、各行の最大値

⑧ 教育・保育事業を利用していない理由（未就学児のみ）

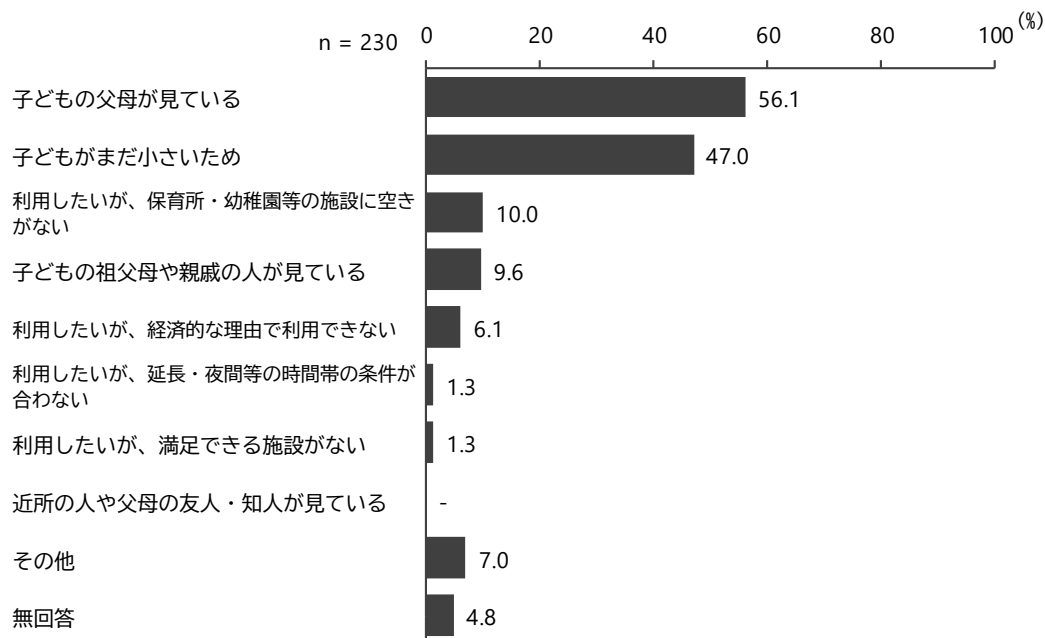
- ▶教育・保育事業を利用していない理由について、「子どもの父母が見ている」が56.1%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため」(47.0%)、「利用したいが、保育所・幼稚園等の施設に空きがない」(10.0%)となっています。
- ▶大きくなったら利用しようと考えているこどもの年齢については、「1歳」が43.5%と最も高く、次いで「3歳」(39.8%)、「2歳」(9.3%)となっています。

【問15の(1)で⑭を選んだ方のみ、お答えください。】

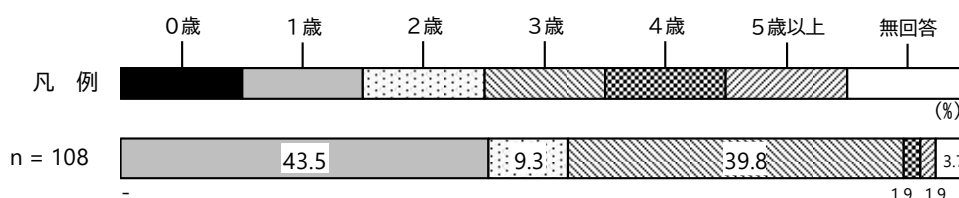
問22 現在、利用していない理由をお答えください。

(あてはまる番号すべてに○、[]内は数字を記入)

【未就学児】



(「子どもがまだ小さいため」大きくなったら利用しようと考えているこどもの年齢)



Ⅱ 調査結果

⑨ こども誰でも通園制度の認知度（未就学児のみ）

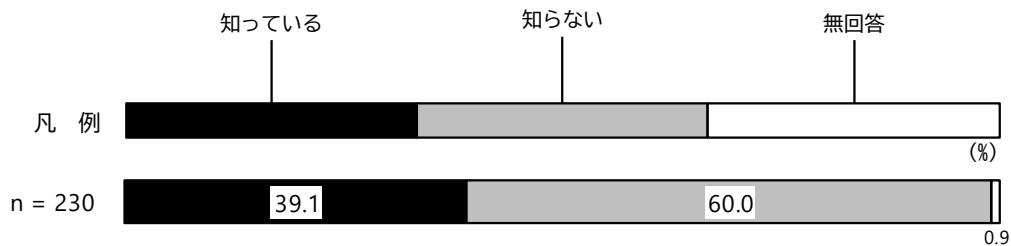
- ▶こども誰でも通園制度の認知度について、「知っている」が 39.1%、「知らない」が 60.0% となっています。

【問 15 の(1)で⑭を選んだ方のみ、お答えください。】

問 23(1) 「こども誰でも通園制度」をご存じですか。

(○は1つ)

【未就学児】



【こどもの年齢別（0～2歳）／こども誰でも通園制度の認知度】

- ▶こども誰でも通園制度の認知度について、こどもの年齢別（0～2歳）でみると、年齢が上がるにつれ、「知っている」の割合が高くなっています。

【未就学児】

単位：%

区分	調査数 (件)	知っている	知らない	無回答
0歳	145	33.8	64.8	1.4
1歳	51	45.1	54.9	0.0
2歳	30	56.7	43.3	0.0

※着色した数値は、各行の最大値

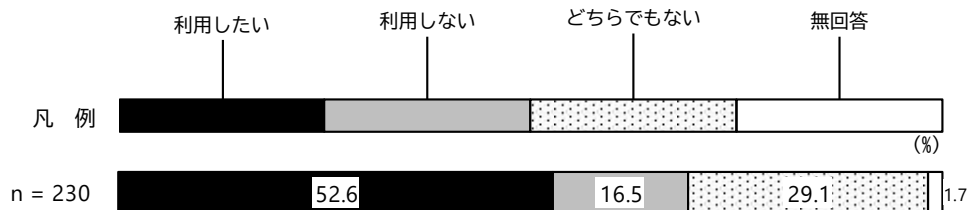
⑩ こども誰でも通園制度の利用希望（未就学児のみ）

- ▶こども誰でも通園制度の利用希望について、「利用したい」が52.6%と最も高く、次いで「どちらでもない」(29.1%)、「利用しない」(16.5%)となっています。

【問 15 の(1)で⑭を選んだ方のみ、お答えください。】

問 23(2) 「こども誰でも通園制度」が実施された場合、ご利用になりますか。(○は1つ)

【未就学児】



【こどもの年齢別（0～2歳）／こども誰でも通園制度の利用希望】

- ▶こども誰でも通園制度の利用希望について、こどもの年齢別（0～2歳）でみると、各歳それぞれで「利用したい」が5割前後となっています。

【未就学児】

単位：％

区分	調査数（件）	利用したい	利用しない	どちらでもない	無回答
0歳	145	52.4	13.8	31.7	2.1
1歳	51	54.9	13.7	29.4	2.0
2歳	30	50.0	33.3	16.7	0.0

※着色した数値は、各行の最大値

II 調査結果

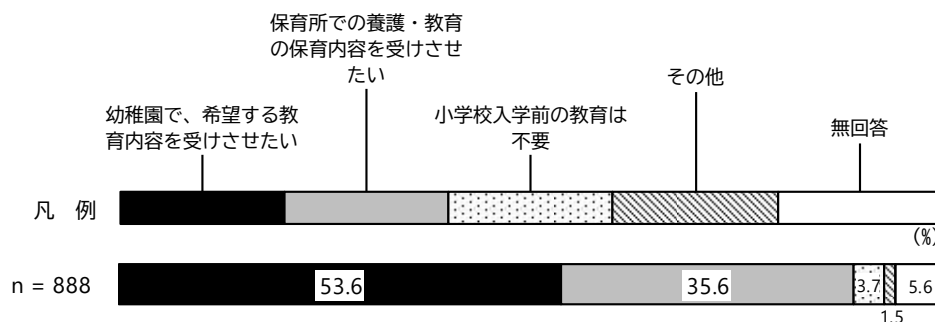
⑪ 小学校入学前の教育希望（未就学児のみ）

- ▶小学校入学前の教育について、「幼稚園で、希望する教育内容を受けさせたい」が53.6%と最も高く、次いで「保育所での養護・教育の保育内容を受けさせたい」（35.6%）、「小学校入学前の教育は不要」（3.7%）となっています。

問 24 小学校入学前の教育を受けさせたいと思いますか。

（○は1つ）

【未就学児】



【こどもの年齢別／小学校入学前の教育希望】

- ▶小学校入学前の教育について、こどもの年齢別でみると、すべての年齢で「幼稚園で、希望する教育内容を受けさせたい」が最も高く、次いで「保育所での養護・教育の保育内容を受けさせたい」となっています。

【未就学児】

単位：%

区分	調査数（件）	幼稚園で、希望する教育内容を受けさせたい	保育所での養護・教育の保育内容を受けさせたい	小学校入学前の教育は不要	その他	無回答
0歳	213	50.2	42.3	2.3	1.4	3.8
1歳	153	52.9	37.9	4.6	-	4.6
2歳	143	53.8	32.9	1.4	3.5	8.4
3歳	135	54.1	34.1	5.9	0.7	5.2
4歳	122	57.4	29.5	4.1	2.5	6.6
5歳	120	55.8	31.7	5.0	0.8	6.7

※着色した数値は、各行の最大値

(6) 土曜日や休日、長期休暇中の「定期的な教育・保育事業」の利用希望

① 土曜日や休日の定期的な教育・保育事業の利用希望（未就学児のみ）

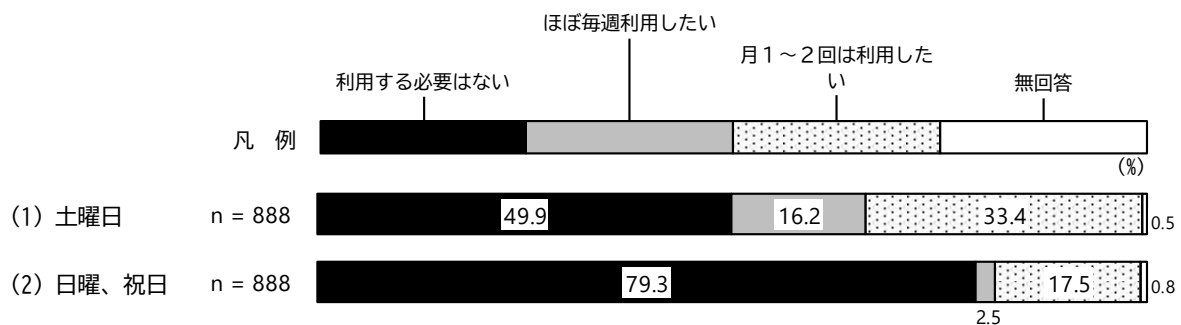
- ▶土曜日や休日の定期的な教育・保育事業の利用希望について、土曜日では「利用する必要はない」が49.9%と最も高くなっており、次いで「月1～2回は利用したい」(33.4%)、「ほぼ毎週利用したい」(16.2%)となっています。
- ▶日曜・祝日では、「利用する必要はない」が79.3%となっており、次いで「月1～2回は利用したい」(17.5%)、「ほぼ毎週利用したい」(2.5%)となっています。

問 25 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日、祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。「2」または「3」を選ぶ方は、利用したい時間帯もご記入ください。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(○は1つ、[]内は数字を記入、時間は24時間制(例：午後6時→18時)で記入)

【未就学児】



【こどもの年齢別／定期的な教育・保育事業の利用希望】

- ▶土曜日や日曜、祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望について、こどもの年齢別でみると、各年齢で大きな差はありませんが、土曜日、日曜・祝日ともに“5歳”で「利用する必要はない」が高くなっています。

【未就学児/土曜日】

区分	調査数(件)	単位：%			
		利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月1～2回は利用したい	無回答
0歳	213	51.2	14.1	34.3	0.5
1歳	153	51.0	14.4	34.0	0.7
2歳	143	43.4	18.2	37.8	0.7
3歳	135	43.0	22.2	34.8	-
4歳	122	50.8	17.2	31.1	0.8
5歳	120	60.0	12.5	27.5	-

※着色した数値は、各行の最大値

【未就学児/日曜・祝日】

区分	調査数(件)	単位：%			
		利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月1～2回は利用したい	無回答
0歳	213	80.3	2.8	16.9	-
1歳	153	81.7	3.3	14.4	0.7
2歳	143	76.2	1.4	20.3	2.1
3歳	135	75.6	3.0	20.7	0.7
4歳	122	76.2	1.6	21.3	0.8
5歳	120	85.0	2.5	11.7	0.8

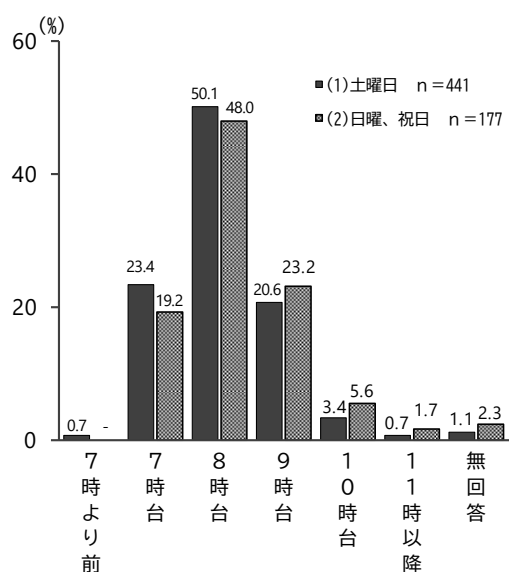
※着色した数値は、各行の最大値

Ⅱ 調査結果

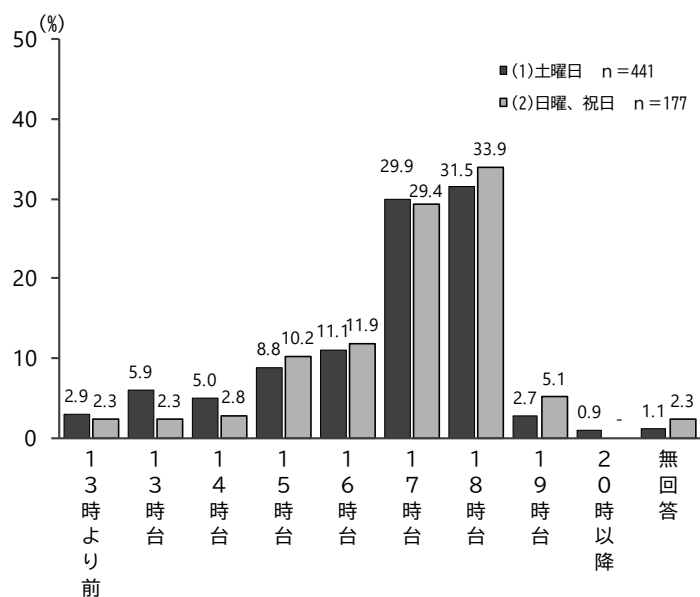
- ▶土曜日や休日の定期的な教育・保育事業の利用開始時間の希望について、土曜日では「8時台」が50.1%と最も高く、次いで「7時台」(23.4%)、「9時台」(20.6%)となっています。
- ▶日曜、祝日では「8時台」が48.0%と最も高く、次いで「9時台」(23.2%)、「7時台」(19.2%)となっています。
- ▶利用終了時間の希望について、土曜日では「18時台」が31.5%と最も高く、次いで「17時台」(29.9%)、「16時台」(11.1%)となっています。
- ▶日曜、祝日では「18時台」が33.9%と最も高く、次いで「17時台」(29.4%)、「16時台」(11.9%)となっています。

【未就学児】

(利用開始時間)



(利用終了時間)



② 土曜や休日に教育・保育事業を利用したい理由（未就学児のみ）

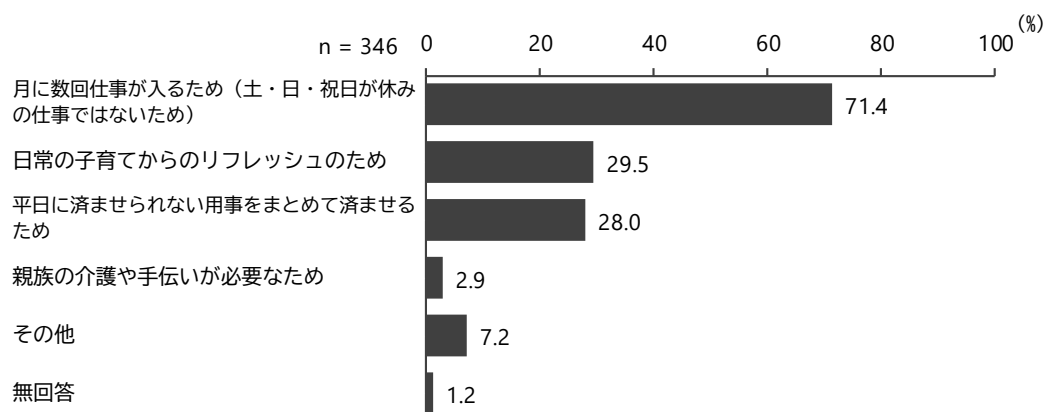
▶土曜や休日で月1～2回程度教育・保育事業を利用したい理由について、「月に数回仕事が入るため（土・日・祝日が休みの仕事ではないため）」が71.4%と最も高く、次いで「日常の子育てからのリフレッシュのため」（29.5%）、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」（28.0%）となっています。

【問25の(1)、(2)のいずれかで「3」を選んだ方のみ、お答えください。】

問26 その理由はなんですか。

（あてはまる番号すべてに○）

【未就学児】



Ⅱ 調査結果

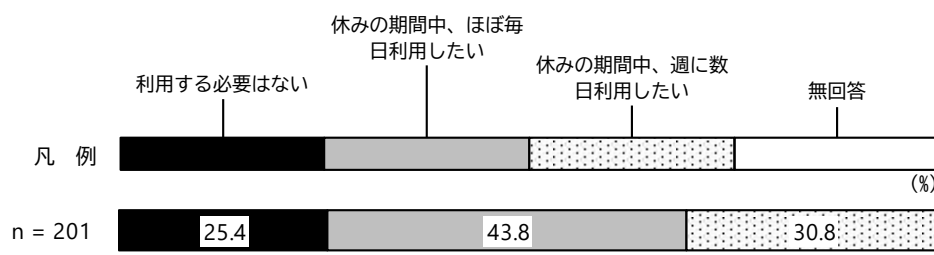
③ 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望（未就学児のみ）

- ▶長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望については、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が43.8%と最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」（30.8%）、「利用する必要はない」（25.4%）となっています。
- ▶利用開始時間の希望については、「8時台」が50.0%と最も高く、次いで「9時台」（21.3%）、「7時台」（18.7%）となっています。
- ▶利用終了時間の希望については、「18時台」が25.3%と最も高く、次いで「17時台」（20.7%）、「16時台」、「15時台」（ともに13.3%）となっています。

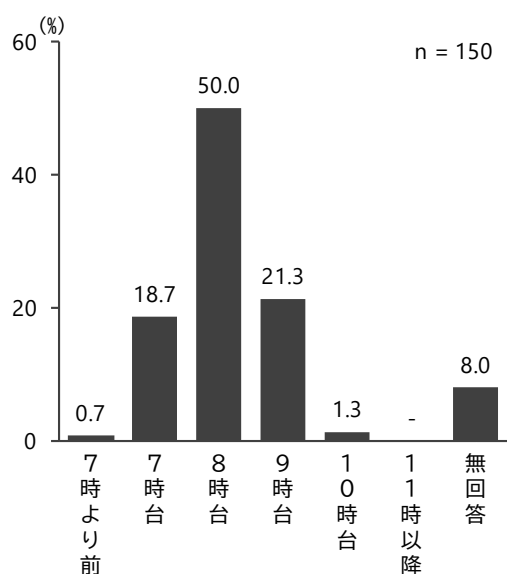
【あて名のお子さんが「幼稚園」を利用されている方のみ、お答えください。】

問 27 幼稚園の夏休み・冬休みなど長期休暇期間中に、教育・保育事業の利用を希望しますか。「2」または「3」を選ぶ方は、利用したい時間帯もご記入ください。
（○は1つ、[]内は数字を記入、時間は24時間制（例：午後6時→18時）で記入）

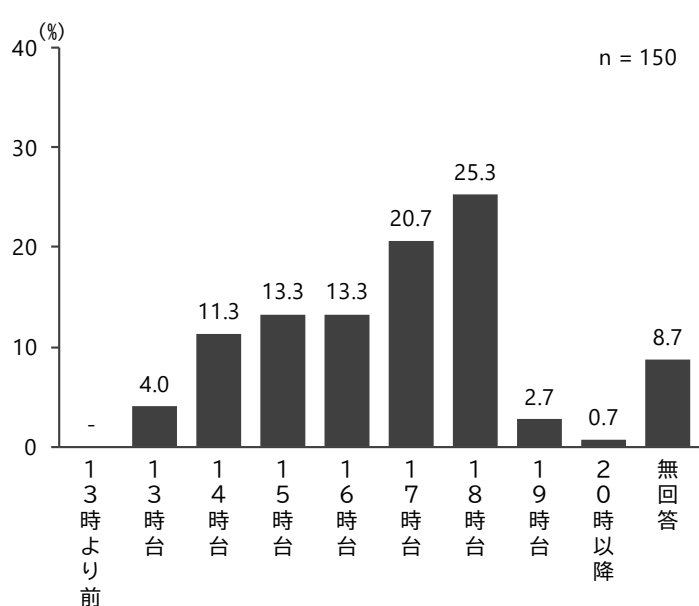
【未就学児】



（利用開始時間）



（利用終了時間）



④ 長期休暇期間中、教育・保育事業をたまに利用したい理由（未就学児のみ）

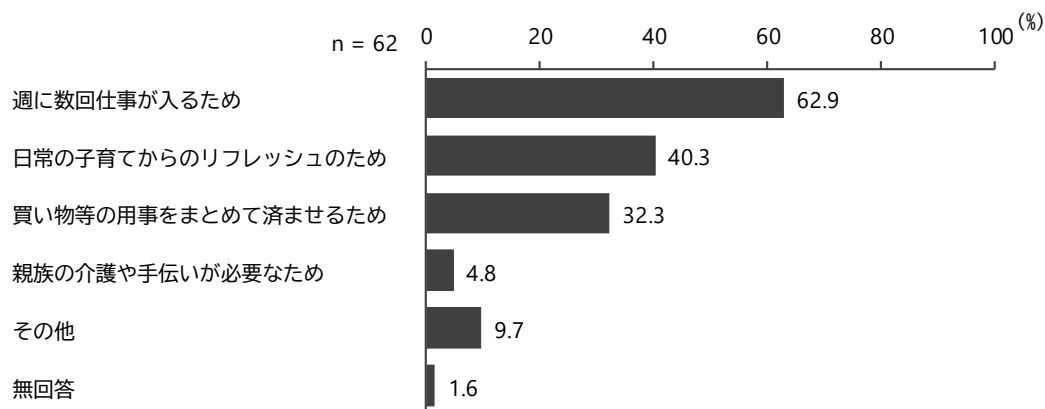
▶長期休暇期間中、教育・保育事業をたまに利用したい理由については、「週に数回仕事が入るため」が 62.9%と最も高く、次いで「日常の子育てからのリフレッシュのため」（40.3%）、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」（32.3%）となっています。

【問 27 で「3」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 28 その理由はなんですか。

（あてはまる番号すべてに○）

【未就学児】



Ⅱ 調査結果

(7) 病気やケガの際の対応

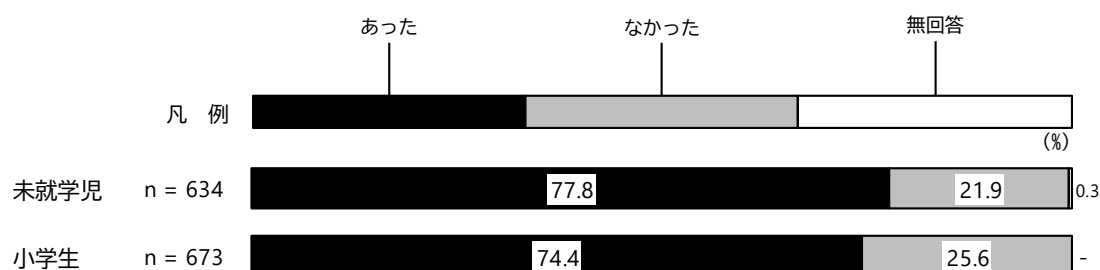
① 1年間でのこどもの病気やケガの有無

- ▶ 病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことの有無について、未就学児では「あった」が77.8%、「なかった」が21.9%となっています。
- ▶ 病気やケガで学校を休んだことの有無について、小学生では、「あった」が74.4%、「なかった」が25.6%となっています。

【問 15 の(1)で①～③のいずれかを選んだ方のみ、お答えください。】

問 29 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことはありましたか。(○は1つ)

【問 23】 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはありましたか。(○は1つ)



【こどもの年齢・学年別／病気やケガの有無】

- ▶ 未就学児が病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことの有無について、こどもの年齢別でみると、“1～2歳”で「あった」の割合が高くなっています。
- ▶ 小学生が病気やケガで学校を休んだことの有無について、学年別でみると、他の学年に比べ、“小学3年生”で、「あった」の割合が高くなっています。一方、“小学5～6年生”では「なかった」の割合が高くなっています。

【未就学児】

単位：％

区分	調査数 (件)	あ っ た	な か っ た	無 回 答
0歳	51	70.6	29.4	-
1歳	98	88.8	11.2	-
2歳	110	82.7	16.4	0.9
3歳	132	75.8	23.5	0.8
4歳	121	76.0	24.0	-
5歳	120	71.7	28.3	-

※着色した数値は、各行の最大値

【小学生】

単位：％

区分	調査数 (件)	あ っ た	な か っ た	無 回 答
小学1年生	134	73.1	26.9	-
小学2年生	135	80.7	19.3	-
小学3年生	116	87.1	12.9	-
小学4年生	106	73.6	26.4	-
小学5年生	96	63.5	36.5	-
小学6年生	84	63.1	36.9	-

※着色した数値は、各行の最大値

【母親の就労状況別／病気やケガの有無】

- ▶ 未就学児が病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことの有無について、母親の就労状況別でみると、“フルタイムで就労中”で、「あった」の割合が高くなっています。
- ▶ 小学生が病気やケガで学校を休んだことの有無について、母親の就労状況別でみると、“以前は就労していたが、現在は就労していない”で「あった」の割合が高くなっています。
- ▶ “パート・アルバイト等だが、産休・育休・介護休業中”と“これまで就労したことがない”は、調査数（n）が少ないため参考値としての記載とします。

【未就学児】

単位：％

区分	調査数 (件)	あ つ た	な か っ た	無 回 答
フルタイムで就労中	322	84.2	15.8	－
フルタイムだが、産休・育休・介護休業中	25	76.0	24.0	－
パート・アルバイト等で就労中	174	75.3	23.6	1.1
パート・アルバイト等だが、産休・育休・介護休業中	6	66.7	33.3	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	81	63.0	37.0	－
これまで就労したことがない	4	75.0	25.0	－

※着色した数値は、各行の最大値

【小学生】

単位：％

区分	調査数 (件)	あ つ た	な か っ た	無 回 答
フルタイムで就労中	312	72.8	27.2	－
フルタイムだが、産休・育休・介護休業中	10	60.0	40.0	－
パート・アルバイト等で就労中	212	74.5	25.5	－
パート・アルバイト等だが、産休・育休・介護休業中	5	100.0	－	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	95	81.1	18.9	－
これまで就労したことがない	6	66.7	33.3	－

※着色した数値は、各行の最大値

Ⅱ 調査結果

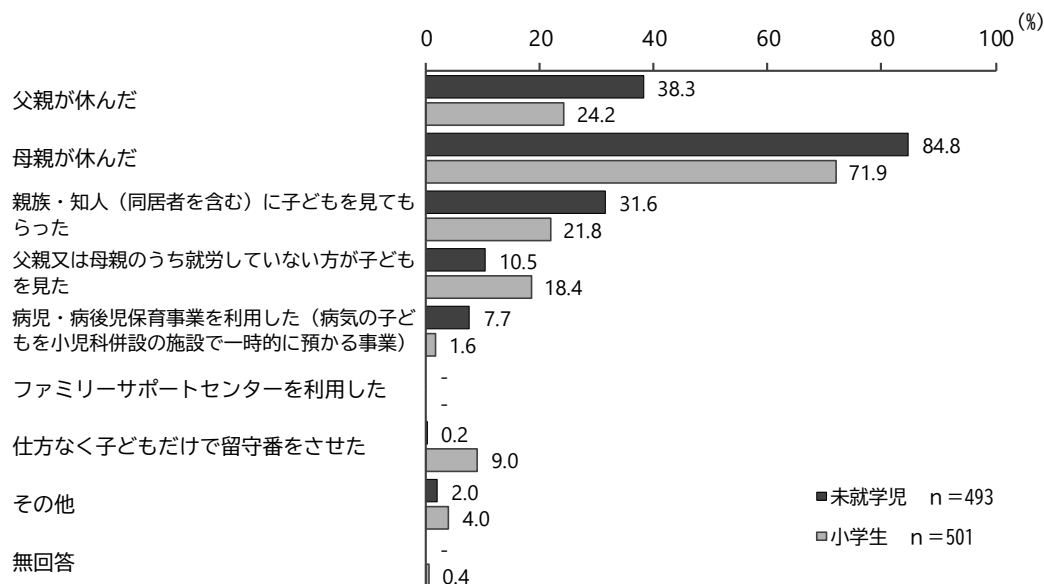
② 病気やケガの際の対処方法

- ▶ 病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった時の対処方法について、未就学児では「母親が休んだ」が84.8%と最も高く、次いで「父親が休んだ」(38.3%)、「親族・知人(同居者を含む)に子どもを見てもらった」(31.6%)となっています。
- ▶ 病気やケガで学校を休んだ際の対処方法について、小学生では、「母親が休んだ」が71.9%と最も高く、次いで「父親が休んだ」(24.2%)、「親族・知人(同居者を含む)に子どもを見てもらった」(21.8%)となっています。

【問29〔問23〕で「1」を選んだ方のみ、お答えください。】

問30〔問24〕 その時、どのような対処を、何日行いましたか。半日程度の対応の場合も1日とカウントしてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○、〔 〕内は数字を記入)



【こどもの年齢・学年別／病気やケガの際の対処方法】

- ▶未就学児が病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった時の対処方法について、こどもの年齢別でみると、“0～2歳”で「母親が休んだ」の割合が9割以上となっています。
- ▶小学生が病気やケガで学校を休んだ際の対処方法について、学年別でみると、いずれの学年も「母親が休んだ」が7割前後となっています。また、他の学年に比べ、“小学1年生”で、「父親が休んだ」の割合が高くなっています。

【未就学児】

単位：％

区分	調査数（件）	父親が休んだ	母親が休んだ	親族・知人（同居者を含む）に子どもを見てもらった	父親又は母親の子どもを見た	病児・病後児保育事業を利用した	ファミリースポーツセンターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
0歳	36	27.8	91.7	25.0	5.6	-	-	-	8.3	-
1歳	87	54.0	94.3	42.5	3.4	11.5	-	1.1	1.1	-
2歳	91	38.5	91.2	25.3	6.6	12.1	-	-	1.1	-
3歳	100	30.0	81.0	28.0	15.0	10.0	-	-	2.0	-
4歳	92	44.6	78.3	33.7	13.0	6.5	-	-	2.2	-
5歳	86	29.1	76.7	32.6	16.3	1.2	-	-	1.2	-

※着色した数値は、各行の最大値

【小学生】

単位：％

区分	調査数（件）	父親が休んだ	母親が休んだ	見てもらった を（含む）に子どもを	親族・知人（同居者） を含む）に子どもを	子どもを見た 就労していない方が	父親又は母親のうち 子どもを見た	病児・病後児の保育 を利用した	ファミリースポーツ センターを利用した	仕方なく子どもだけ で留守番をさせた	その他	無回答
小学1年生	98	34.7	72.4	20.4	21.4	4.1	-	-	2.0	3.1	-	
小学2年生	109	29.4	75.2	26.6	17.4	0.9	-	-	2.8	1.8	0.9	
小学3年生	101	18.8	75.2	23.8	14.9	2.0	-	-	5.9	7.9	1.0	
小学4年生	78	20.5	69.2	19.2	20.5	-	-	-	16.7	1.3	-	
小学5年生	61	23.0	63.9	18.0	18.0	1.6	-	-	24.6	6.6	-	
小学6年生	53	11.3	71.7	17.0	18.9	-	-	-	11.3	3.8	-	

※着色した数値は、各行の最大値

Ⅱ 調査結果

【母親の就労状況別／病気やケガの際の対処方法】

- ▶ 未就学児が病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった時の対処方法について、母親の就労状況別でみると、“フルタイムで就労中”で「親族・知人（同居者を含む）に子どもを見てもらった」の割合が、“フルタイムだが、産休・育休・介護休業中”で「父親が休んだ」の割合が、“以前は就労していたが、現在は就労していない”で「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た」の割合が高くなっています。
- ▶ 小学生が病気やケガで学校を休んだ際の対処方法についても、母親の就労状況別でみると、未就学時と同様の傾向がみられます。
- ▶ “パート・アルバイト等だが、産休・育休・介護休業中”と“これまで就労したことがない”は、調査数（n）が少ないため参考値としての記載とします。

【未就学児】

単位：％

区分	調査数（件）	父親が休んだ	母親が休んだ	親族・知人（同居者を含む）に子どもを見てもらった	父親又は母親のうち子どもを見た	父親又は母親のうち子どもを見た	病児・病後児保育事業を利用した	ファミリーサポートセンターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイムで就労中	271	47.6	94.8	38.0	1.8	10.7	-	-	0.4	2.6	-
フルタイムだが、産休・育休・介護休業中	19	57.9	78.9	21.1	5.3	5.3	-	-	-	5.3	-
パート・アルバイト等で就労中	131	27.5	92.4	28.2	6.1	3.8	-	-	-	0.8	-
パート・アルバイト等だが、産休・育休・介護休業中	4	25.0	75.0	25.0	-	25.0	-	-	-	25.0	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	51	11.8	25.5	11.8	68.6	3.9	-	-	-	-	-
これまで就労したことがない	3	-	-	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-

※着色した数値は、各行の最大値

【小学生】

単位：％

区分	調査数（件）	父親が休んだ	母親が休んだ	親族・知人（同居者を含む）に子どもを見てもらった	父親又は母親のうち子どもを見た	父親又は母親のうち子どもを見た	病児・病後児の保育事業を利用した	ファミリーサポートセンターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイムで就労中	227	30.4	85.0	29.1	3.5	2.6	-	-	11.5	5.3	-
フルタイムだが、産休・育休・介護休業中	6	66.7	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-	-
パート・アルバイト等で就労中	158	21.5	81.6	21.5	8.9	0.6	-	-	10.1	2.5	0.6
パート・アルバイト等だが、産休・育休・介護休業中	5	-	60.0	-	40.0	-	-	-	-	-	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	77	9.1	20.8	2.6	76.6	1.3	-	-	1.3	2.6	1.3
これまで就労したことがない	4	-	-	-	100.0	-	-	-	-	25.0	-

※着色した数値は、各行の最大値

- ▶未就学児の病気やケガの際の対処方法ごとの年間日数については、“父親が休んだ”場合と“病児・病後児保育事業を利用した”場合で、「5日」の日数の回答割合が高くなっています。一方、“母親が休んだ”、“親族・知人に子どもを見てもらった”“就労していない親が子どもを見た”場合では、「6日～10日」の日数の回答割合が高くなっています。
- ▶小学生の対処方法ごとの年間日数については、“父親が休んだ”場合で、「1日」の回答割合が高くなっています。一方、“母親が休んだ”、“親族・知人に子どもを見てもらった”場合では、「5日」の日数の回答割合が高くなっています。

(対処方法ごとの年間日数)

【未就学児】

単位：％

区分	調査数 (件)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日 ～ 10 日	11 日 ～ 20 日	21 日 以上	無 回 答
1. 父親が休んだ	189	19.6	16.4	10.6	2.6	23.8	20.1	4.2	1.6	1.1
2. 母親が休んだ	418	4.8	7.7	7.4	3.3	17.2	28.9	17.7	10.8	2.2
3. 親族・知人に子どもを見てもらった	156	12.2	17.3	13.5	2.6	19.9	21.8	6.4	3.2	3.2
4. 就労していない親が子どもを見た	52	-	5.8	5.8	3.8	9.6	32.7	19.2	21.2	1.9
5. 病児・病後児保育事業を利用した	38	21.1	15.8	13.2	7.9	21.1	15.8	2.6	2.6	-
6. ファミリーサポートセンターを利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7. 子どもだけで留守番をさせた	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
8. その他	10	-	10.0	20.0	-	30.0	40.0	-	-	-

※着色した数値は、各行の最大値

【小学生】

単位：％

区分	調査数 (件)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日 ～ 10 日	11 日 ～ 20 日	21 日 以上	無 回 答
1. 父親が休んだ	121	33.9	22.3	13.2	1.7	13.2	9.9	2.5	0.8	2.5
2. 母親が休んだ	360	12.8	11.4	13.3	3.1	24.2	21.4	8.3	3.6	1.9
3. 親族・知人に見てもらった	109	17.4	18.3	15.6	3.7	18.3	17.4	1.8	1.8	5.5
4. 就労していない親が子どもを見た	92	4.3	7.6	7.6	2.2	19.6	28.3	9.8	13.0	7.6
5. 病児・病後児保育事業を利用した	8	25.0	-	37.5	12.5	12.5	12.5	-	-	-
6. ファミリーサポートセンターを利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7. 子どもだけで留守番させた	45	24.4	28.9	22.2	-	2.2	8.9	2.2	4.4	6.7
8. その他	20	20.0	20.0	10.0	5.0	15.0	20.0	-	-	10.0

※着色した数値は、各行の最大値

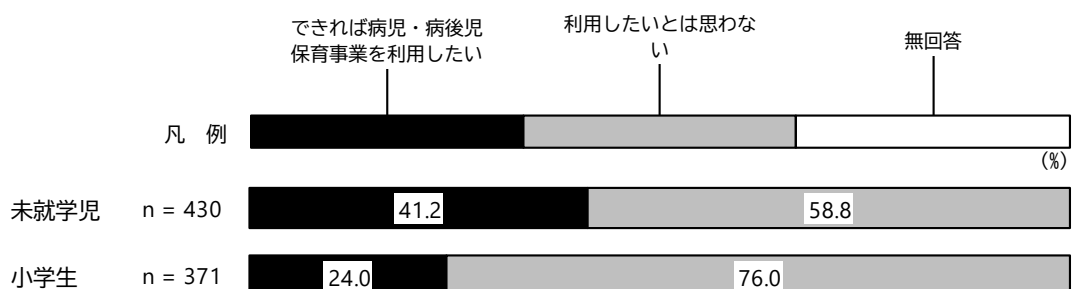
③ 病児・病後児保育の利用希望

- ▶病児・病後児保育の利用希望について、未就学児では「できれば病児・病後児保育事業を利用したい」が41.2%となっており、「利用したいとは思わない」が(58.8%)となっています。
- ▶病児・病後児保育施設等を利用したいと思った場合の利用希望日数については、「6日～10日」が23.2%と最も高く、次いで「5日」(20.3%)、「3日」(13.6%)となっています。
- ▶小学生では、「できれば病児・病後児保育事業を利用したい」が24.0%となっており、「利用したいとは思わない」が(76.0%)となっています。
- ▶病児・病後児保育施設等を利用したいと思った場合の利用希望日数については、「5日」が28.1%と最も高く、次いで「3日」(23.6%)、「6日～10日」(15.7%)となっています。

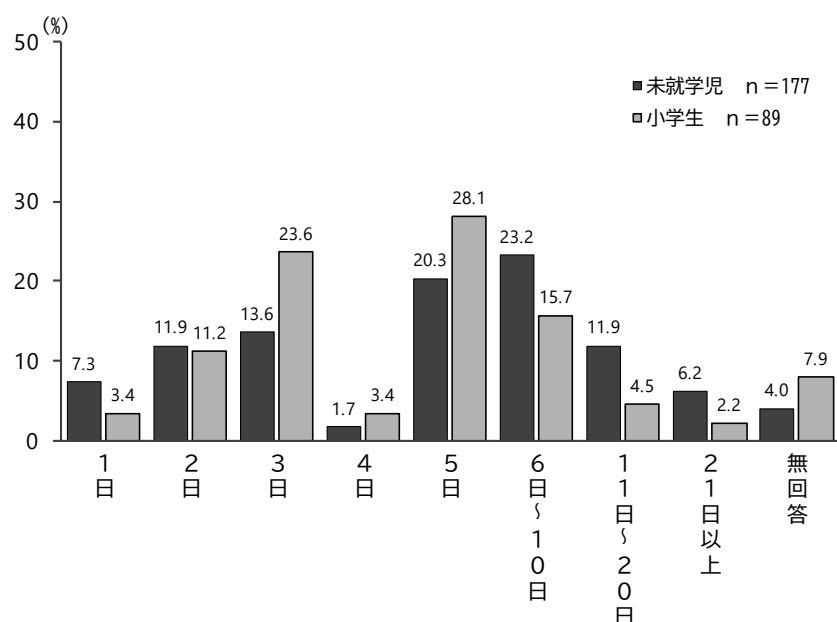
【問30 [問24] で「1」または「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

問31 [問25] その際、「できれば病児・病後児保育事業を利用したい」と思いましたか。
「1」を選ぶ場合、希望する日数もご記入ください。

(○は1つ、[]内は数字を記入)



(病児・病後児保育事業を利用したい日数)



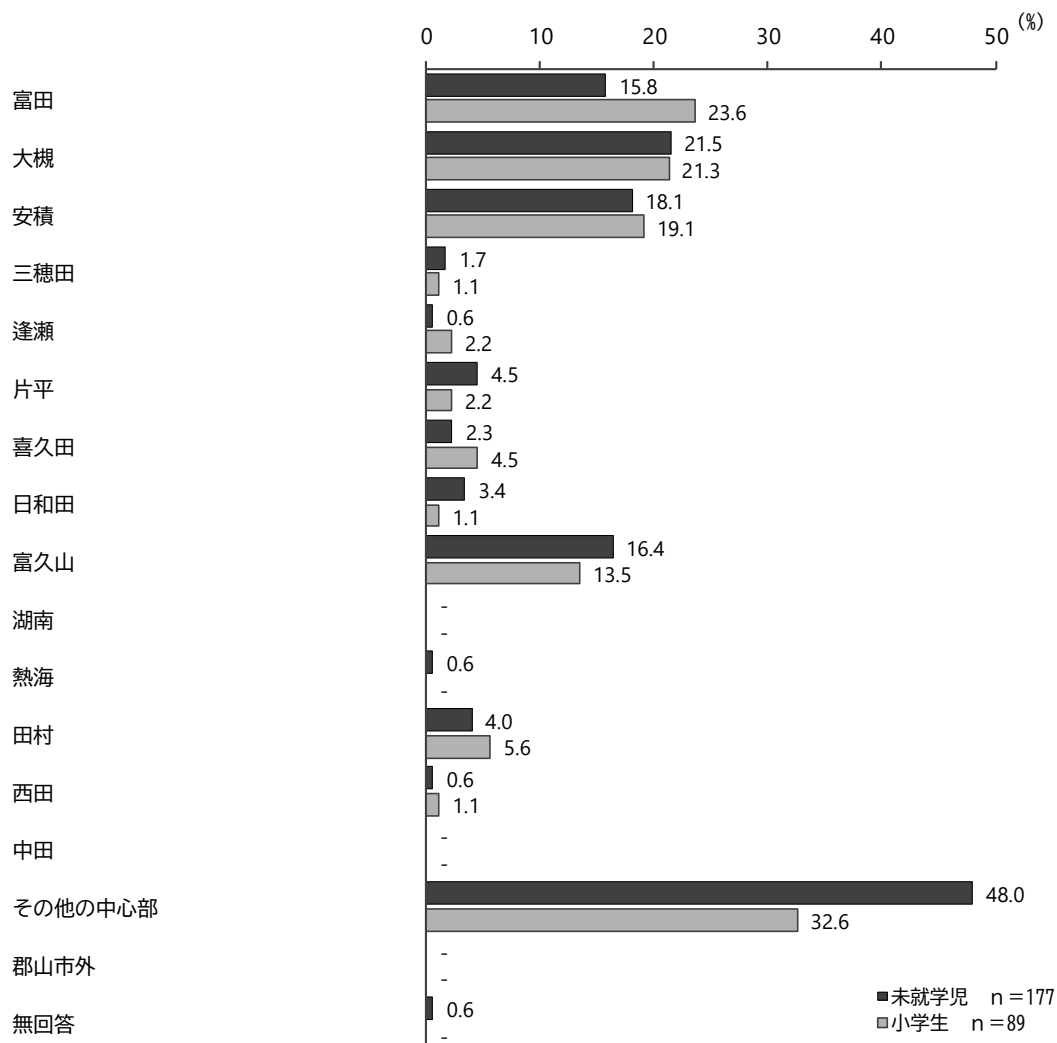
④ 病児・病後児保育施設等を利用したい地区

- ▶病児・病後児保育施設等を利用したい地区について、未就学児では「その他の中心部」が48.0%と最も高く、次いで「大槻」(21.5%)、「安積」(18.1%)となっています。
- ▶小学生では、「その他の中心部」が32.6%と最も高く、次いで「富田」(23.6%)、「大槻」(21.3%)となっています。

【問31 [問25] で「1」を選んだ方のみ、お答えください。】

問32 [問26] 病児・病後児保育施設等について、利用したい地区はどこですか。

(あてはまる番号すべてに○)



Ⅱ 調査結果

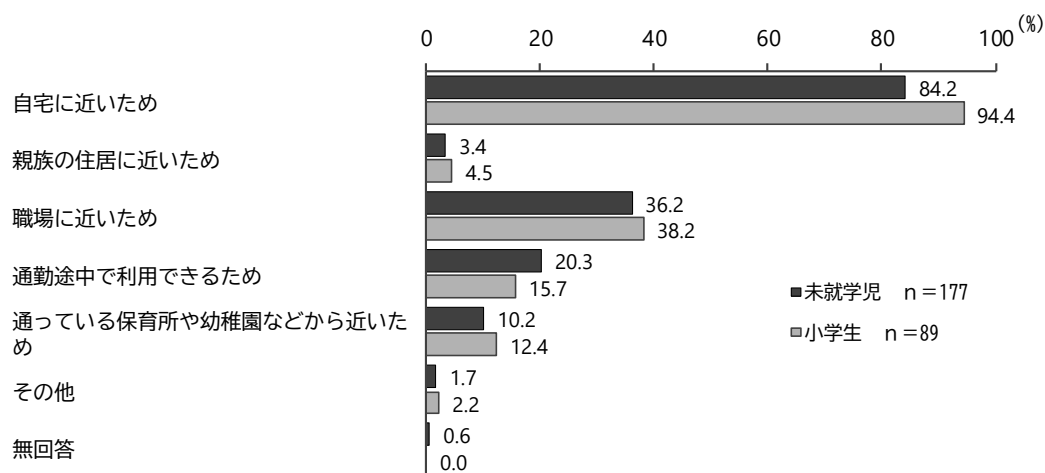
⑤ 病児・病後児保育施設等を利用したい地区を選んだ理由

- ▶病児・病後児保育施設等を利用したい地区を選んだ理由について、未就学児では「自宅に近い」が84.2%と最も高く、次いで「職場に近い」(36.2%)、「通勤途中で利用できる」(20.3%)となっています。
- ▶小学生では、「自宅に近い」が94.4%と最も高く、次いで「職場に近い」(38.2%)、「通勤途中で利用できる」(15.7%)となっています。

【問31〔問25〕で「1」を選んだ方のみ、お答えください。】

問33〔問27〕 問32〔問26〕で回答した地区を選んだ理由をお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

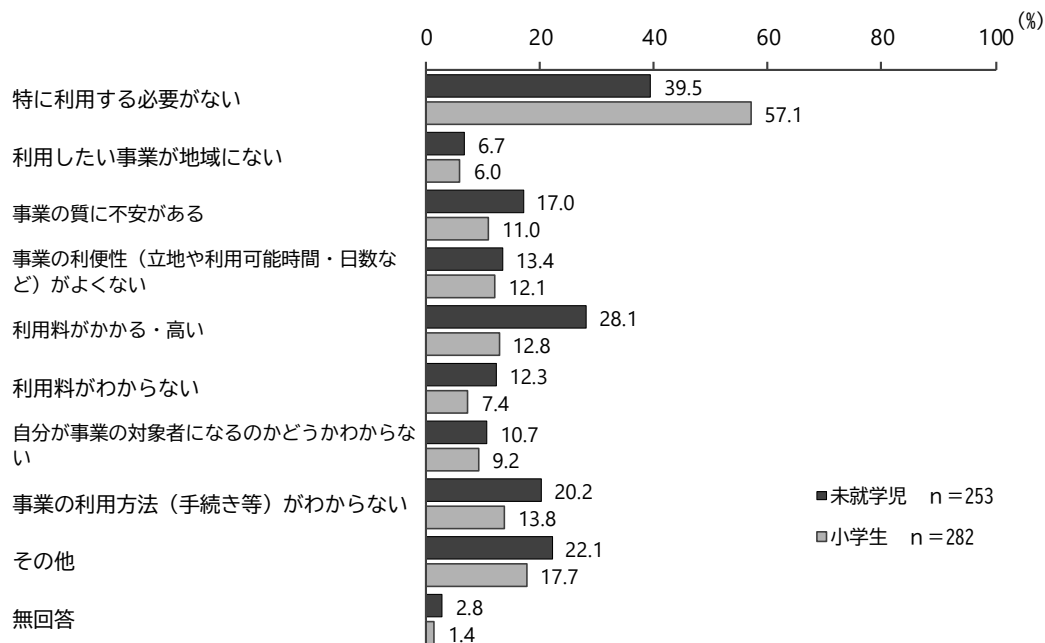


⑥ 病児・病後児保育事業を利用したくない理由

- ▶病児・病後児保育事業を利用したくない理由について、未就学児では「特に利用する必要がない」が39.5%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」(28.1%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(20.2%)となっています。
- ▶小学生では、「特に利用する必要がない」が57.1%と最も高く、次いで「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(13.8%)、「利用料がかかる・高い」(12.8%)となっています。

【問31 [問25] で「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

問34 [問28] その理由はなんですか。 (あてはまる番号すべてに○)



（８）不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用状況

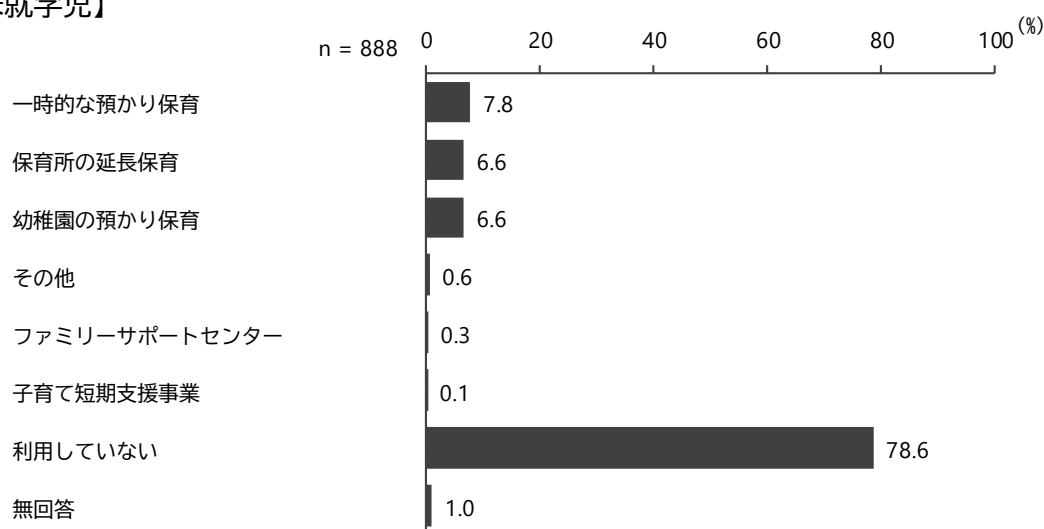
① 不定期に利用している事業

- ▶不定期に利用している事業について、未就学児は「一時的な預かり保育」が7.8%と最も高く、次いで、「保育所の延長保育」、「幼稚園の預かり保育」（ともに6.6%）となっており、「利用していない」は（78.6%）となっています。
- ▶小学生は「子育て短期支援事業」が0.7%と最も高く、次いで、「ファミリーサポートセンター事業」は（0.4%）となっており、「利用していない」は（96.6%）となっています。

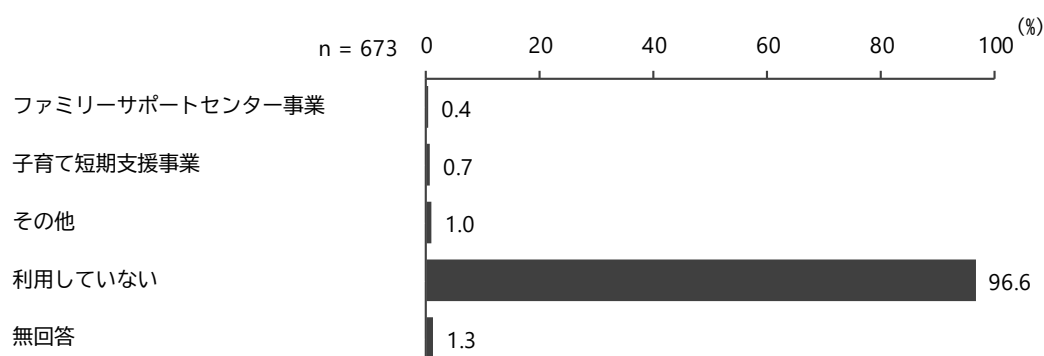
問 35 [問 19] あて名のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか（子どもや保護者の病気は除きます）。また、あてはまる番号それぞれについて、1年間のおおよその利用日数はどのくらいですか。半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。

（あてはまる番号すべてに○、[]内は数字を記入）

【未就学児】



【小学生】



- ▶ 不定期に利用している事業の年間利用日数について、未就学児は『保育園の延長保育』で「1日」の日数の回答割合が高くなっています。一方、『幼稚園の預かり保育』では、「21日以上」の日数の回答割合が高くなっています。また、『一時的な預かり保育』で「3日」の日数の回答割合が高くなっています。
- ▶ 小学生は、調査数（n）が少ないため参考値としての記載とします。

（不定期に利用している事業の年間利用日数）

【未就学児】

単位：％

区分	調査数（件）	1日	2日	3日	4日	5日	6日～10日	11日～20日	21日以上	無回答
1. 一時的な預かり保育	69	13.0	11.6	18.8	8.7	7.2	11.6	15.9	13.0	-
2. 保育園の延長保育	59	18.6	15.3	6.8	-	8.5	16.9	16.9	15.3	1.7
3. 幼稚園の預かり保育	59	6.8	6.8	13.6	-	23.7	6.8	6.8	33.9	1.7
4. ファミリーサポートセンター	3	-	-	33.3	-	33.3	-	-	33.3	-
5. 子育て短期支援事業	1	-	-	0.0	-	100.0	-	-	-	-
6. その他	5	-	-	40.0	-	20.0	-	20.0	20.0	-

※着色した数値は、各行の最大値

【小学生】

単位：％

区分	調査数（件）	1日	2日	3日	4日	5日	6日～10日	11日～20日	21日以上	無回答
1. ファミリーサポートセンター	3	-	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-	-
2. 子育て短期支援事業	5	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	40.0	-
3. その他	7	14.3	-	-	-	14.3	14.3	14.3	14.3	28.6

※着色した数値は、各行の最大値

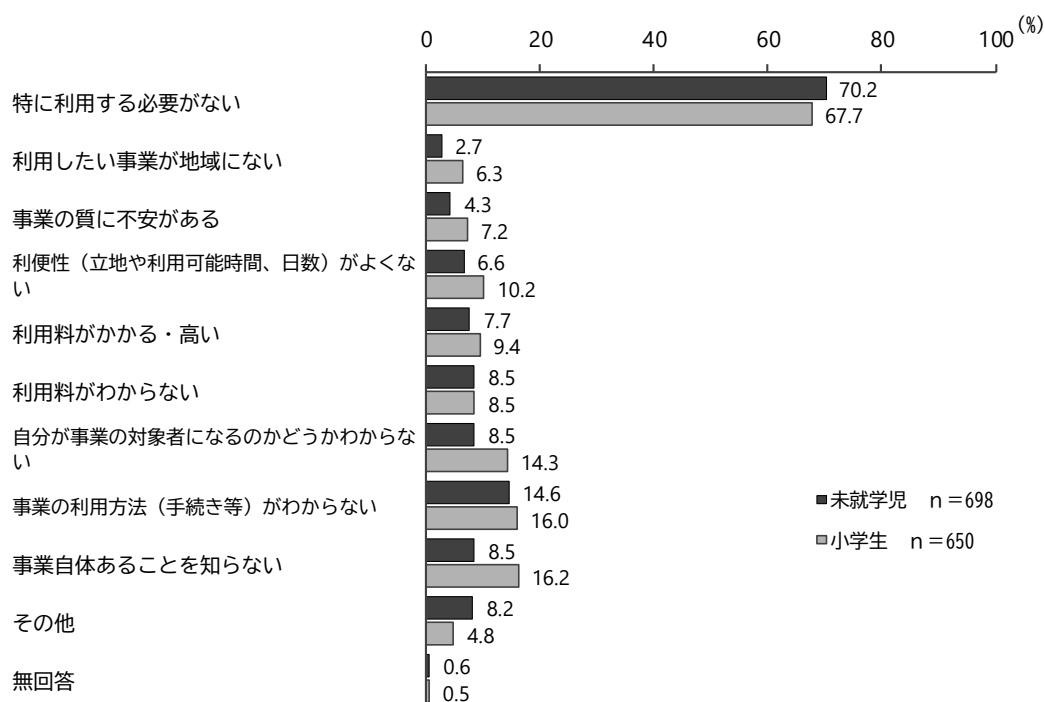
Ⅱ 調査結果

② 不定期的に事業を利用していない理由

- ▶不定期的に事業を利用していない理由について、未就学児では「特に利用する必要がない」が70.2%と最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」（14.6%）、「利用料がわからない」、「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」、「事業自体あることを知らない」（いずれも8.5%）となっています。
- ▶小学生では、「特に利用する必要がない」が67.7%と最も高く、次いで「事業自体あることを知らない」（16.2%）、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」（16.0%）となっています。

【問 35 [問 19] で「7」[4]（利用していない）を選んだ方のみ、お答えください。】

問 36 [問 20] その理由はなんですか。 （あてはまる番号すべてに○）



③ 不定期に利用する事業の利用希望

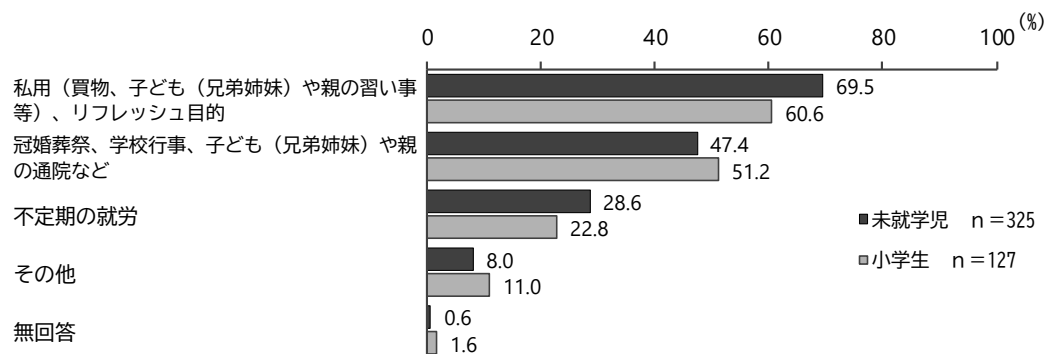
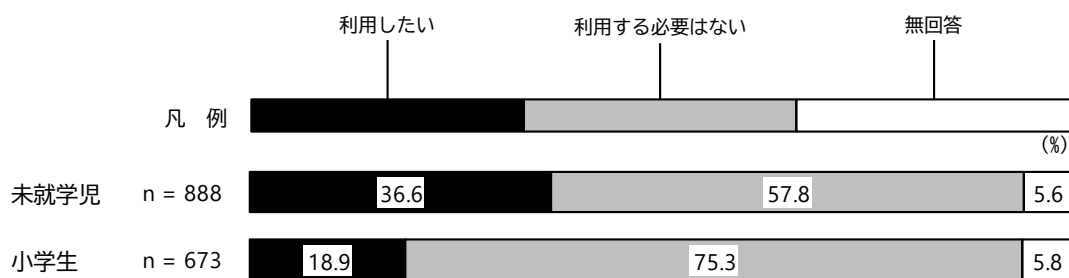
- ▶ 不定期に利用する事業の利用希望について、未就学児では「利用したい」が 36.6%となっており、「利用する必要はない」が 57.8%となっています。
- ▶ 小学生では、「利用したい」が 18.9%となっており、「利用する必要はない」が 75.3%となっています。
- ▶ 目的について、未就学児では「私用（買物、子ども（兄弟姉妹）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 69.5%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹）や親の通院など」（47.4%）、「不定期の就労」（28.6%）となっています。
- ▶ 小学生では「私用（買物、子ども（兄弟姉妹）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 60.6%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹）や親の通院など」（51.2%）、「不定期の就労」（22.8%）となっています。

問 37 [問 21] あて名のお子さんについて、問 35 [問 19] にある不定期に利用する事業の利用希望についてお答えください。

また、「1」を選ぶ方は、目的ごとに年間何日利用したいかもご記入ください。

※事業の利用にあたっては一定の利用料がかかります。

（あてはまる番号、記号すべてに○、[]内は数字を記入）



Ⅱ 調査結果

- ▶ 不定期に利用したい事業の目的別希望日数をみると、未就学児・小学生ともに、「ウ. 不定期の就労」で「21 日以上」の割合が高くなっています。

(不定期に利用したい事業の目的別希望日数)

【未就学児】

単位：％

区分	調査数 (件)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日 ～ 10 日	11 日 ～ 20 日	21 日 以上	無 回 答
不定期に利用したい事業の合計日数	325	3.1	4.0	5.8	2.5	13.2	19.7	19.4	29.5	2.8
ア. 私用、リフレッシュ目的	226	4.9	6.6	8.8	3.5	15.0	20.4	21.7	15.9	3.1
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など	154	3.2	11.7	10.4	2.6	27.9	27.9	10.4	3.2	2.6
ウ. 不定期の就労	93	5.4	6.5	8.6	3.2	11.8	16.1	15.1	30.1	3.2
エ. その他	26	3.8	7.7	11.5	-	15.4	26.9	19.2	11.5	3.8

※着色した数値は、各行の最大値

【小学生】

単位：％

区分	調査数 (件)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日 ～ 10 日	11 日 ～ 20 日	21 日 以上	無 回 答
不定期に利用したい事業の合計日数	127	4.7	3.9	2.4	2.4	12.6	22.8	19.7	28.3	3.1
ア. 私用、リフレッシュ目的	77	13.0	6.5	7.8	1.3	9.1	26.0	16.9	16.9	2.6
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など	65	4.6	7.7	6.2	4.6	35.4	27.7	10.8	-	3.1
ウ. 不定期の就労	29	3.4	3.4	10.3	-	6.9	13.8	10.3	51.7	-
エ. その他	14	7.1	-	-	-	14.3	28.6	7.1	42.9	-

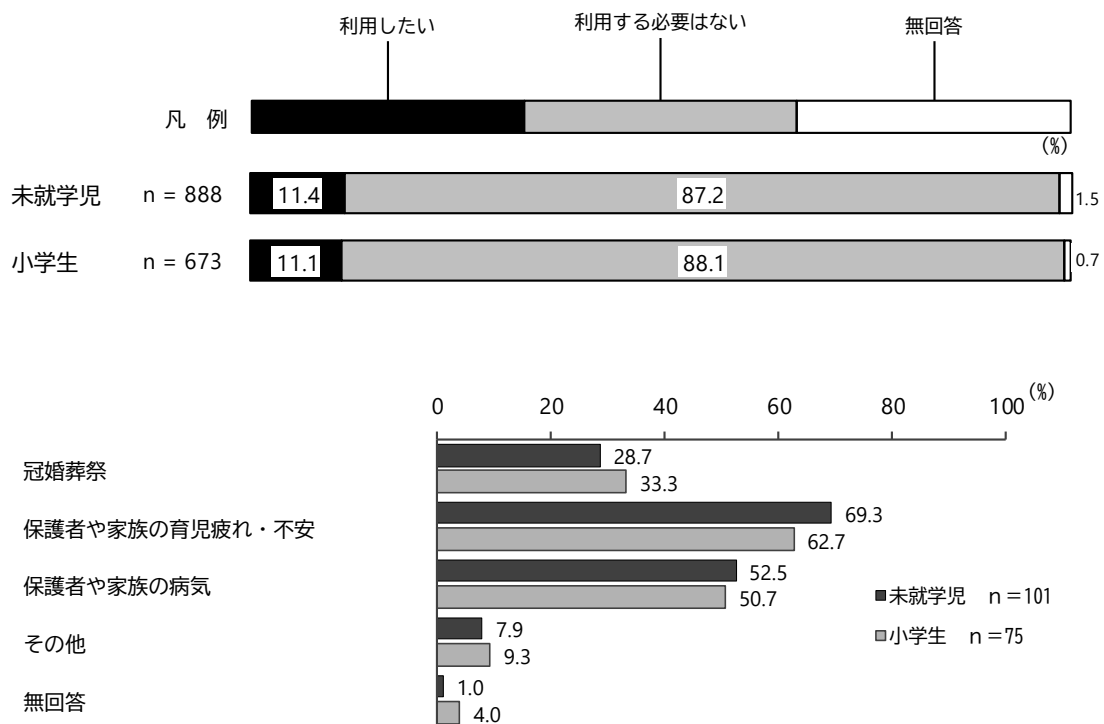
※着色した数値は、各行の最大値

④ 子育て短期支援事業の利用希望

- ▶子育て短期支援事業の利用希望について、未就学児では「利用したい」が11.4%となっており、「利用する必要はない」が(87.2%)となっています。
- ▶小学生では、「利用したい」が11.1%となっており、「利用する必要はない」が(88.1%)となっています。
- ▶目的について、未就学児では「保護者や家族の育児疲れ・不安」が69.3%と最も高く、次いで「保護者や家族の病気」(52.5%)、「冠婚葬祭」(28.7%)となっています。
- ▶小学生では「保護者や家族の育児疲れ・不安」が62.7%と最も高く、次いで「保護者や家族の病気」(50.7%)、「冠婚葬祭」(33.3%)となっています。

問 38 [問 22] あて名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで家族以外に預けたいと思うことはありますか。施設等で一時的に子どもを養育・保護する、「子育て短期支援事業」(ショートステイ)の利用希望について、目的ごとに年間何泊利用したいかもご記入ください。
※事業の利用にあたっては一定の利用料がかかります。

(あてはまる番号、記号すべてに○、[]内は数字を記入)



Ⅱ 調査結果

- ▶子育て短期支援事業の目的別希望泊数をみると、未就学児では「ア. 冠婚葬祭」で「1泊」の割合が高くなっています。
- ▶小学生では「ウ. 保護者や家族の病気」で「6泊～10泊」の割合が高くなっています。

(子育て短期支援事業の目的別希望泊数)

【未就学児】

単位：％

区分	調査数 (件)	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊 ～ 10泊	11泊 ～ 20泊	21泊 以上	無回答
泊りがけで子どもを預けたい合計泊数	101	20.8	16.8	15.8	4.0	5.9	13.9	8.9	8.9	5.0
ア. 冠婚葬祭	29	55.2	6.9	17.2	3.4	-	6.9	3.4	-	6.9
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	70	35.7	17.1	11.4	1.4	10.0	8.6	7.1	5.7	2.9
ウ. 保護者や家族の病気	53	17.0	18.9	11.3	5.7	13.2	13.2	9.4	1.9	9.4
エ. その他	8	62.5	37.5	-	-	-	-	-	-	-

※着色した数値は、各行の最大値

【小学生】

単位：％

区分	調査数 (件)	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊 ～ 10泊	11泊 ～ 20泊	21泊 以上	無回答
泊りがけで子どもを預けたい合計泊数	75	14.7	13.3	8.0	2.7	12.0	22.7	10.7	10.7	5.3
ア. 冠婚葬祭	25	52.0	12.0	16.0	-	12.0	4.0	-	-	4.0
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	47	31.9	19.1	8.5	2.1	6.4	17.0	2.1	10.6	2.1
ウ. 保護者や家族の病気	38	15.8	10.5	15.8	2.6	10.5	28.9	2.6	7.9	5.3
エ. その他	7	28.6	-	14.3	-	-	28.6	-	14.3	14.3

※着色した数値は、各行の最大値

(9) 小学校就学後の放課後の過ごし方

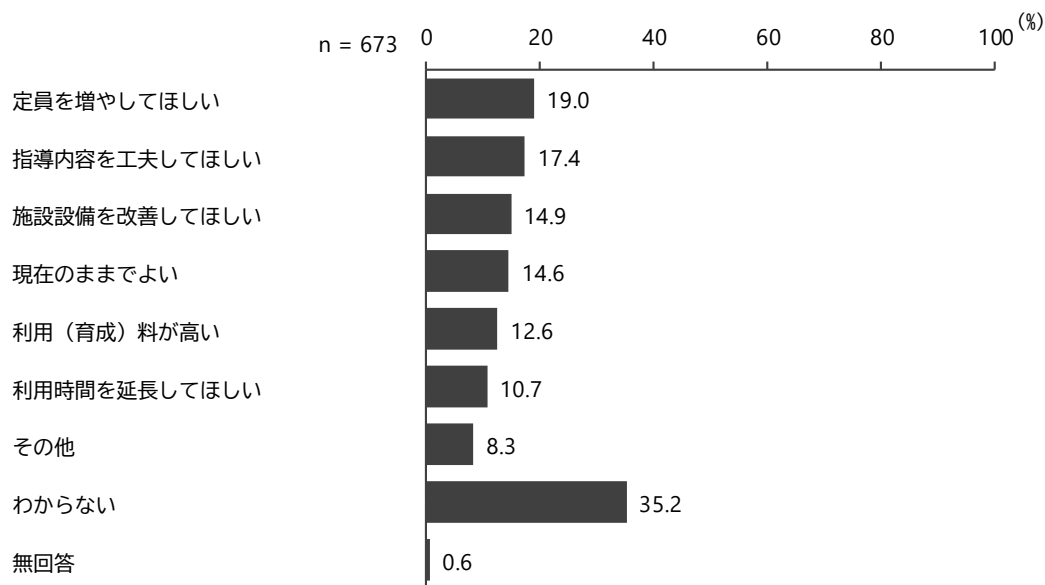
① 放課後児童クラブに感じていること（小学生のみ）

▶放課後児童クラブに感じていることについて、「定員を増やしてほしい」が 19.0%と最も高く、次いで「指導内容を工夫してほしい」(17.4%)、「施設設備を改善してほしい」(14.9%)となっています。なお、「わからない」は 35.2%となっています。

【問 15】 市が設置する放課後児童クラブに対してどのように感じていますか。

(○はいくつでも)

【小学生】



【こどもの学年別／放課後児童クラブに感じていること】

▶放課後児童クラブに感じていることについて、学年別でみると、いずれの学年でも「定員を増やしてほしい」あるいは「指導内容を工夫してほしい」が最も高くなっています。

【小学生】

単位：％

区分	調査数	定員を増やしてほしい	利用時間を延長してほしい	施設設備を改善してほしい	指導内容を工夫してほしい	利用（育成）料が高い	その他	現在のままでよい	わからない	無回答
小学1年生	134	20.9	6.0	20.1	20.9	20.9	11.2	12.7	25.4	-
小学2年生	135	17.0	5.9	15.6	17.0	12.6	14.1	17.0	31.9	-
小学3年生	116	17.2	12.1	19.0	23.3	14.7	8.6	16.4	28.4	-
小学4年生	106	16.0	10.4	8.5	12.3	13.2	4.7	15.1	45.3	0.9
小学5年生	96	22.9	15.6	13.5	16.7	6.3	2.1	13.5	43.8	2.1
小学6年生	84	20.2	19.0	9.5	11.9	2.4	6.0	11.9	42.9	1.2

※着色した数値は、各行の最大値

Ⅱ 調査結果

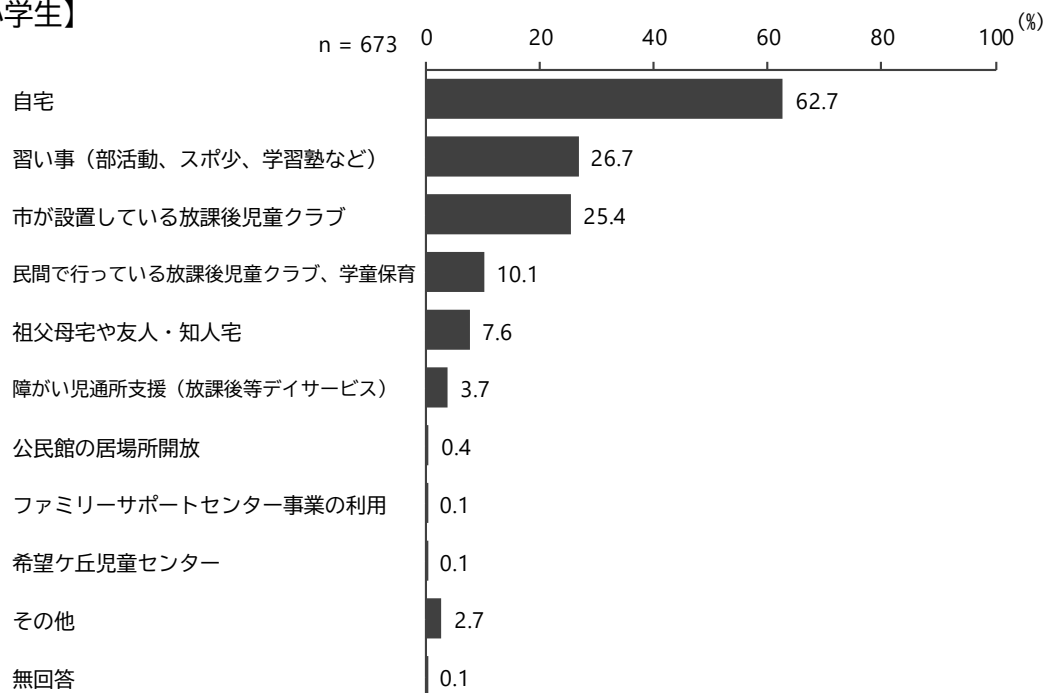
② 現在のこどもの放課後の過ごし方（小学生のみ）

- ▶こどもの放課後の過ごし方について、「自宅」が62.7%と最も高く、次いで「習い事（部活動、スポ少、学習塾など）」（26.7%）、「市が設置している放課後児童クラブ」（25.4%）となっています。

〔問 16〕 あて名のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、利用している日数（「4」、「5」を選ぶ方は利用時間も）をご記入ください。

（あてはまる番号すべてに○、〔 〕内は数字を記入、時間は24時間制（例：午後6時→18時）で記入）

【小学生】



【こどもの学年別／放課後の過ごし方】

- ▶こどもの放課後の過ごし方について、学年別でみると、いずれの学年も「自宅」が最も高くなっていますが、次いで、“小学1年生～3年生”では「市が設置している放課後児童クラブ」、 “小学4年生～6年生”では「習い事（部活動、スポ少、学習塾など）」が高くなっています。

【小学生】

単位：％

区分	調査数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（部活動、スポ少、学習塾など）	市が設置している放課後児童クラブ	民間で行っている放課後児童クラブ、学童保育	障がい児通所支援（放課後等デイサービス）	事業の利用	ファミリーサポートセンター	希望ヶ丘児童センター	公民館の居場所開放	その他	無回答
小学1年生	134	47.0	4.5	17.9	38.8	17.2	5.2	-	-	-	-	-	-
小学2年生	135	48.1	8.1	28.9	41.5	9.6	1.5	0.7	-	-	-	0.7	-
小学3年生	116	50.9	10.3	19.8	44.8	9.5	6.0	-	-	-	0.9	5.2	-
小学4年生	106	78.3	8.5	29.2	6.6	12.3	1.9	-	-	0.9	1.9	5.7	-
小学5年生	96	85.4	6.3	40.6	1.0	6.3	2.1	-	-	-	-	1.0	1.0
小学6年生	84	82.1	8.3	28.6	2.4	2.4	6.0	-	-	-	-	4.8	-

※着色した数値は、各行の最大値

Ⅱ 調査結果

- ▶ こどもの放課後の1週あたりの利用日数について、“⑤民間で行っている放課後児童クラブ、学年保育”の「5日」の割合が高くなっています。
- ▶ “④市が設置している放課後児童クラブ”の利用終了時間については、「18時台」が43.9%と最も高く、次いで「17時台」(31.6%)、「16時台」(10.5%)となっています。
- ▶ “⑤民間で行っている放課後児童クラブ、学年保育”の利用終了時間については、「18時台」が50.0%と最も高く、次いで「17時台」(26.5%)、「16時台」(10.3%)となっています。

【小学生】

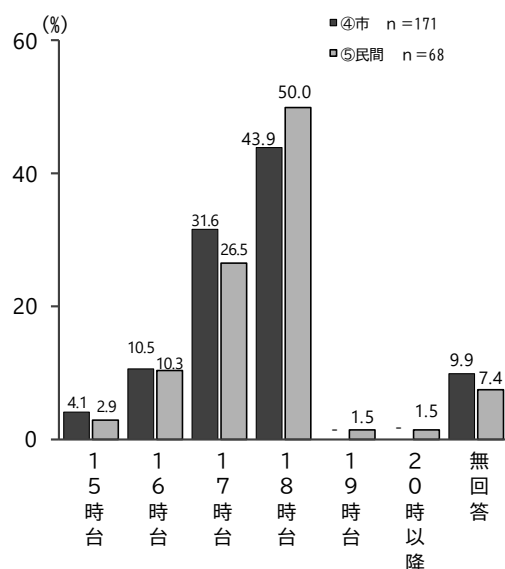
(現在のお子さんの1週あたりの利用日数)

単位：%

区分	調査数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
①自宅	422	5.9	9.5	8.8	5.0	61.8	9.0
②祖父母宅や友人・知人宅	51	19.6	15.7	17.6	7.8	25.5	13.7
③習い事	180	24.4	25.0	23.9	13.3	10.0	3.3
④市が設置している放課後児童クラブ	171	2.3	1.2	11.1	14.0	69.0	2.3
⑤民間で行っている放課後児童クラブ、学年保育	68	2.9	2.9	7.4	5.9	80.9	-
⑥障がい児通所支援	25	4.0	36.0	28.0	12.0	16.0	4.0
⑦ファミリーサポートセンター	1	100.0	-	-	-	-	-
⑧希望ヶ丘児童センター	1	100.0	-	-	-	-	-
⑨公民館の居場所開放	3	33.3	33.3	33.3	-	-	-
⑩その他	18	22.2	27.8	5.6	16.7	16.7	11.1

※着色した数値は、各行の最大値

(放課後児童クラブ等の利用終了時間)



③ 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望

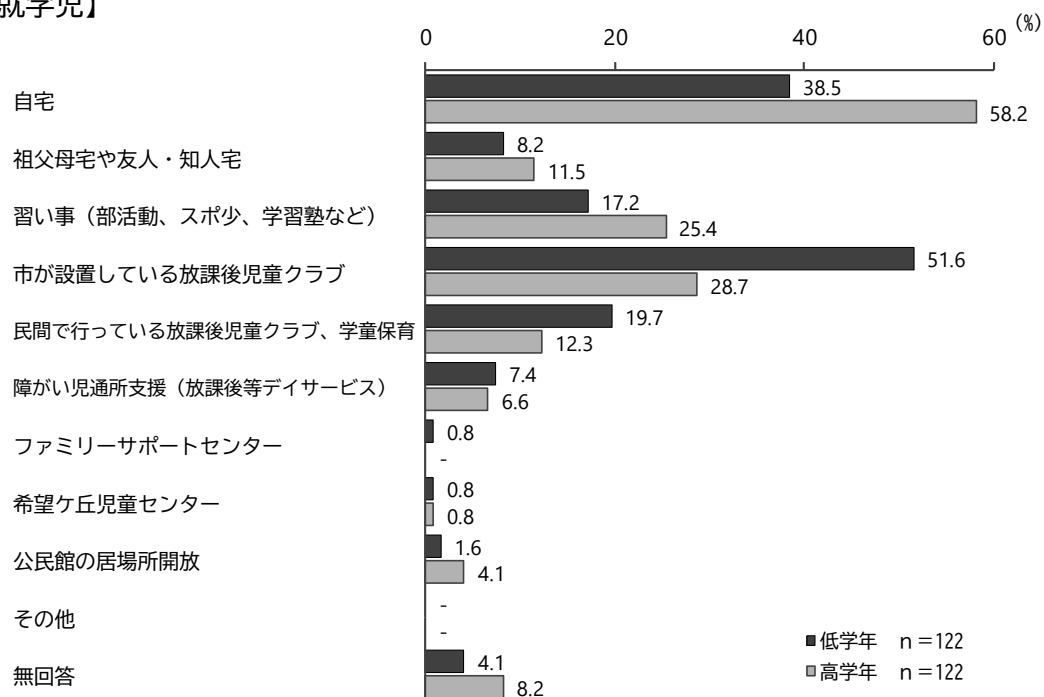
- ▶ 未就学児の小学校就学後の放課後の過ごし方の希望について、低学年時では「市が設置している放課後児童クラブ」が 51.6%と最も高く、次いで「自宅」(38.5%)、「民間で行っている放課後児童クラブ、学童保育」(19.7%)となっています。
- ▶ 高学年時では「自宅」が 58.2%と最も高く、次いで「市が設置している放課後児童クラブ」(28.7%)、「習い事（部活動、スポ少、学習塾など）」(25.4%)となっています。

【あて名のお子さんが5歳以上の方のみ、お答えください。】

問 39 お子さんが小学校に入学し、低学年（1～3年生）の時、高学年（4～6年生）になった時のそれぞれの時期に、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、利用を希望する日数（「④」、「⑤」を選ぶ方は利用希望時間も）をご記入ください。

（あてはまる項目すべてに○、[]内は数字を記入、時間は 24 時間制（例：午後 6 時→18 時）で記入）

【未就学児】



II 調査結果

- ▶未就学児の小学校就学後の放課後の居場所ごとの過ごさせたい日数について、低学年・高学年時ともに、“⑤民間で行っている放課後児童クラブ、学童保育”の「5日」の割合が高くなっています。

【未就学児】

(放課後の居場所ごとの過ごさせたい日数)

(低学年)

単位：％

区分	調査数 (件)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	無 回 答
①自宅	47	-	8.5	10.6	14.9	51.1	14.9
②祖父母宅や友人・知人宅	10	30.0	20.0	10.0	10.0	10.0	20.0
③習い事	21	33.3	19.0	23.8	4.8	-	19.0
④市が設置している放課後児童クラブ	63	4.8	3.2	3.2	6.3	66.7	15.9
⑤民間で行っている放課後児童クラブ、学童保育	24	4.2	4.2	8.3	-	70.8	12.5
⑥障がい児通所支援	9	-	-	22.2	-	44.4	33.3
⑦ファミリーサポートセンター	1	-	-	-	-	-	100.0
⑧希望ヶ丘児童センター	1	-	-	-	-	100.0	-
⑨公民館の居場所開放	2	50.0	-	-	-	-	50.0
⑩その他	-	-	-	-	-	-	-

※着色した数値は、各行の最大値

(高学年)

単位：％

区分	調査数 (件)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	無 回 答
①自宅	71	1.4	11.3	11.3	4.2	50.7	21.1
②祖父母宅や友人・知人宅	14	21.4	14.3	14.3	-	21.4	28.6
③習い事	31	12.9	32.3	25.8	6.5	6.5	16.1
④市が設置している放課後児童クラブ	35	8.6	5.7	5.7	2.9	60.0	17.1
⑤民間で行っている放課後児童クラブ、学童保育	15	-	6.7	6.7	-	66.7	20.0
⑥障がい児通所支援	8	-	-	25.0	-	50.0	25.0
⑦ファミリーサポートセンター	-	-	-	-	-	-	-
⑧希望ヶ丘児童センター	1	-	-	-	-	100.0	-
⑨公民館の居場所開放	5	40.0	-	20.0	-	20.0	20.0
⑩その他の場所	-	-	-	-	-	-	-

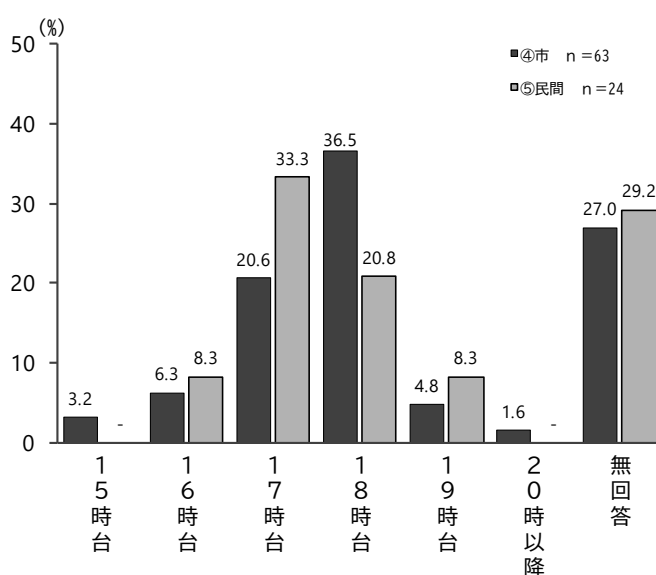
※着色した数値は、各行の最大値

- ▶ “④市が設置している放課後児童クラブ”の利用希望終了時間について、低学年では「18 時台」が 36.5%と最も高く、次いで「17 時台」(20.6%)、「16 時台」(6.3%)となっています。高学年時は「18 時台」が 34.3%と最も高くなっており、次いで「17 時台」(25.7%)、「16 時台」「19 時台」(ともに 5.7%)となっています。
- ▶ “⑤民間で行っている放課後児童クラブ、学童保育”の利用希望終了時間については、低学年時は「17 時台」が 33.3%と最も高く、次いで「18 時台」(20.8%)、「16 時台」「19 時台」(ともに 8.3%)となっています。高学年時は「17 時台」が 40.0%と最も高く、次いで「18 時台」(20.0%)、「15 時台」「19 時台」(ともに 6.7%)となっています。

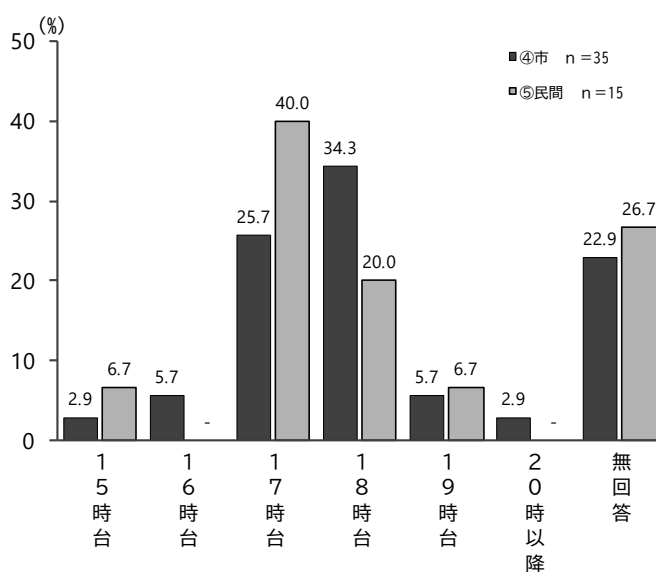
【未就学児】

(放課後児童クラブ等の利用希望終了時間)

(低学年)



(高学年)



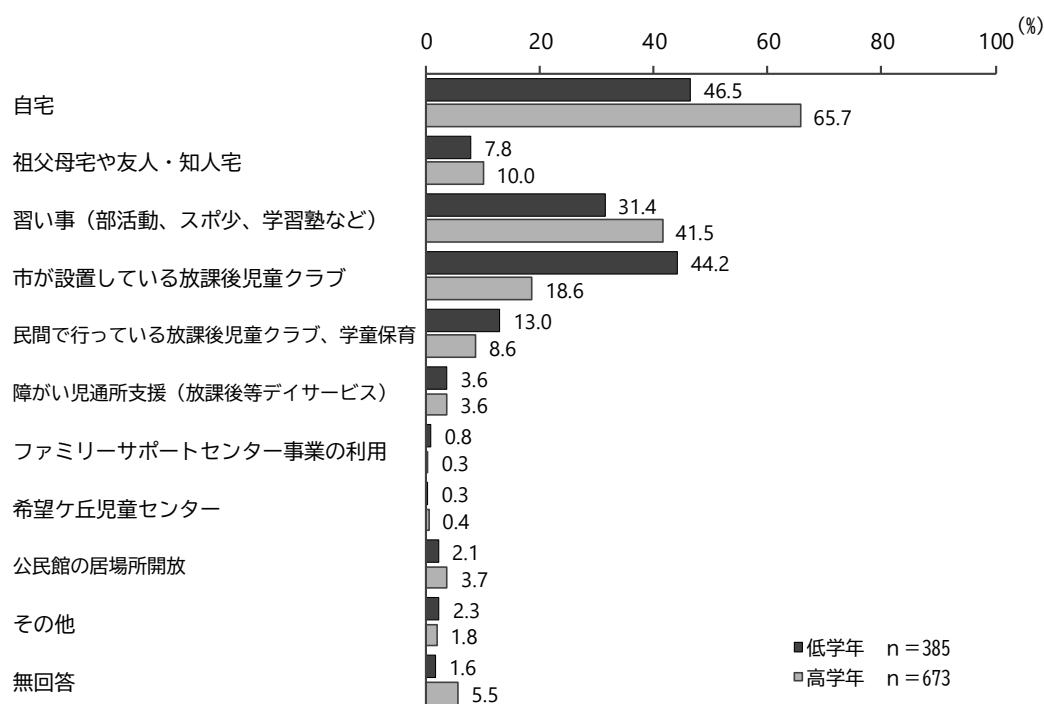
II 調査結果

- ▶小学生の放課後の過ごし方の希望について、低学年では、「自宅」が46.5%と最も高く、次いで「市が設置している放課後児童クラブ」(44.2%)、「習い事(部活動、スポ少、学習塾など)」(31.4%)となっています。
- ▶高学年では、「自宅」が65.7%と最も高く、次いで「習い事(部活動、スポ少、学習塾など)」(41.5%)、「市が設置している放課後児童クラブ」(18.6%)となっています。

【問 17】 お子さんが小学校に入学し、低学年（1～3年生）の時、高学年（4～6年生）になった時のそれぞれの時期に、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、利用を希望する日数（「④」、「⑤」を選ぶ方は利用希望時間も）をご記入ください。

（あてはまる項目すべてに○、[]内は数字を記入、時間は24時間制（例：午後6時→18時）で記入）

【小学生】



▶小学生の放課後の居場所ごとの過ごさせたい日数について、低学年・高学年時ともに、“⑤民間で行っている放課後児童クラブ、学童保育”の「5日」の割合が高くなっています。

【小学生】

(放課後の居場所ごとの過ごさせたい日数)

(低学年)

単位：％

区分	調査数 (件)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	無 回 答
①自宅	179	8.4	15.1	15.1	5.6	48.6	7.3
②祖父母宅や友人・知人宅	30	40.0	16.7	10.0	6.7	16.7	10.0
③習い事	121	28.1	39.7	16.5	8.3	4.1	3.3
④市が設置している放課後児童クラブ	170	1.8	5.9	12.9	8.8	67.1	3.5
⑤民間で行っている放課後児童クラブ、学童保育	50	4.0	8.0	8.0	4.0	68.0	8.0
⑥障がい児通所支援	14	7.1	28.6	35.7	-	21.4	7.1
⑦ファミリーサポートセンター	3	66.7	-	-	-	-	33.3
⑧希望ヶ丘児童センター	1	-	-	100.0	-	-	-
⑨公民館の居場所開放	8	62.5	25.0	12.5	-	-	-
⑩その他	9	22.2	22.2	11.1	11.1	33.3	-

※着色した数値は、各行の最大値

(高学年)

単位：％

区分	調査数 (件)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	無 回 答
①自宅	442	6.6	11.8	13.8	8.4	49.8	9.7
②祖父母宅や友人・知人宅	67	31.3	26.9	11.9	-	22.4	7.5
③習い事	279	23.7	35.1	24.0	6.1	5.7	5.4
④市が設置している放課後児童クラブ	125	4.0	12.0	16.0	11.2	52.0	4.8
⑤民間で行っている放課後児童クラブ、学童保育	58	5.2	8.6	10.3	3.4	58.6	13.8
⑥障がい児通所支援	24	12.5	12.5	33.3	8.3	29.2	4.2
⑦ファミリーサポートセンター	2	50.0	-	-	-	50.0	-
⑧希望ヶ丘児童センター	3	66.7	-	33.3	-	-	-
⑨公民館の居場所開放	25	32.0	28.0	36.0	-	4.0	-
⑩その他	12	-	25.0	-	25.0	33.3	16.7

※着色した数値は、各行の最大値

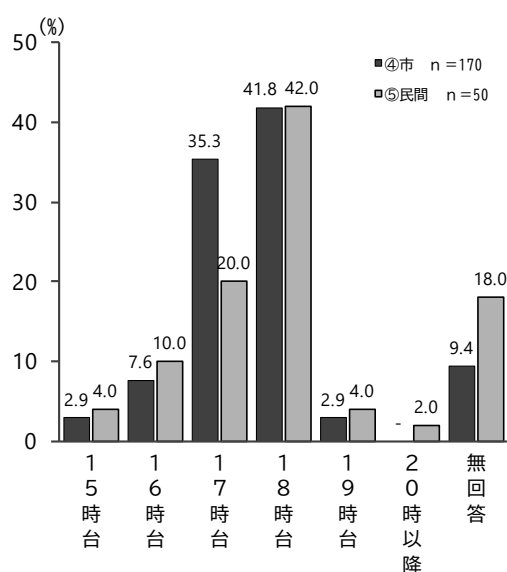
Ⅱ 調査結果

- ▶ “④市が設置している放課後児童クラブ”の利用希望終了時間については、低学年時は「18 時台」が 41.8%と最も高く、次いで「17 時台」(35.3%)、「16 時台」(7.6%)となっています。高学年時は「18 時台」が 37.6%と最も高く、次いで「17 時台」(28.8%)、「19 時台」(9.6%)となっています
- ▶ “⑤民間で行っている放課後児童クラブ、学童保育”の利用希望終了時間については、低学年時は「18 時台」が 42.0%と最も高く、次いで「17 時台」(20.0%)、「16 時台」(10.0%)となっています。高学年時は「18 時台」が 43.1%と最も高く、次いで「17 時台」(17.2%)、「15 時台」「19 時台」(ともに 8.6%)となっています。

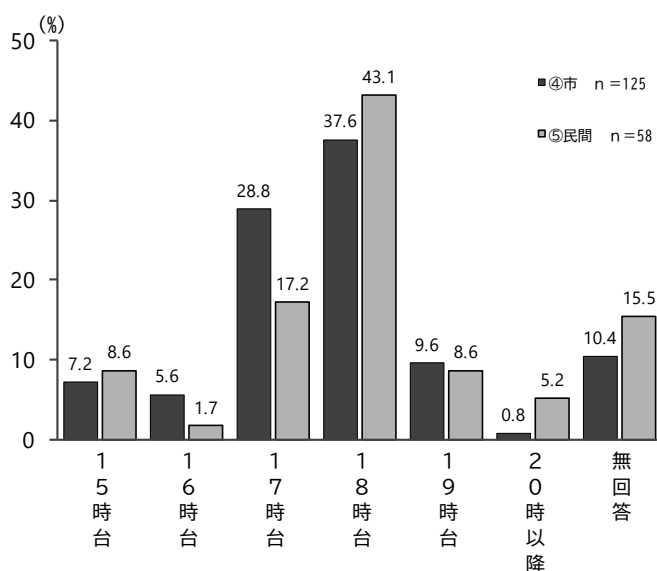
【小学生】

(放課後児童クラブ等の利用希望終了時間)

(低学年)



【高学年】

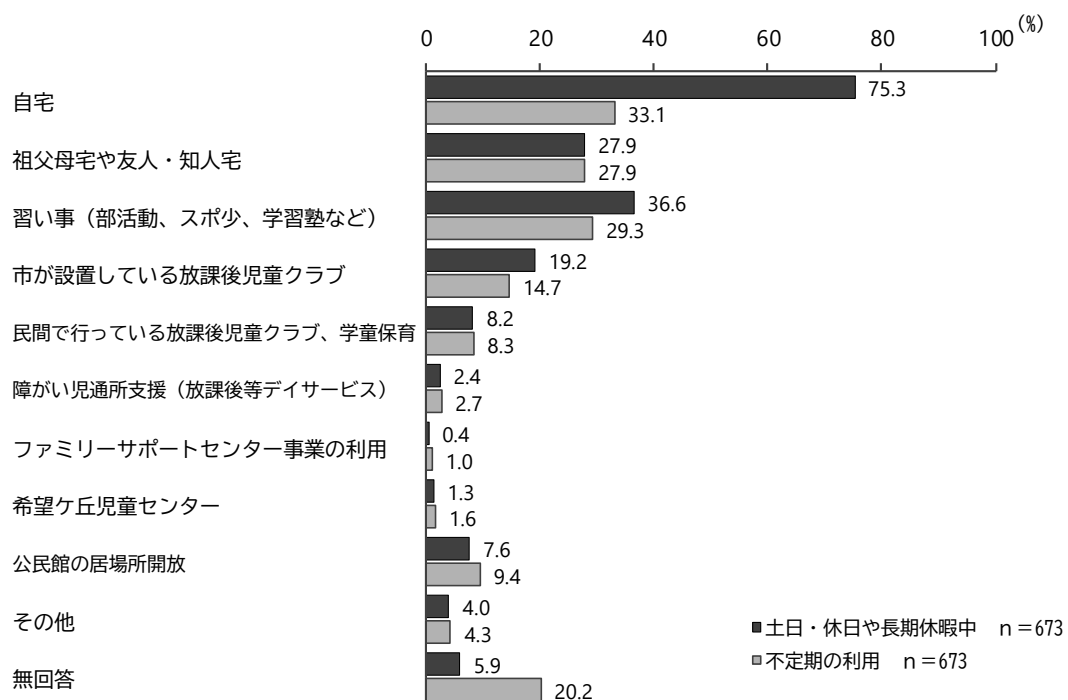


④ 土曜・休日等のこどもの過ごし方の希望（小学生のみ）

- ▶土曜・休日等にこどもを過ごさせたい場所について、土日・休日や長期休暇中では、「自宅」が75.3%と最も高く、次いで「習い事（部活動、スポ少、学習塾など）」（36.6%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（27.9%）となっています。
- ▶不定期の利用では、「自宅」が33.1%と最も高く、次いで「習い事（部活動、スポ少、学習塾など）」（29.3%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（27.9%）となっています。

【問 18】 あて名のお子さんについて、土曜・休日や長期休暇中または不定期に、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、利用を希望する1年間の希望日数はどのくらいですか。（あてはまる項目すべてに○、[]内は数字を記入）

【小学生】



Ⅱ 調査結果

【こどもの学年別／土曜・休日等のこどもの過ごし方の希望】

- ▶土曜・休日等にこどもを過ごさせたい場所について、学年別でみると、いずれも「自宅」が最も高くなっています。また、「1年生～3年生」では「市が設置している放課後児童クラブ」の割合はそれぞれ2割台となっており、4年生以上よりも高い傾向があります。

【小学生】（土曜・休日等）

単位：％

区分	調査数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（部活動、スポ少、学習塾など）	市が設置している放課後児童クラブ	民間で行っている放課後児童クラブ、学童保育	障がい児通所支援（放課後等デイサービス）	事業の利用	ファミリーサポートセンター	希望ヶ丘児童センター	公民館の居場所開放	その他	無回答
小学1年生	134	78.4	32.8	32.8	25.4	11.2	2.2	0.7	2.2	6.0	3.7	3.0	
小学2年生	135	72.6	31.1	32.6	29.6	10.4	0.0	0.7	0.7	3.7	4.4	6.7	
小学3年生	116	79.3	27.6	35.3	24.1	6.9	4.3	-	0.9	7.8	3.4	6.0	
小学4年生	106	73.6	28.3	44.3	8.5	5.7	0.9	0.9	2.8	11.3	5.7	4.7	
小学5年生	96	76.0	21.9	40.6	11.5	10.4	3.1	-	1.0	9.4	2.1	6.3	
小学6年生	84	70.2	21.4	35.7	8.3	2.4	4.8	-	-	9.5	4.8	10.7	

※着色した数値は、各行の最大値

【こどもの学年別／不定期のこどもの過ごし方の希望】

- ▶不定期にこどもを過ごさせたい場所について、学年別でみると、「1年生～3年生」と「5～6年生」では「自宅」が最も高く、「4年生」では「習い事」の割合が最も高くなっています。

【小学生】（不定期）

単位：％

区分	調査数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（部活動、スポ少、学習塾など）	市が設置している放課後児童クラブ	民間で行っている放課後児童クラブ、学童保育	障がい児通所支援（放課後等デイサービス）	事業の利用	ファミリーサポートセンター	希望ヶ丘児童センター	公民館の居場所開放	その他	無回答
小学1年生	134	34.3	31.3	28.4	14.9	14.2	2.2	0.7	1.5	11.2	4.5	17.9	
小学2年生	135	31.1	30.4	28.9	20.7	7.4	0.7	3.0	-	7.4	4.4	20.0	
小学3年生	116	31.0	24.1	22.4	18.1	6.9	5.2	0.9	2.6	8.6	2.6	26.7	
小学4年生	106	28.3	24.5	30.2	12.3	7.5	0.9	0.9	2.8	9.4	6.6	22.6	
小学5年生	96	40.6	27.1	36.5	11.5	10.4	4.2	-	2.1	10.4	5.2	12.5	
小学6年生	84	35.7	29.8	32.1	7.1	1.2	3.6	-	1.2	9.5	2.4	19.0	

※着色した数値は、各行の最大値

- ▶土曜・休日等に過ごさせたい場所の年間日数について、“④市が設置している放課後児童クラブ”で「21日以上」の割合が高くなっています。
- ▶不定期の利用では、“③習い事”で「21日以上」の割合が高くなっています。

(土曜・休日等に過ごさせたい場所の年間日数)

単位：％

区分	調査数 (件)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日 ～ 10 日	11 日 ～ 20 日	21 日 以上	無 回 答
①自宅	507	2.6	5.5	1.0	0.6	0.8	2.2	1.2	52.1	34.1
②祖父母宅や友人・知人宅	188	4.3	2.7	2.7	0.5	2.7	11.2	11.2	38.3	26.6
③習い事	246	4.5	4.9	2.8	0.4	2.8	2.8	4.9	51.6	25.2
④市が設置している放課後児童クラブ	129	-	0.8	1.6	0.8	2.3	4.7	6.2	53.5	30.2
⑤民間で行っている放課後児童クラブ、学童保育	55	1.8	-	-	-	5.5	5.5	10.9	43.6	32.7
⑥障がい児通所支援	16	-	6.3	6.3	-	12.5	12.5	-	43.8	18.8
⑦ファミリーサポートセンター	3	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-
⑧希望ヶ丘児童センター	9	-	11.1	-	-	22.2	-	-	11.1	55.6
⑨公民館の居場所開放	51	-	2.0	2.0	-	5.9	17.6	23.5	23.5	25.5
⑩その他	27	11.1	7.4	7.4	3.7	-	7.4	3.7	48.1	11.1

※着色した数値は、各行の最大値

(不定期の利用で過ごさせたい場所の年間日数)

単位：％

区分	調査数 (件)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日 ～ 10 日	11 日 ～ 20 日	21 日 以上	無 回 答
①自宅	223	1.3	4.5	1.3	0.4	1.8	5.4	2.2	38.1	44.8
②祖父母宅や友人・知人宅	188	3.2	2.1	1.1	0.5	3.7	13.8	11.7	29.3	34.6
③習い事	197	5.1	3.6	2.0	0.5	2.5	4.1	3.0	44.2	35.0
④市が設置している放課後児童クラブ	99	1.0	-	2.0	-	7.1	8.1	10.1	35.4	36.4
⑤民間で行っている放課後児童クラブ、学童保育	56	1.8	-	1.8	-	5.4	17.9	10.7	25.0	37.5
⑥障がい児通所支援	18	5.6	-	11.1	-	11.1	22.2	5.6	22.2	22.2
⑦ファミリーサポートセンター	7	28.6	14.3	-	-	-	28.6	-	28.6	-
⑧希望ヶ丘児童センター	11	-	9.1	-	-	9.1	-	-	45.5	36.4
⑨公民館の居場所開放	63	-	1.6	3.2	-	11.1	11.1	22.2	20.6	30.2
⑩その他	29	3.4	-	3.4	3.4	3.4	10.3	10.3	24.1	41.4

※着色した数値は、各行の最大値

Ⅱ 調査結果

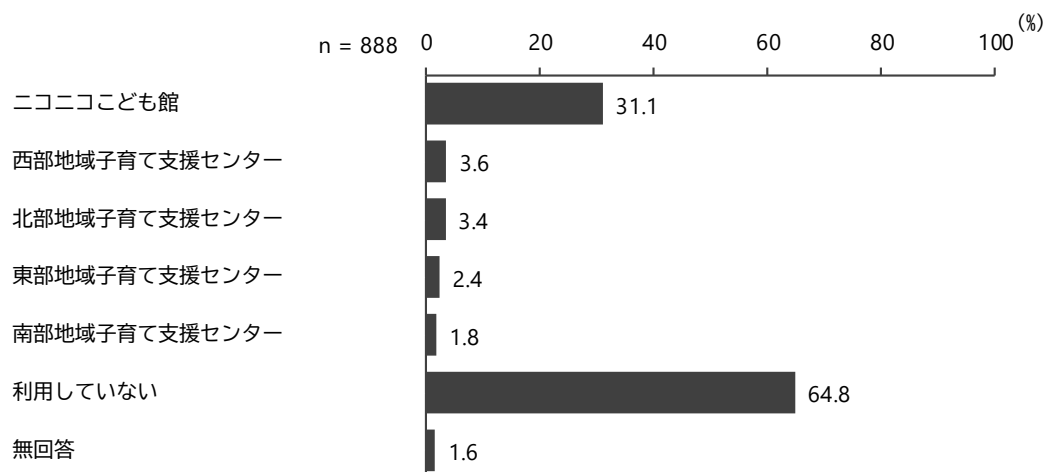
(10) 地域の子育て支援事業の利用状況、利用希望

① 地域の子育て支援事業の利用状況（未就学児のみ）

▶地域の子育て支援事業の利用状況について、「ニコニコこども館」が31.1%と最も高く、次いで「西部地域子育て支援センター」(3.6%)、「北部地域子育て支援センター」(3.4%)となっており、「利用していない」が(64.8%)となっています。

問 40 あて名のお子さんは、現在、ニコニコこども館及び各地域子育て支援センターをどのくらい利用していますか。(あてはまる番号すべてに○、[]内は数字を記入)

【未就学児】



【こどもの年齢別／地域の子育て支援事業の利用状況】

- ▶地域の子育て支援事業の利用状況について、こどもの年齢別でみると、各歳それぞれで「ニコニコこども館」の利用割合が最も高く、「利用していない」が年齢が上がるにつれて高くなる傾向があります。

【未就学児】

単位：％

区分	調査数（件）	ニコニコこども館	東部地域子育て支援センター	西部地域子育て支援センター	南部地域子育て支援センター	北部地域子育て支援センター	利用していない	無回答
0歳	213	32.9	2.8	5.2	2.8	6.6	62.0	0.9
1歳	153	34.6	5.2	4.6	2.0	4.6	56.2	2.6
2歳	143	32.2	2.8	4.9	2.1	2.8	61.5	4.2
3歳	135	34.8	0.7	2.2	1.5	0.7	64.4	0.7
4歳	122	27.9	1.6	2.5	0.8	0.8	72.1	0.0
5歳	120	20.8	0.0	0.8	0.8	2.5	77.5	0.8

※着色した数値は、各行の最大値

【居住区域別／地域の子育て支援事業の利用状況】

- ▶地域の子育て支援事業の利用状況について、居住区域別でみると、近くの子育て支援センターの利用割合が高くなる傾向があり、「ニコニコこども館」及び「利用していない」の割合に大きな差はありません。

【未就学児】

単位：％

区分	調査数（件）	ニコニコこども館	東部地域子育て支援センター	西部地域子育て支援センター	南部地域子育て支援センター	北部地域子育て支援センター	利用していない	無回答
中心部＋南東部	459	32.0	3.3	2.4	2.8	2.0	64.3	1.3
西部	149	28.9	1.3	11.4	1.3	0.7	64.4	3.4
北部	277	30.7	1.4	1.4	0.4	7.2	66.1	0.7

※着色した数値は、各行の最大値

II 調査結果

- ▶ 地域の子育て支援事業の1週あたりの利用回数については、すべての施設で「1回」が最も高い割合となっています。
- ▶ 1ヶ月あたりの利用回数については、すべての施設で「1回」が最も高い割合となっています。

(1週あたり利用回数)

単位：％

区分	調査数 (件)	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回 以上	無 回 答
1. ニコニコこども館	276	12.7	2.2	2.2	-	-	83.0
2. 東部地域子育て支援センター	21	19.0	4.8	-	-	4.8	71.4
3. 西部地域子育て支援センター	32	9.4	3.1	3.1	-	-	84.4
4. 南部地域子育て支援センター	16	18.8	12.5	-	-	-	68.8
5. 北部地域子育て支援センター	30	20.0	-	-	-	-	80.0

※着色した数値は、各行の最大値

(1ヶ月あたり利用回数)

単位：％

区分	調査数 (件)	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回 ～ 10 回	11 回 以上	無 回 答
1. ニコニコこども館	276	52.5	15.2	6.9	2.9	2.2	1.1	19.2
2. 東部地域子育て支援センター	21	66.7	4.8	-	-	4.8	9.5	14.3
3. 西部地域子育て支援センター	32	53.1	15.6	3.1	-	3.1	3.1	21.9
4. 南部地域子育て支援センター	16	43.8	6.3	6.3	-	-	-	43.8
5. 北部地域子育て支援センター	30	43.3	20.0	6.7	3.3	6.7	-	20.0

※着色した数値は、各行の最大値

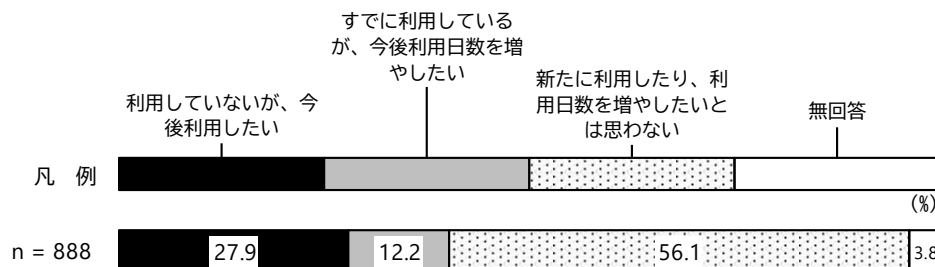
② 子育て支援センター等の利用希望（未就学児のみ）

- ▶ 子育て支援センター等の利用希望について、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 56.1%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」（27.9%）、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」（12.2%）となっています。
- ▶ 子育て支援センター等の1週あたりの利用希望回数について、「今後利用したい日数」、「更に増やしたい日数」とともに「1回」の割合が高くなっています。
- ▶ 1ヶ月あたりの利用増加希望回数について、「今後利用したい日数」で「1回」、「更に増やしたい日数」で「2回」の割合が高くなっています。

問 41 問 40 にある子育てを支援する施設について、今は利用していないが今後利用したい、あるいは利用日数を増やしたいと思いますか。

（○は1つ、[]内は数字を記入）

【未就学児】



（1週あたり利用希望回数）

単位：%

区分	調査数（件）	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
今後利用したい日数	248	23.4	8.9	2.0	-	0.4	65.3
更に増やしたい日数	108	21.3	4.6	2.8	0.9	-	70.4

※着色した数値は、各行の最大値

（1ヶ月あたり利用希望回数）

単位：%

区分	調査数（件）	1回	2回	3回	4回	5回 ～ 10回	11回以上	無回答
今後利用したい日数	248	32.7	20.6	5.2	6.0	4.8	0.0	30.6
更に増やしたい日数	108	14.8	29.6	7.4	9.3	7.4	5.6	25.9

※着色した数値は、各行の最大値

Ⅱ 調査結果

【こどもの年齢別／子育て支援センター等の利用希望】

- ▶子育て支援センター等の利用希望について、こどもの年齢別でみると、“0歳”では「利用していないが、今後利用したい」が最も高くなっています。“1～5歳”では「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が最も高く、年齢が上がるにつれて割合が増加する傾向があります。

【未就学児】

単位：％

区分	調査数 (件)	利用 してい ないが、 今後利 用	す でに利 用日数 を増や してい るが、 今後	を新 たに利 用した り、利 用日数	無 回 答
0歳	213	46.0	18.8	32.9	2.3
1歳	153	28.8	16.3	49.7	5.2
2歳	143	19.6	14.0	60.8	5.6
3歳	135	21.5	8.9	66.7	3.0
4歳	122	23.0	7.4	66.4	3.3
5歳	120	17.5	1.7	76.7	4.2

※着色した数値は、各行の最大値

③ 子育て支援事業の認知度・利用経験・利用希望（未就学児のみ）

- ▶子育て支援事業について、認知度では「子育てハンドブック等の子育て情報誌」が52.4%と最も高く、次いで「母親教室、育児教室など子育てに関する学習や相談の場」(47.6%)、「ファミリーサポートセンター」(45.8%)となっています。
- ▶利用経験では、「子育てハンドブック等の子育て情報誌」が25.7%と最も高く、次いで「母親教室、育児教室など子育てに関する学習や相談の場」(18.1%)、「子育て支援サイト」(14.9%)となっています。
- ▶利用希望では、「保育所・幼稚園の地域開放」が21.1%と最も高く、次いで「子育て支援サイト」(18.4%)、「子育てサロンなど身近な地域における親子の集いの場」(16.9%)となっています。

問 42 以下の事業などについて、(1)、(2)、(3)それぞれの項目についてお答えください。

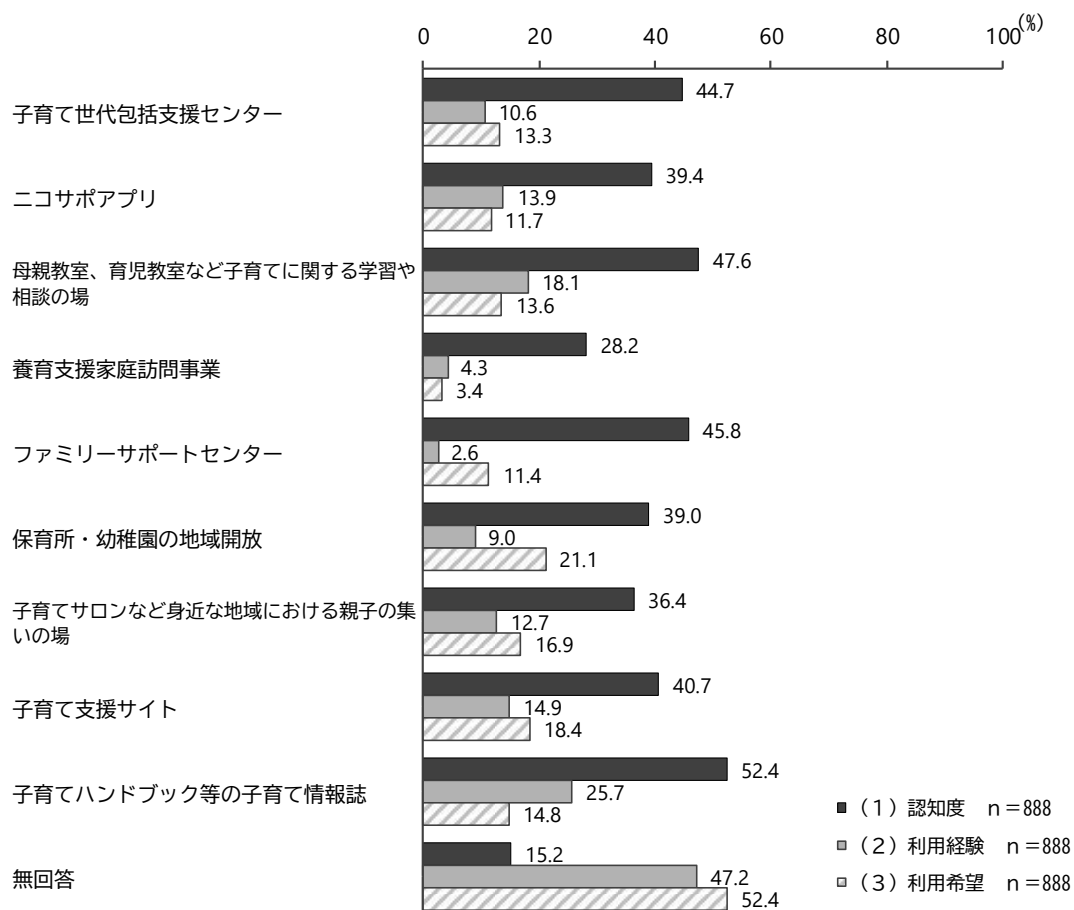
(1)知っているもの

(2)これまでに利用したことがあるもの

(3)今後、利用したいと思う

(あてはまる項目すべてに○)

【未就学児】



Ⅱ 調査結果

【こどもの年齢別／子育て支援事業の認知度】

- ▶子育て支援事業等の認知度について、こどもの年齢別でみると、“3歳”以外では「子育てハンドブック等の子育て情報誌」が最も高く、“3歳”では「ファミリーサポートセンター」が最も高くなっています。

【未就学児】

単位：％

区分	調査数（件）	子育て世代包括支援センター	ニコサポアプリ	母親教室、育児教室など子育てに関する学習や相談の場	養育支援家庭訪問事業	ファミリーサポートセンター	保育所・幼稚園の地域開放	子育てサロンなど身近な地域における親子の集いの場	子育て支援サイト	子育てハンドブック等の子育て情報誌	無回答
0歳	213	47.4	49.3	46.9	28.2	40.8	31.5	29.6	40.8	54.0	12.2
1歳	153	48.4	45.8	47.7	34.0	47.7	40.5	38.6	44.4	56.2	14.4
2歳	143	45.5	43.4	49.0	29.4	44.8	44.1	34.3	37.8	53.1	16.1
3歳	135	34.8	32.6	48.9	22.2	51.9	40.0	38.5	34.8	47.4	17.0
4歳	122	48.4	33.6	45.9	30.3	46.7	41.0	37.7	49.2	51.6	18.9
5歳	120	41.7	22.5	46.7	24.2	45.0	40.8	45.0	37.5	50.8	15.0

※着色した数値は、各行の最大値

【こどもの年齢別／子育て支援事業の利用経験】

- ▶子育て支援事業等の利用経験について、こどもの年齢別でみると、全ての年齢で「子育てハンドブック等の子育て情報誌」が最も高く、“0歳”では「ニコサポアプリ」が他の年齢と比べて高くなっています。

【未就学児】

単位：％

区分	調査数（件）	子育て世代包括支援センター	ニコサポアプリ	母親教室、育児教室など子育てに関する学習や相談の場	養育支援家庭訪問事業	ファミリーサポートセンター	保育所・幼稚園の地域開放	子育てサロンなど身近な地域における親子の集いの場	子育て支援サイト	子育てハンドブック等の子育て情報誌	無回答
0歳	213	13.1	24.4	19.2	3.8	1.4	3.8	8.9	17.8	26.3	43.7
1歳	153	9.2	11.8	15.0	4.6	3.3	5.2	14.4	17.6	24.2	46.4
2歳	143	9.1	15.4	16.1	4.9	1.4	11.9	14.0	10.5	21.7	50.3
3歳	135	5.9	9.6	17.0	2.2	4.4	9.6	11.9	11.9	22.2	49.6
4歳	122	13.1	13.1	16.4	4.9	3.3	13.9	13.9	15.6	29.5	50.0
5歳	120	11.7	1.7	25.0	5.8	2.5	14.2	15.0	14.2	31.7	45.8

※着色した数値は、各行の最大値

【こどもの年齢別／子育て支援事業の利用希望】

- ▶子育て支援事業の利用希望について、こどもの年齢別でみると、“0～2歳”では「保育所・幼稚園の地域解放」、 “3～4歳”では「子育て支援サイト」、 “5歳”では「子育てハンドブック等の子育て情報誌」がそれぞれ最も高くなっています。

【未就学児】

単位：％

区分	調査数 (件)	子育て世代包括支援センター	ニコサポアプリ	母親教室、育児教室など子育てに関する学習や相談の場	養育支援家庭訪問事業	ファミリーサポートセンター	保育所・幼稚園の地域開放	子育てサロンなど身近な地域における親子の集いの場	子育て支援サイト	子育てハンドブック等の子育て情報誌	無回答
0歳	213	20.2	15.5	21.1	4.2	13.6	33.3	25.4	19.7	12.7	38.0
1歳	153	15.7	12.4	15.7	2.6	7.2	27.5	20.3	17.0	14.4	52.3
2歳	143	11.2	11.2	13.3	4.9	8.4	19.6	11.9	15.4	16.8	57.3
3歳	135	8.9	12.6	6.7	2.2	16.3	14.8	14.1	17.8	11.1	54.8
4歳	122	9.8	7.4	10.7	1.6	15.6	14.8	12.3	23.8	16.4	59.8
5歳	120	8.3	8.3	9.2	4.2	5.8	6.7	11.7	16.7	19.2	61.7

※着色した数値は、各行の最大値

Ⅱ 調査結果

④ 子育て支援施設の認知度・利用経験・利用希望（未就学児のみ）

- ▶子育て支援施設について、認知度では「ニコニコこども館」が79.5%と最も高く、次いで「パップキッズこおりやま」(75.2%)、「東部地域子育て支援センター」(35.9%)となっています。
- ▶利用経験では、「ニコニコこども館」が75.8%と最も高く、次いで「パップキッズこおりやま」(71.6%)、「西部地域子育て支援センター」(13.7%)となっています。
- ▶今後の利用希望では「パップキッズこおりやま」が61.3%と最も高く、次いで「ニコニコこども館」(48.0%)、「希望ヶ丘児童センター」(9.9%)となっています。

問 43 以下の施設について、(1)、(2)、(3)それぞれの項目についてお答えください。

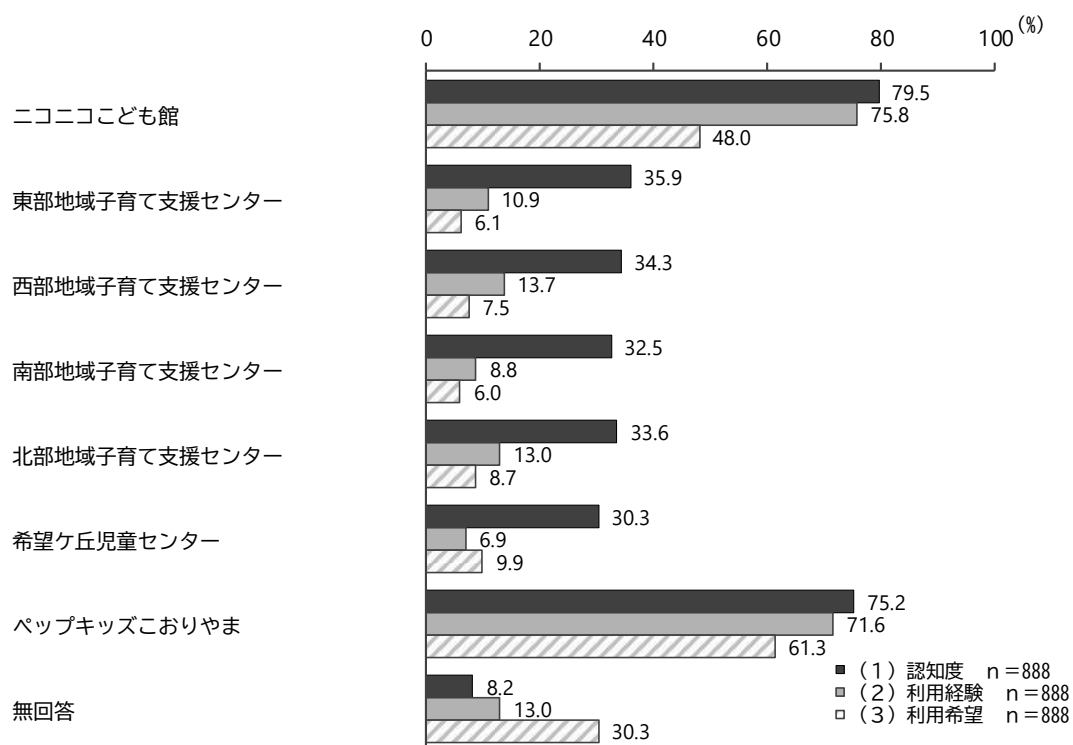
(1)知っているもの

(2)これまでに利用したことがあるもの

(3)今後、利用したいと思うもの

(あてはまる項目すべてに○)

【未就学児】



【こどもの年齢別／子育て支援施設の認知度】

- ▶子育て支援施設の認知度について、こどもの年齢別でみると、全ての年齢で「ニコニコこども館」の割合が最も高く、次いで「パップキッズこおりやま」が高くなっています。

【未就学児】

単位：％

区分	調査数 (件)	ニコニコこども館	東部地域子育て支援センター	西部地域子育て支援センター	南部地域子育て支援センター	北部地域子育て支援センター	希望ヶ丘児童センター	パップキッズこおりやま	無回答
0歳	213	79.3	33.8	32.4	33.8	34.3	29.1	71.4	7.0
1歳	153	75.2	35.3	35.9	34.0	34.6	28.1	72.5	9.2
2歳	143	76.9	37.8	35.7	32.9	36.4	28.7	75.5	9.1
3歳	135	83.7	37.8	37.0	34.1	35.6	31.9	78.5	5.9
4歳	122	80.3	41.8	32.0	32.0	31.1	35.2	77.9	8.2
5歳	120	82.5	30.0	33.3	26.7	27.5	30.0	78.3	10.8

※着色した数値は、各行の最大値

【こどもの年齢別／子育て支援施設の利用経験】

- ▶子育て支援施設の利用経験について、こどもの年齢別でみると、“0歳”では「ニコニコこども館」の割合が最も高くなっています。1歳以降では「ニコニコこども館」あるいは「パップキッズこおりやま」の割合が最も高くなっていますが、両者はそれぞれの年齢において近い認知度となっています。

【未就学児／利用経験】

単位：％

区分	調査数 (件)	ニコニコこども館	東部地域子育て支援センター	西部地域子育て支援センター	南部地域子育て支援センター	北部地域子育て支援センター	希望ヶ丘児童センター	パップキッズこおりやま	無回答
0歳	213	64.8	5.6	8.9	5.6	9.9	3.3	49.8	25.4
1歳	153	71.9	8.5	13.7	7.2	13.7	6.5	71.9	13.1
2歳	143	75.5	14.7	12.6	9.8	14.7	5.6	77.6	12.6
3歳	135	80.0	7.4	14.1	10.4	14.1	9.6	83.0	5.9
4歳	122	83.6	17.2	16.4	9.8	10.7	9.0	80.3	7.4
5歳	120	87.5	16.7	20.8	12.5	16.7	10.0	80.8	5.0

※着色した数値は、各行の最大値

Ⅱ 調査結果

【こどもの年齢別／子育て支援施設の利用希望】

- ▶子育て支援施設の利用希望について、こどもの年齢別でみると全ての年齢で「ベップキッズこおりやま」の割合が最も高く、次いで「ニコニコこども館」が高くなっています。

【未就学児】

単位：％

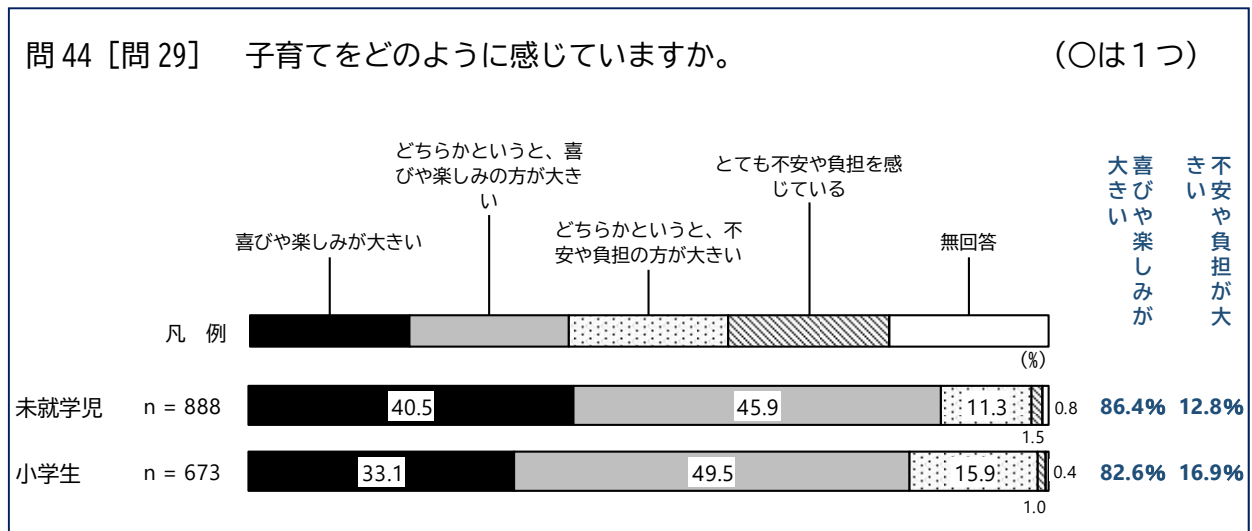
区分	調査数 (件)	ニコニコこども館	東部地域子育て支援センター	西部地域子育て支援センター	南部地域子育て支援センター	北部地域子育て支援センター	希望ヶ丘児童センター	ベップキッズこおりやま	無回答
0歳	213	56.3	6.6	10.8	8.0	14.6	12.7	64.3	23.9
1歳	153	47.7	9.2	11.1	7.8	9.8	9.2	56.2	35.3
2歳	143	47.6	6.3	9.8	7.0	9.1	9.1	60.1	32.9
3歳	135	50.4	5.2	3.7	5.2	6.7	9.6	68.9	26.7
4歳	122	42.6	5.7	4.1	4.1	4.1	10.7	59.8	32.8
5歳	120	36.7	2.5	2.5	1.7	3.3	6.7	55.8	34.2

※着色した数値は、各行の最大値

(11) 家庭の子育てについて

① 子育てをどのように感じているか

- ▶子育てをどのように感じているかについて、未就学児では『喜びや楽しみが大きい』（「喜びや楽しみが大きい」＋「どちらかという、喜びや楽しみの方が大きい」）が86.4%、『不安や負担が大きい』（「どちらかという、不安や負担の方が大きい」＋「とても不安や負担を感じている」）が12.8%となっています。
- ▶小学生では、『喜びや楽しみが大きい』が82.6%、『不安や負担が大きい』が16.9%となっています。



II 調査結果

【こどもの年齢・学年別／子育てをどのように感じているか】

- ▶未就学児で、子育てをどのように感じているかについて、こどもの年齢別でみると、『喜びや楽しみが大きい』は“0歳”で最も高く、年齢があがるにつれ、『不安や負担が大きい』が増加する傾向があります。
- ▶小学生で、子育てをどのように感じているかについて、学年別でみると、『喜びや楽しみが大きい』はそれぞれ7～8割台となっています。

【未就学児】

区分	調査数（件）	喜びや楽しみが大きい	どちらかという方が大きい	どちらかという方が大きい	とても不安や負担を感じている	無回答
0歳	213	50.7	43.7	4.2	1.4	-
1歳	153	44.4	43.1	10.5	1.3	0.7
2歳	143	36.4	49.0	11.2	0.7	2.8
3歳	135	33.3	50.4	14.8	0.7	0.7
4歳	122	36.1	44.3	15.6	4.1	-
5歳	120	34.2	47.5	16.7	0.8	0.8

※着色した数値は、各行の最大値

単位：％

『喜びや楽しみが大きい』	『不安や負担が大きい』
94.4	5.6
87.5	11.8
85.4	11.9
83.7	15.5
80.4	19.7
81.7	17.5

【小学生】

区分	調査数（件）	喜びや楽しみが大きい	どちらかという方が大きい	どちらかという方が大きい	とても不安や負担を感じている	無回答
小学1年生	134	29.1	56.7	11.9	1.5	0.7
小学2年生	135	31.1	46.7	20.0	2.2	-
小学3年生	116	37.1	50.0	12.9	-	-
小学4年生	106	39.6	43.4	16.0	-	0.9
小学5年生	96	33.3	51.0	13.5	2.1	-
小学6年生	84	29.8	47.6	21.4	-	1.2

※着色した数値は、各行の最大値

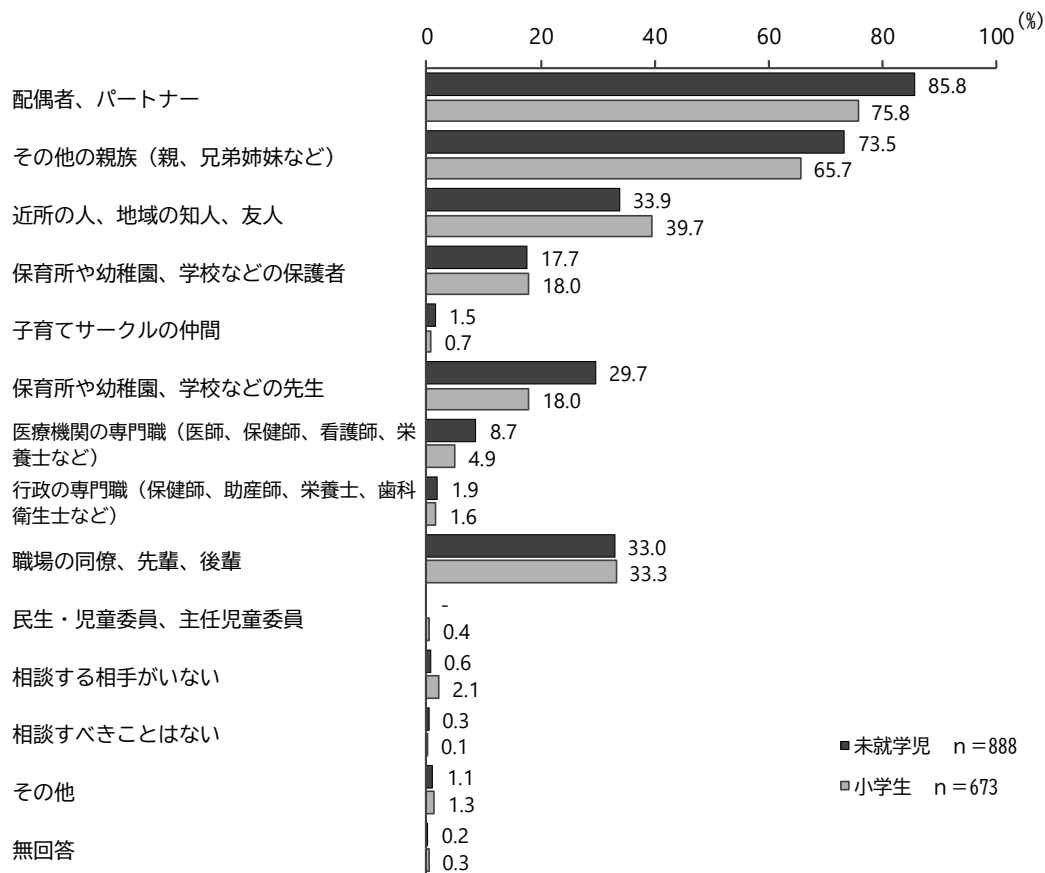
単位：％

『喜びや楽しみが大きい』	『不安や負担が大きい』
85.8	13.4
77.8	22.2
87.1	12.9
83.0	16.0
84.3	15.6
77.4	21.4

② 子育てについての相談相手

- ▶子育てについての相談相手について、未就学児では「配偶者、パートナー」が85.8%と最も高く、次いで「その他の親族（親、兄弟姉妹など）」（73.5%）、「近所の人、地域の知人、友人」（33.9%）となっています。
- ▶小学生では、「配偶者、パートナー」が75.8%と最も高く、次いで「その他の親戚（親、兄弟姉妹など）」（65.7%）、「近所の人、地域の知人、友人」（39.7%）となっています。

問 45 [問 30] 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる相手はいますか。
（あてはまる番号すべてに○）

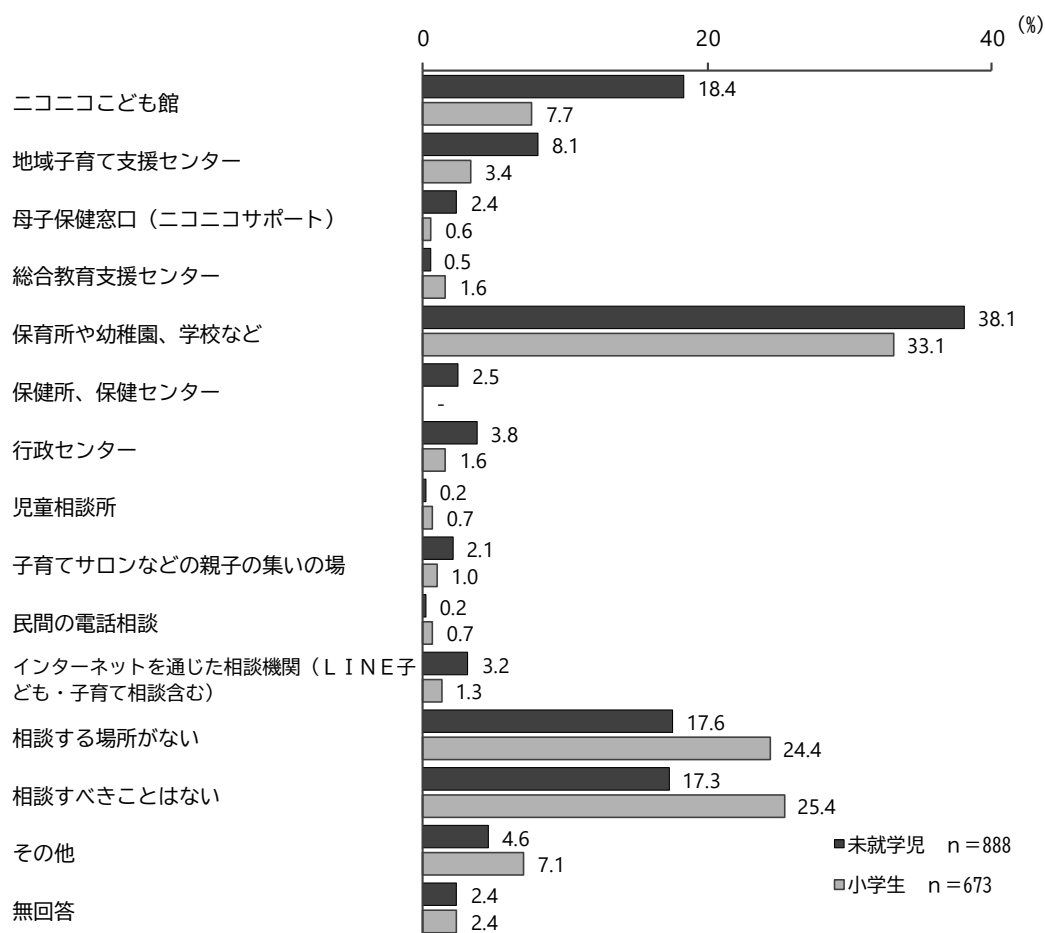


Ⅱ 調査結果

③ 子育てについての相談場所

- ▶子育てについての相談場所について、未就学児では「保育所や幼稚園、学校など」が38.1%と最も高く、次いで「ニコニコこども館」(18.4%)、「地域子育て支援センター」(8.1%)となっています。なお、「相談する場所がない」は17.6%、「相談すべきことはない」は17.3%となっています。
- ▶小学生では「保育所や幼稚園、学校など」が33.1%と最も高く、次いで「ニコニコこども館」(7.7%)となっています。なお、「相談する場所がない」は24.4%、「相談すべきことはない」は25.4%となっています。

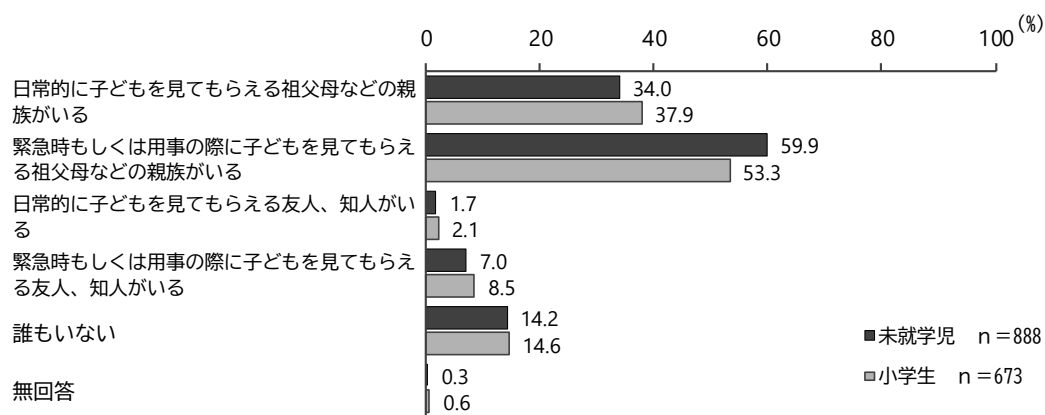
問 46 [問 31] 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる場所がありますか。
(あてはまる番号すべてに○)



④ こどもを見てもらえる親族・知人の有無

- ▶こどもを見てもらえる人がいるかについて、未就学児では「緊急時もしくは用事の際に子どもをみてもらえる祖父母などの親族がいる」が59.9%と最も高く、次いで「日常的に子どもを見てもらえる祖父母などの親族がいる」(34.0%)、「誰もいない」(14.2%)となっています。
- ▶小学生では、「緊急時もしくは用事の際に子どもをみてもらえる祖父母などの親族がいる」が53.3%と最も高く、次いで「日常的に子どもを見てもらえる祖父母などの親族がいる」(37.9%)、「誰もいない」(14.6%)となっています。

問 47 [問 32] 日頃、あて名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。
(あてはまる番号すべてに○)

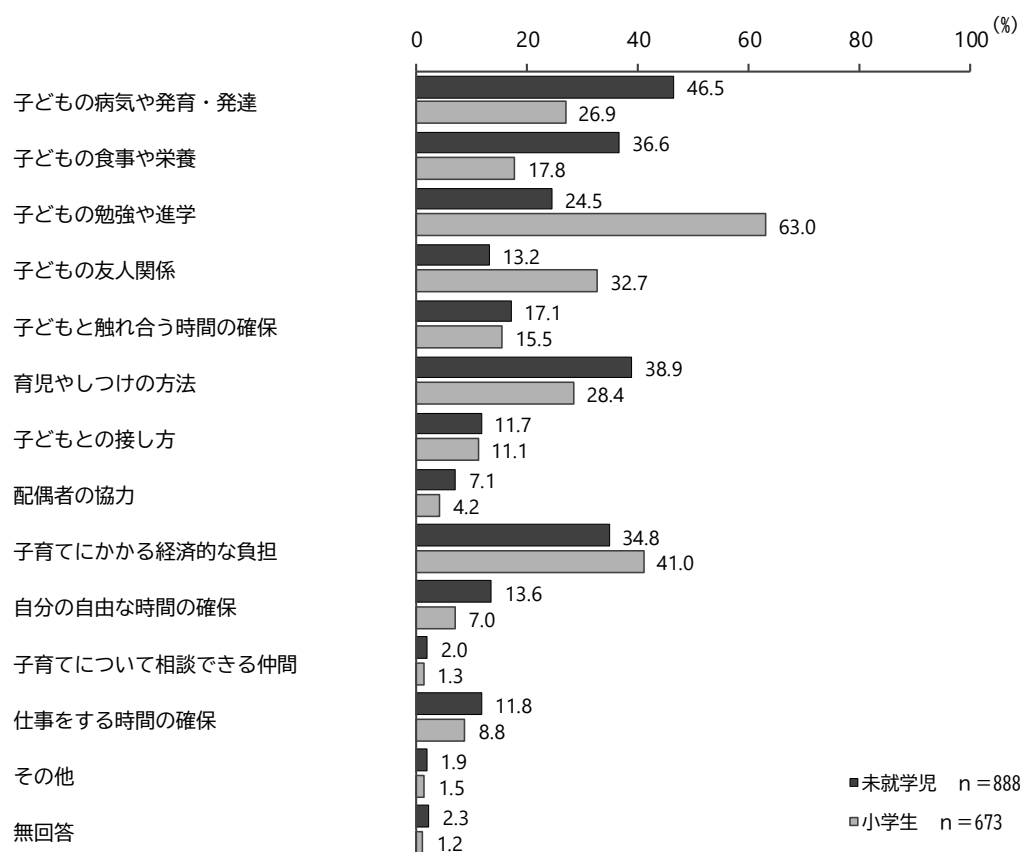


Ⅱ 調査結果

⑤ 子育てに関する、悩みや心配ごと

- ▶子育てに関する悩み・心配ごとについて、未就学児では「子どもの病気や発育・発達」が46.5%と最も高く、次いで「育児やしつけの方法」(38.9%)、「子どもの食事や栄養」(36.6%)となっています。
- ▶小学生では、「子どもの勉強や進学」が63.0%と最も高く、次いで「子育てにかかる経済的な負担」(41.0%)、「子どもの友人関係」(32.7%)となっています。

問 48 [問 33] 子育てに関して、悩みや心配ごとはありますか。上位3つまで選んでください。
(あてはまる番号3つまで○)



【こどもの年齢・学年別／子育てに関する、悩みや心配ごと】

- ▶子育てに関する、悩みや心配ごとについて、こどもの年齢別でみると、各歳で「子どもの病気や発育・発達」や「育児やしつけの方法」の割合が高くなっています。また、「子どもの勉強や進学」について、年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向があります。
- ▶小学生では、各学年で「子どもの勉強や進学」の割合が最も高くなっています。

【未就学児】

単位：％

区分	調査数（件）	子どもの病気や発育・発達	子どもの食事や栄養	子どもの勉強や進学	子どもの友人関係	子どもと触れ合う時間の確保	育児やしつけの方法	子どもとの接し方	配偶者の協力	子育てにかかる経済的な負担	自分の自由な時間の確保	子育てについて相談できる仲間	仕事をする時間の確保	その他	無回答
0歳	213	55.9	41.3	13.6	6.1	14.1	36.2	11.3	10.8	39.9	12.2	3.3	12.7	3.8	1.4
1歳	153	49.7	37.9	17.0	8.5	19.6	33.3	12.4	8.5	39.2	17.6	2.6	10.5	2.6	3.3
2歳	143	46.2	39.2	21.7	10.5	16.8	46.2	10.5	5.6	33.6	11.9	2.8	10.5	0.7	3.5
3歳	135	42.2	39.3	24.4	17.8	19.3	42.2	14.1	5.9	26.7	17.0	-	13.3	1.5	1.5
4歳	122	34.4	36.9	37.7	13.9	17.2	39.3	13.1	3.3	33.6	11.5	0.8	12.3	1.6	1.6
5歳	120	43.3	20.8	43.3	29.2	15.8	37.5	9.2	5.0	32.5	11.7	1.7	11.7	-	2.5

※着色した数値は、各行の最大値

【小学生】

単位：％

区分	調査数（件）	子どもの病気や発育・発達	子どもの食事や栄養	子どもの勉強や進学	子どもの友人関係	子どもと触れ合う時間の確保	育児やしつけの方法	子どもとの接し方	配偶者の協力	子育てにかかる経済的な負担	自分の自由な時間の確保	子育てについて相談できる仲間	仕事をする時間の確保	その他	無回答
小学1年生	134	25.4	18.7	47.8	30.6	23.1	38.1	15.7	3.0	36.6	12.7	2.2	11.9	2.2	0.7
小学2年生	135	29.6	20.0	63.0	29.6	15.6	34.1	11.1	5.2	39.3	8.1	-	9.6	2.2	0.7
小学3年生	116	32.8	14.7	56.9	38.8	16.4	36.2	12.1	3.4	38.8	6.9	2.6	6.9	-	1.7
小学4年生	106	29.2	16.0	66.0	36.8	15.1	19.8	6.6	3.8	41.5	5.7	0.9	6.6	-	1.9
小学5年生	96	22.9	15.6	81.3	34.4	8.3	20.8	8.3	6.3	40.6	-	1.0	10.4	3.1	-
小学6年生	84	17.9	22.6	71.4	26.2	10.7	13.1	11.9	3.6	53.6	6.0	1.2	6.0	1.2	2.4

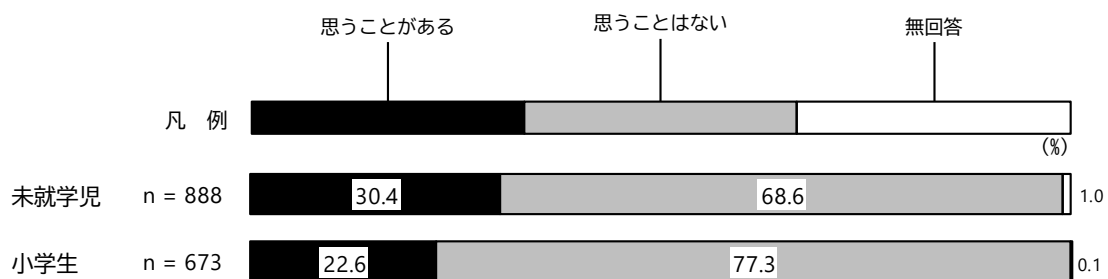
※着色した数値は、各行の最大値

Ⅱ 調査結果

⑥ 家事や育児支援の希望

- ▶家事や育児の支援をお願いしたいと思うかについて、未就学児では「思うことがある」が30.4%、「思うことはない」が68.6%となっています。
- ▶小学生では、「思うことがある」が22.6%、「思うことはない」が77.3%となっています。

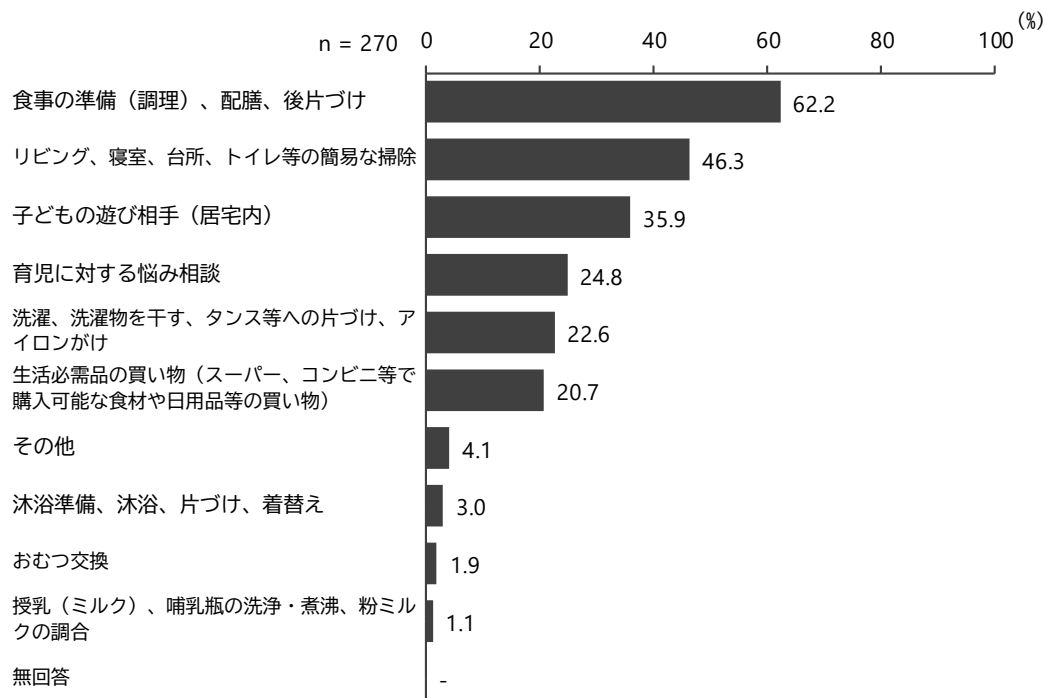
問 49 [問 34] 家事や子育てに対して不安や負担を感じ、ヘルパー等に家事や育児の支援をお願いしたいと思うことはありますか。ある場合は、具体的にどのようなことをお願いしたいですか。
(あてはまる番号、記号すべてに○)



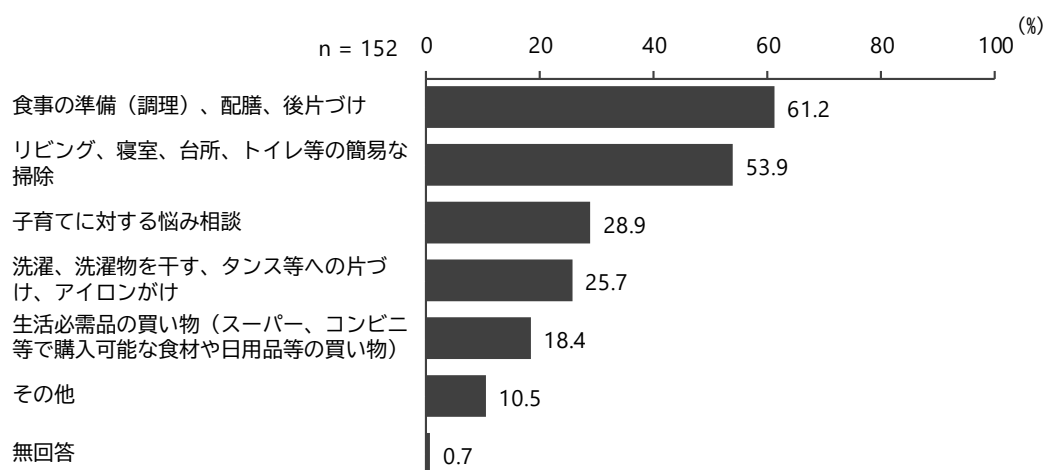
- ▶家事や育児支援でお願いしたい内容について、未就学児では「食事の準備（調理）、配膳、後片づけ」が62.2%となっており、「リビング、寝室、台所、トイレ等の簡易な掃除」が（46.3%）、「子どもの遊び相手（居宅内）」（35.9%）となっています。
- ▶小学生では、「食事の準備（調理）、配膳、後片づけ」が61.2%となっており、「リビング、寝室、台所、トイレ等の簡易な掃除」（53.9%）、「子育てに対する悩み相談」（28.9%）となっています。

（家事や育児支援でお願いしたい内容）

【未就学児】



【小学生】

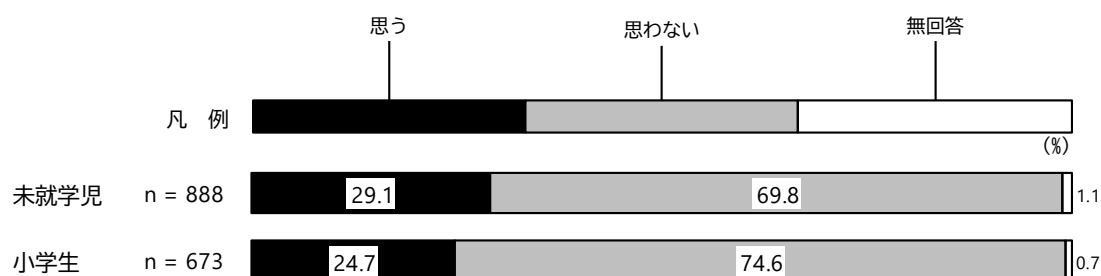


Ⅱ 調査結果

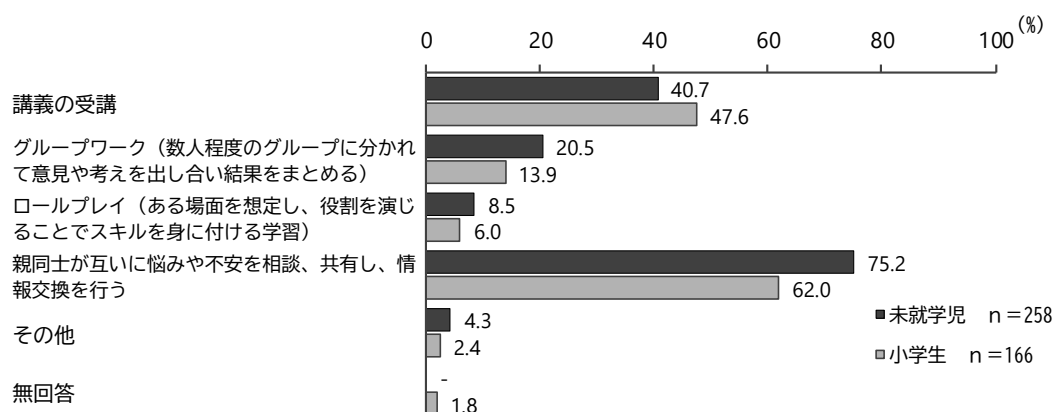
⑦ こどもとの関わり方をより良くするための研修等への参加希望

- ▶こどもとのかかわり方をより良くするための研修等に参加したいと思うかについて、未就学児では「思う」が29.1%、「思わない」が69.8%となっています。
- ▶小学生では、「思う」が24.7%、「思わない」が74.6%となっています。
- ▶参加したい活動について、未就学児では「親同士が互いに悩みや不安を相談、共有し、情報交換を行う」が75.2%と最も高く、次いで「講義の受講」(40.7%)、「グループワーク（数人程度のグループに分かれて意見や考えを出し合い結果をまとめる）」(20.5%)となっています。
- ▶小学生では、「親同士が互いに悩みや不安を相談、共有し、情報交換を行う」が62.0%と最も高く、次いで「講義の受講」(47.6%)、「グループワーク（数人程度のグループに分かれて意見や考えを出し合い結果をまとめる）」(13.9%)となっています。

問 50 [問 35] 子どもとの関わり方や子育てに悩みや不安があり、親子の関係性や発達に応じた子どもとのかかわり方をより良くするため、講義やグループワークなどの研修を行ったり、同じ悩みを抱える親同士で情報交換をしたりできる機会があれば参加したいと思いますか。参加したいと思う場合は、具体的にどのような活動に参加したいですか。
(あてはまる番号、記号すべてに○)



(参加したい活動内容)

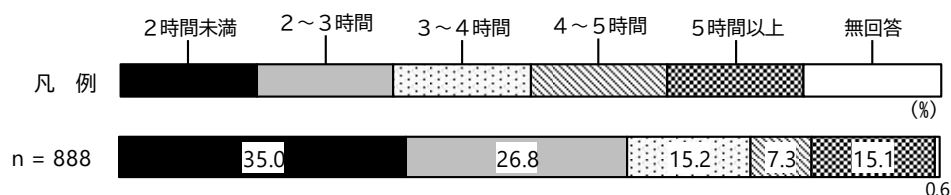


⑧ こどもとのスキンシップの時間（未就学児のみ）

- ▶ 1日あたりのこどもとのスキンシップの時間について、「2時間未満」が 35.0%と最も高く、次いで「2～3時間」（26.8%）、「3～4時間」（15.2%）となっています。

問 51 あなたは、あて名のお子さんと1日にどのくらいスキンシップしていますか？（食事などの世話以外の、遊びや読み聞かせなど）（○は1つ）

【未就学児】

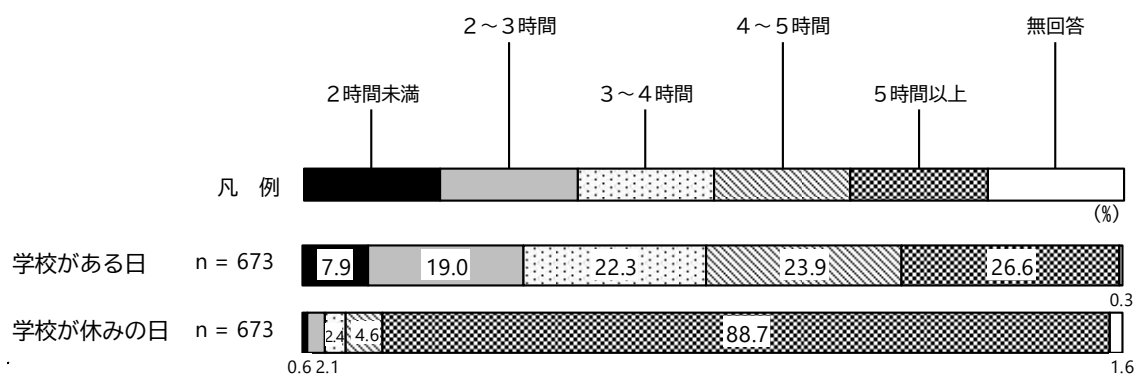


⑨ こどもと家庭で一緒に過ごす時間（小学生のみ）

- ▶ こどもと家庭で一緒に過ごす時間について、学校がある日と学校が休みの日では同傾向となっており、「5時間以上」（学校がある日 26.6%、学校が休みの日 88.7%）が最も高く、次いで「4～5時間」（学校がある日 23.9%、学校が休みの日 4.6%）、「3～4時間」（学校がある日 22.3%、学校が休みの日 2.4%）となっています。

【問 36】 あなたは、あて名のお子さんと一緒に過ごす時間はどれくらいありますか。（就寝時間を除く）（それぞれ○は1つ）

【小学生】



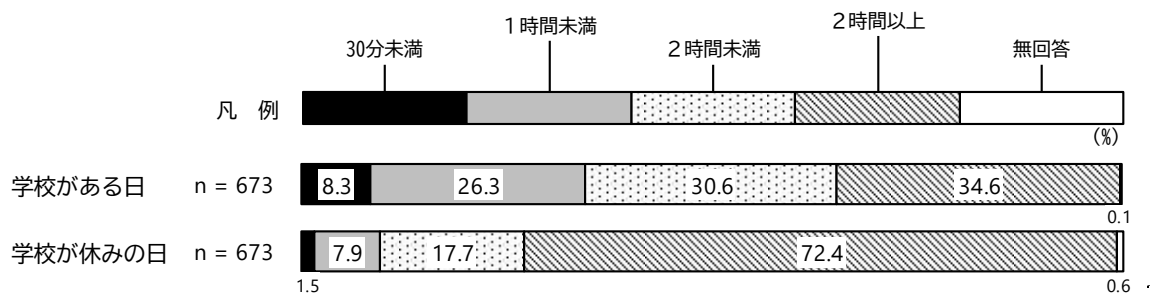
Ⅱ 調査結果

⑩ こどもと家庭で会話をする時間（小学生のみ）

▶こどもと家庭で会話する時間について、学校がある日と学校が休みの日では同傾向となっており、「2時間以上」（学校がある日 34.6%、学校が休みの日 72.4%）が最も高く、次いで「2時間未満」（学校がある日 30.6%、学校が休みの日 17.7%）、「1時間未満」（学校がある日 26.3%、学校が休みの日 7.9%）となっています。

〔問 37〕 あなたは、あて名のお子さんと家庭で一緒に過ごす時間のうち、どのくらいお子さんと会話をしていますか。（それぞれ○は1つ）

【小学生】



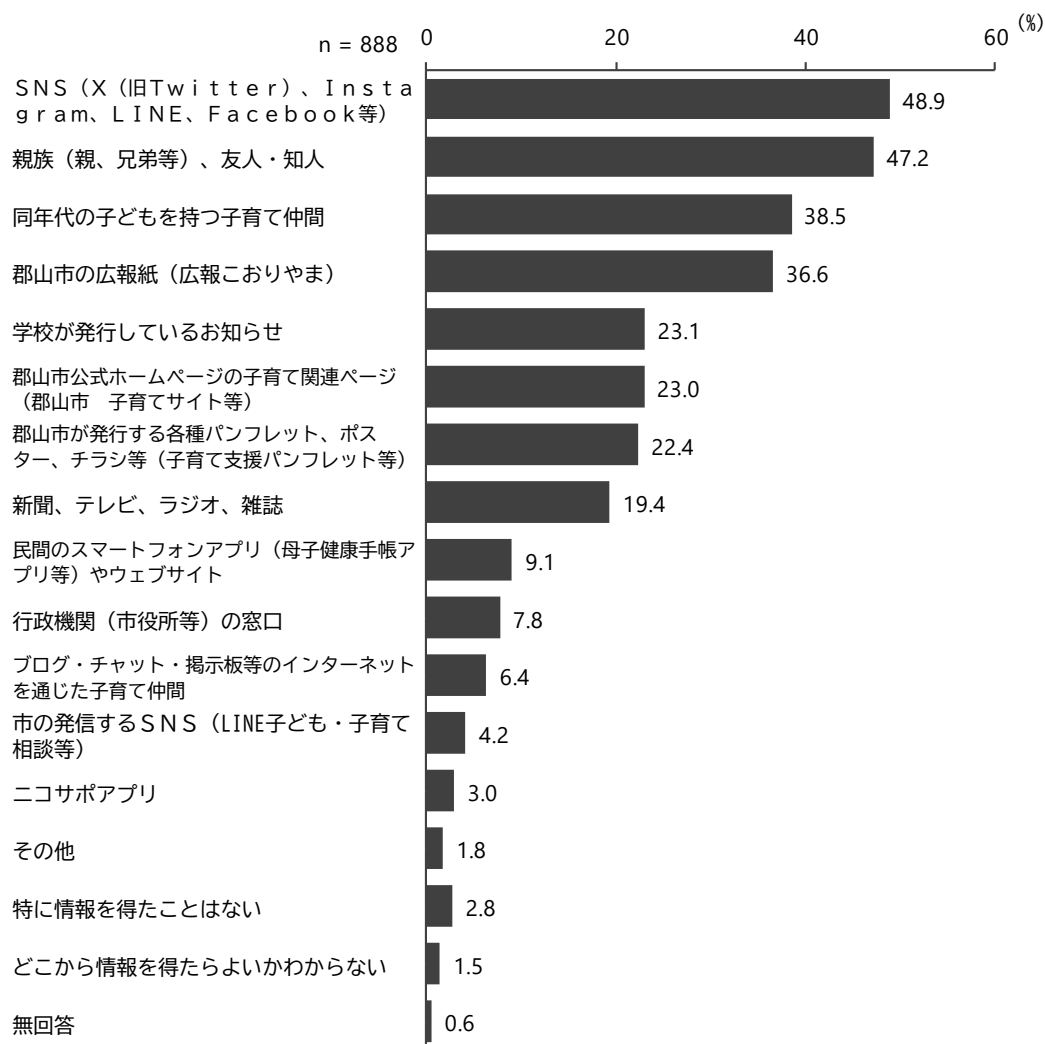
⑪ 子育てに関する情報の入手先（未就学児のみ）

▶子育てに関する情報の入手先については、「SNS（X（旧Twitter）、Instagram、LINE、Facebook等）」が48.9%と最も高く、次いで「親族（親、兄弟等）、友人・知人」（47.2%）、「同年代の子どもを持つ子育て仲間」（38.5%）となっています。

問 52 あなたは子育てに関する情報をどこから得ていますか。

（あてはまる番号すべてに○）

【未就学児】



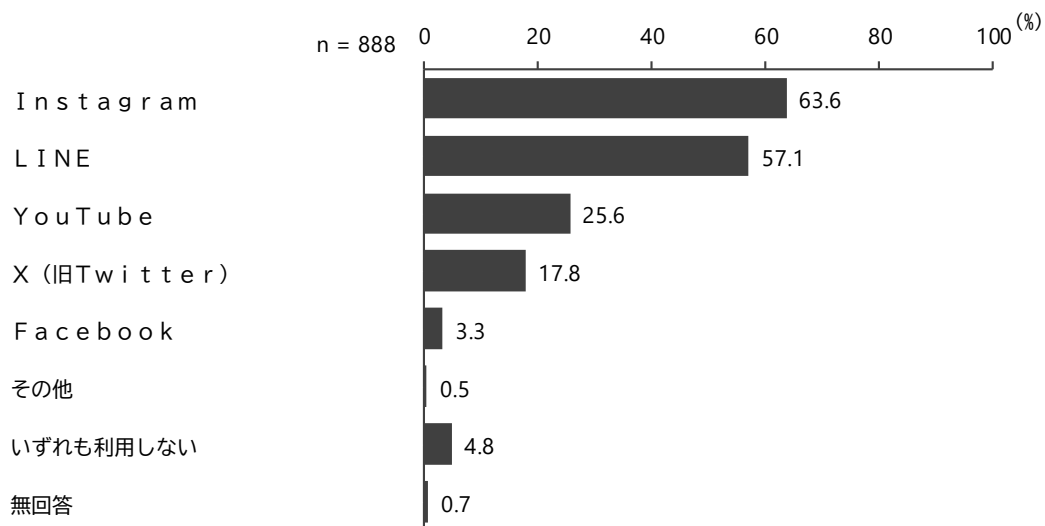
Ⅱ 調査結果

⑫ 子育て情報を受け取りやすいツール（未就学のみ）

▶子育て情報を受け取りやすいツールについては、「Instagram」が63.6%と最も高く、次いで「LINE」(57.1%)、「YouTube」(25.6%)となっています。

問 53 郡山市が子育て情報をSNSで発信する場合、情報を受け取りやすい（利用したい）ツールはどれですか。（あてはまる番号すべてに○）

【未就学児】



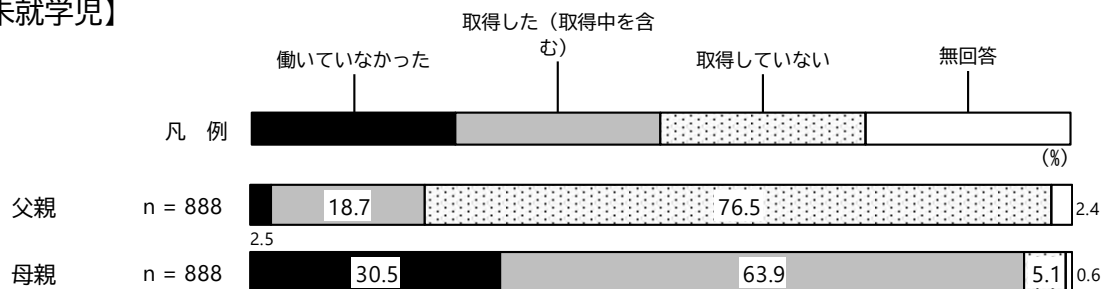
(12) 仕事と子育ての両立について

① 育児休業の取得状況

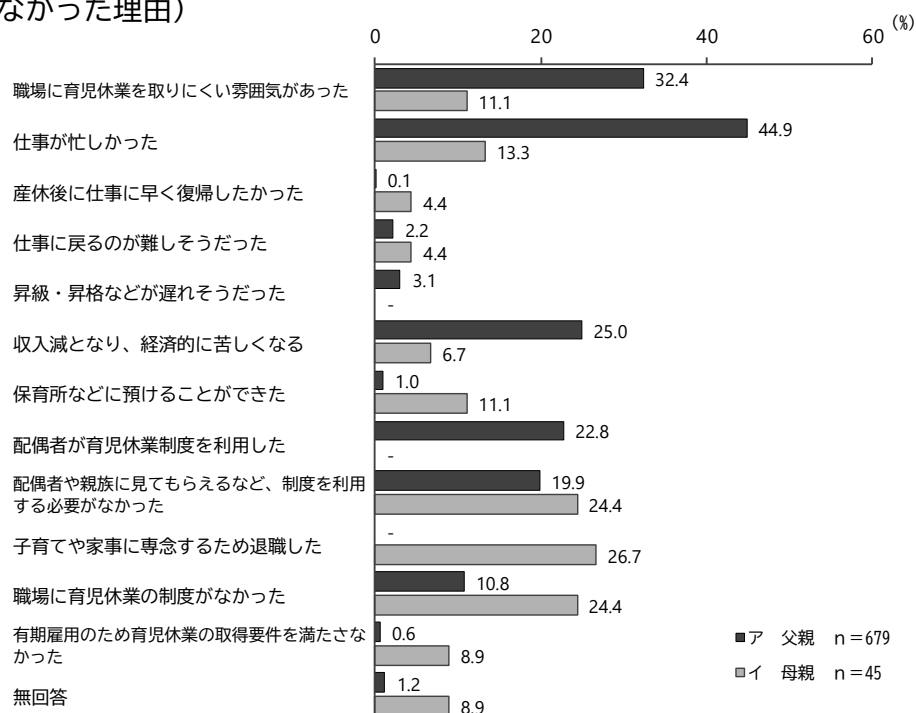
- ▶ 育児休業の取得状況について、未就学児の父親では「取得していない」が76.5%と最も高く、次いで「取得した（取得中を含む）」（18.7%）、「働いていなかった」（2.5%）となっています。
- ▶ 母親では、「取得した（取得中を含む）」が63.9%と最も高く、次いで「働いていなかった」（30.5%）、「取得していない」（5.1%）となっています。
- ▶ 取得しなかった理由について、父親では「仕事が忙しかった」が44.9%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（32.4%）、「収入源となり、経済的に苦しくなる」（25.0%）となっています。
- ▶ 母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が26.7%と最も高く、次いで「配偶者や親族に見てもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」、「職場に育児休業の制度がなかった」（ともに24.4%）となっています。

問 54 お子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。「3」を選ぶ方は、点線の枠から、その理由にあてはまる記号をすべてご記入ください。（父親・母親それぞれのあてはまる番号1つに○、[] 内にあてはまる記号すべて記入）

【未就学児】



(取得しなかった理由)

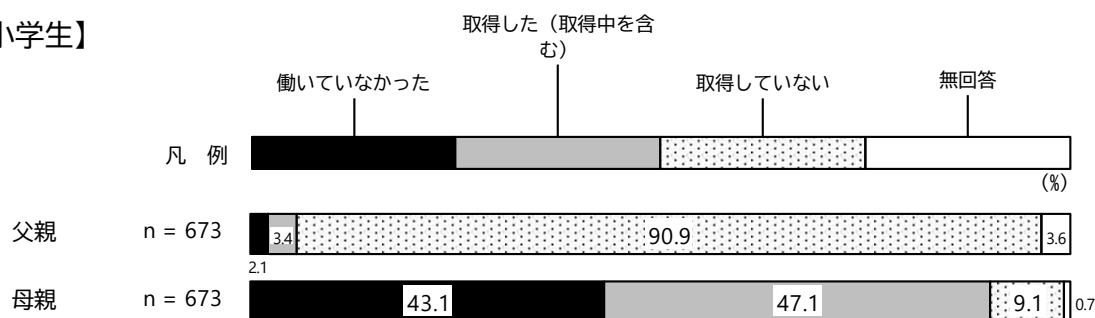


II 調査結果

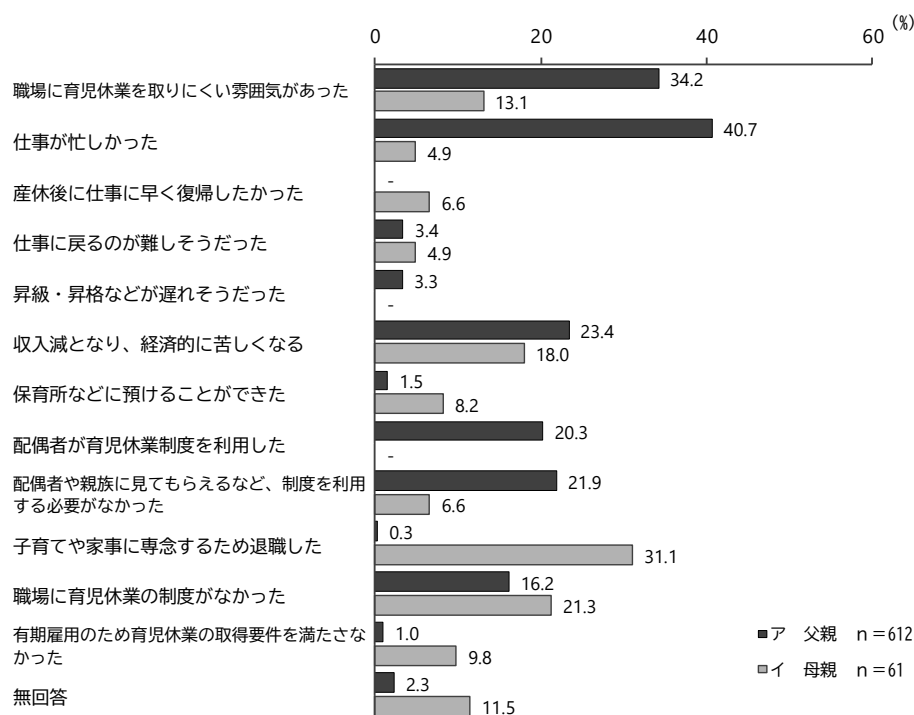
- ▶ 育児休業の取得状況について、小学生の父親では「取得していない」が90.9%と最も高く、次いで「取得した（取得中を含む）」（3.4%）、「働いていなかった」（2.1%）となっています。
- ▶ 母親では「取得した（取得中を含む）」が47.1%と最も高く、次いで「働いていなかった」（43.1%）、「取得していない」（9.1%）となっています。
- ▶ 取得しなかった理由について、父親では「仕事が忙しかった」が40.7%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（34.2%）、「収入源となり、経済的に苦しくなる」（23.4%）となっています。
- ▶ 母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が31.1%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」（21.3%）、「収入源となり、経済的に苦しくなる」（18.0%）となっています。

【問 38】 お子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。「3」を選ぶ方は、点線の枠から、その理由にあてはまる記号をすべてご記入ください。（父親・母親それぞれのあてはまる番号1つに○、[] 内にあてはまる記号すべて記入）

【小学生】



（取得しなかった理由）



② 育児休業後の職場復帰

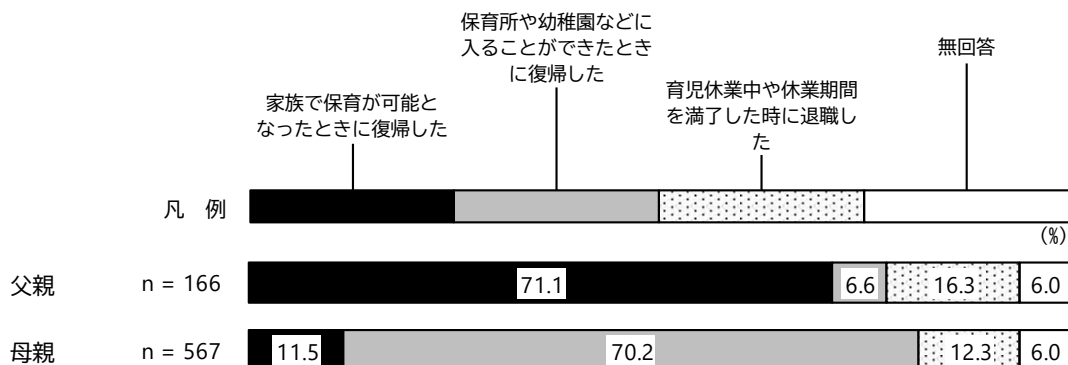
- ▶ 育児休業後の職場復帰について、未就学児の父親では「家族で保育が可能となったときに復帰した」が71.1%と最も高く、次いで「育児休業中や休業期間を満了した時に退職した」(16.3%)、「保育所や幼稚園などに入ることができたときに復帰した」(6.6%)となっています。
- ▶ 未就学児の母親では、「保育所や幼稚園などに入ることができたときに復帰した」と70.2%と最も高く、次いで「育児休業中や休業期間を満了した時に退職した」(12.3%)、「家族で保育が可能となったときに復帰した」(11.5%)となっています。
- ▶ 小学生の父親では「家族で保育が可能となったときに復帰した」が65.2%と最も高く、次いで「育児休業中や休業期間を満了した時に退職した」(21.7%)、「保育所や幼稚園などに入ることができたときに復帰した」(8.7%)となっています。
- ▶ 小学生の母親では、「保育所や幼稚園などに入ることができたときに復帰した」と74.8%と最も高く、次いで「家族で保育が可能となったときに復帰した」(12.9%)、「育児休業中や休業期間を満了した時に退職した」(11.0%)となっています。

【問54 [問38] で「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

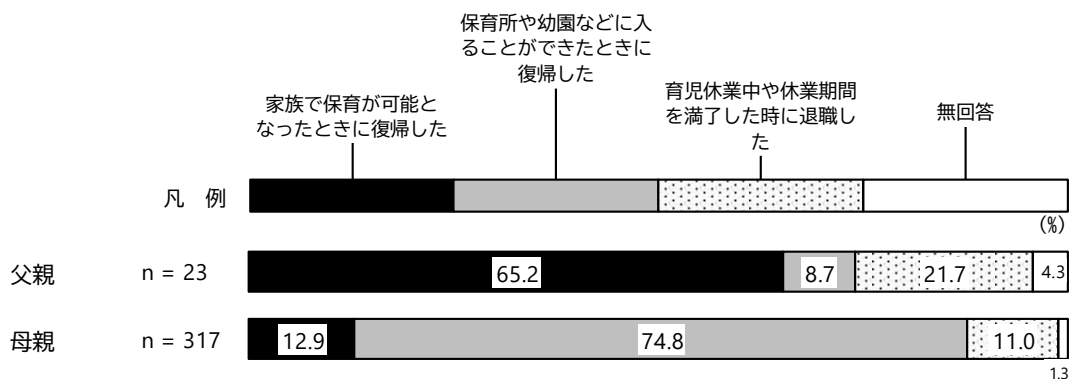
問55 [問39] 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。復帰した方は、お子さんが何歳何ヶ月のときに復帰したかもお答えください。

(父親・母親それぞれのあてはまる項目1つに○、[]内は数字を記入)

【未就学児】



【小学生】

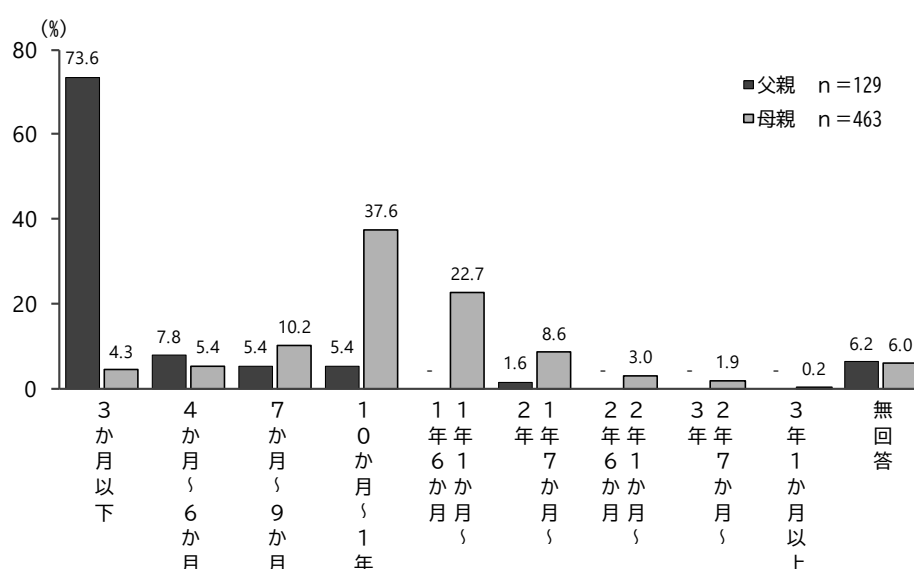


Ⅱ 調査結果

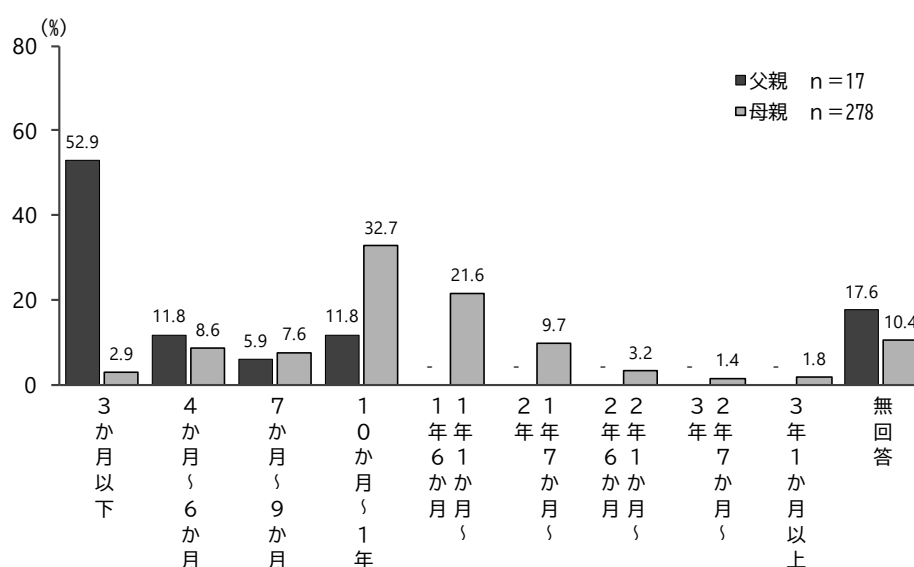
- ▶職場に復帰した時のこどもの年齢について、未就学児の父親では「3か月以下」が73.6%と最も高く、次いで「4か月～6か月」(7.8%)、「7か月～9か月」、「10か月～1年」(ともに5.4%)となっています。
- ▶母親では、「10か月～1年」と37.6%と最も高く、次いで「1年1か月～1年6か月」(22.7%)、「1年7か月～2年」(8.6%)となっています。
- ▶小学生の父親では「3か月以下」が52.9%と最も高く、次いで「4か月～6か月」、「10か月～1年」(ともに11.8%)、「7か月～9か月」が(5.9%)となっています。
- ▶母親では、「10か月～1年」と32.7%と最も高く、次いで「1年1か月～1年6か月」(21.6%)、「1年7か月～2年」(9.7%)となっています。

(職場復帰時のこどもの年齢)

【未就学児】



【小学生】



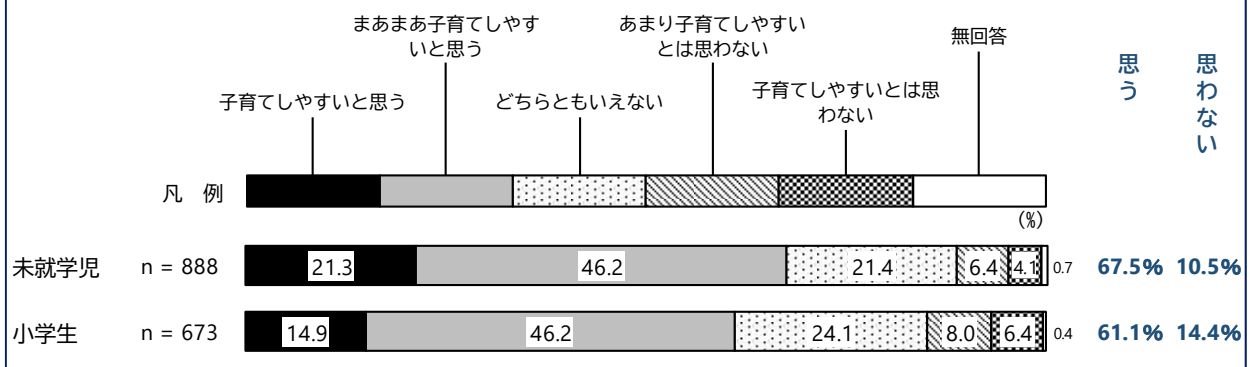
(13) 地域の子育て支援

① 居住地区の子育て環境

- ▶ 居住地区が子育てしやすい環境と感じるかについて、未就学児では、子育てしやすいと『思う』（「子育てしやすいと思う」＋「まあまあ子育てしやすいと思う」）が67.5%、子育てしやすいと『思わない』（「あまり子育てしやすいとは思わない」＋「子育てしやすいとは思わない」）が10.5%となっています。
- ▶ 小学生では、『思う』が61.1%、『思わない』が14.4%となっています。

問 56 [問 40] あなたの住まいの地区は、子育てしやすい環境だと感じますか。

(○は1つ)



【居住区域別／居住地区の子育て環境】

- ▶ 居住地区は子育てしやすい環境と感じるかについて、居住区域別でみると、未就学児・小学生ともに、『思う』の割合がそれぞれ6割台となっています。

【未就学児】

区分	調査数 (件)	子育てしやすいと思う	まあまあ子育てしやすいと思う	どちらともいえない	あまり子育てしやすいとは思わない	子育てしやすいとは思わない	無回答
中心部+南東部	459	21.1	48.4	20.3	5.9	4.4	-
西部	149	21.5	46.3	20.8	6.7	3.4	1.3
北部	277	21.7	42.2	23.5	7.2	4.0	1.4

※着色した数値は、各行の最大値

単位：%

『思う』	『思わない』
69.5	10.3
67.8	10.1
63.9	11.2

【小学生】

区分	調査数 (件)	子育てしやすいと思う	まあまあ子育てしやすいと思う	どちらともいえない	あまり子育てしやすいとは思わない	子育てしやすいとは思わない	無回答
中心部+南東部	372	15.1	45.7	24.2	7.8	6.7	0.5
西部	112	16.1	47.3	26.8	6.3	3.6	-
北部	188	13.8	46.3	22.3	9.6	7.4	0.5

※着色した数値は、各行の最大値

単位：%

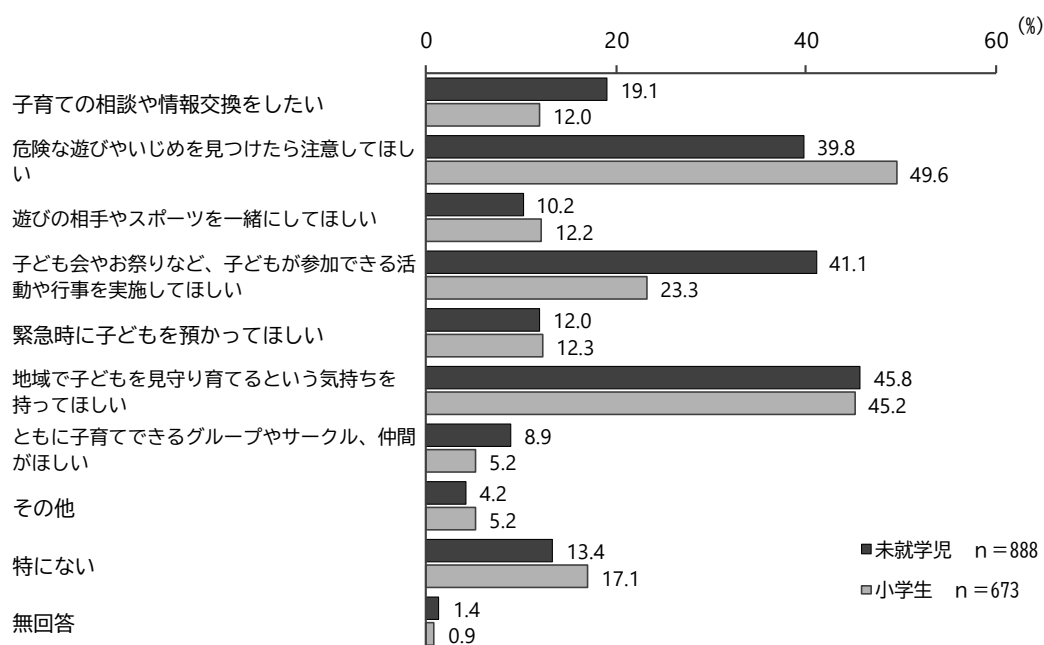
『思う』	『思わない』
60.8	32.0
63.4	33.1
60.1	31.9

Ⅱ 調査結果

② 子育てにあたり、地域に求めること

- ▶子育てにあたり、地域に求めることについて、未就学児では「地域で子どもを見守り育てるという気持ちを持ってほしい」が45.8%と最も高く、次いで「子ども会やお祭りなど、子どもが参加できる活動や行事を実施してほしい」(41.1%)、「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」(39.8%)となっています。
- ▶小学生では、「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」が49.6%と最も高く、次いで「地域で子どもを見守り育てるという気持ちを持ってほしい」(45.2%)、「子ども会やお祭りなど、子どもが参加できる活動や行事を実施してほしい」(23.3%)となっています。

問 57 [問 41] 子育てをするにあたって、地域の方々に求めることはありますか。上位3つまで選んでください。(あてはまる番号3つまで○)

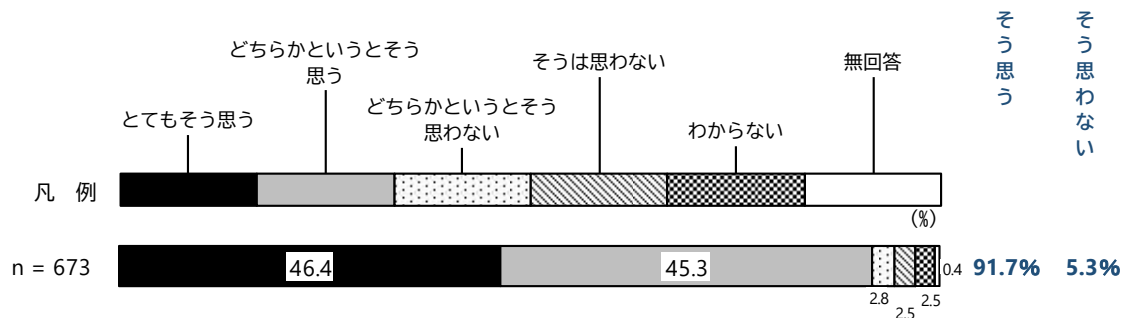


③ 学校がこどもの居場所となっているか（小学生のみ）

- ▶学校は、こどもが安全に安心して過ごすことができる、こどもにとって大切な居場所の1つであると思うかについて、『そう思う』（「とてもそう思う」＋「どちらかというと思う」）の割合が91.7%、『そう思わない』（「どちらかというと思わない」＋「そうは思わない」）の割合が5.3%となっています。

【問 42】 学校は、こどもが安全に安心して過ごすことができる、こどもにとって大切な居場所の1つであると思いますか。

【小学生】



【居住区域別／学校がこどもの居場所となっているか】

- ▶学校は、こどもが安全に安心して過ごすことができる、こどもにとって大切な居場所の1つであると思うかについて、居住区域別でみると、各区域で『そう思う』が9割前後となっています。

【小学生】

区分	調査数（件）	単位：%					無回答	『そう思う』	『そう思わない』
		とてもそう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	そうは思わない	わからない			
中心部＋南東部	372	48.1	43.8	2.2	1.9	3.5	0.5	91.9	4.1
西部	112	47.3	47.3	3.6	1.8	0.0	0.0	94.6	5.4
北部	188	42.6	46.8	3.7	4.3	2.1	0.5	89.4	8.0

※着色した数値は、各行の最大値

(14) 今後の市の取組について

① 郡山市の子育て支援の取組について

- ▶満足している取組について、未就学児では「保育所や幼稚園などの費用軽減」が39.2%と最も高く、次いで「子どもが安心して遊べる施設の整備」(38.6%)、「待機児童の解消」(17.0%)となっています。
- ▶満足していない取組については、「保育所や幼稚園などの費用軽減」が35.9%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立の推進」(24.0%)、「子どもが安心して遊べる施設の整備」(23.4%)となっています。
- ▶重要だと思う取組については、「保育所や幼稚園などの費用軽減」が46.4%と最も高く、次いで「子どもが安心して遊べる施設の整備」(31.3%)、「待機児童の解消」(30.6%)となっています。

問 58 市の子育て支援の取組について、(1)、(2)、(3)それぞれの項目について上位3つまで選んでください。

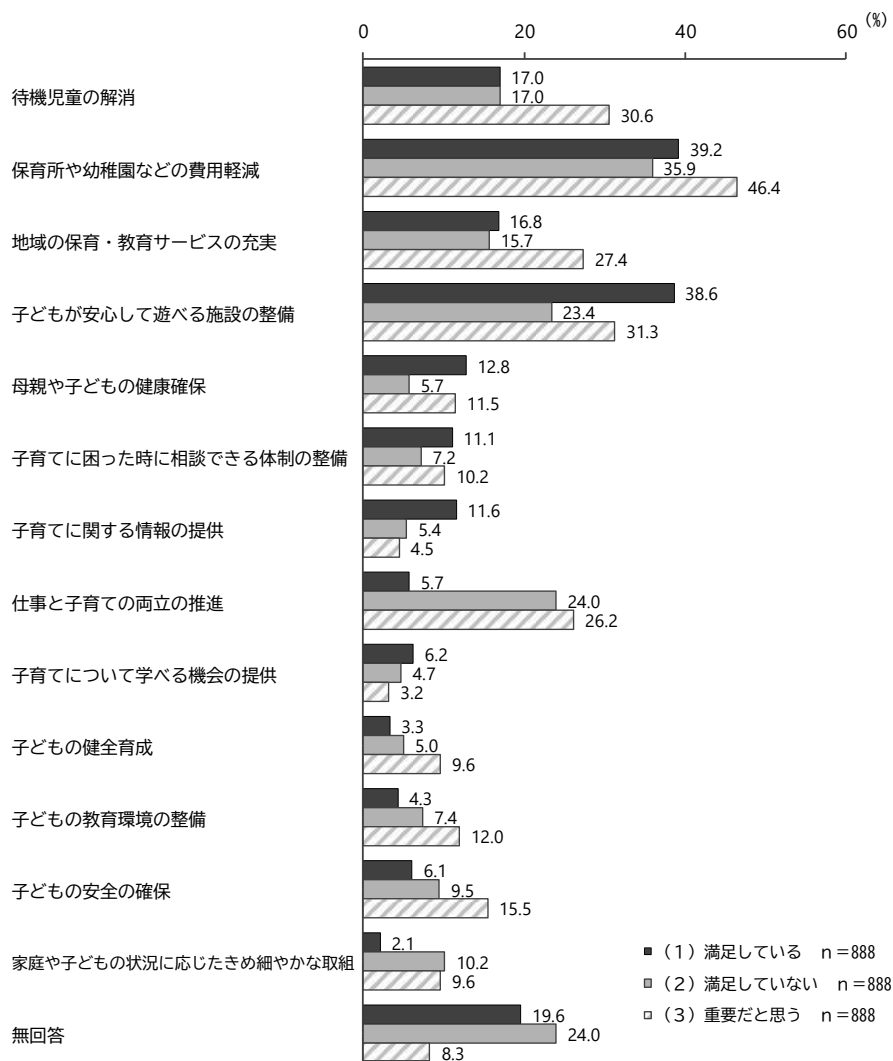
(1)現状として満足している取組

(2)現状として満足していない取組

(3)今後、重要だと思う取組

(それぞれあてはまる項目3つまで○)

【未就学児】



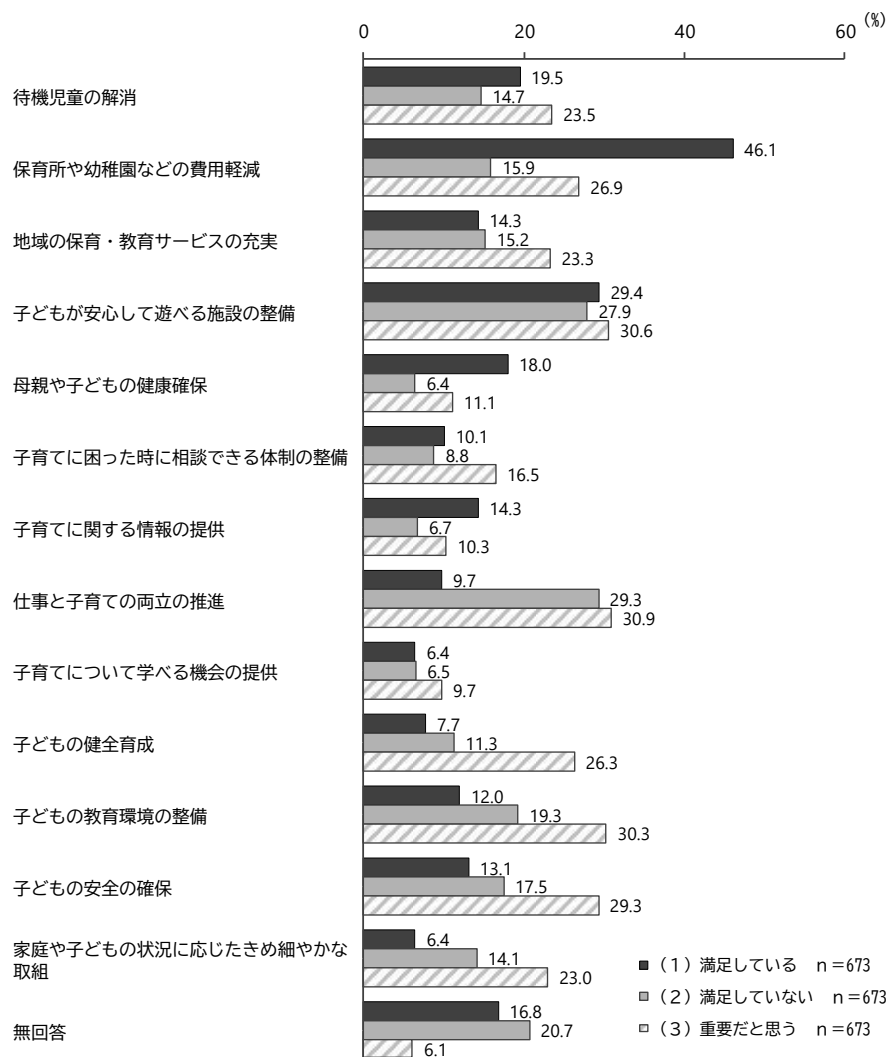
- ▶満足している取組について、小学生では「保育所や幼稚園などの費用軽減」が46.1%と最も高く、次いで「子どもが安心して遊べる施設の整備」(29.4%)、「待機児童の解消」(19.5%)となっています。
- ▶満足していない取組については、「仕事と子育ての両立の推進」が29.3%と最も高く、次いで「子どもが安心して遊べる施設の整備」(27.9%)、「子どもの教育環境の整備」(19.3%)となっています。
- ▶重要だと思う取組については、「仕事と子育ての両立の推進」が30.9%と最も高く、次いで「子どもが安心して遊べる施設の整備」(30.6%)、「子どもの教育環境の整備」(30.3%)となっています。

【問 43】 市の子育て支援の取組について、(1)、(2)、(3)それぞれの項目について上位3つまで選んでください。

- (1)現状として満足している取組
(2)現状として満足していない取組
(3)今後、重要だと思う取組

(それぞれあてはまる項目3つまで○)

【小学生】



Ⅱ 調査結果

② 子育て支援について（自由記述）

▶子育て支援への自由意見について、未就学児では「保育園、幼稚園等の教育・保育施設利用に関して」が73件と最も多く、次いで「遊び場の充実や地域の環境に関して」（68件）、「経済的な支援の充実」（43件）となっています。

問 59 市の子育て支援についてのご意見・ご提案をご自由にお書き下さい。

【未就学児】

No	内容	件数
1	保育園、幼稚園等の教育・保育施設利用に関して	73 件
2	遊び場の充実や地域の環境に関して	68 件
3	経済的な支援の充実	43 件
4	地域における子育て支援の充実	35 件
5	多様な保育サービスの提供	34 件
6	相談に関して	23 件
7	情報提供に関して	22 件
8	放課後児童の居場所づくり	18 件
9	職場環境に関して	17 件
10	幼児教育の充実	15 件
11	医療体制の充実	14 件
12	障がい児施策の充実	7 件
13	その他	39 件
	合計	408 件

※回答者数：283 人（「特になし」などの回答は除く）

※1 人の回答内容が複数の項目に該当する場合は、それぞれの項目に分類している

【主な意見（上位5項目・一部抜粋）】

1. 保育園、幼稚園等の教育・保育施設利用に関して

- 保育料の無償化・時短勤務を3才以上になっても取得できるような体制作りと企業への呼びかけ。
- 子供が病気になり、保育所に行けなくなったときの病児保育をもっと増やしてほしいです。
- 子供が、保育施設に入ってから、3ヶ月以内に就職しないと退園になってしまうのが、厳しいと思う。せめて半年等の期間があると安心して就職先を見つけることができると思う。

2. 遊び場の充実や地域の環境に関して

- 高学年になると、学校に附属の児童クラブに入れないと言われています。学校で預かってくれる仕組みづくりをお願いしたい。
- 暑い日、雨の日でも、気軽に利用できて、のびのび体を動かせる施設を増やしてほしい。
- こども用トイレや授乳スペースが完備された施設や公園、スーパーなどを増やしてほしい。
- 無料で遊べる施設があるのはいいが、綺麗で、小さい子から大きい子まで遊べる大きな施設があると良い。時間の予約も郡山市のLINE等でできると尚良い。(山形市はLINEで予約ができる。)

3. 経済的な支援の充実

- 保育施設の無償化の年齢引き下げを考えていただきたいです。または費用の軽減化も検討していただきたいです。
- 物価高、電気代ガス代の高騰で支出が多い中だったので、子育て応援給付金はとてもありがたかったです。また実施してほしいです。
- 習い事などやらせたいが、費用面で難しい。市で安くやってもらえると助かる。

4. 地域における子育て支援の充実

- 習い事や塾、学校など、子供が自分で通う事ができるように公共交通機関をもっと使いやすくしてほしい。
- 家事代行など信頼できる人に任せられたら助かる。
- 働く母親が、もっと子育てしやすい環境にしてほしい。ニコニコこども館の一時預かり保育の利用時間をもっと長くしてほしい。

5. 多様な保育サービスの提供

- 7時前に開園する幼稚園、保育園を作してほしい。夜勤明けの時(休みの時)、預けられないor早く迎えに行かなければならないという状況をなくしたい。
- 認定こども園がもう少し増えたらいいなと思います。保育所入所の可否がもう少し早く(20日前後より)知れたら嬉しいです。

Ⅱ 調査結果

- ▶子育て支援への自由意見について、小学生では、「遊び場の充実や地域の環境に関して」が73件と最も多く、次いで「経済的な支援の充実」(54件)、「放課後児童の居場所づくり」(35件)となっています。

【問44】 市の子育て支援についてのご意見・ご提案をご自由にお書き下さい。

【小学生】

No	内容	件数
1	遊び場の充実や地域の環境に関して	73 件
2	経済的な支援の充実	54 件
3	放課後児童の居場所づくり	35 件
4	学校に関して	32 件
5	教育施設等の利用に関して	27 件
6	多様な保育サービスの提供	19 件
7	障がい児施策の充実	14 件
8	医療体制の充実	8 件
9	相談に関して	7 件
10	職場環境に関して	7 件
11	現状で満足	1 件
12	その他	36 件
	合計	313 件

※回答者数：217 人（「特になし」などの回答は除く）

※1 人の回答内容が複数の項目に該当する場合は、それぞれの項目に分類している

【主な意見（上位5項目・一部抜粋）】

1. 遊び場の充実や地域の環境に関して

- 安全な通学路の整備。スクールゾーンの整備。
- 登下校時の安全見守りとして、シルバー人材等を利用して、死角が無いくらいの配備をお願いしたい。
- 障がいを持っている子供たちが遊べる場所であったり、同年代の子供たちと接する機会があればよい。

2. 経済的な支援の充実

- 高校生に対しても何らかの支援があると助かります（これから進学で経済的な負担が大きくなってくるので）。
- 多子家庭にもっと支援が欲しいです。
- 給食費の無償化やベビーファースト給付金等。

3. 放課後児童の居場所づくり

- 学校の放課後児童クラブが誰でも、いつでも、利用できるようにして欲しい。
- 就労時間が少なくても放課後児童クラブを利用できるようにしてほしいです。
- 児童クラブについて、定期利用をしていない児童でも長期休暇中に預かりができるというと思います。

4. 学校に関して

- 学校の教員や支援員を増やし、支援の必要なこどもに手厚い支援ができるようにして欲しい。
- 不登校の子供への配慮。
- 小学校に就学後も子供の発達や学力などについて、不安に思う事を気軽に相談できる窓口があると嬉しいです。

5. 教育施設等の利用に関して

- 幼稚園、保育園の先生たちにとても助けてもらいました。先生たちの処遇をもっと厚くしてあげて下さい。先生たちの余裕がより良い保育、教育にもつながると思います。
- 夏休みなど長期休業時の児童クラブの昼食提供の見直しをして欲しい。
- 児童クラブや子育て施設など、施設とあわせて支援していただける人材の確保や質の向上が重要だと思います。子供たちが自宅以外でも快適で健全にすごせる環境があると安心して子育てしながら働くことができるので助かります。

2 【こども・若者に関するアンケート調査】

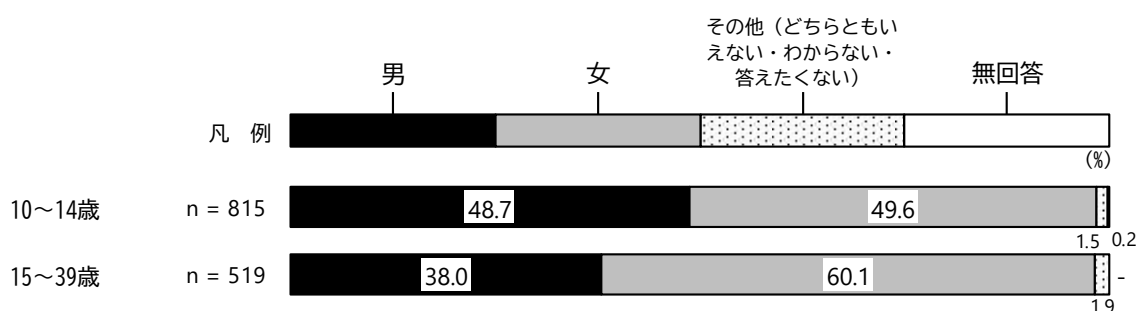
(1) 回答者自身のことやご家族の状況について

① 性別

- ▶回答者の性別について、10～14 歳では、「男」が 48.7%、「女」が 49.6%となっています。
- ▶15～39 歳では、「男」が 38.0%、「女」が 60.1%となっています。

問1 あなたの性別をお答えください。

(○は1つ)



② 年齢

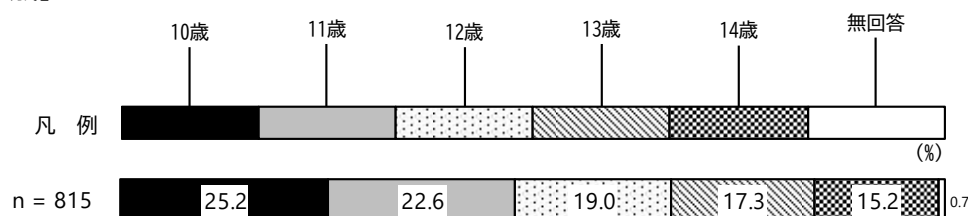
- ▶回答者の年齢について、10～14 歳では、「10 歳」が 25.2%と最も高く、次いで「11 歳」(22.6%)、「12 歳」(19.0%) となっています。
- ▶15～39 歳では、「35 歳～39 歳」が 26.8%と最も高く、次いで「15～19 歳」(21.4%)、「25 歳～29 歳」(19.5%) となっています。

問2 あなたの年齢についてお答えください。

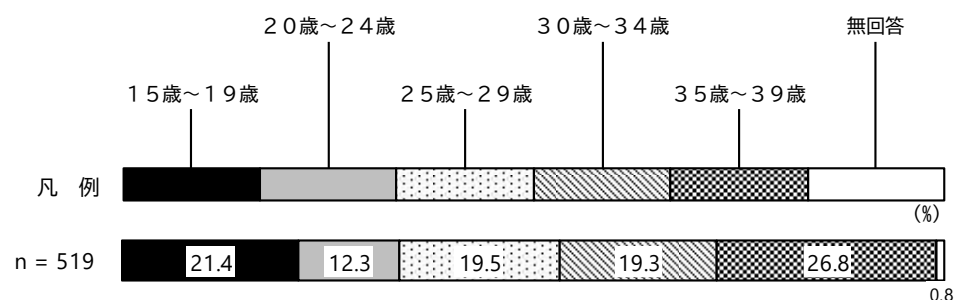
※令和6年4月1日現在の年齢をお答えください。

(数字でご記入ください。)

【10～14 歳】



【15～39 歳】

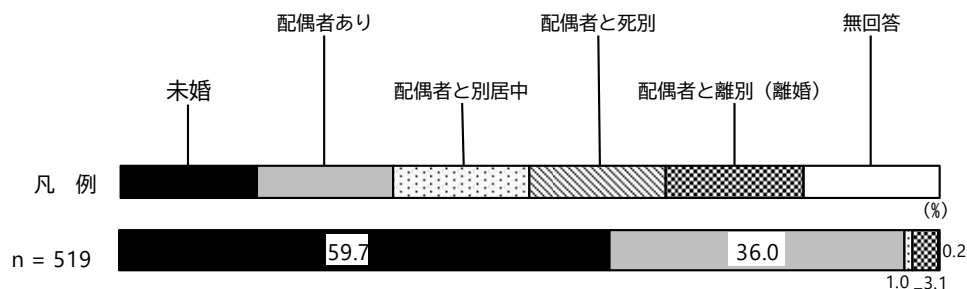


③ 婚姻状況（15～39 歳のみ）

- ▶15～39 歳の回答者の婚姻状況について、「未婚」が 59.7%と最も高く、次いで「配偶者あり」(36.0%)、「配偶者と離別（離婚）」(3.1%)となっています。

【問3】 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」（夫・妻）には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。（○は1つ）

【15～39 歳】



【年代別／婚姻状況】

- ▶婚姻状況について、年代別でみると、年齢が上がるにつれて「未婚」の割合が低くなり、30 歳以降から「配偶者あり」の割合が「未婚」の割合を上回っています。

【15～39 歳】

単位：%

区分	調査数	未婚	配偶者あり	配偶者と別居中	配偶者と死別	配偶者と離別（離婚）	無回答
15歳～19歳	111	98.2	1.8	-	-	-	-
20歳～24歳	64	92.2	7.8	-	-	-	-
25歳～29歳	101	59.4	36.6	2.0	-	2.0	-
30歳～34歳	100	42.0	54.0	-	-	4.0	-
35歳～39歳	139	28.1	63.3	2.2	-	5.8	0.7

※着色した数値は、各行の最大値

II 調査結果

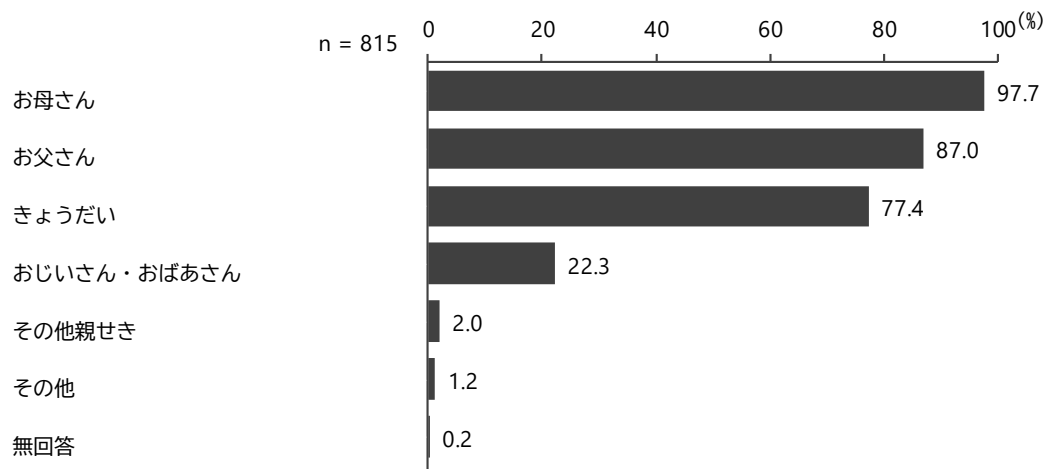
④ 同居家族

- ▶同居している家族について、10～14 歳では「お母さん」が 97.7%と最も高く、次いで「お父さん」(87.0%)、「きょうだい」(77.4%)となっています。
- ▶15～39 歳では「母」が 48.4%と最も高く、次いで「父」(38.9%)、「配偶者・パートナー」(36.8%)となっています。

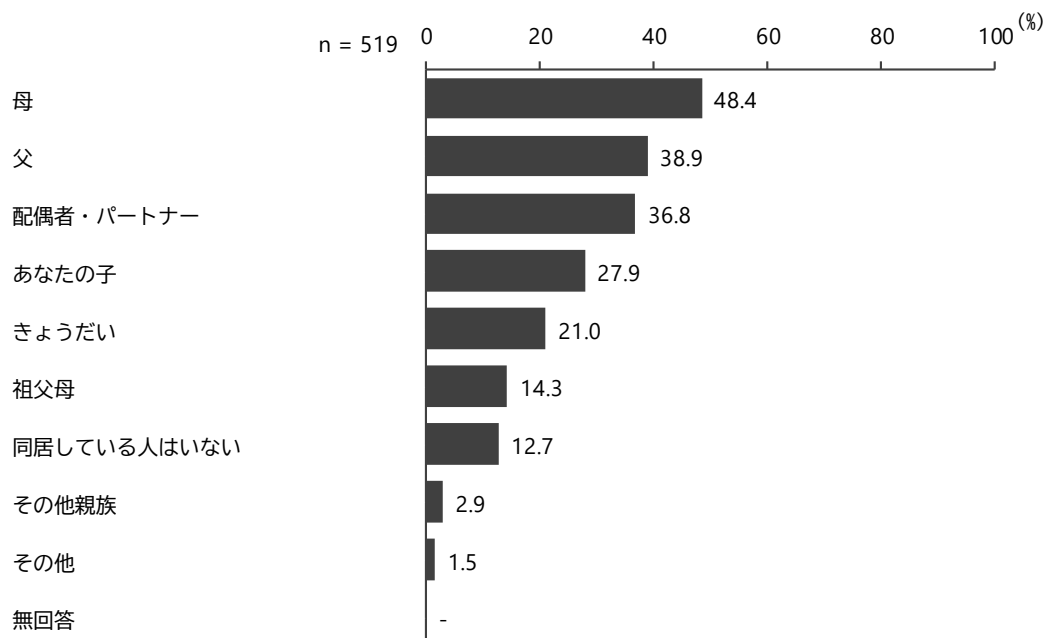
問3 現在、あなたといっしょに住んでいる方をお答えください。(〇はいくつでも)

〔問4〕 現在、あなたと同居している方をお答えください。(〇はいくつでも)

【10～14 歳】



【15～39 歳】



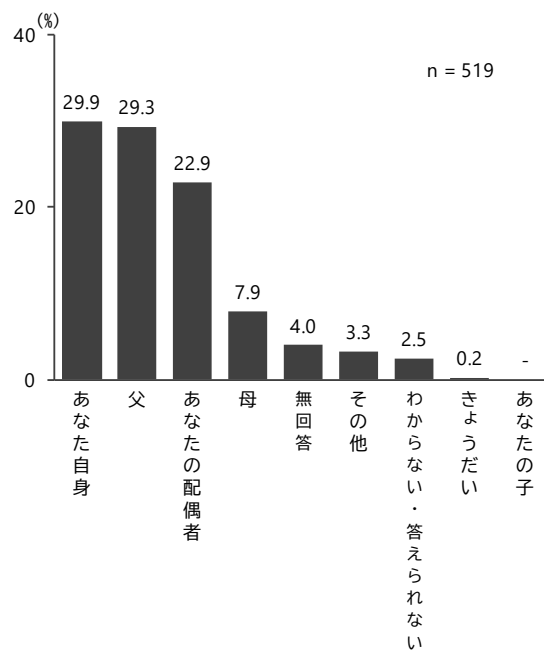
⑤ 生計を支えている方（15～39 歳のみ）

▶15～39 歳の回答者の家の生計を支えている方については、「あなた自身」が 29.9%と最も高く、次いで「父」（29.3%）、「あなたの配偶者」（22.9%）となっています。

[問5] あなたの家の生計について、以下の（1）と（2）のそれぞれにお答えください。

（1）生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。（○は1つ）

【15～39 歳】



II 調査結果

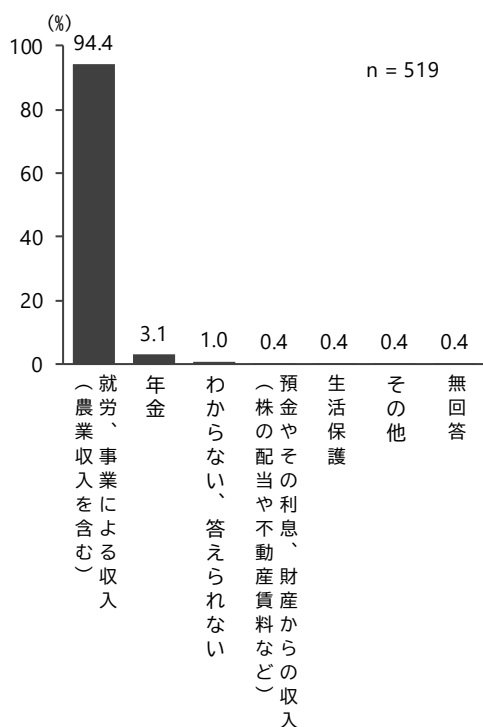
⑥ 主な収入源（15～39 歳のみ）

- ▶対象者の現在の主な収入源について、「就労、事業による収入（農業収入を含む）」が94.4%と最も高く、次いで「年金」（3.1%）、「預金やその利息、財産からの収入（株の配当や不動産資料など）」、「生活保護」（ともに0.4%）となっています。

【問5】 （2）主に生計を支えている方の主な収入源は何ですか。

（○は1つ）

【15～39 歳】



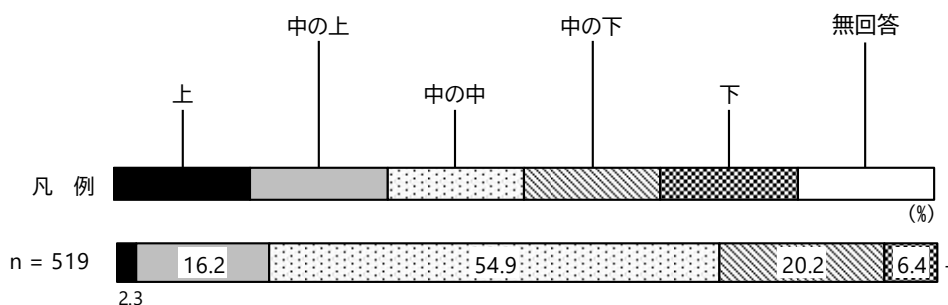
⑦ 生活水準のレベル（15～39 歳のみ）

- ▶対象者の生活水準のレベルについて、「中の中」が54.9%と最も高く、次いで「中の下」（20.2%）、「中の上」（16.2%）となっています。

【問6】 あなたの暮らし向き（衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準）は、世間一般と比べてみて、上から下までのどれにあたるとお考えですか。あなたの実感でお答えください。

（○は1つ）

【15～39 歳】



⑧ 最終学歴（15～39 歳のみ）

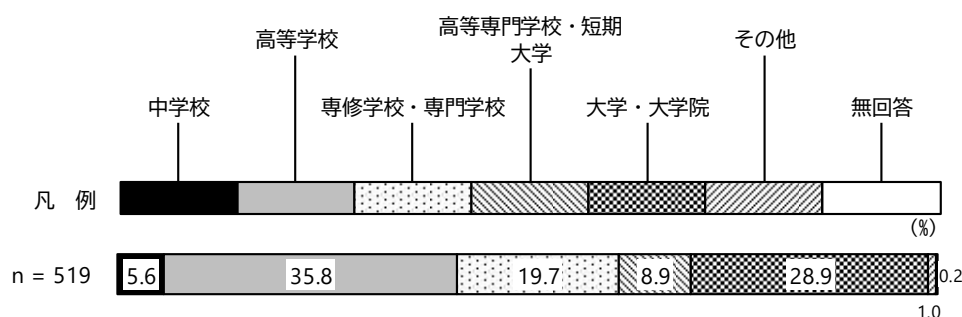
▶対象者の最終学歴若しくは在学中の学校について、「高等学校」が 35.8%と最も高く、次いで「大学・大学院」（28.9%）、「専修学校・専門学校」（19.7%）となっています。

【問 7】 あなたが最後に卒業（中退を含む）した学校はどこですか。

在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。

（○は1つ）

【15～39 歳】



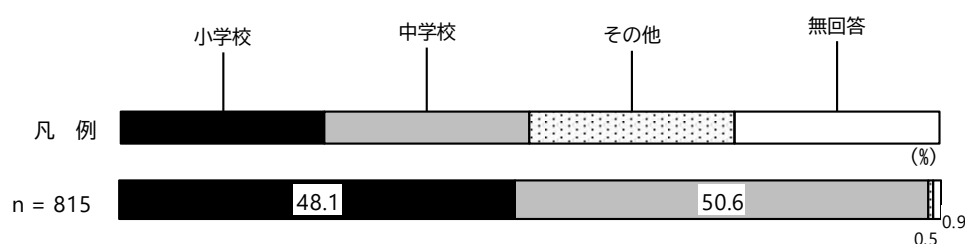
⑨ あなたが在学している学校（10～14 歳のみ）

▶在学している学校について、「小学校」が 48.1%、「中学校」が 50.6%となっています。

問 4 現在、あなたが通っている学校はどれですか。

（○は1つ）

【10～14 歳】



Ⅱ 調査結果

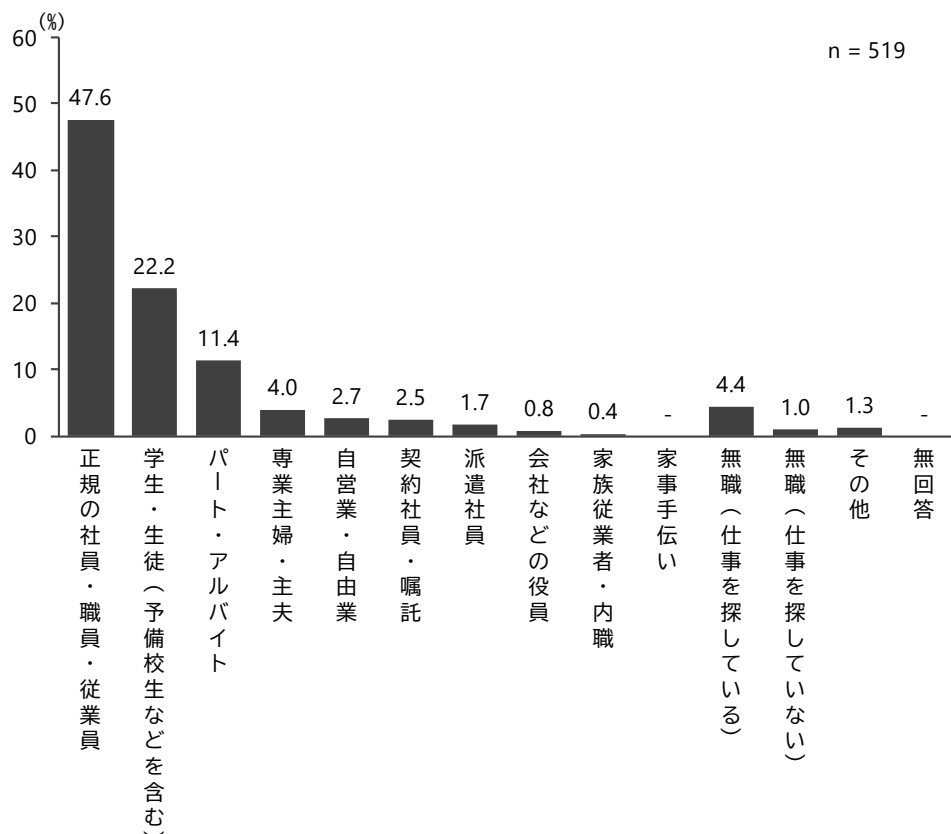
⑩ 現在の仕事（15～39 歳のみ）

- ▶現在の仕事について、「正規の社員・職員・従業員」が47.6%と最も高く、次いで「学生・生徒（予備校生などを含む）」（22.2%）、「パート・アルバイト」（11.4%）となっています。

〔問8〕 あなたの現在の仕事をお答えください。

（○は1つ）

【15～39 歳】



【年代別／現在の仕事】

- ▶現在の仕事について、年代別でみると、“15～19 歳”では「学生・生徒（予備校生などを含む）」の割合が、“20～39 歳”では「正規の社員・職員・従業員」の割合が高くなっています。

【15～39 歳】

区分	調査数（件）	学生・生徒（予備校生などを含む）	パート・アルバイト	派遣社員	契約社員・嘱託	正規の社員・職員・従業員	会社などの役員	自営業・自由業	家族従業者・内職	専業主婦・主夫	家事手伝い	無職（仕事を探している）	無職（仕事を探していない）	その他	無回答
15歳～19歳	111	90.1	1.8	-	-	4.5	-	-	-	-	-	3.6	-	-	-
20歳～24歳	64	18.8	12.5	-	1.6	57.8	-	-	-	-	-	6.3	-	3.1	-
25歳～29歳	101	2.0	11.9	4.0	3.0	67.3	-	4.0	1.0	2.0	-	3.0	1.0	1.0	-
30歳～34歳	100	-	14.0	4.0	3.0	62.0	-	4.0	-	7.0	-	5.0	-	1.0	-
35歳～39歳	139	-	15.8	0.7	4.3	54.0	2.9	3.6	0.7	8.6	-	4.3	2.9	2.2	-

※着色した数値は、各行の最大値

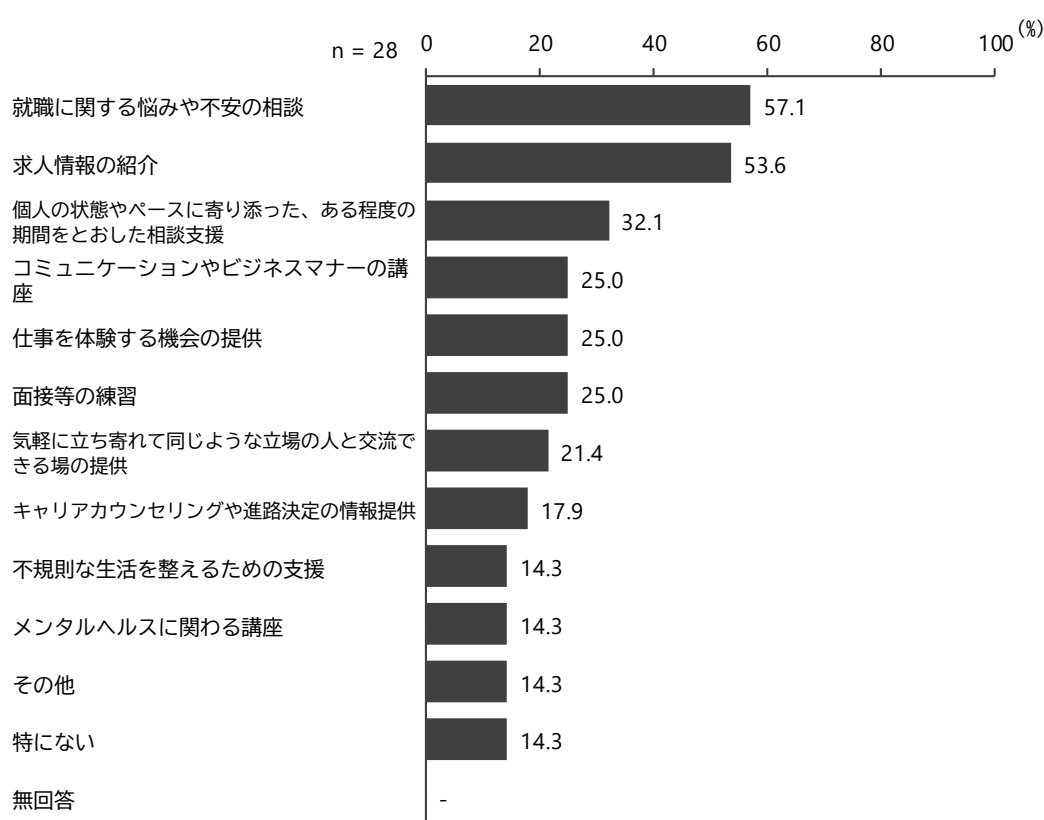
⑪ 利用したい就労支援（15～39 歳のみ）

▶利用したい就労支援について、「就職に関する悩みや不安の相談」が 57.1%と最も高く、次いで「求人情報の紹介」（53.6%）、「個人の状態やペースに寄り添った、ある程度の期間をととした相談支援」（32.1%）となっています。

【問 8 で「11 無職（仕事を探している）」、「12 無職（仕事を探していない）」を選んだ方のみお答えください。】

【問 9】 就労することに関して、あなたはどのような支援であれば利用してみたいと思いますか。（〇はいくつでも）

【15～39 歳】



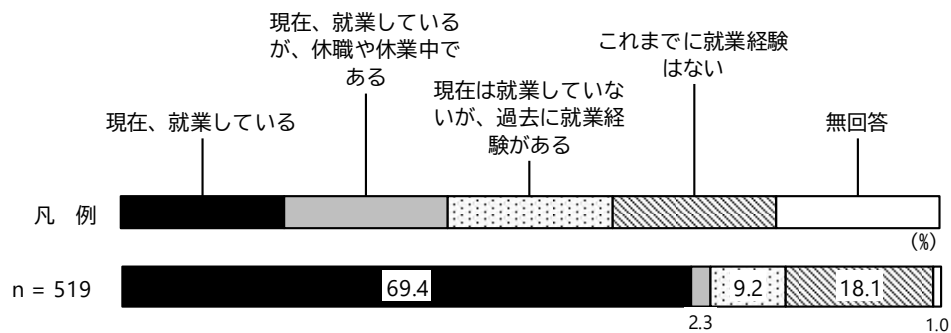
Ⅱ 調査結果

⑫ 就業経験（15～39 歳のみ）

▶対象者の就業経験について、「現在、就業している」が 69.4%と最も高く、次いで「これまでに就業経験はない」（18.1%）、「現在は就業していないが、過去に就業経験がある」（9.2%）となっています。

[問 10] あなたの就業経験（仕事に就いて働く経験）についてお答えください。（パート・アルバイトを含む）（○は1つ）

【15～39 歳】



(2) 日頃の意識と生活について

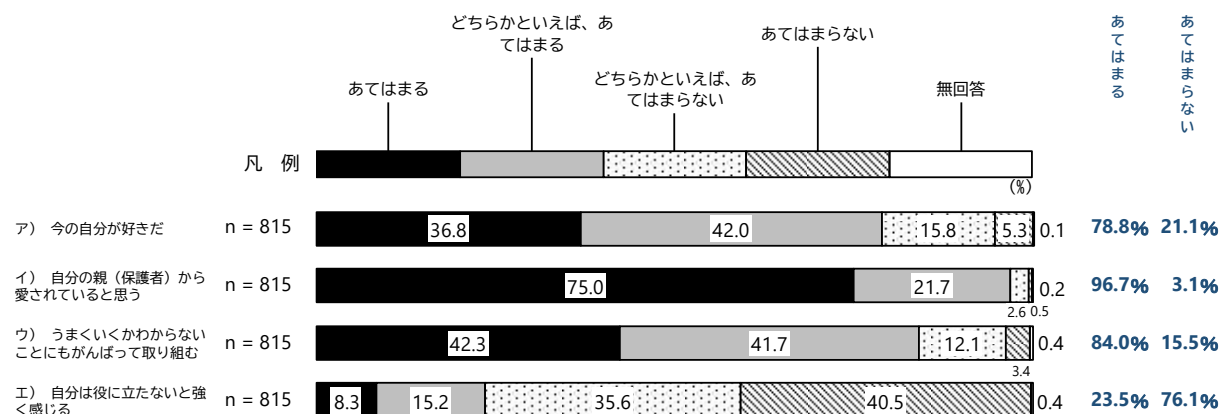
① 自己認識

▶ 自己認識について、10～14 歳では『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）の割合は、“イ）自分の親（保護者）から愛されていると思う” が 96.7% と最も高く、『あてはまらない』（「あてはまらない」＋「どちらかといえば、あてはまらない」）の割合は“エ）自分は役に立たないと強く感じる” が 76.1% と最も高くなっています。

問5 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。

（それぞれ○は1つ）

【10～14 歳】



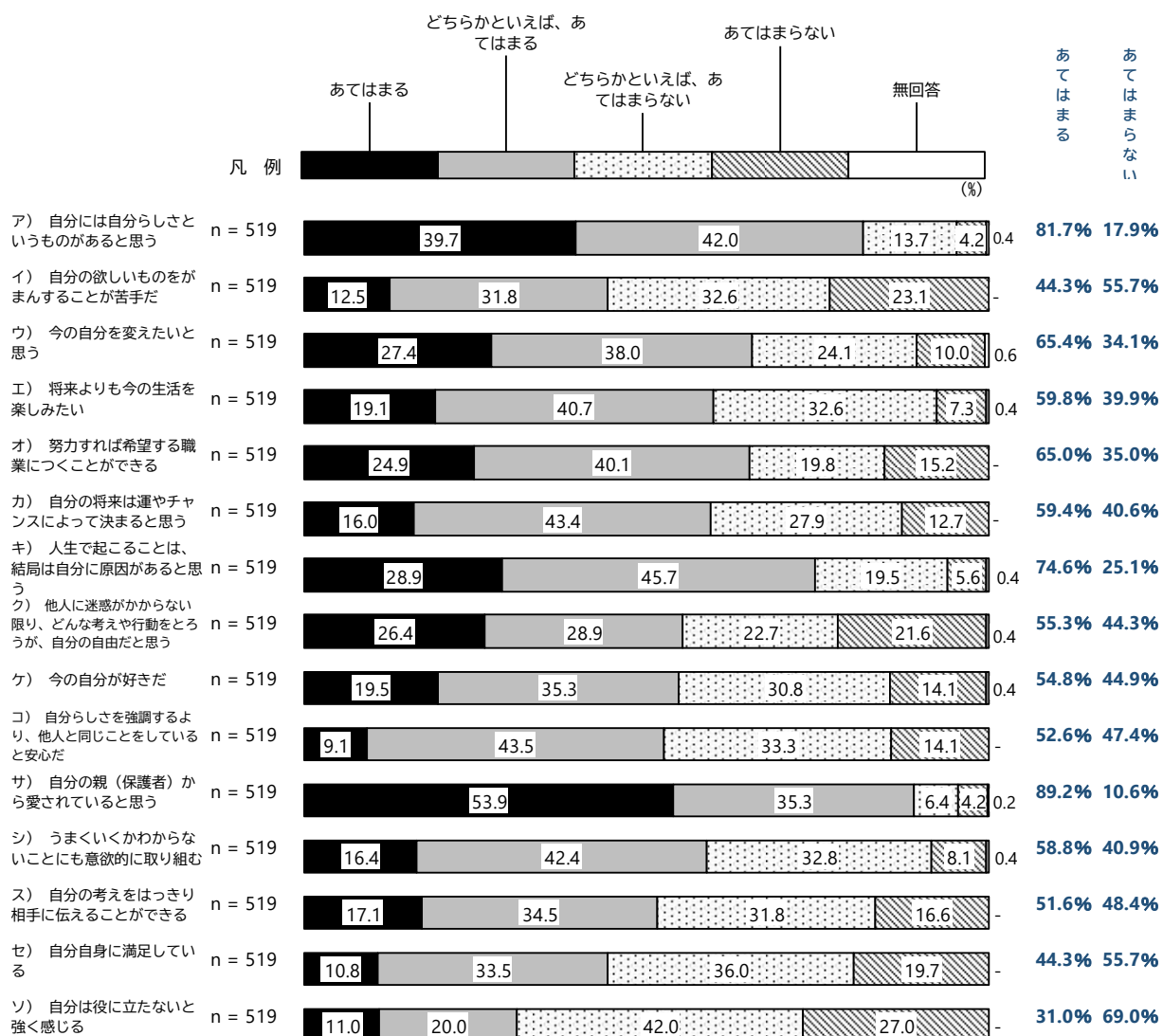
II 調査結果

▶自己認識について、15～39 歳では『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）の割合は“サ）自分の親（保護者）から愛されていると思う”が 89.2%と最も高く、『あてはまらない』（「あてはまらない」＋「どちらかといえば、あてはまらない」）の割合は“ソ）自分は役に立たないと強く感じる”が 69.0%と最も高くなっています。

【問 11】 あなた自身について、次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ○は1つ）

【15～39 歳】



② 現在の幸福感

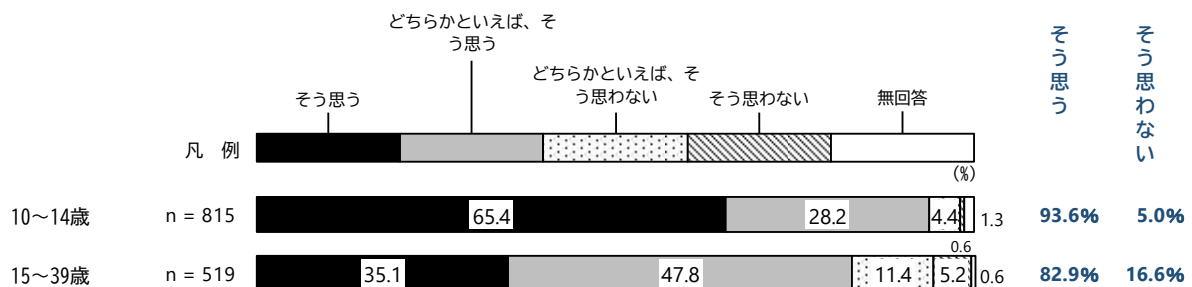
- ▶ 今、幸せだと思うかについて、10～14歳では『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）が93.6%、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）が5.0%となっています。
- ▶ 15～39歳では『そう思う』が82.9%、『そう思わない』が16.6%となっています。

問6 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。

（○は1つ）

【問12】 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。

（○は1つ）



【性別／現在の幸福感】

- ▶ 今、幸せだと思うかについて、10～14歳・15～39歳ともに、性別による大きな差はありません。

【10～14歳】

区分	調査数 (件)	単位：%				
		そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	無回答
男性	397	67.0	26.2	5.0	0.5	1.3
女性	404	65.1	29.2	4.0	0.5	1.2
その他	12	25.0	66.7	-	8.3	-

※着色した数値は、各行の最大値

【15～39歳】

区分	調査数 (件)	単位：%				
		そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	無回答
男性	197	34.5	48.2	9.6	6.6	1.0
女性	312	36.2	46.8	12.8	3.8	0.3
その他	10	10.0	70.0	-	20.0	-

※着色した数値は、各行の最大値

Ⅱ 調査結果

【年齢・年代別／現在の幸福感】

- ▶ 今、幸せだと思うかについて、年齢・年代別でみると、10～14 歳・15～39 歳ともに、年齢が上がるにつれて『そう思う』の割合が減少する傾向があります。

【10～14 歳】

区分	調査数 (件)	そう 思う	ばど ち ら か と い え	ばど ち ら か と い え	そう 思 わ ない	無 回 答	単位：％	
							そう 思う	そう 思 わ ない
10歳	206	73.8	21.4	3.9	0.5	0.5	95.2	4.4
11歳	184	75.0	19.0	3.3	-	2.7	94.0	3.3
12歳	155	63.2	29.7	3.9	1.9	1.3	92.9	5.8
13歳	141	56.7	36.2	5.7	-	1.4	92.9	5.7
14歳	125	51.2	41.6	6.4	0.8	-	92.8	7.2

※着色した数値は、各行の最大値

【15～39 歳】

区分	調査数 (件)	そう 思う	ばど ち ら か と い え	ばど ち ら か と い え	そう 思 わ ない	無 回 答	単位：％	
							そう 思う	そう 思 わ ない
15歳～19歳	111	43.2	42.3	9.0	4.5	0.9	85.5	13.5
20歳～24歳	64	35.9	48.4	10.9	4.7	-	84.3	15.6
25歳～29歳	101	30.7	54.5	10.9	4.0	-	85.2	14.9
30歳～34歳	100	32.0	50.0	9.0	8.0	1.0	82.0	17.0
35歳～39歳	139	33.1	46.0	15.8	4.3	0.7	79.1	20.1

※着色した数値は、各行の最大値

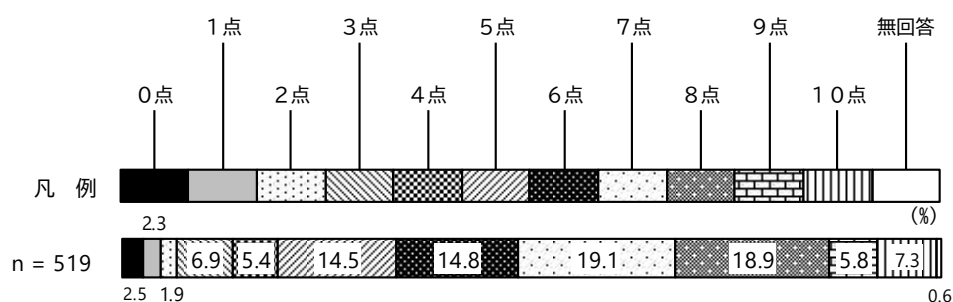
③ 生活の満足度（15～39 歳のみ）

▶生活の満足度については、「7点」が19.1%と最も高く、次いで「8点」（18.9%）、「6点」（14.8%）となっています。なお、平均点は6.23点となっています。

【問 13】 あなたは、あなたの生活にどのくらい満足していますか。

（「まったく満足していない」を0点、「十分に満足している」を10点として、1つに○）

【15～39 歳】



【年代別／生活の満足度】

▶生活の満足度について、年代別で平均点をみると、“15 歳～19 歳” がわずかに高いものの、20 歳以降は6点前後となっています。

【15～39 歳】

単位：%														平均点
区分	調査数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	
15歳～19歳	111	1.8	0.9	0.9	4.5	7.2	12.6	9.9	17.1	17.1	9.0	17.1	1.8	6.9
20歳～24歳	64	1.6	1.6	1.6	6.3	4.7	12.5	15.6	21.9	18.8	9.4	6.3	－	6.5
25歳～29歳	101	3.0	1.0	3.0	7.9	5.9	18.8	15.8	21.8	15.8	4.0	2.0	1.0	5.8
30歳～34歳	100	4.0	5.0	3.0	8.0	5.0	14.0	14.0	18.0	23.0	2.0	4.0	－	5.8
35歳～39歳	139	2.2	2.2	1.4	7.9	4.3	14.4	17.3	18.7	19.4	5.8	6.5	－	6.2

※着色した数値は、各行の最大値

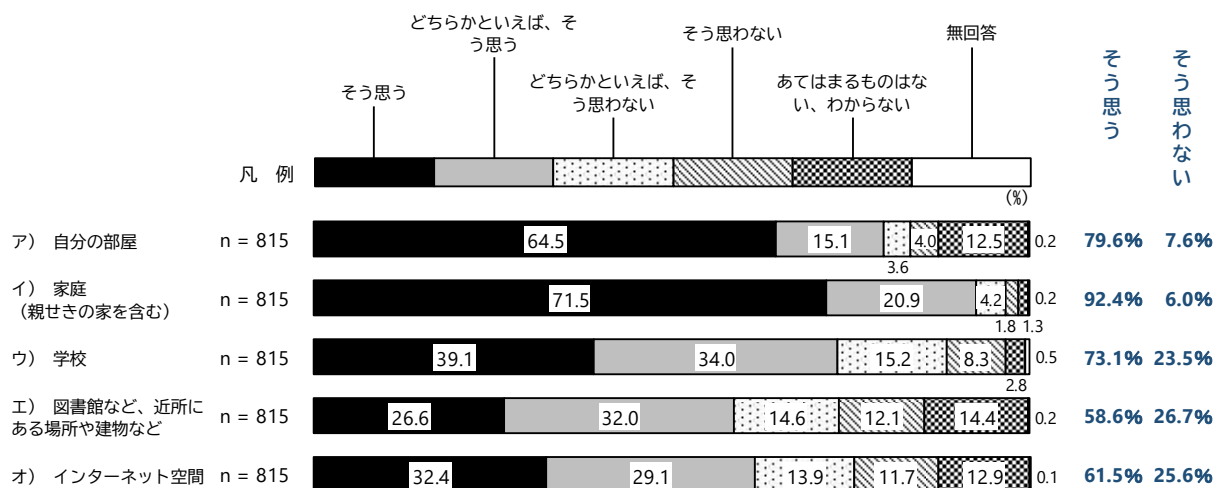
II 調査結果

④ 居場所の有無

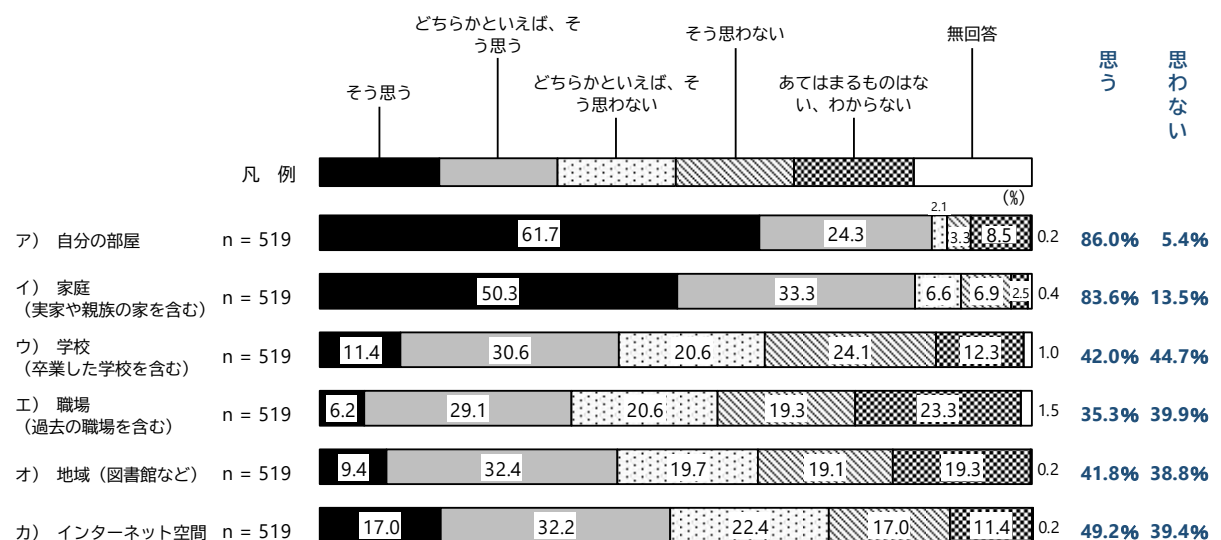
- ▶ 居場所について、10～14 歳では『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、“イ）家庭（親せきの家を含む）” が 92.4% と最も高く、『思わない』（「思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）という回答者の割合は“エ）図書館や公民館や公園など、現在住んでいる近所にある場所や建物など” が 26.7% となっています。
- ▶ 15～39 歳では『そう思う』という回答者は、“ア）自分の部屋” が 86.0% と最も高く、『そう思わない』という回答者の割合は“ウ）学校（卒業した学校を含む）” が 44.7% となっています。

問7 [問 14] 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所など）になっていますか。（それぞれ○は1つ）

【10～14 歳】



【15～39 歳】

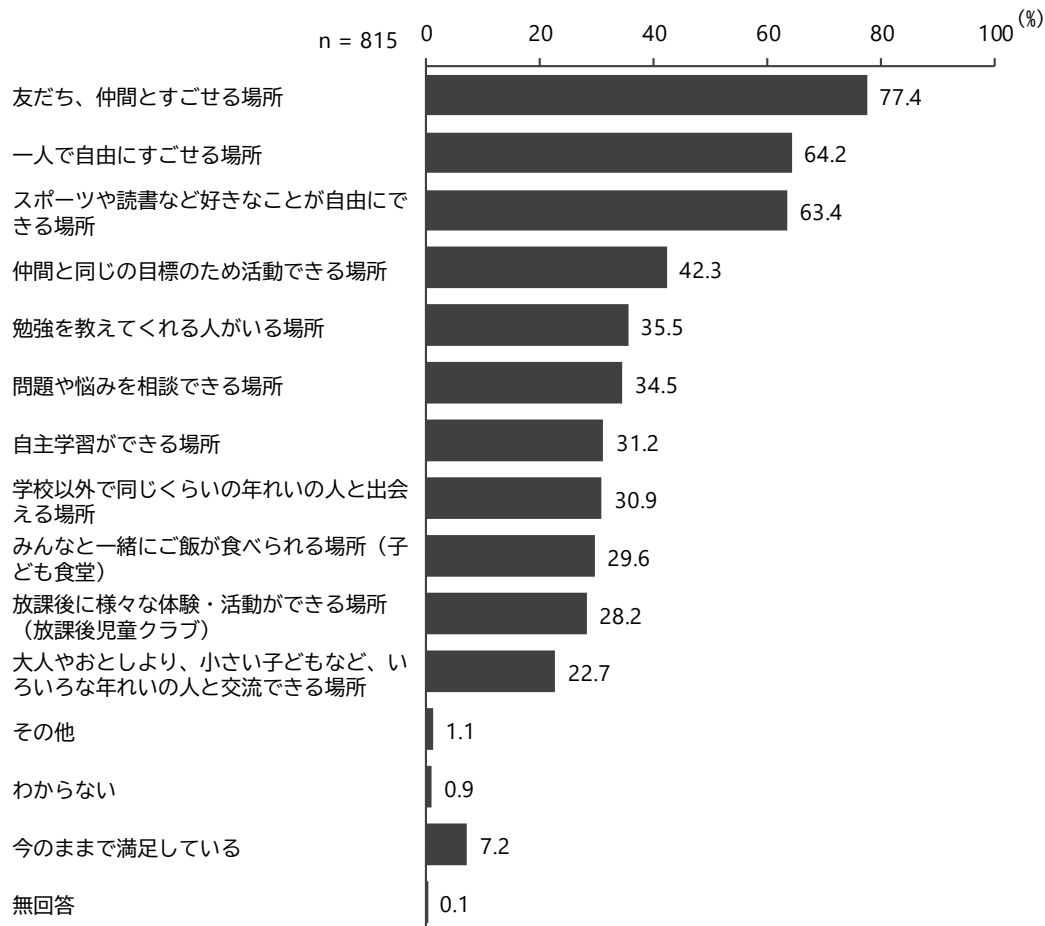


⑤ 希望する居場所（10～14 歳のみ）

▶希望する居場所について、「友だち、仲間とすごせる場所」が 77.4%と最も高く、次いで「一人で自由にすごせる場所」（64.2%）、「スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所」（63.4%）となっています。

問8 あなたは、どのような“居場所”があればいいと思いますか。（それぞれ○は1つ）

【10～14 歳】



Ⅱ 調査結果

【年齢別／希望する居場所】

- ▶希望する居場所について、年齢別でみると、“10～12 歳”では「友だち、仲間とすごせる場所」が最も高く、“13～14 歳”では「一人で自由にすごせる場所」が最も高くなっています。また、年齢が上がるにつれ、「自主学習ができる場所」の割合が高くなっています。

【10～14 歳】

単位：％

区分	調査数（件）	一人で自由にすごせる場所	友達、仲間とすごせる場所	学校以外で出会う場所	学校の人との交流できる場所	大人やおとしより、小さい子どもなど、いろいろな年齢の人と交流できる場所	みんなと一緒にご飯が食べられる場所（子ども食堂）	放課後に様々な体験・活動ができる場所（放課後児童クラブ）	自主学習ができる場所	勉強を教えてくれる人がいる場所	スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所	仲間と同じ目標のため活動できる場所	問題や悩みを相談できる場所	その他	わからない	今のままで満足している	無回答
10歳	206	47.1	78.6	30.1	30.6	33.5	34.0	19.9	33.0	67.0	41.3	33.0	1.5	-	8.7	-	
11歳	184	62.5	79.3	34.8	26.6	39.1	32.6	28.3	39.1	66.8	50.5	40.8	0.5	1.1	7.1	-	
12歳	155	61.9	74.8	30.3	18.7	27.1	25.2	32.3	33.5	58.7	37.4	31.6	1.3	1.9	8.4	-	
13歳	141	78.0	76.6	27.0	23.4	24.1	22.7	39.7	38.3	63.1	41.1	34.8	0.7	-	7.1	-	
14歳	125	81.6	77.6	32.8	8.8	19.2	23.2	44.0	33.6	60.0	40.8	32.0	1.6	1.6	4.0	-	

※着色した数値は、各行の最大値

⑥ 居場所となっている場所（自由記述）（10～14 歳のみ）

- ▶ 居場所となっている場所の自由意見については、「自分の家、家庭」が 538 件と最も多く、次いで「学校」（154 件）、「自分の部屋」（115 件）となっています。
- ▶ 「その他」の意見としては、「友達と過ごせる場所」、「親戚の家」、「放課後児童クラブ」、「駄菓子屋」、「子ども食堂」、「トイレ」等の回答がありました。

問9 今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）になっている場所を教えてください。

【10～14 歳】

No	内容	件数
1	自分の家、家庭	538 件
2	学校	154 件
3	自分の部屋	115 件
4	祖父母の家	21 件
5	部活、塾、習い事など	20 件
6	インターネット	15 件
7	公園	10 件
8	図書館	9 件
9	公民館	4 件
10	その他	49 件
	合計	935 件

※回答者数：688 人（「特にない」などの回答は除く）

※1 人の回答内容が複数の項目に該当する場合は、それぞれの項目に分類している

Ⅱ 調査結果

⑦ 孤独感の有無

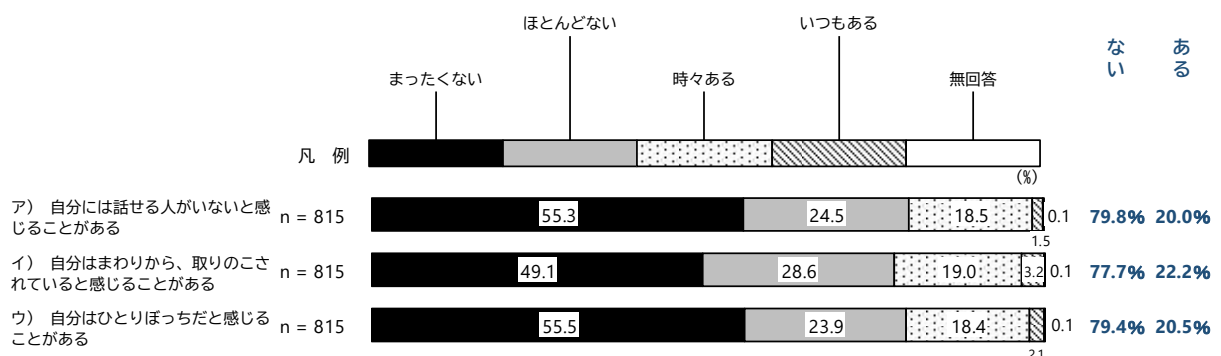
- ▶ 孤独感について、10～14 歳では、『ない』（「まったくない」＋「ほとんどない」）の割合は、“ア）自分には話せる人がいないと感じることがある”が 79.8%と最も高く、『ある』（「いつもある」＋「時々ある」）の割合は“イ）自分はまわりから、取りのこされていると感じることがある”が 22.2%と最も高くなっています。
- ▶ 15～39 歳では、『ない』（「決してない」＋「ほとんどない」）の割合は、“ウ）自分はほかの人たちから孤立していると感じることがある”が 58.2%と最も高く、『ある』（「常にある」＋「時々ある」）の割合は、“ア）「自分には人とのつきあいがない」と感じる”が 52.2%と最も高くなっています。

問 10 以下のア）～ウ）の項目について、あなたはどのくらいよく感じていますか。

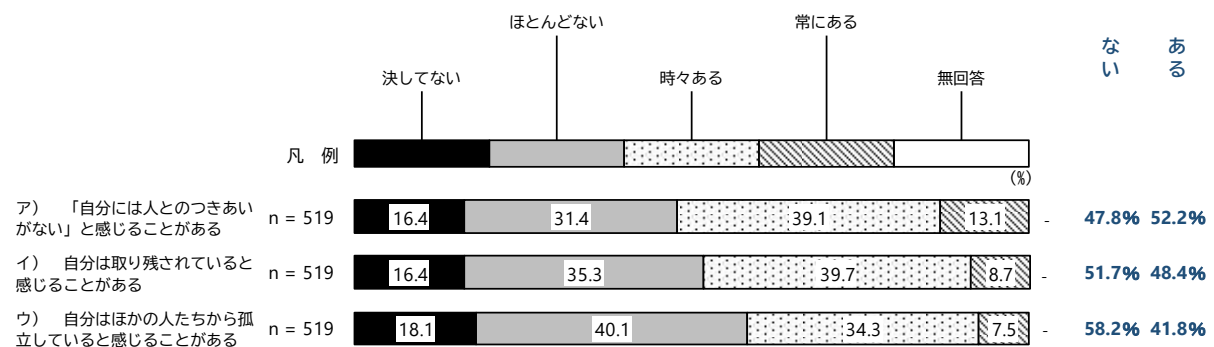
（それぞれ○は1つ）

【問 15】 次について、あなたはどのくらいの頻度で感じますか。（それぞれ○は1つ）

【10～14 歳】



【15～39 歳】



【年齢別／孤独感の有無 ア) 自分には話せる人がいないと感じることがある】

- ▶ “ア) 自分には話せる人がいないと感じることがある” について、10～14 歳を年齢別でみると、『ある』は“10～11 歳”では1割台、12 歳以上では2割台となっています。

【10～14 歳】

区分	調査数 (件)	まったく ない	ほとん どない	時々 ある	いつも ある	無回 答	単位：％	
							『ない』	『ある』
10歳	206	65.0	21.8	11.7	1.5	-	86.8	13.2
11歳	184	54.9	28.8	14.1	2.2	-	83.7	16.3
12歳	155	54.8	20.0	23.2	1.9	-	74.8	25.1
13歳	141	47.5	24.8	26.2	1.4	-	72.3	27.6
14歳	125	48.0	28.8	22.4	-	0.8	76.8	22.4

※着色した数値は、各行の最大値

【年齢別／孤独感の有無 イ) 自分はまわりから、取りのこされていると感じることがある】

- ▶ “イ) 自分はまわりから、取りのこされていると感じることがある” について、10～14 歳を年齢別でみると、『ある』は“10～11 歳”では1割台、12 歳以上では2割～3割となっています。

【10～14 歳】

区分	調査数 (件)	まったく ない	ほとん どない	時々 ある	いつも ある	無回 答	単位：％	
							『ない』	『ある』
10歳	206	59.7	23.8	14.1	2.4	-	83.5	16.5
11歳	184	50.5	30.4	17.4	1.6	-	80.9	19.0
12歳	155	41.9	33.5	21.9	2.6	-	75.4	24.5
13歳	141	43.3	25.5	26.2	5.0	-	68.8	31.2
14歳	125	43.2	32.0	18.4	5.6	0.8	75.2	24.0

※着色した数値は、各行の最大値

【年齢別／孤独感の有無 ウ) 自分はひとりぼっちだと感じることがある】

- ▶ “ウ) 自分はひとりぼっちだと感じることがある” について、10～14 歳を年齢別でみると、『ある』は“10～11 歳”では1割台、12 歳以上では2割台となっています。

【10～14 歳】

区分	調査数 (件)	まったく ない	ほとん どない	時々 ある	いつも ある	無回 答	単位：％	
							『ない』	『ある』
10歳	206	65.5	18.9	13.1	2.4	-	84.4	15.5
11歳	184	58.7	26.1	14.1	1.1	-	84.8	15.2
12歳	155	50.3	25.8	21.9	1.9	-	76.1	23.8
13歳	141	50.4	21.3	26.2	2.1	-	71.7	28.3
14歳	125	44.8	30.4	20.8	3.2	0.8	75.2	24.0

※着色した数値は、各行の最大値

II 調査結果

【年代別／孤独感の有無 ア）「自分には人とのつきあいがいい」と感じることもある】

- ▶ “ア）「自分には人とのつきあいがいい」と感じることもある”について、15～39 歳を年代別でみると、『ある』の割合は年齢が上がるにつれ概ね高くなる傾向があり、最も高い“35～39 歳”で 61.9%となっています。

【15～39 歳】

区分	調査数 (件)	決して ない	ほとん どない	時々 ある	常に ある	無回 答	単位：％	
							『ない』	『ある』
15歳～19歳	111	26.1	42.3	24.3	7.2	-	68.4	31.5
20歳～24歳	64	10.9	34.4	43.8	10.9	-	45.3	54.7
25歳～29歳	101	19.8	27.7	36.6	15.8	-	47.5	52.4
30歳～34歳	100	12.0	29.0	43.0	16.0	-	41.0	59.0
35歳～39歳	139	11.5	26.6	47.5	14.4	-	38.1	61.9

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／孤独感の有無 イ）自分は取り残されていると感じることがある】

- ▶ “イ）自分は取り残されていると感じることがある”について、15～39 歳を年代別でみると、『ある』の割合は年齢が上がるにつれ概ね高くなる傾向があり、最も高い“30～34 歳”で 58.0%となっています。

【15～39 歳】

区分	調査数 (件)	決して ない	ほとん どない	時々 ある	常に ある	無回 答	単位：％	
							『ない』	『ある』
15歳～19歳	111	22.5	40.5	33.3	3.6	-	63.0	36.9
20歳～24歳	64	14.1	48.4	28.1	9.4	-	62.5	37.5
25歳～29歳	101	16.8	32.7	37.6	12.9	-	49.5	50.5
30歳～34歳	100	10.0	32.0	49.0	9.0	-	42.0	58.0
35歳～39歳	139	16.5	28.8	46.0	8.6	-	45.3	54.6

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／孤独感の有無 ウ）自分はほかの人たちから孤立していると感じることがある】

- ▶ “ウ）自分はほかの人たちから孤立していると感じることがある”について、15～39 歳を年代別でみると、『ある』の割合は年齢が上がるにつれ概ね高くなる傾向があり、最も高い“30～34 歳”で 52.0%となっています。

【15～39 歳】

区分	調査数 (件)	決して ない	ほとん どない	時々 ある	常に ある	無回 答	単位：％	
							『ない』	『ある』
15歳～19歳	111	23.4	44.1	30.6	1.8	-	67.5	32.4
20歳～24歳	64	20.3	43.8	29.7	6.3	-	64.1	36.0
25歳～29歳	101	18.8	41.6	28.7	10.9	-	60.4	39.6
30歳～34歳	100	11.0	37.0	40.0	12.0	-	48.0	52.0
35歳～39歳	139	17.3	36.0	40.3	6.5	-	53.3	46.8

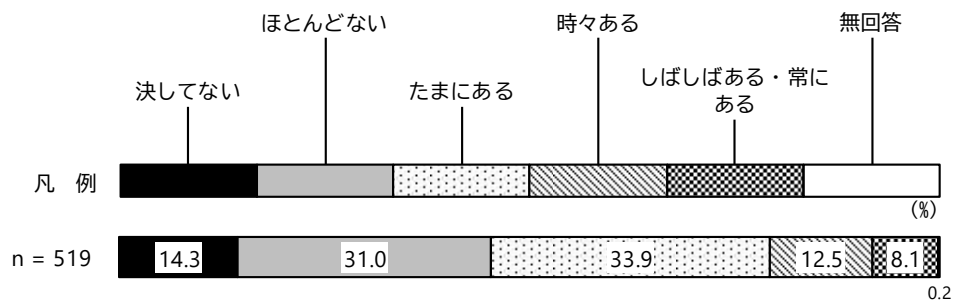
※着色した数値は、各行の最大値

⑧ 孤独であると感じる程度（15～39 歳のみ）

▶対象者の孤独であると感じる程度については、「たまにある」が 33.9%と最も高く、次いで「ほとんどない」（31.0%）、「決してない」（14.3%）となっています。

[問 16] あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。（○は1つ）

【15～39 歳】



II 調査結果

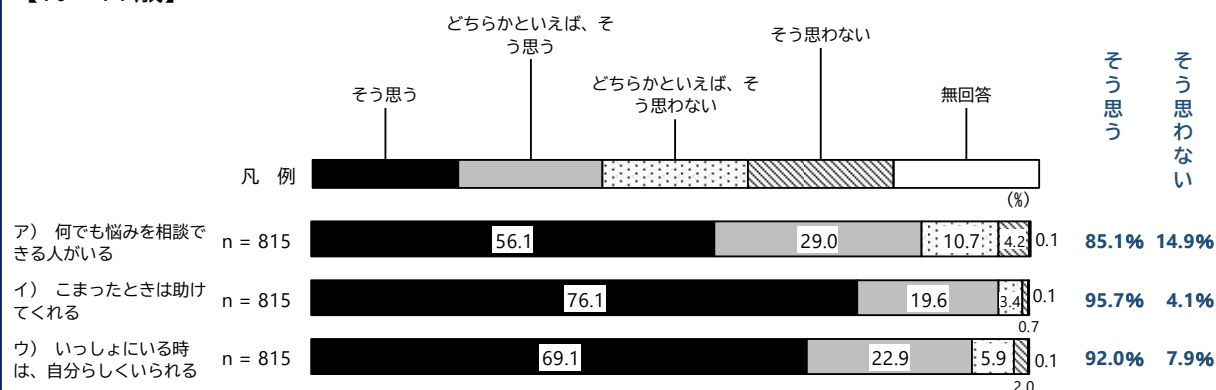
⑨ 家族・親族との関わり方

- ▶ 家族・親族との関わり方について、10～14歳では『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）の割合は、「イ）こまったときは助けてくれる」が95.7%と最も高く、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）の割合は「ア）何でも悩みを相談できる人がいる」が14.9%と最も高くなっています。
- ▶ 15～39歳では『そう思う』の割合は「エ）困ったときは助けてくれる」が92.3%と最も高く、『そう思わない』の割合は、「イ）何でも悩みを相談できる人がいる」が26.2%と最も高くなっています。

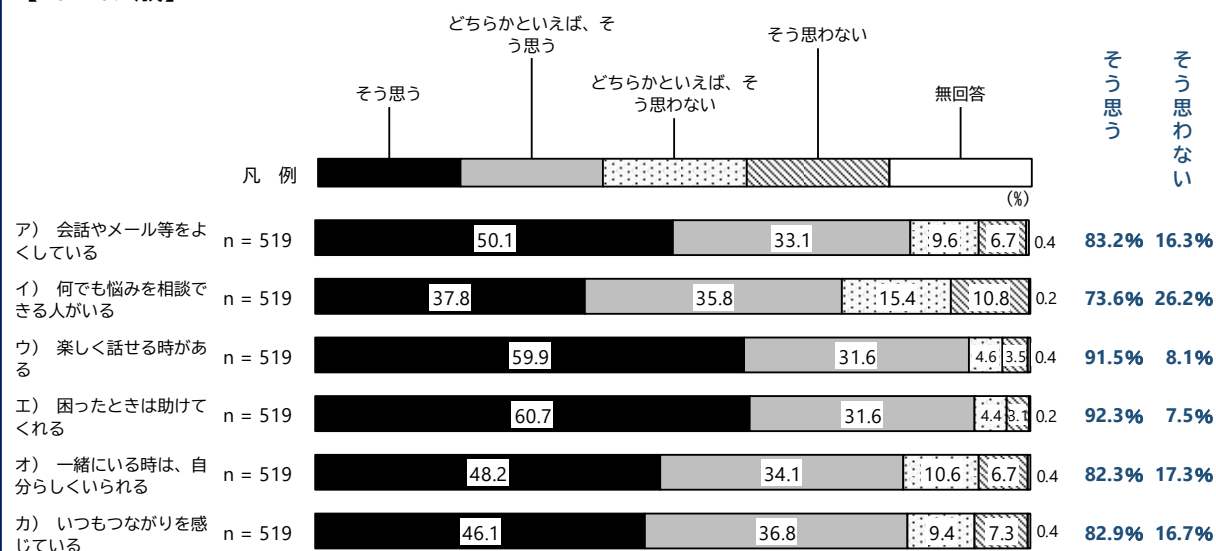
問 11 [問 17] 家族・親族とあなたのかかわりは、どのようなものですか。

（それぞれ○は1つ）

【10～14歳】



【15～39歳】



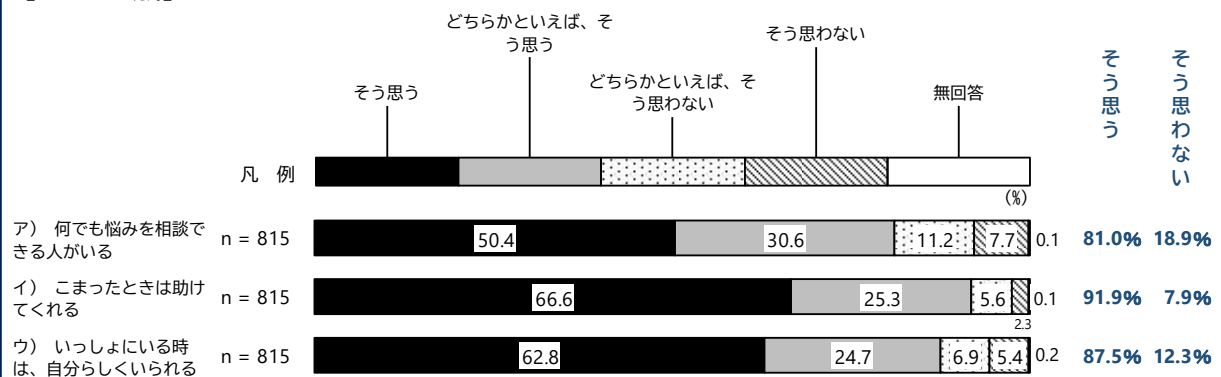
⑩ 学校で出会った友人との関わり方

- ▶ 学校で出会った友人との関わり方について、10～14 歳では『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）の割合は、「イ）こまったときは助けてくれる」が 91.9%と最も高く、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）の割合は、「ア）何でも悩みを相談できる人がいる」が 18.9%と最も高くなっています。
- ▶ 15～39 歳では『そう思う』の割合は、「ウ）楽しく話せる時がある」が 83.4%と最も高く、『そう思わない』の割合は、「カ）いつもつながりを感じている」が 41.4%と最も高くなっています。

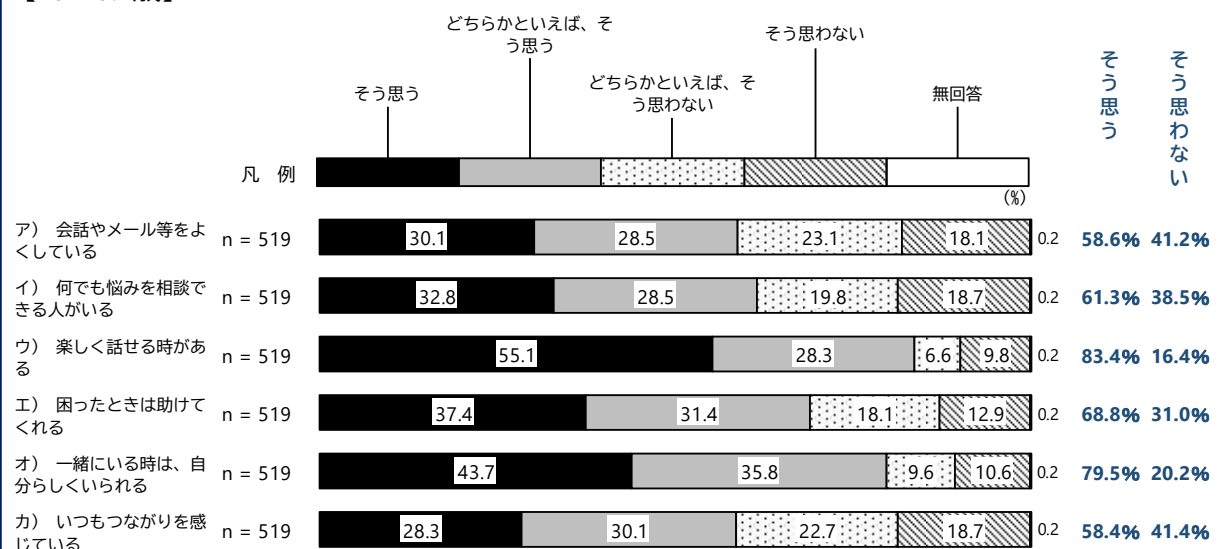
問 12 学校で出会った友だち（現在通っている学校やこれまでに通っていた学校の友だちなど）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。（それぞれ○は1つ）

【問 18】 学校で出会った友人（現在通っている学校の友人、かつての同窓生など）と、あなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。（それぞれ○は1つ）

【10～14 歳】



【15～39 歳】



Ⅱ 調査結果

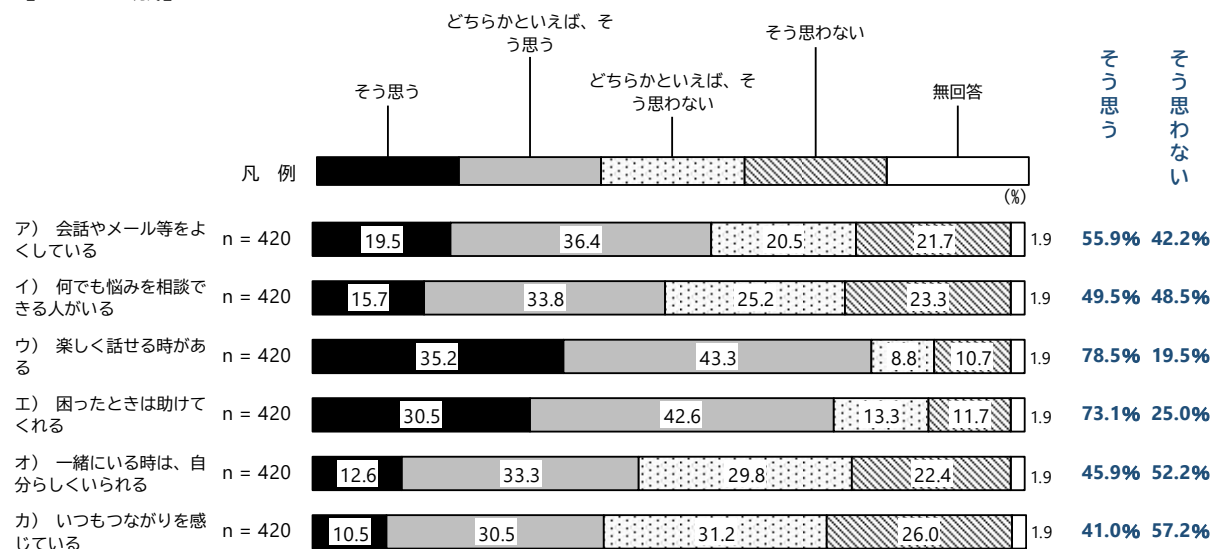
⑪ 職場・アルバイト関係の人との関わり方（15～39 歳のみ）

▶職場・アルバイト関係の人との関わり方について、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）の割合は、“ウ）楽しく話せる時がある”が78.5%と最も高く、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）の割合は、“カ）いつもつながりを感じている”が57.2%と最も高くなっています。

【問 10 で「1 現在、就業している」、「2 現在、就業しているが、休職や休業中である」、「3 現在は就業していないが、過去に就業経験がある」を選んだ方のみ、お答えください。】

[問 19] 職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）と、あなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。（それぞれ○は1つ）

【15～39 歳】



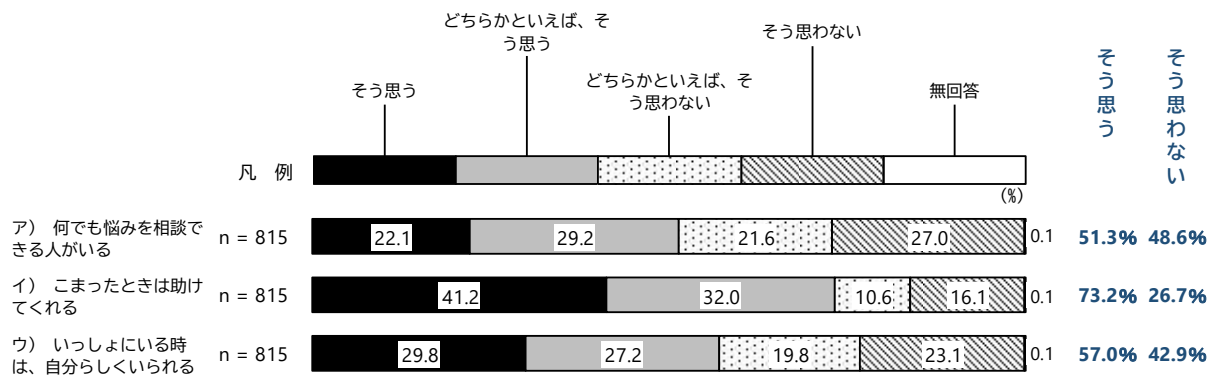
⑫ 地域の人との関わり方

- ▶ 地域の人との関わり方について、10～14 歳では『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）の割合は、「イ）こまったときは助けてくれる」が 73.2%と最も高く、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）の割合は、「ア）何でも悩みを相談できる人がある」が 48.6%と最も高くなっています。
- ▶ 15～39 歳では『そう思う』の割合は、「ウ）楽しく話せる時がある」が 23.9%と最も高く、『そう思わない』の割合は、「イ）何でも悩みを相談できる人がある」が 91.1%と最も高くなっています。

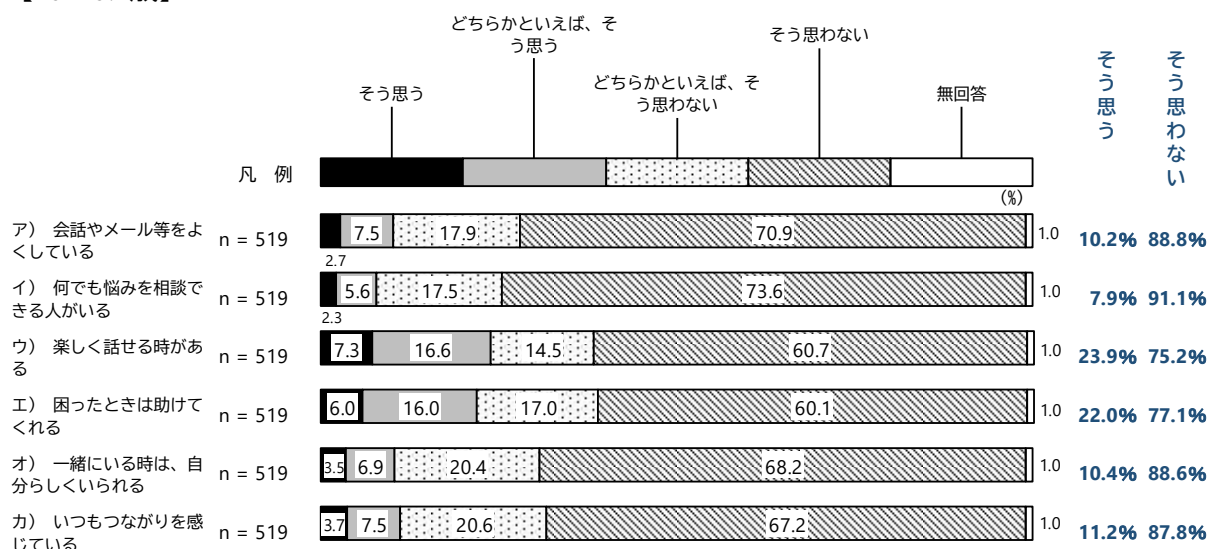
問 13 地域の人（近所の人、塾や習い事での友だちなど）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。（それぞれ○は1つ）

【問 20】 地域の人（近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加している NPO 法人など）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。（それぞれ○は1つ）

【10～14 歳】



【15～39 歳】



Ⅱ 調査結果

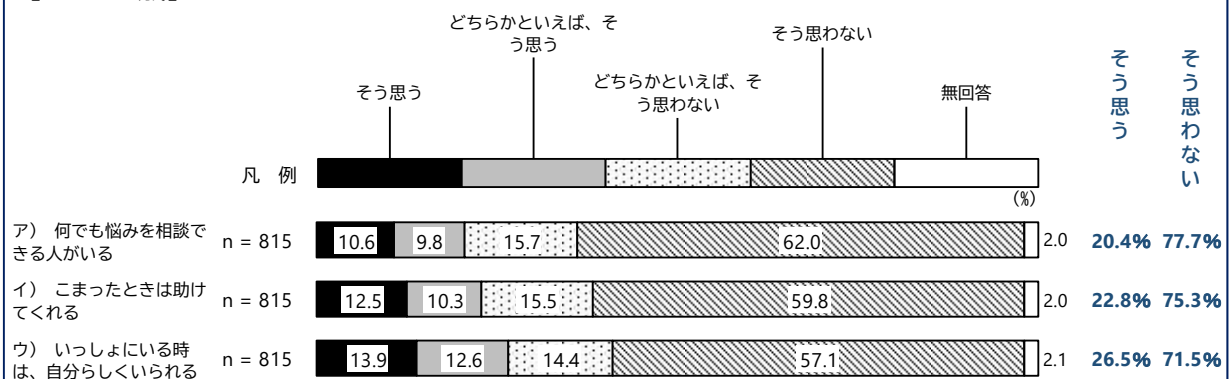
⑬ インターネット上での他者との関わり方

- ▶ インターネット上での他者との関わり方について、10～14 歳では『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）の割合は、“ウ）いっしょにいる時は、自分らしくいられる”が 26.5%と最も高く、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）の割合は、“ア）何でも悩みを相談できる人がある”が 77.7%と最も高くなっています。
- ▶ 15～39 歳では『そう思う』の割合は、“ウ）楽しく話せる時がある”が 29.5%と最も高く、『そう思わない』の割合は、“イ）何でも悩みを相談できる人がある”が 87.6%と最も高くなっています。

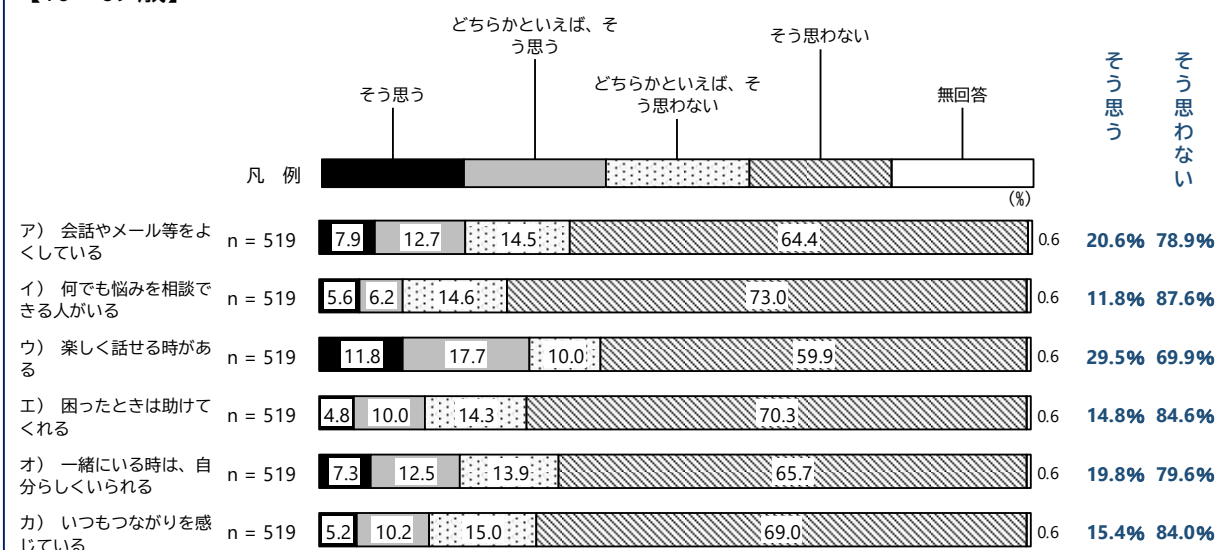
問 14 [問 21] インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、ほとんどインターネット中心の付き合いの人やグループ）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。

（それぞれ○は1つ）

【10～14 歳】



【15～39 歳】

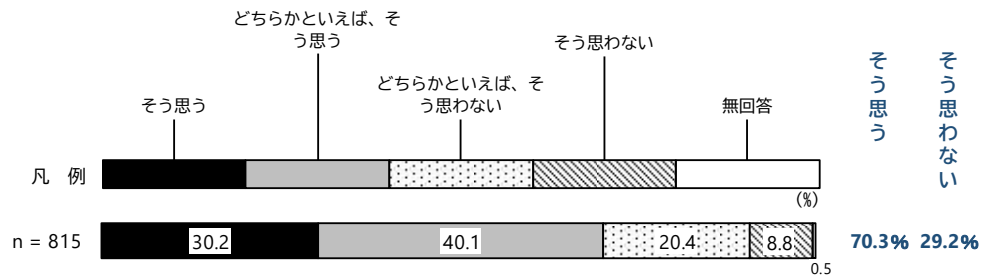


⑭ 他者との付き合い方

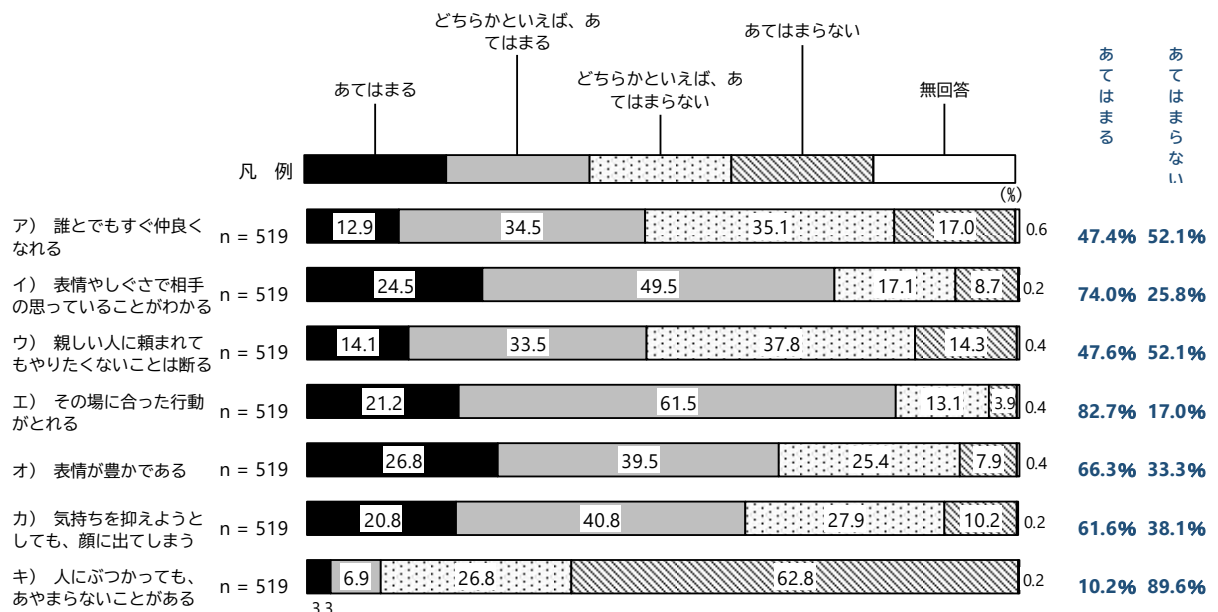
- ▶他者との付き合い方について、10～14歳では“だれとでもすぐに仲良くなれる”について、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）が70.3%、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）が29.2%となっています。
- ▶15～39歳では、『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）の割合は“エ）その場に合った行動がとれる”が82.7%と最も高く、『あてはまらない』（「あてはまらない」＋「どちらかといえば、あてはまらない」）の割合は、“キ）人にぶつかっても、あやまらないことがある”が89.6%と最も高くなっています。

問15 あなたは、だれとでもすぐに仲良くなれる方ですか。 (○は1つ)
 [問22] あなたは、他の人と付き合う時、次のようなことがどのくらいあてはまりますか。 (それぞれ○は1つ)

【10～14歳】



【15～39歳】

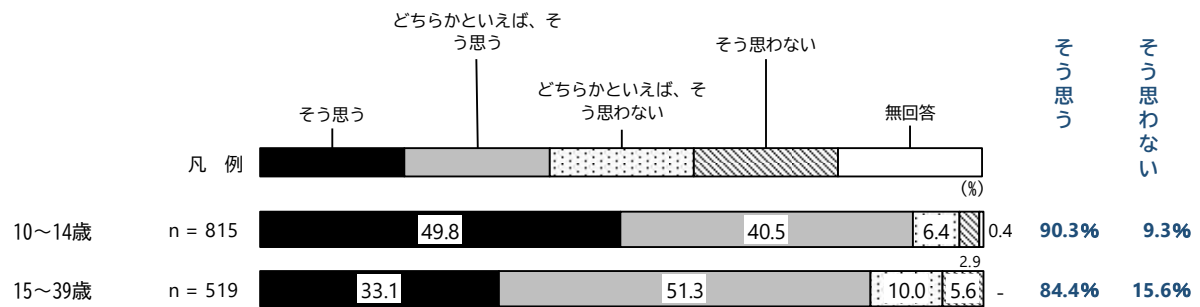


Ⅱ 調査結果

⑮ 社会貢献への意欲

- ▶ 社会のために役立つことをしたいかについて、10～14歳では、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）が90.3%、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）9.3%となっています。
- ▶ 15～39歳では『そう思う』が84.4%、『そう思わない』が15.6%となっています。

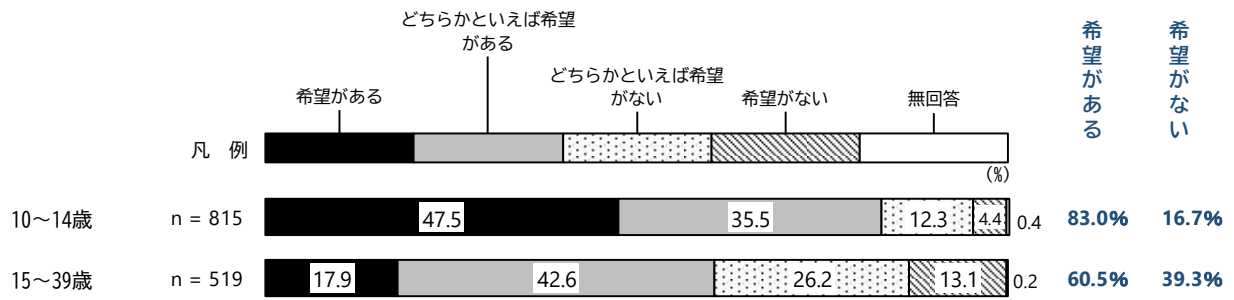
問 16 [問 23] あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。（○は1つ）



⑯ 将来への希望

- ▶ 将来への希望について、10～14歳では『希望がある』（「希望がある」＋「どちらかといえば希望がある」）が83.0%、『希望がない』（「希望がない」＋「どちらかといえば希望がない」）が16.7%となっています。
- ▶ 15～39歳では『希望がある』が60.5%、『希望がない』が39.3%となっています。

問 17 [問 24] あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。（○は1つ）



【性別／将来への希望】

- ▶ 将来への希望について、性別でみると、10～14歳では“男性”と“女性”で大きな差はありません。
- ▶ 15～39歳でも、“男性”と“女性”で大きな差はありませんが、『希望がある』の割合が男女ともに10～14歳と比べて低くなっています。

【10～14歳】

区分	調査数 (件)	希望がある	どちらかといえば希望がある	どちらかといえば希望がない	希望がない	無回答	単位：%	
							希望がある	希望がない
男性	397	46.3	36.8	13.9	3.0	-	83.1	16.9
女性	404	49.3	34.7	10.6	5.2	0.2	84.0	15.8
その他	12	25.0	25.0	16.7	25.0	8.3	50.0	41.7

※着色した数値は、各行の最大値

【15～39歳】

区分	調査数 (件)	希望がある	どちらかといえば希望がある	どちらかといえば希望がない	希望がない	無回答	単位：%	
							希望がある	希望がない
男性	197	21.8	40.1	24.9	13.2	-	61.9	38.1
女性	312	15.7	44.2	27.2	12.5	0.3	59.9	39.7
その他	10	10.0	40.0	20.0	30.0	-	50.0	50.0

※着色した数値は、各行の最大値

Ⅱ 調査結果

【年齢・年代別／将来への希望】

- ▶ 将来への希望について、年齢別でみると、10～14歳では、他の年齢に比べ、“13歳”で『希望がない』の割合が高くなっています。
- ▶ 15～39歳では、年代別でみると、“15～19歳”で『希望がある』の割合が高くなっています。

【10～14歳】

区分	調査数 (件)	希望 がある	希望 がある と い え ば	希 望 が な い と い え ば	希 望 が な い	無 回 答	単位：％	
							希望 がある	希望 がない
10歳	206	55.3	31.6	10.2	2.4	0.5	86.9	12.6
11歳	184	52.2	36.4	9.2	2.2	-	88.6	11.4
12歳	155	45.2	35.5	12.9	5.8	0.6	80.7	18.7
13歳	141	40.4	32.6	17.7	9.2	-	73.0	26.9
14歳	125	38.4	44.0	13.6	4.0	-	82.4	17.6

※着色した数値は、各行の最大値

【15～39歳】

区分	調査数 (件)	希望 がある	希望 がある と い え ば	希 望 が な い と い え ば	希 望 が な い	無 回 答	単位：％	
							希望 がある	希望 がない
15歳～19歳	111	29.7	42.3	18.9	9.0	-	72.0	27.9
20歳～24歳	64	17.2	37.5	31.3	14.1	-	54.7	45.4
25歳～29歳	101	13.9	43.6	27.7	14.9	-	57.5	42.6
30歳～34歳	100	9.0	45.0	24.0	22.0	-	54.0	46.0
35歳～39歳	139	18.0	42.4	30.9	7.9	0.7	60.4	38.8

※着色した数値は、各行の最大値

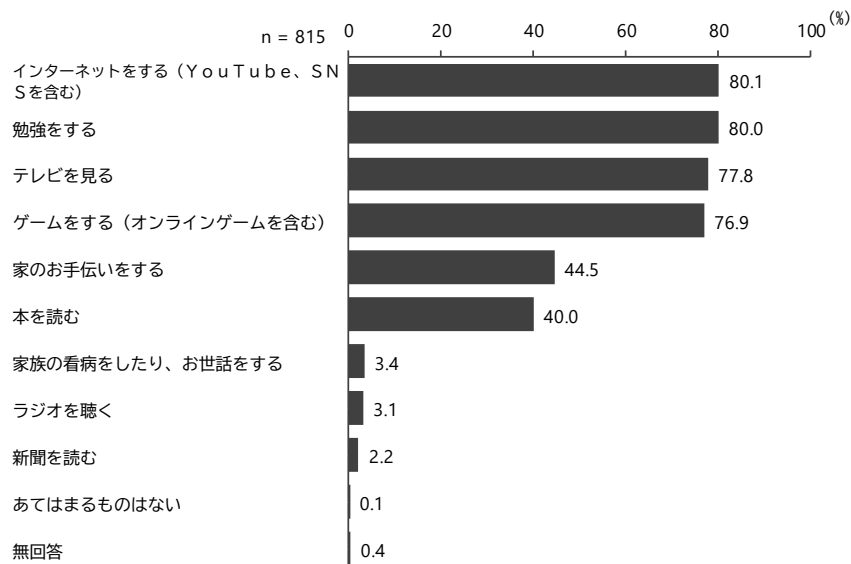
⑰ 自宅での時間の使い方

- ▶自宅での時間の使い方について、10～14歳では「インターネットをする（YouTube、SNSを含む）」が80.1%と最も高く、次いで「勉強をする」（80.0%）、「テレビを見る」（77.8%）となっています。
- ▶15～39歳では「インターネットをする（YouTube、SNSを含む）」が86.3%と最も高く、次いで「テレビを見る」（58.6%）、「家事をする」（53.6%）となっています。

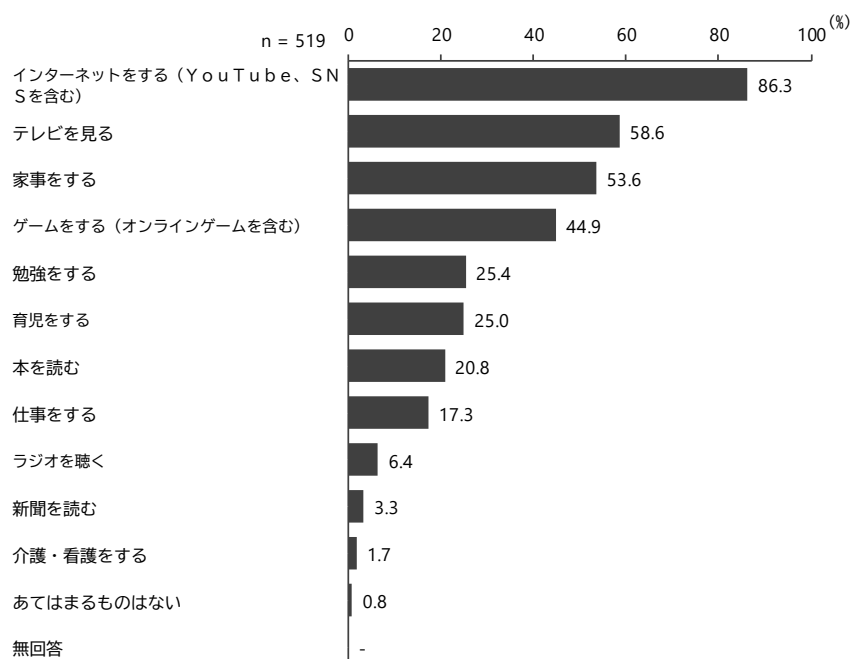
問 18 ふだん家（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。
よくしていることをすべて選んでください。（○はいくつでも）

〔問 25〕 普段ご自宅（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。（○はいくつでも）

【10～14 歳】



【15～39 歳】



II 調査結果

⑱ 普段の外出頻度

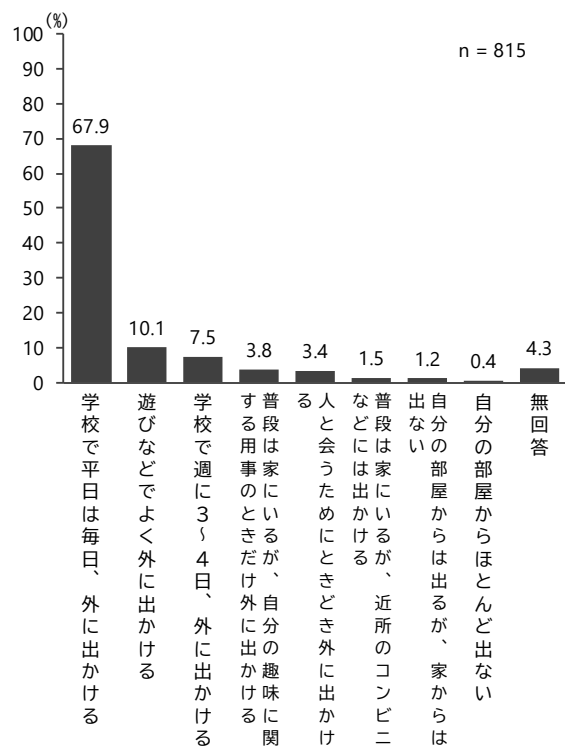
- ▶ 外出頻度について、10～14 歳では「学校で平日は毎日、外に出かける」が 67.9%と最も高く、次いで「遊びなどでよく外に出かける」(10.1%)、「学校で週に3～4日、外に出かける」(7.5%)となっています。
- ▶ 15～39 歳では「仕事や学校で平日は毎日外出する」が 73.2%と最も高く、次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する」(10.8%)、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」(5.0%)となっています。

問 19 あなたは普段どのくらい外に出かけますか。(○は1つ)

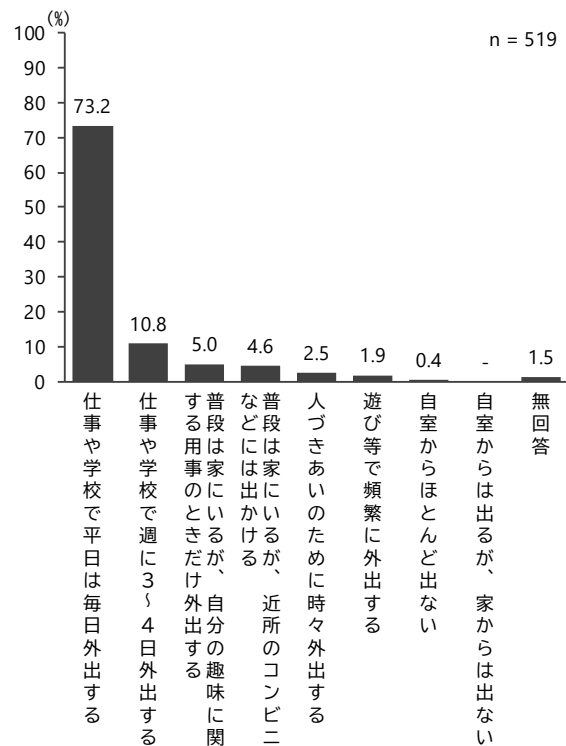
[問 26] あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。

(○は1つ)

【10～14 歳】



【15～39 歳】



⑨ 現在の外出状況の経過年数

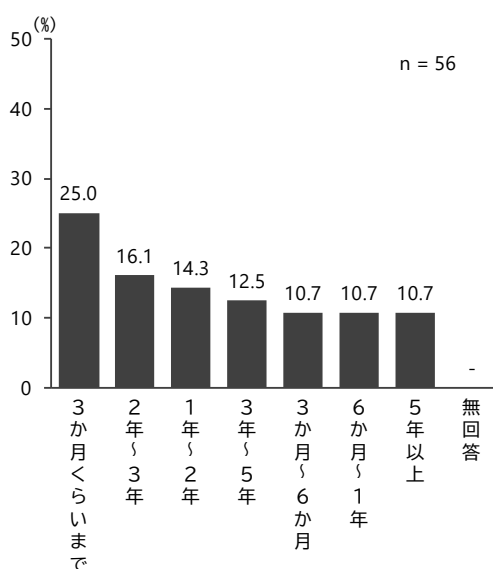
- ▶ 普段の外出頻度が低い方が、現在の外出状況になってからの経過年数について、10～14歳では「3か月くらいまで」が25.0%と最も高く、次いで「2年～3年」(16.1%)、「1年～2年」(14.3%)となっています。
- ▶ 15～39歳では「3か月未満」が30.8%と最も高く、次いで「6か月～1年未満」(15.4%)、「3年～5年未満」(11.5%)となっています。

【問19 [問26] で「5」～「8」を選んだ方のみ、お答えください。】

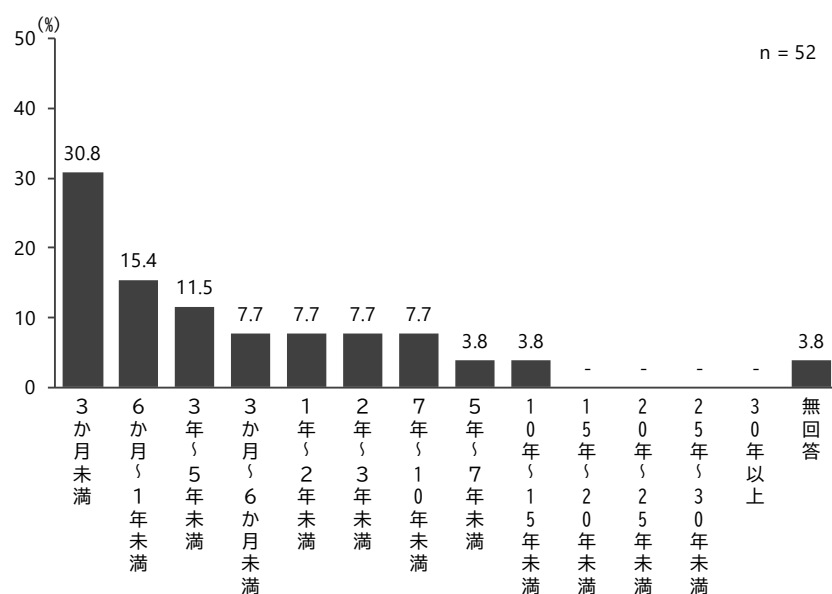
問20 あなたの外出状況（外に出かける回数）が今のようにってから、どのくらいたちますか。（○は1つ）

【問27】 あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。（○は1つ）

【10～14歳】



【15～39歳】



Ⅱ 調査結果

⑳ 現在の外出状況になった年齢

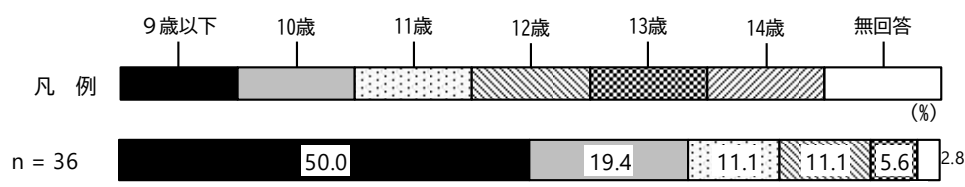
- ▶ 普段の外出頻度が低い方が、現在の外出状況になった年齢について、10～14歳では「9歳以下」が50.0%と最も高く、次いで「10歳」(19.4%)、「11歳」、「12歳」(ともに11.1%)となっています。
- ▶ 15～39歳では「25歳～29歳以下」が36.7%と最も高く、次いで「30歳～34歳」(30.0%)、「20歳～24歳」(16.7%)となっています。

【問20 [問27] で「3」～「7」[3～13] を選んだ方のみ、お答えください。】

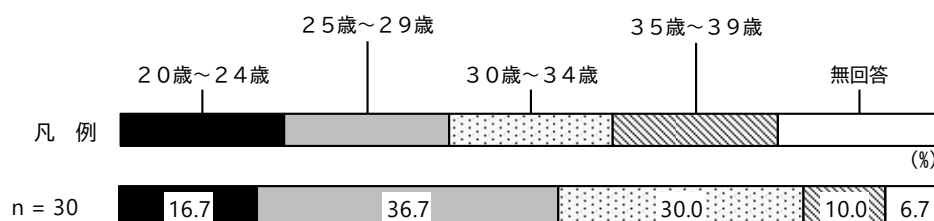
問21 あなたの外出状況（外に出かける回数）が今のようになったのは、いくつの頃ですか。
(数字でご記入ください。)

[問28] あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。
(数字でご記入ください。)

【10～14歳】



【15～39歳】



② 現在の外出状況になった理由

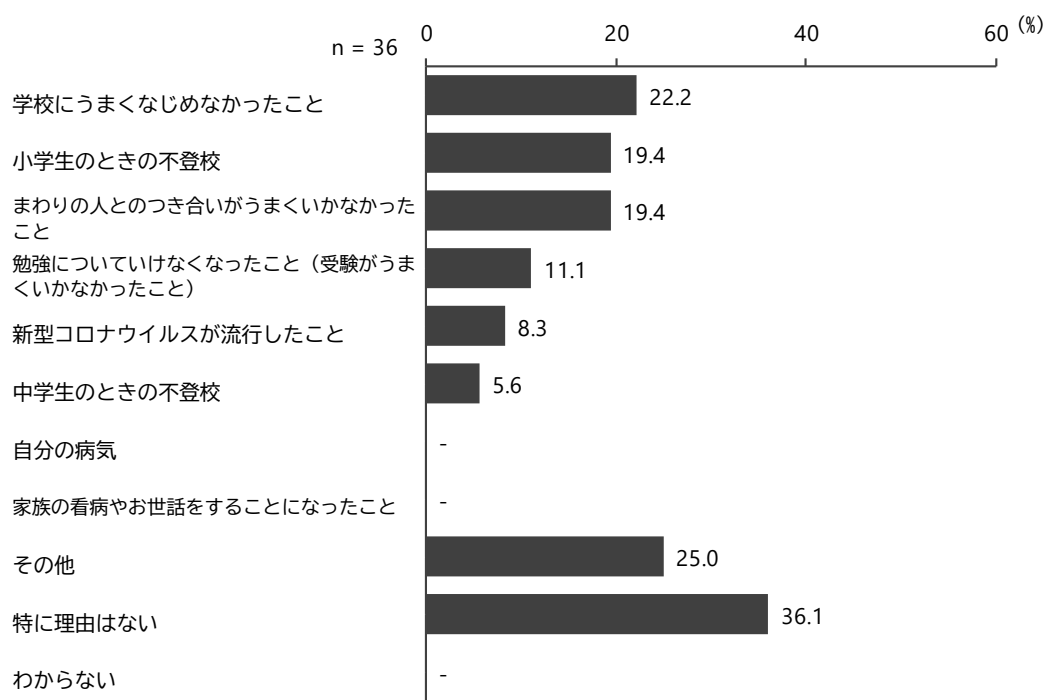
- ▶ 普段の外出頻度が低い方が、現在の外出状況である理由について、10～14歳では「学校にうまくなじめなかったこと」が22.2%と最も高く、次いで「小学校のときの不登校」、「まわりの人との付き合いがうまくいかなかったこと」（ともに19.4%）となっています。

【問20で「3」～「7」を選んだ方のみ、お答えください。】

問22 あなたの外出状況（外に出かける回数）が今のようになった理由は何ですか。

（〇はいくつでも）

【10～14歳】



II 調査結果

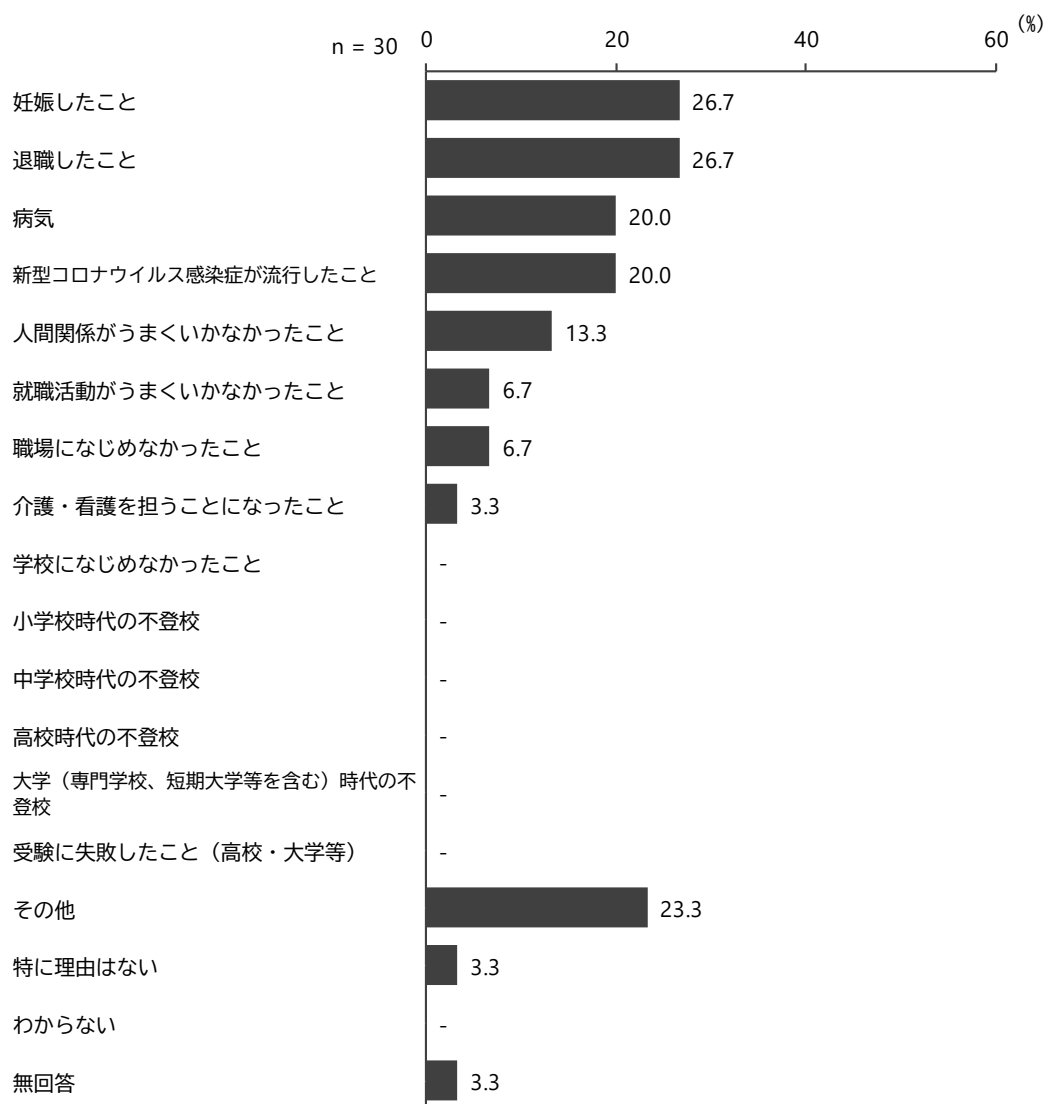
- ▶ 普段の外出頻度が低い方が、現在の外出状況である理由について、15～39 歳では「妊娠したこと」、「退職したこと」がともに 26.7%と最も高く、次いで「病気」、「新型コロナウイルス感染症が流行したこと」（ともに 20.0%）となっています。

【問 27】で「3」～「13」を選んだ方のみ、お答えください。】

【問 29】 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。

(○はいくつでも)

【15～39 歳】

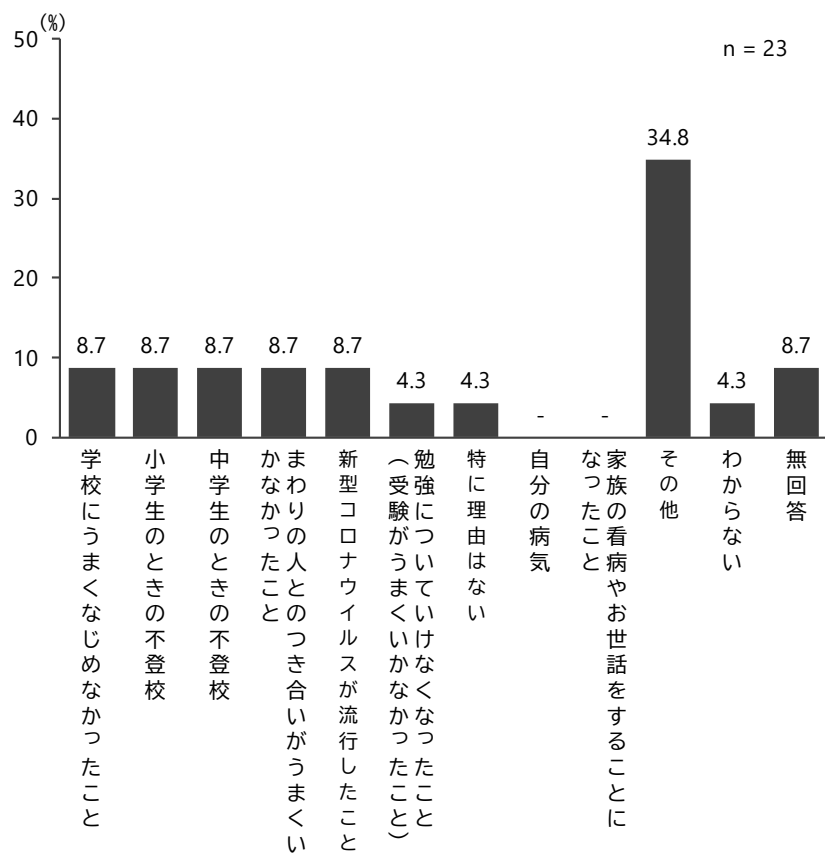


▶ 普段の外出頻度が低い方が、現在の外出状況になった最大の理由について、10～14 歳では「学校にうまくなじめなかったこと」、「小学生のときの不登校」、「中学生のときの不登校」、「まわりの人とのつき合いがうまくいかなかったこと」、「新型コロナウイルスが流行したこと」（いずれも 8.7%）が高くなっています。なお、「その他」は 34.8%となっています。

【問 22 で「1」～「9」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 23 あなたの外出状況（外に出かける回数）が今のようになった一番大きな理由は何ですか。（○は1つ）

【10～14 歳】



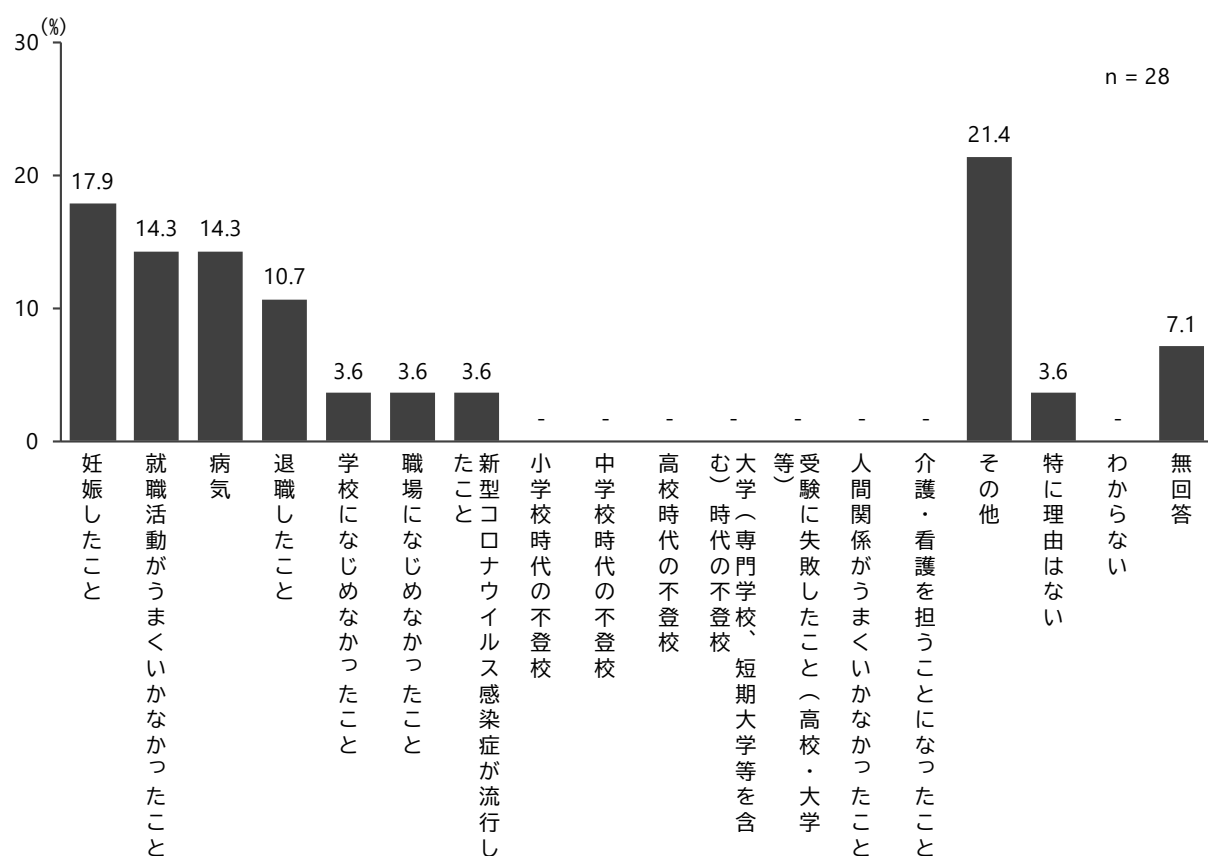
Ⅱ 調査結果

▶ 普段の外出頻度が低い方が、現在の外出状況になった最大の理由について、15～39 歳では「妊娠したこと」が 17.9%と最も高く、次いで「就職活動がうまくいかなかったこと」、「病気」（ともに 14.3%）となっています。なお、「その他」は 21.4%となっています。

【問 29 で「1」～「15」を選んだ方のみ、お答えください。】

【問 30】 あなたの外出状況が現在の状態になった最も大きな理由は何ですか。（○は1つ）

【15～39 歳】

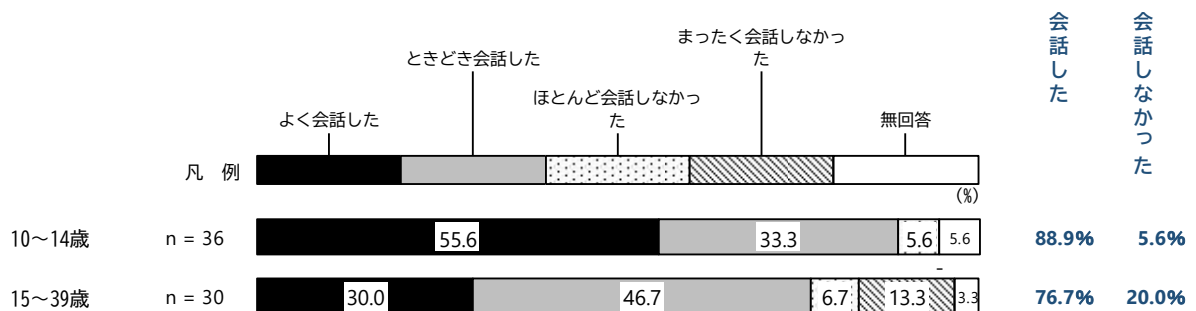


② 家族以外の人との会話

- ▶ 最近の6か月間の家族以外の人との会話について、10～14歳では『会話した』（「よく会話した」＋「ときどき会話した」）が88.9%、『会話しなかった』（「ほとんど会話しなかった」＋「まったく会話しなかった」）が5.6%となっています。
- ▶ 15～39歳では『会話した』が76.7%、『会話しなかった』が20.0%となっています。

【問20 [問27] で「3」～「7」「3」～「13」を選んだ方のみ、お答えください。

問24 [問31] 最近6か月間に、家族以外の人と会話しましたか。 (○は1つ)

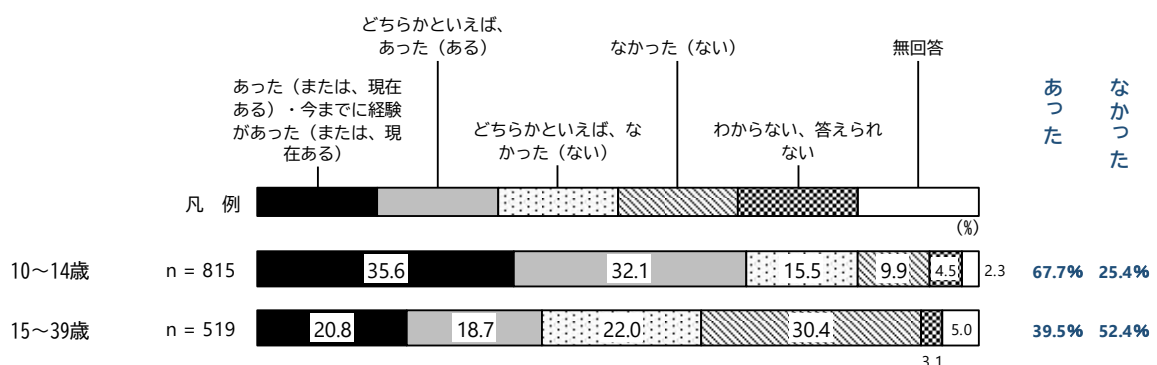


③ 困難に直面した経験

- ▶ 社会生活を円滑に送ることができない経験・状況について、10～14歳では『あった』（「あった（または、現在ある）」＋「どちらかといえば、あった（ある）」）が67.7%、『なかった』（「どちらかといえば、なかった（ない）」＋「なかった（ない）」）が25.4%となっています。
- ▶ 15～39歳では、『あった』『今までに経験があった（または、現在ある）」＋「どちらかといえば、あった（ある）」）が39.5%、『なかった』が52.4%となっています。

問25 あなたは今までに、ものごとがうまくいかず落ち込んだ経験があったと思いますか。 (○は1つ)

[問32] あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況がありますか。 (○は1つ)



Ⅱ 調査結果

【年齢・年代別／困難に直面した経験】

- ▶ 社会生活を円滑に送ることができない経験・状況について、年齢別でみると、10～14 歳では、年齢が上がるにつれ、『あった』の割合が概ね高くなる傾向があります。
- ▶ 15～39 歳では、『あった』の割合は“30～34 歳”で最も高くなっています。

【10～14 歳】

区分	調査数（件）	あった（または、現在ある）	どちらかといえば、あった（ある）	どちらかといえば、なかった（ない）	なかった（ない）	わからない、答えられない	無回答	単位：％	
								『あった』	『なかった』
10歳	206	24.8	35.0	17.0	14.6	4.4	4.4	59.8	31.6
11歳	184	28.8	34.8	18.5	9.8	6.0	2.2	63.6	28.3
12歳	155	42.6	32.3	12.9	7.7	3.2	1.3	74.9	20.6
13歳	141	46.8	25.5	17.0	5.7	3.5	1.4	72.3	22.7
14歳	125	43.2	32.0	9.6	8.0	5.6	1.6	75.2	17.6

※着色した数値は、各行の最大値

【15～39 歳】

区分	調査数（件）	今までに経験があった（または、現在ある）	どちらかといえば、あった（ある）	どちらかといえば、なかった（ない）	なかった（ない）	わからない、答えられない	無回答	単位：％	
								『あった』	『なかった』
15歳～19歳	111	13.5	17.1	23.4	38.7	2.7	4.5	30.6	62.1
20歳～24歳	64	18.8	21.9	14.1	32.8	3.1	9.4	40.7	46.9
25歳～29歳	101	31.7	15.8	16.8	33.7	1.0	1.0	47.5	50.5
30歳～34歳	100	25.0	25.0	20.0	22.0	4.0	4.0	50.0	42.0
35歳～39歳	139	17.3	16.5	28.1	27.3	3.6	7.2	33.8	55.4

※着色した数値は、各行の最大値

④ 困難に直面した原因（15～39 歳のみ）

- ▶問 32 で、社会生活や日常生活を円滑に送る上での困難について、『経験があった（ある）』（「今までに経験があった（または、現在ある）」+「どちらかといえば、あった（ある）」）と答えた方に、その原因を“自分自身について”、“家族・家庭について”、“学校について”、“仕事・職場について”の4つの切り口から聞きました。
- ▶自分自身についてでは、「人づきあいが苦手」が49.3%と最も高く、次いで「何事も否定的に考えてしまう」（38.5%）、「悩みや不安などが相談できない」（36.1%）となっています。

【問 32 で「1」又は「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

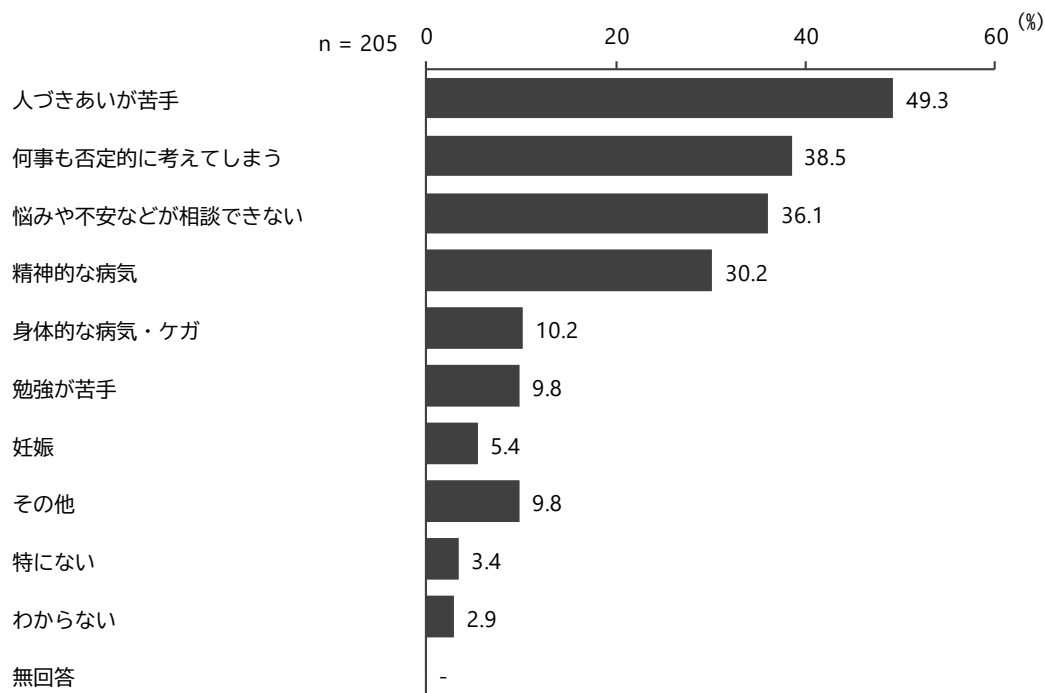
【問 33】 そうした問題を経験した、又は現在経験している主な原因は何ですか。

以下の（1）～（4）のそれぞれにお答えください。

（1）自分自身について

（○はいくつでも）

【15～39 歳】



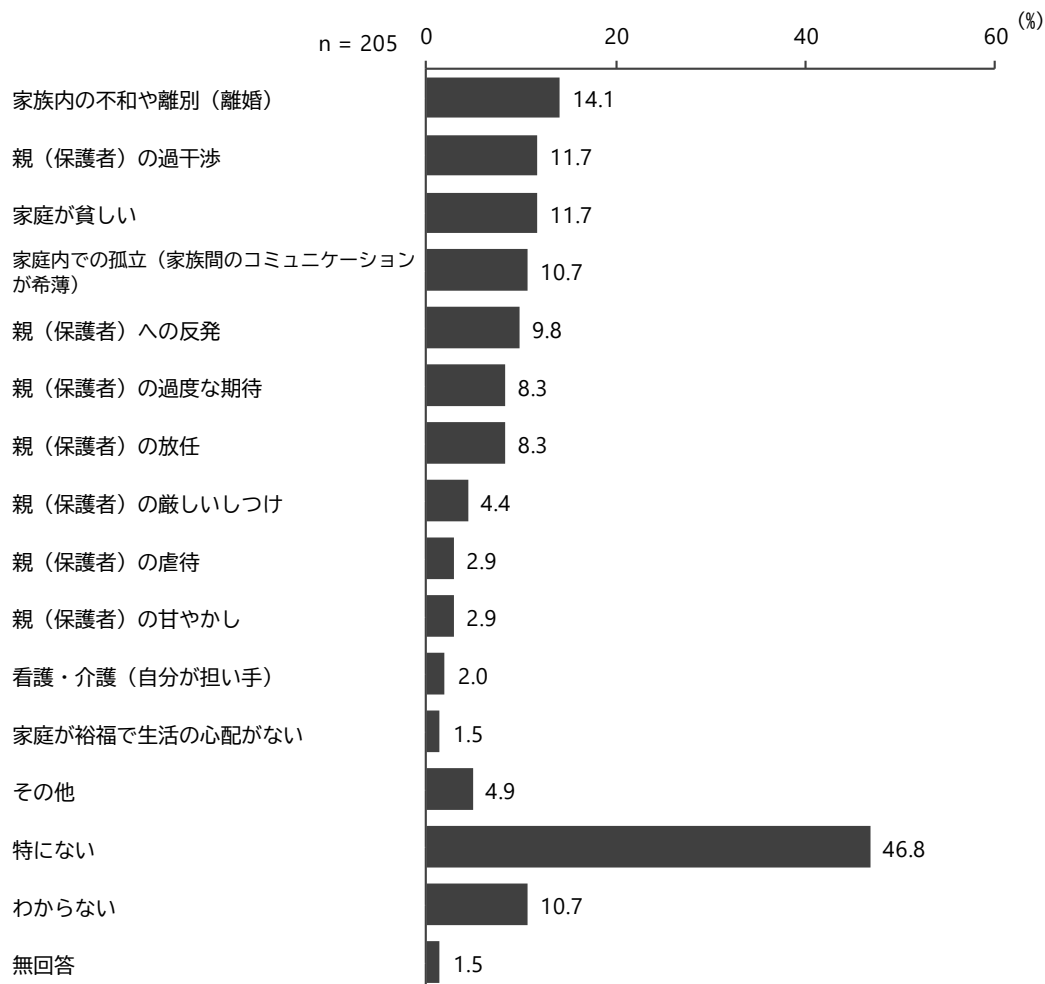
Ⅱ 調査結果

- ▶ 困難に直面した原因として、家族・家庭については、「家族内の不和や離別（離婚）」が14.1%と最も高く、次いで「親（保護者）の過干渉」、「家庭が貧しい」（ともに11.7%）となっています。

〔問 33〕 （２） 家族・家庭について

（○はいくつでも）

【15～39 歳】

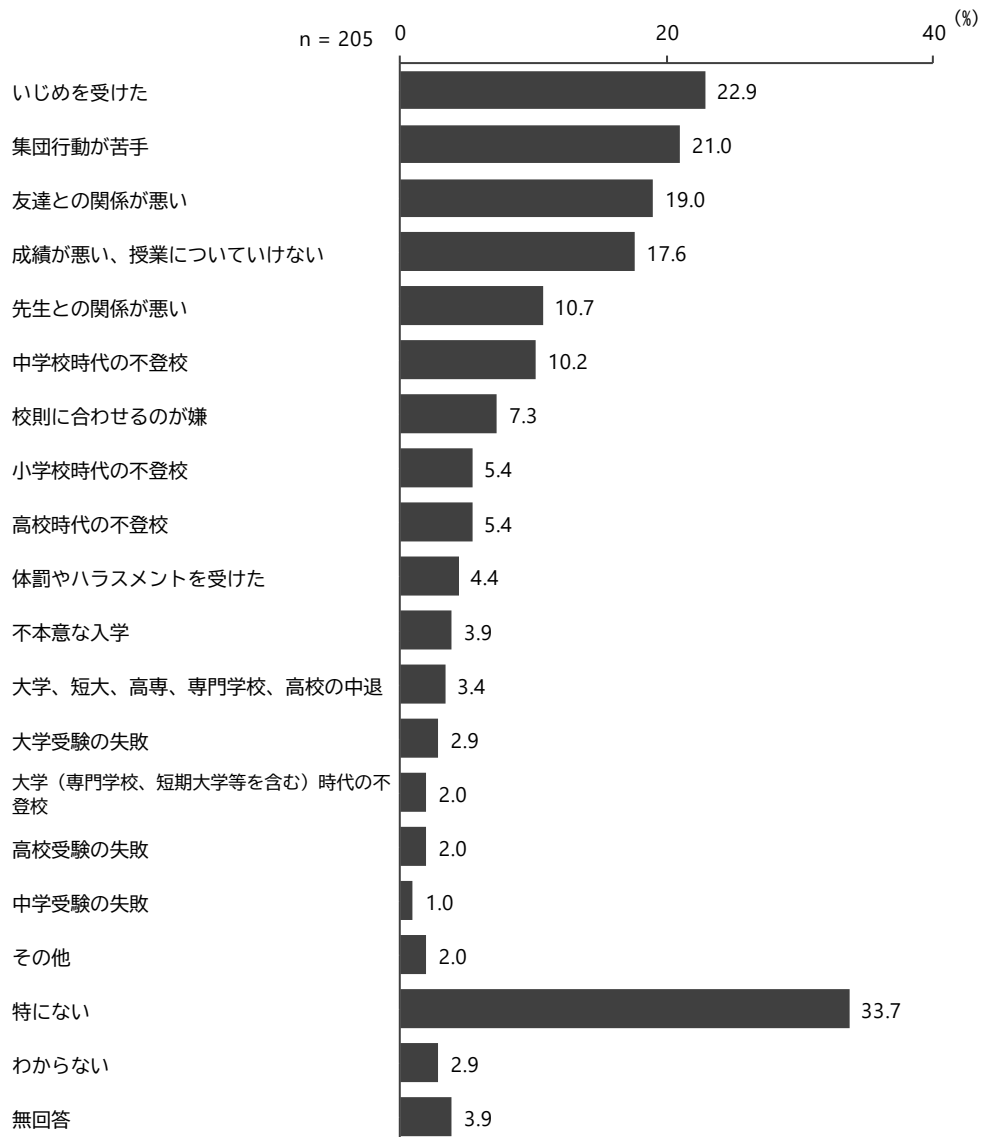


▶ 困難に直面した原因として、学校については、「いじめを受けた」が 22.9%と最も高く、次いで「集団行動が苦手」(21.0%)、「友達との関係が悪い」(19.0%)となっています。

【問 33】 (3) 学校について

(○はいくつでも)

【15～39 歳】



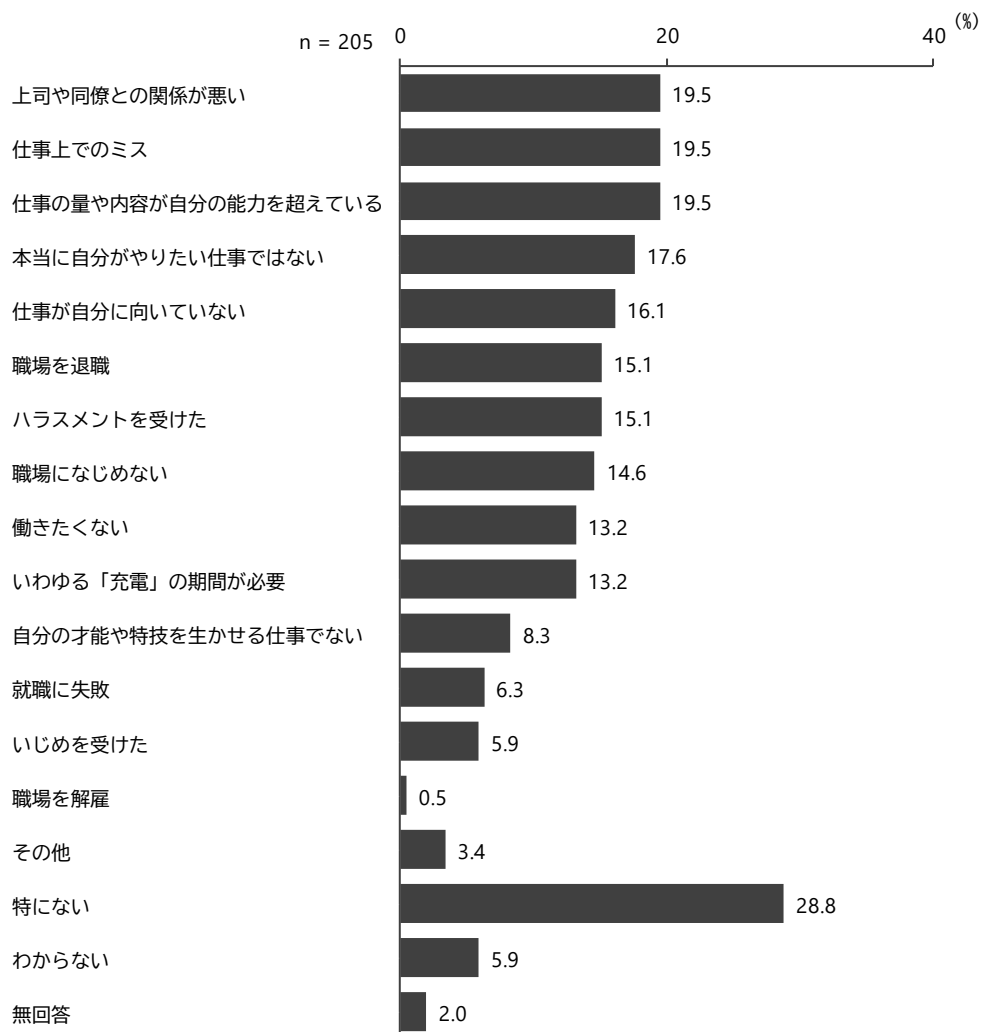
Ⅱ 調査結果

- ▶ 困難に直面した原因として、仕事・職場についてでは、「上司や同僚との関係が悪い」、「仕事上でのミス」、「仕事の量や内容が自分の能力を超えている」がいずれも 19.5%と最も高く、次いで「本当に自分がやりたい仕事ではない」(17.6%)となっています。

[問 33] (4) 仕事・職場について

(○はいくつでも)

【15～39 歳】



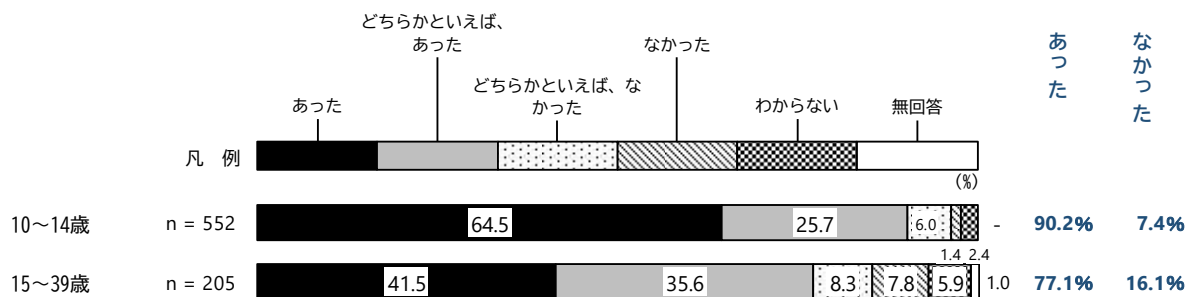
②⑤ 困難な状態から改善した経験

- ▶ 困難な状態から改善した経験について、10～14歳では『あった』（「あった」＋「どちらかといえば、あった」）が90.2%、『なかった』（「なかった」＋「どちらかといえば、なかった」）が7.4%となっています。
- ▶ 15～39歳では『あった』が77.1%、『なかった』が16.1%となっています。

【問25 [問32] で「1」または「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

問26 あなたは今までに、ものごとがうまくいかず落ち込んだ状態から元にもどった経験があったと思いますか。最もあてはまるものを選んでください。（○は1つ）

[問34] あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありましたか。最もあてはまるものを選んでください。（○は1つ）



Ⅱ 調査結果

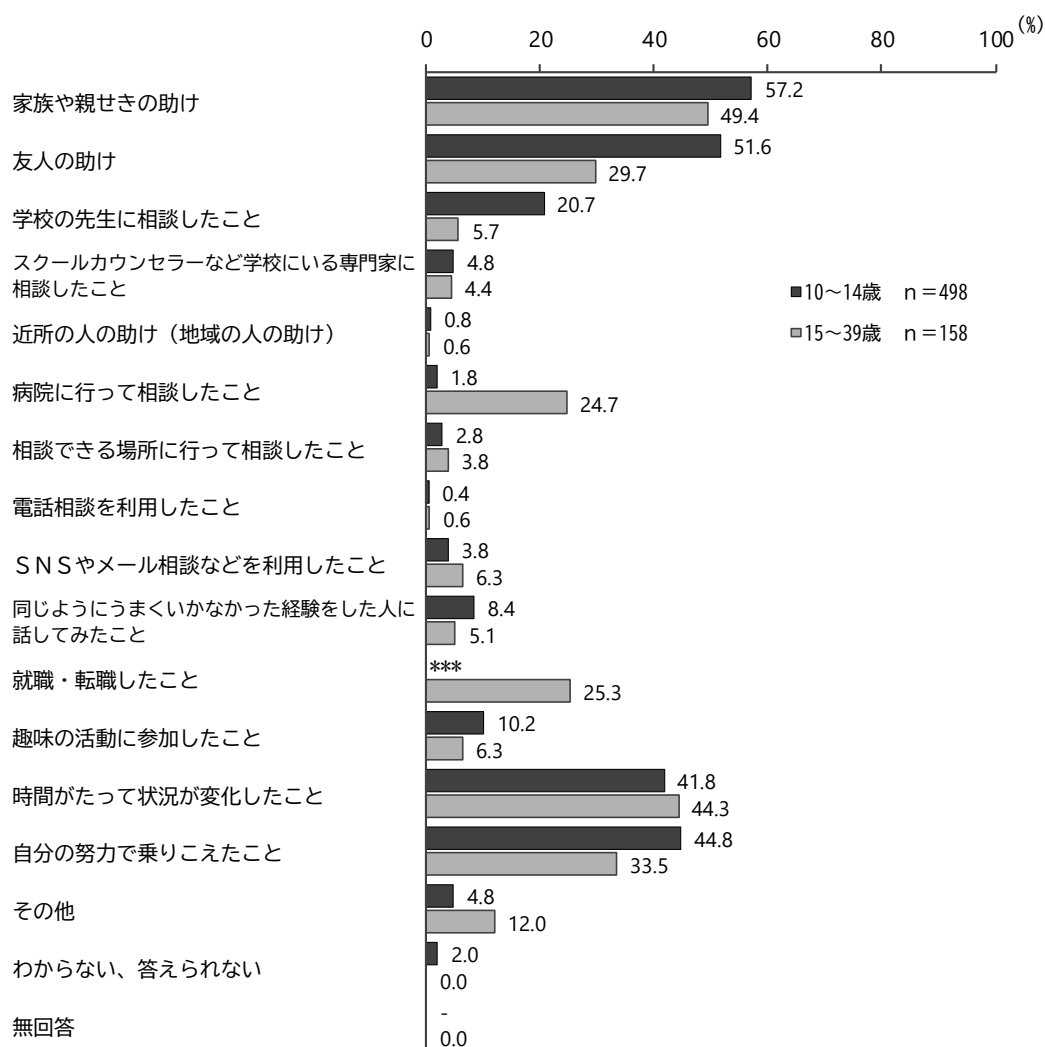
②⑥ 困難な状態から改善したきっかけ

- ▶ 困難な状態から改善したきっかけについて、10～14 歳では「家族や親せきの助け」が 57.2%と最も高く、次いで「友人の助け」(51.6%)、「自分の努力で乗りこえたこと」(44.8%)となっています。
- ▶ 15～39 歳では「家族や親せきの助け」が 49.4%と最も高く、次いで「時間がたって状況が変化したこと」(44.3%)、「自分の努力で乗りこえたこと」(33.5%)となっています。

【問 26 [問 34] で「1」または「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 27 落ち込んだ状態から元にもどったのは、どのようなことがきっかけだったと思いますか。
(○はいくつでも)

[問 35] 状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思いますか。
(○はいくつでも)



※***は【10～14 歳】の調査票にない選択肢

(3) 悩みごとや相談先について

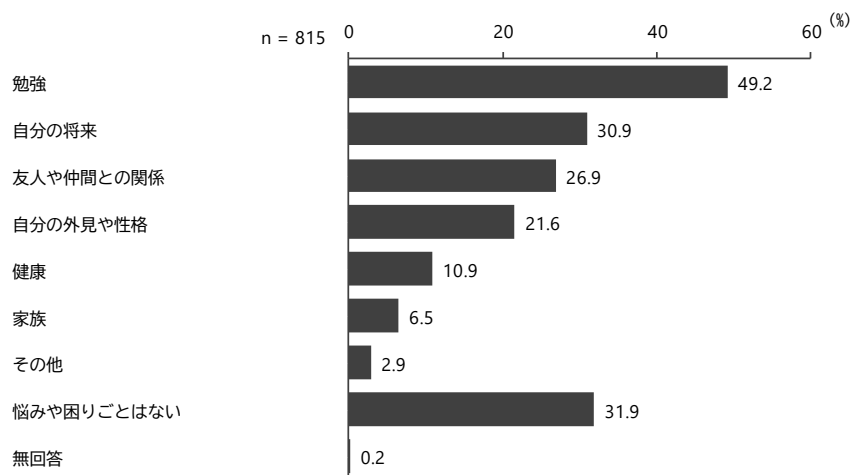
① 現在の悩み・困りごと

- ▶現在の悩み・困りごとについて、10～14歳では「勉強」が49.2%と最も高く、次いで「自分の将来」(30.9%)、「友人や仲間との関係」(26.9%)となっています。
- ▶15～39歳では「自分の将来」が45.5%と最も高く、次いで「家計・金銭」(43.2%)、「仕事」(37.2%)となっています。

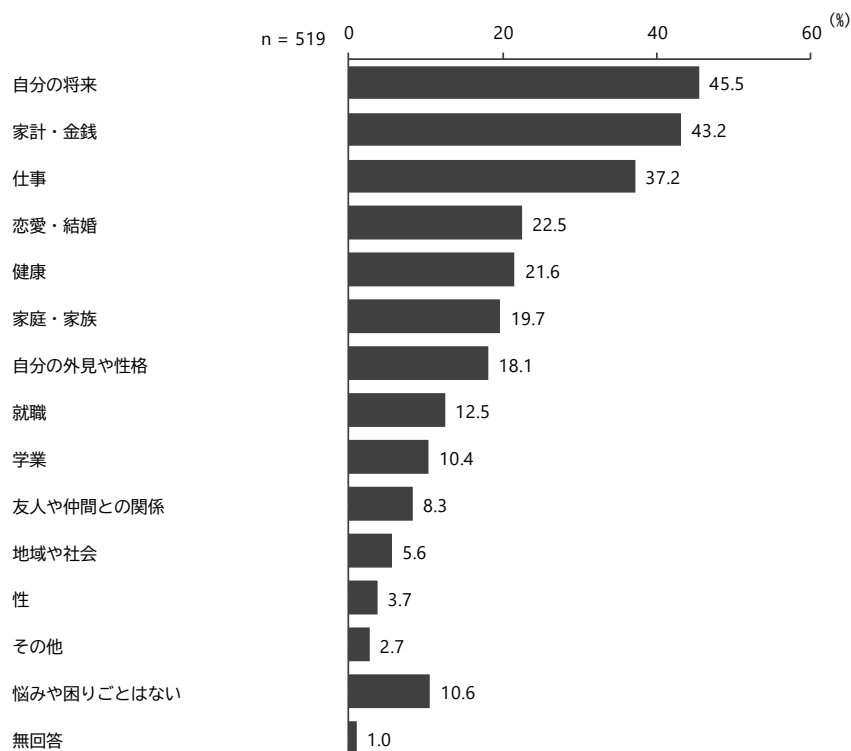
問 28 [問 36] あなたはいま、どんなことに悩んだり困ったりしていますか。

(○はいくつでも)

【10～14 歳】



【15～39 歳】



Ⅱ 調査結果

【性別／現在の悩み・困りごと】

- ▶現在の悩み・困りごとについて、性別でみると、10～14歳では、“女性”は“男性”に比べ、「友人や仲間との関係」と「自分の外見や性格」の割合が高くなっています。
- ▶15～39歳では、“男性”は“女性”に比べ、「学業」と「恋愛・結婚」の割合が高くなっています。一方、“女性”は“男性”に比べ、「家計・金銭」と「家庭・家族」と「自分の将来」の割合が高くなっています。

【10～14歳】

単位：％

区分	調査数 (件)	勉強	家族	友人 や仲間との 関係	自分の 外見や性格	自分の 将来	健康	その他	悩み や困りごと はない	無 回答
男性	397	51.4	6.8	19.4	13.6	31.0	12.8	2.0	31.2	0.3
女性	404	47.0	5.9	34.2	29.0	30.4	9.2	4.0	32.4	0.2
その他	12	50.0	16.7	33.3	41.7	50.0	8.3	-	33.3	-

※着色した数値は、各行の最大値

【15～39歳】

単位：％

区分	調査数 (件)	仕事	就職	家計・ 金銭	学業	家庭・ 家族	友人 や仲間との 関係	恋愛・ 結婚	自分の 外見や性格	自分の 将来	性	健康	地域 や社会	その他	悩み や困りごと はない	無 回答
男性	197	38.1	11.7	37.6	14.7	13.7	9.6	27.9	15.2	41.6	6.1	21.3	6.1	0.5	13.7	2.0
女性	312	36.5	12.5	46.5	7.4	23.7	7.1	19.6	19.6	47.8	1.9	21.2	5.4	4.2	8.7	0.3
その他	10	40.0	30.0	50.0	20.0	10.0	20.0	10.0	30.0	50.0	10.0	40.0	-	-	10.0	-

※着色した数値は、各行の最大値

【年齢・年代別／現在の悩み・困りごと】

- ▶現在の悩み・困りごとについて、10～14歳では、年齢が上がるにつれ、「勉強」と「自分の外見や性格」の割合が高くなっています。また、他の年齢に比べ、“13歳”で「友人や仲間との関係」の割合が高くなっています。
- ▶15～39歳では、年齢が上がるにつれ、「家計・金銭」と「健康」の割合が高くなっています。また、他の年齢に比べ、“15～19歳”で「学業」と「友人や仲間との関係」の割合が、“20～24歳”で「自分の外見や性格」の割合が高くなっています。

【10～14歳】

単位：％

区分	調査数（件）	勉強	家族	友人や仲間との関係	自分の外見や性格	自分の将来	健康	その他	悩みや困りごとはない	無回答
10歳	206	30.6	2.4	16.0	12.1	18.9	11.2	2.4	46.1	-
11歳	184	36.4	6.0	27.7	20.1	22.8	13.0	2.7	40.8	-
12歳	155	57.4	7.7	28.4	23.2	33.5	9.0	7.7	22.6	1.3
13歳	141	61.7	9.9	39.7	29.1	38.3	13.5	-	24.1	-
14歳	125	74.4	8.8	28.0	29.6	51.2	7.2	1.6	16.0	-

※着色した数値は、各行の最大値

【15～39歳】

単位：％

区分	調査数（件）	仕事	就職	家計・金銭	学業	家庭・家族	友人や仲間との関係	恋愛・結婚	自分の外見や性格	自分の将来	性	健康	地域や社会	その他	悩みや困りごとはない	無回答
15歳～19歳	111	4.5	15.3	17.1	43.2	10.8	18.9	16.2	18.0	49.5	2.7	8.1	1.8	2.7	16.2	1.8
20歳～24歳	64	37.5	17.2	31.3	4.7	7.8	6.3	31.3	26.6	39.1	4.7	14.1	1.6	-	14.1	1.6
25歳～29歳	101	48.5	13.9	51.5	1.0	18.8	6.9	34.7	17.8	56.4	5.0	19.8	7.9	2.0	8.9	-
30歳～34歳	100	53.0	11.0	52.0	1.0	25.0	4.0	22.0	18.0	51.0	8.0	24.0	8.0	5.0	10.0	-
35歳～39歳	139	44.6	8.6	56.8	-	29.5	5.0	15.8	15.1	33.8	-	35.3	7.2	2.9	6.5	0.7

※着色した数値は、各行の最大値

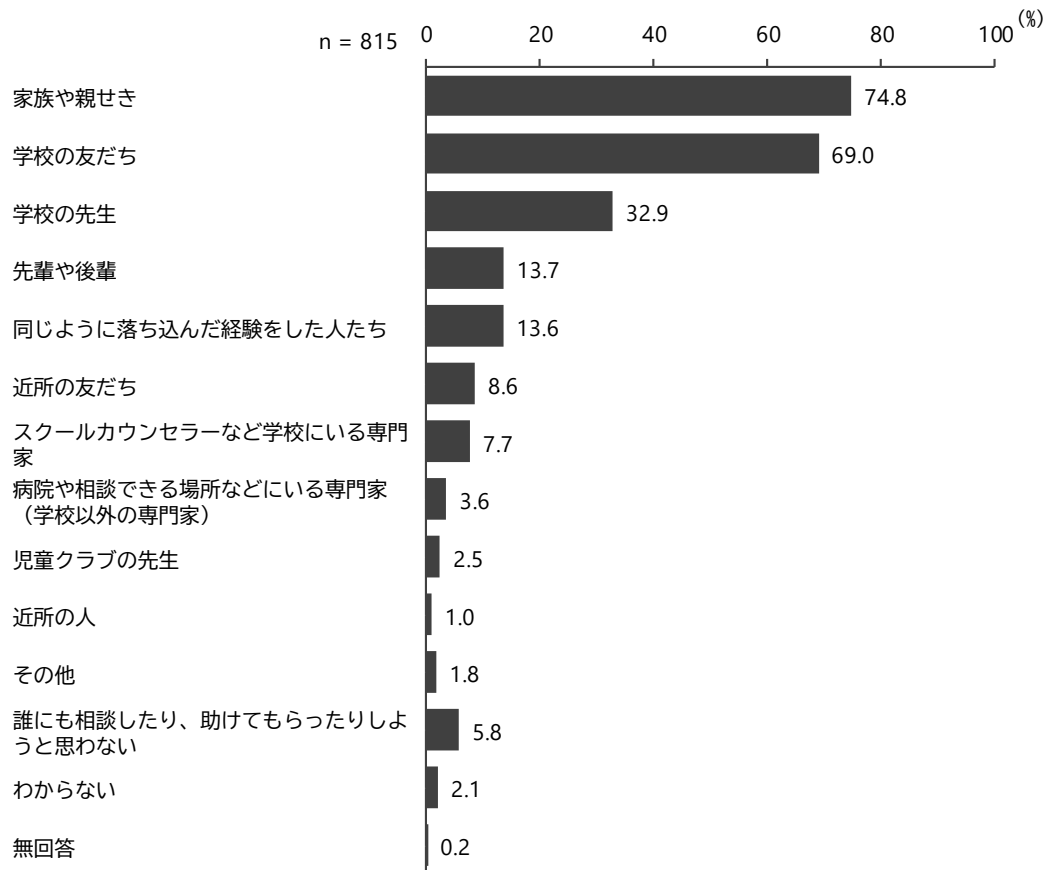
Ⅱ 調査結果

② 相談しやすい人・場所

▶相談しやすい人について、10～14 歳では「家族や親せき」が 74.8%と最も高く、次いで「学校の友だち」(69.0%)、「学校の先生」(32.9%)となっています。

問 29 あなたが、ものごとがうまくいかず落ち込んだときに、どういった人なら、相談したり、助けてもらったりしやすいと感じますか。
(○はいくつでも)

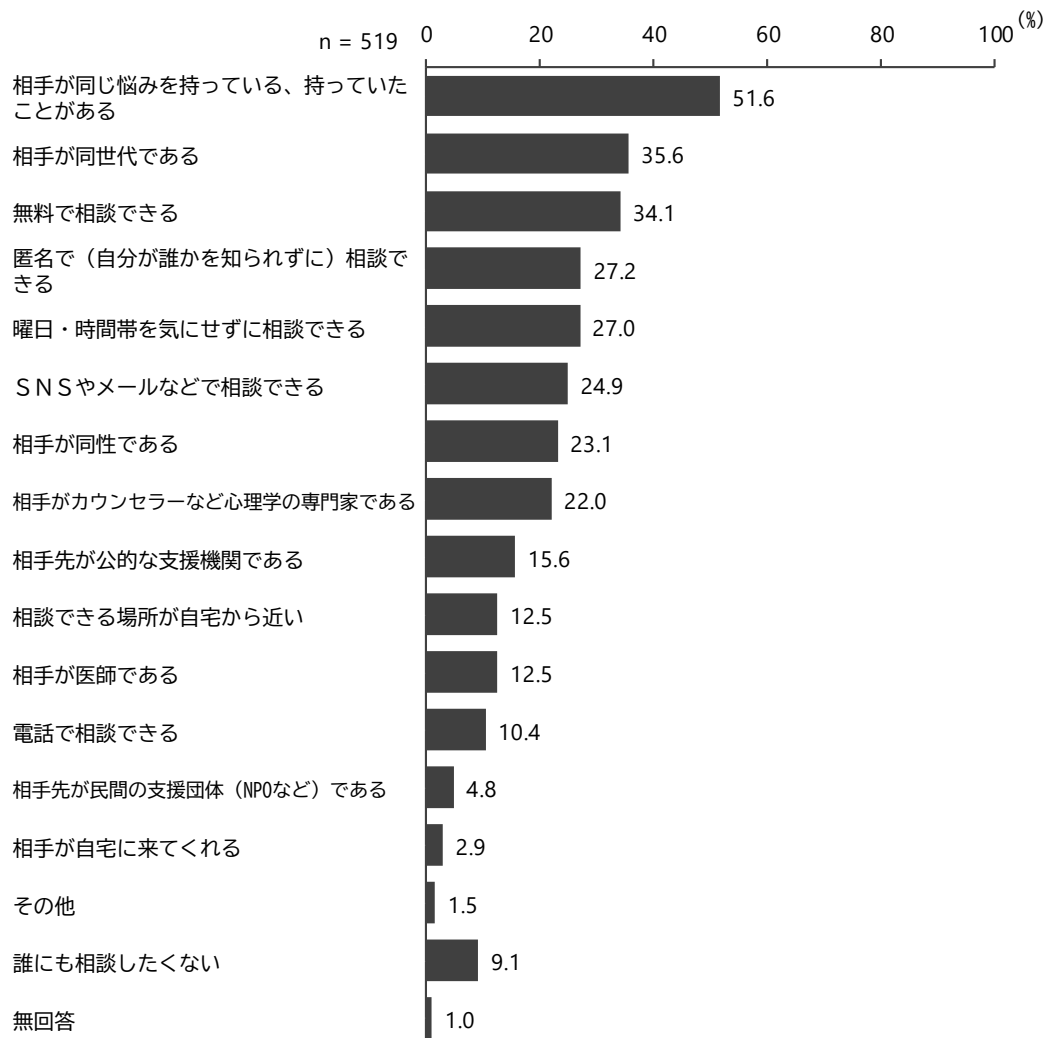
【10～14 歳】



▶相談しやすい人や場所について、15～39 歳では、「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が 51.6%と最も高く、次いで「相手が同世代である」(35.6%)、「無料で相談できる」(34.1%)となっています。

【問 37】 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。
(○はいくつでも)

【15～39 歳】



Ⅱ 調査結果

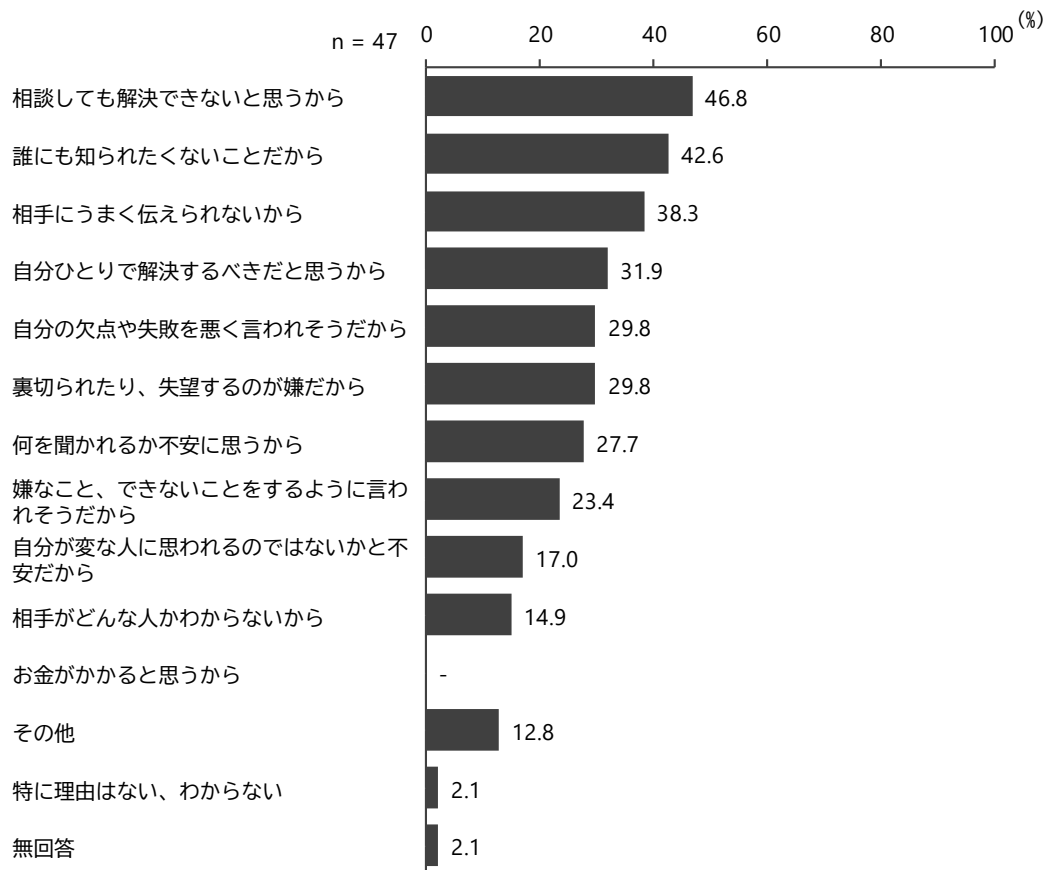
③ 相談したくない理由

▶相談したくない理由について、10～14歳では「相談しても解決できないと思うから」が46.8%と最も高く、次いで「誰にも知られたくないことだから」(42.6%)、「相手にうまく伝えられないから」(38.3%)となっています。

【問 29 で「12」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 30 「誰にも相談したり、助けてもらったりしようと思わない」と思う理由は何ですか
(○はいくつでも)

【10～14歳】

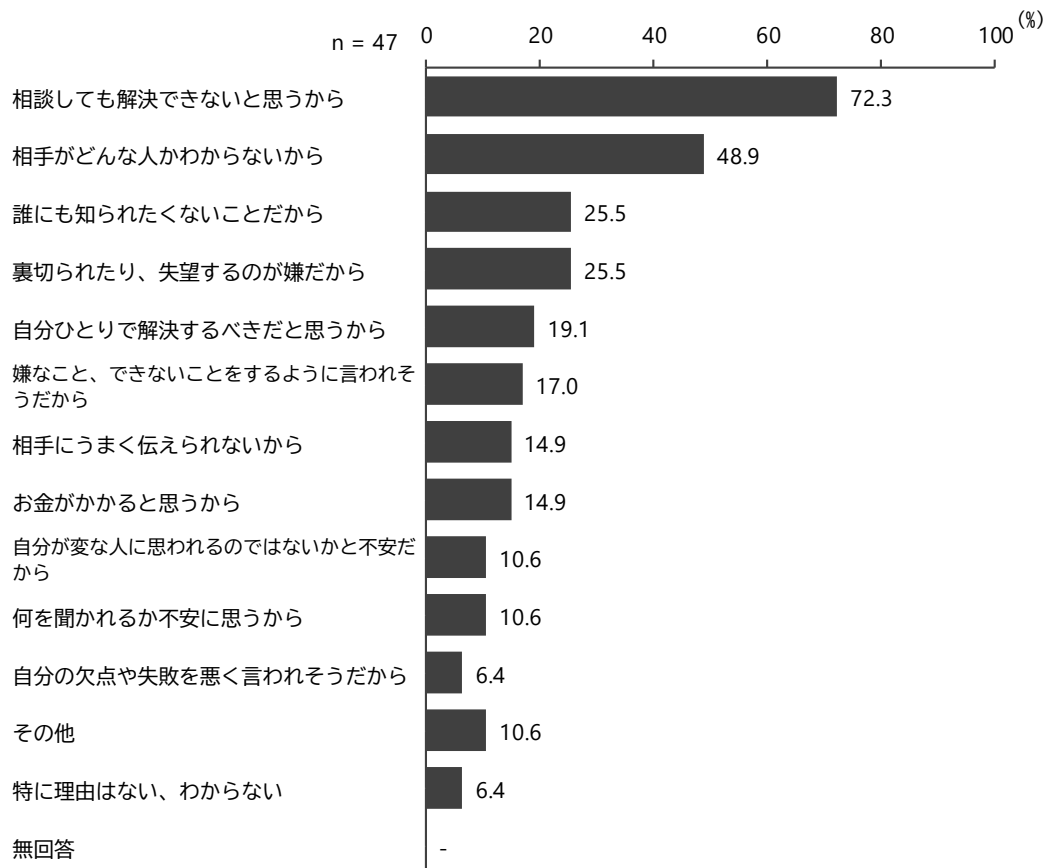


▶相談したくない理由について、15～39 歳では「相談しても解決できないと思うから」が 72.3%と最も高く、次いで「相手がどんな人かわからないから」(48.9%)、「誰にも知られたくないことだから」(25.5%)となっています。

【問 37 で「16. 誰にも相談したくない」を選んだ方のみ、お答えください。】

【問 38】 相談したくないと思う理由は何ですか。 (○はいくつでも)

【15～39 歳】



Ⅱ 調査結果

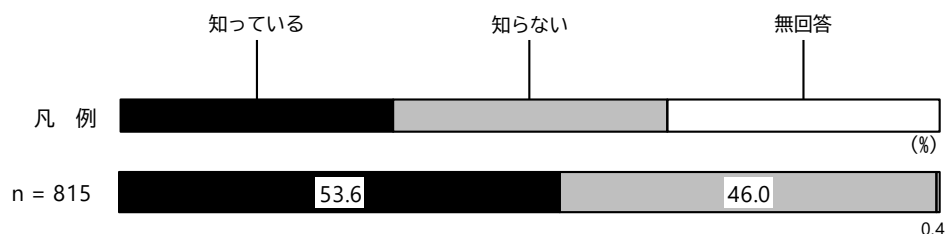
④ 相談支援機関等の認知度

- ▶相談支援機関等の認知度について、10～14歳では、「知っている」が53.6%、「知らない」が46.0%となっています。
- ▶15～39歳では、知っている相談支援機関等について、「保健所（こころの相談）」が46.6%と最も高く、次いで「職業安定所（ハローワーク）・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」（44.3%）、「児童相談所・福祉事務所などの児童福祉機関」（36.4%）となっています。

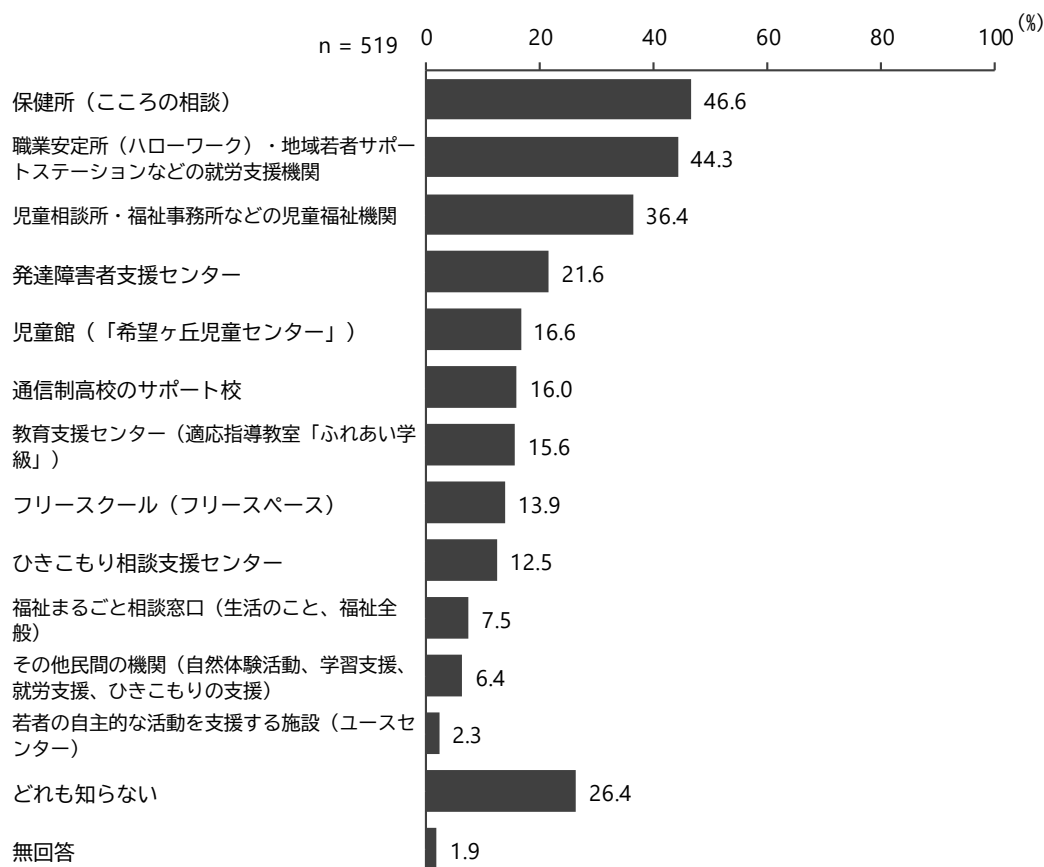
問 31 あなたは、家庭や学校以外で、悩みやこまりごとなどを相談できる場所があることを知っていますか。 (○は1つ)

【問 39】 あなたは、子ども・若者を対象とした相談支援機関等を知っていますか。
知っている相談支援機関等をすべて選んでください。 (○はいくつでも)

【10～14歳】



【15～39歳】



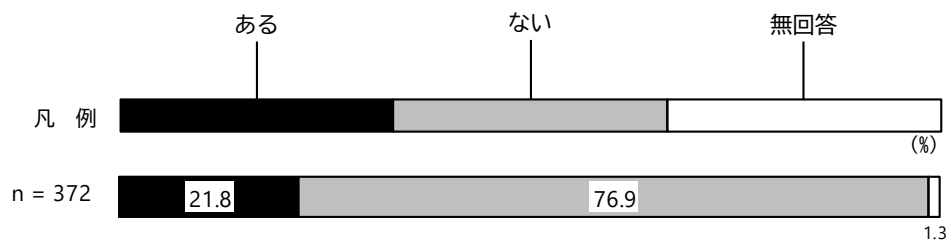
⑤ 相談支援機関等の利用頻度（15～39 歳のみ）

▶相談支援機関等の利用頻度について、「ある」が 21.8%、「ない」が 76.9%となっています。

【問 39 で「1」～「12」を選んだ方のみ、お答えください。】

【問 40】 これらの機関を利用したことはありますか。 (○は1つ)

【15～39 歳】

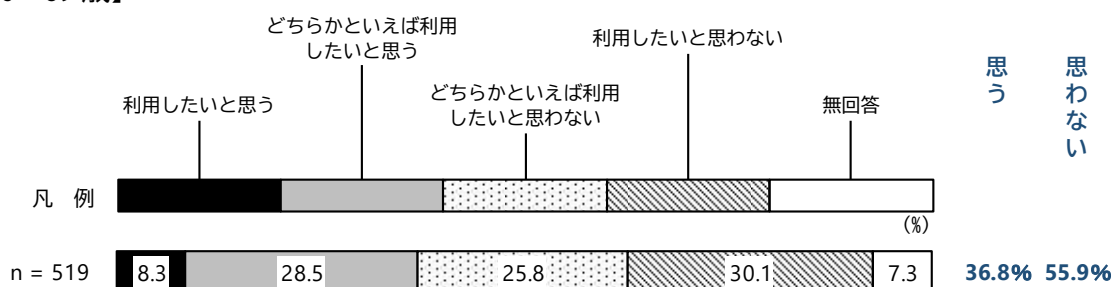


⑥ 相談支援機関等の利用希望（15～39 歳のみ）

▶相談支援機関等の利用希望については、利用したいと『思う』（「利用したいと思う」＋「どちらかといえば利用したいと思う」）が 36.8%、『思わない』（「利用したいと思わない」＋「どちらかといえば利用したいと思わない」）が 55.9%となっています。

【問 41】 問 39 にある機関等について利用したいと思いますか。 (○は1つ)

【15～39 歳】



II 調査結果

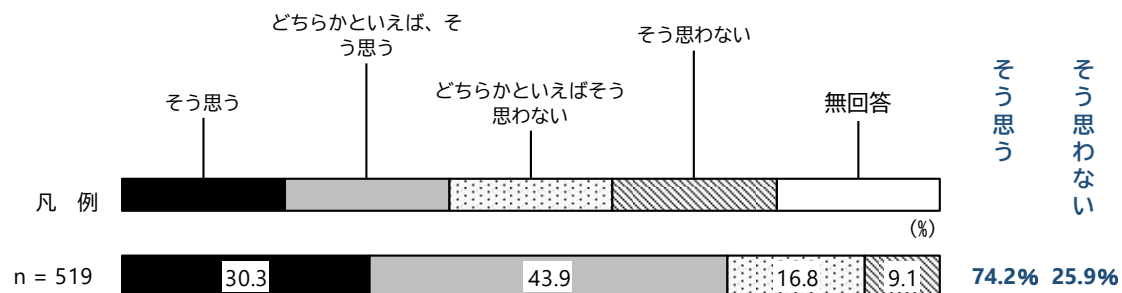
(4) 郡山市の施策などについて

① 今後の郡山市への居住意向（15～39 歳のみ）

▶ 今後の郡山市への居住意向については、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）が 74.2%、『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が 25.9%となっています。

【問 42】 あなたは郡山市に今後も住みたいと思いますか。または、一時期市外に転出して
も将来的には郡山市に住みたいと思いますか。 (○は1つ)

【15～39 歳】



【性別／郡山市への居住意向】

▶ 今後の郡山市への居住意向について、性別でみると、“男性”と“女性”で『そう思う』の割合に大きな差はありません。

【15～39 歳】

区分	調査数 (件)	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	無回答	単位: %	
							『そう思う』	『そう思わない』
男性	197	35.0	40.6	14.2	10.2	-	75.6	24.4
女性	312	27.6	45.5	18.9	8.0	-	73.1	26.9
その他	10	20.0	60.0	-	20.0	-	80.0	20.0

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／郡山市への居留意向】

▶ 今後の郡山市への居留意向について、年代別でみると、20歳以降では『そう思う』の割合が8割前後となっていますが、“15～19歳”は他の年代と比べて低くなっています。

【15～39歳】

区分	調査数 (件)	そう 思う	どちら かとい え	ど ちら かとい え	そう 思わ ない	無 回 答	単位：％	
							『 そう 思う 』	『 そう 思わ ない 』
15歳～19歳	111	26.1	33.3	25.2	15.3	-	59.4	40.5
20歳～24歳	64	28.1	53.1	12.5	6.3	-	81.2	18.8
25歳～29歳	101	32.7	46.5	12.9	7.9	-	79.2	20.8
30歳～34歳	100	31.0	50.0	11.0	8.0	-	81.0	19.0
35歳～39歳	139	33.1	41.7	18.7	6.5	-	74.8	25.2

※着色した数値は、各行の最大値

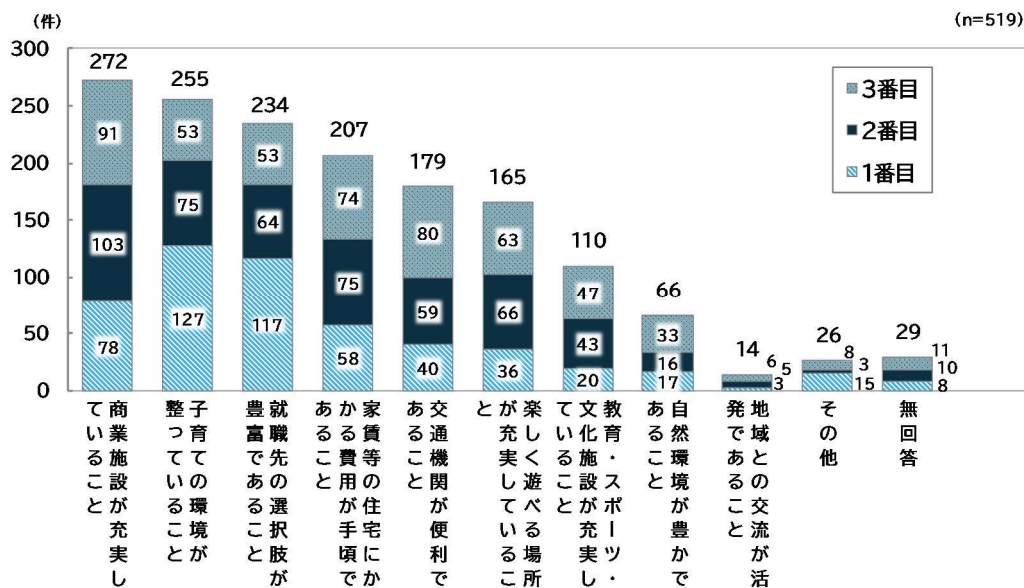
II 調査結果

② 郡山市に住み続けるために重要なこと（15～39 歳のみ）

- ▶郡山市に住み続けるために重要なことについて、1 番目～3 番目に回答した件数を足し合わせ、回答件数が多い項目は、「商業施設が充実していること」（272 件：52.4%）、「子育ての環境が整っていること」（255 件：49.1%）、「就職先の選択肢が豊富であること」（234 件：45.1%）、「家賃等の住宅にかかる費用が手頃であること」（207 件：39.9%）、「交通機関が便利であること」（179 件：34.5%）などとなっています。
- ▶また、回答の優先度を考慮して、1 番目に回答した項目に3 点、2 番目に2 点、3 番目に1 点とし、合計点数を算出したところ、合計点が高い項目は、「子育ての環境が整っていること」（584 点）、「就職先の選択肢が豊富であること」（532 点）、「商業施設が充実していること」（531 点）、「家賃等の住宅にかかる費用が手頃であること」（398 点）、「交通機関が便利であること」（318 点）などとなっています。
- ▶また、「子育ての環境が整っていること」は、1 番目の回答が 381 点と他の項目を大きく上回っています。

問 43 あなたが今後も郡山市に住み続けるために、重要なことは次のうちどれですか。上位 3 つを番号でお答えください。（回答欄に番号をそれぞれご記入ください。）

【件数】



【点数化集計】

住み続けるために重要なこと	1 番目	2 番目	3 番目	合計点数	回答者割合
商業施設が充実していること	234 点	206 点	91 点	531 点	52.4%
子育ての環境が整っていること	381 点	150 点	53 点	584 点	49.1%
就職先の選択肢が豊富であること	351 点	128 点	53 点	532 点	45.1%
家賃等の住宅にかかる費用が手頃であること	174 点	150 点	74 点	398 点	39.9%
交通機関が便利であること	120 点	118 点	80 点	318 点	34.5%
楽しく遊べる場所が充実していること	108 点	132 点	63 点	303 点	31.8%
教育・スポーツ・文化施設が充実していること	60 点	86 点	47 点	193 点	21.2%
自然環境が豊かであること	51 点	32 点	33 点	116 点	12.7%
地域との交流が活発であること	9 点	10 点	6 点	25 点	2.7%
その他	45 点	6 点	8 点	59 点	5.0%
無回答	24 点	20 点	11 点	55 点	5.6%

※1 番目に3点、2 番目に2点、3 番目に1点を付与

II 調査結果

【性別／郡山市に住み続けるために重要なこと（１番目）】

- ▶郡山市に住み続けるために重要なことの１番目について、性別でみると、“男性”は「就職先の選択肢が豊富であること」が最も高く、“女性”は「子育ての環境が整っていること」が最も高くなっています。

【15～39 歳】

単位：％

区分	調査数（件）	就職先の選択肢が豊富であること	子育ての環境が整っていること	自然環境が豊かであること	商業施設が充実していること	文化施設が充実していること	教育・スポーツ施設が充実していること	交通機関が便利であること	家賃等の住宅にかかる費用が手頃であること	地域との交流が活発であること	その他	無回答
男性	197	23.4	17.8	3.6	16.2	6.6	7.6	7.1	11.7	1.0	3.6	1.5
女性	312	21.8	28.8	3.2	14.7	2.2	6.4	7.7	10.6	0.3	2.6	1.6
その他	10	30.0	20.0	-	-	-	10.0	20.0	20.0	-	-	-

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／郡山市に住み続けるために重要なこと（１番目）】

- ▶郡山市に住み続けるために重要なことの１番目について、年代別でみると、“15～24 歳”は「就職先の選択肢が豊富であること」が最も高く、“25～39 歳”は「子育ての環境が整っていること」が最も高くなっています。

【15～39 歳】

単位：％

区分	調査数（件）	就職先の選択肢が豊富であること	子育ての環境が整っていること	自然環境が豊かであること	商業施設が充実していること	文化施設が充実していること	教育・スポーツ施設が充実していること	交通機関が便利であること	家賃等の住宅にかかる費用が手頃であること	地域との交流が活発であること	その他	無回答
15歳～19歳	111	31.5	5.4	3.6	18.9	9.0	12.6	9.0	7.2	-	1.8	0.9
20歳～24歳	64	29.7	18.8	3.1	7.8	3.1	6.3	9.4	18.8	-	1.6	1.6
25歳～29歳	101	19.8	28.7	5.9	17.8	2.0	5.0	4.0	13.9	-	2.0	1.0
30歳～34歳	100	19.0	29.0	3.0	13.0	1.0	5.0	13.0	12.0	-	3.0	2.0
35歳～39歳	139	16.5	36.7	1.4	14.4	3.6	5.0	4.3	8.6	2.2	5.0	2.2

※着色した数値は、各行の最大値

③ 自由意見（自由記述）

- ▶ こども・若者に対する支援への自由意見について、10～14 歳では「市に関すること」が 127 件と最も多く、次いで「学校に関すること」（101 件）、「施設に関すること」（58 件）となっています。

問 32 あなたが、学校やお家の人、地域や郡山市に対して思っていること（好きなところ、いやなところ、もっとこうなったらいいなと思うこと）など、ご自由にお書きください。

【10～14 歳】

No	内容	件数
1	市に関すること	127 件
2	学校に関すること	101 件
3	施設に関すること	58 件
4	家族に関すること	35 件
5	遊ぶ場所に関すること	32 件
6	学習場所に関すること	19 件
7	友達に関すること	17 件
8	交通に関すること	9 件
9	通学路に関すること	6 件
10	相談先に関すること	4 件
11	アンケートに関すること・感想	3 件
12	その他	110 件
	合計	521 件

※回答者数：401 人（「特になし」などの回答は除く）

※1 人の回答内容が複数の項目に該当する場合は、それぞれの項目に分類している

【主な意見（上位5項目・一部抜粋）】

1. 市に関すること

- 郡山市は、とてもすみやすく大好きです。おとなになったらもっといいところになりたいし、なっていてほしいです。
- もっと人口がふえると思います。
- 自然が豊かで住みやすい。人々が移住してきたらいいなと思う。

II 調査結果

2. 学校に関すること

- 中学校は、学区内、外に限らず、好きな学校に通える様にしてほしい。
- 放課後の学校の校庭を解放してほしいです。
- むずかしい手続きなどいらずに、すぐ転校できるようになってほしい。
- もっと無料で勉強を教えてくれる人と場所がほしい。

3. 施設に関すること

- 遊べる場所がもっとほしい。公園の遊具が少ない。自転車でおもいきり走れる場所がほしい。
- 駅前に無料の駐輪場を置いてほしいです。
- 映画館などの施設がないので増やしてくれるとありがたい。

4. 家族に関すること

- お家の人に対しては、感謝しかありません。困っている時、気軽に相談できるのでとても気が楽です。
- 友達や家族とけんかせず、仲良く過ごしたい。
- 親に怒られて、自分が嫌なことを言われるときがある。
- 両親はなんでも素直に聞いてアドバイスをくれることが多いです。

5. 遊ぶ場所に関すること

- こどもだけで遊べる（安全に）室内の遊び場がほしい。
- 公園の遊具が少ないからもうすこし多くなったらいいなと思っています。
- 公園で遊んだ帰りに、ごみをポイ捨てしてあった。なので、ごみを分別できることにしてほしい。

- ▶ 子ども・若者に対する支援への自由意見について、15～39 歳では「子育て環境、生活環境に関すること」が 53 件と最も多く、次いで「制度・手当・補助金に関すること」(32 件)、「金銭面に関すること」(27 件)となっています。

【問 44】 郡山市の子ども・若者に対する支援についてのご意見・ご提案を、ご自由にお書きください。

【15～39 歳】

No	内容	件数
1	子育て環境、生活環境に関すること	53 件
2	制度・手当・補助金に関すること	32 件
3	金銭面に関すること	27 件
4	子育て（支援）に関すること	24 件
5	窓口・行政に関すること	23 件
6	学校生活・先生に関すること	19 件
7	就労に関すること	12 件
8	医療に関すること	4 件
9	アンケートについて	4 件
10	その他	23 件
	合計	221 件

※回答者数：120 人（「特になし」などの回答は除く）

※1 人の回答内容が複数の項目に該当する場合は、それぞれの項目に分類している

【主な意見（上位 5 項目・一部抜粋）】

1. 子育て環境、生活環境に関すること

- こどもが楽しめる、県外から来た友人が楽しめる観光スポットをつくってほしいです。
- 屋内プールを増やしてほしい（子供が遊べるプールが少ない）。
- もっと買い物に行ける施設を増やして欲しい。

2. 制度・手当・補助金に関すること

- 民間の学童保育費用にも補助金を出してほしい。
- 非課税世帯だけではなく、子供がいる家庭への手当てを手厚くして欲しい。
- 住宅関連の補助金を増額してほしい。

II 調査結果

3. 金銭面に関すること

- 最低賃金が安すぎる。生活できない（自立できない）。商業施設が少なすぎるので若者が離れていると思う。働く場所も少ないと感じる。
- 郡山市は、他の市町村より、税の部分であったり、電気料金等の公共料金が多い（高い）と思いますので、その点の改善からしていくと良いと思います。

4. 子育て（支援）に関すること

- 子育てに関しては、学校の対応など子供自身が心地よい環境にいれるように、昔ながらの決まりではなく、時代に合った進め方をしてほしい。
- 待機児童を減らす。
- 子供に関わる費用をなるべく軽減して、子供を産むことに抵抗をなくす事で出生率の向上をはかってほしい。
- 支援を必要とするこどもへの教員（支援員）や保育者の充実、各医療機関との連携を願う。

5. 窓口・行政に関すること

- 保健所でやっている、こころの相談ができる頻度（一人あたりの回数制限を設けず）を増やして欲しいです。
- 郡山の支援機関等は、利用しづらい。（場所・駐車場等の問題。）
- 家計が楽になるような長期的な政策。
- 義務教育とは別に、課外活動（習い事など）の選択肢を広げ、金銭的負担を軽減できるような事業を郡山市で独自に行うと良いと思う。

Ⅲ 本市における課題

今回のアンケート調査結果に加え、これまでの市の取組や統計データも踏まえながら、課題を整理しました。

1 幼児教育・保育についての課題

今回のアンケート調査結果によると、未就学児の教育・保育事業の利用状況については、9割以上の方が『利用できている』（「希望どおり利用できている」＋「ほぼ、希望どおり利用できている」）と回答しています。また、未就学児の保護者の就労状況では、パートタイム就労している母親の約5割は、現在の就労形態を続ける希望をしています。

本市では、保育所等待機児童の解消を図るため、民間認可保育施設や認定こども園等の整備を積極的に進め、2015（平成27）年度から2022（令和4）年度までの9年間で50施設、2,694人分の受入れ枠の拡大を図ってきました。

これにより、4月1日時点における国基準待機児童数については、2021（令和3）年から2024（令和6）まで、4年連続でゼロとなっています。

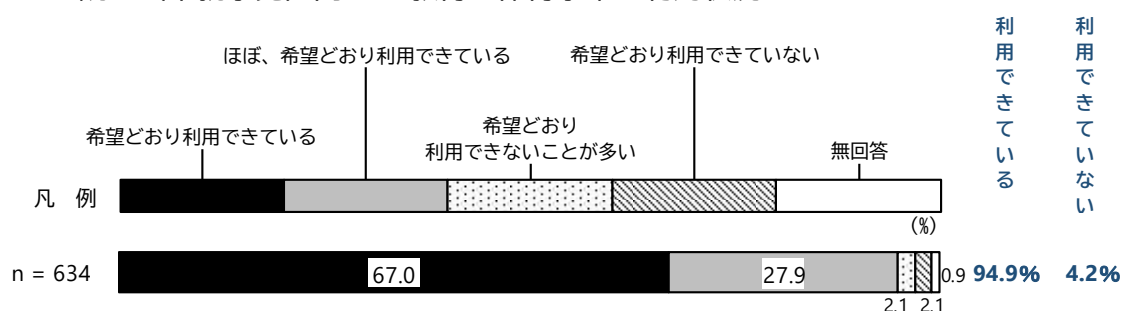
本市のこどもを取り巻く環境においては、幼稚園の園児数が減少する一方で、保育需要の高まりから、年度間を通した保育所等待機児童の解消が、依然として課題となっています。一方、市全体でみると就学前児童数は減少し続けており、保育需要を見極めながら公立保育所の再編成や定員の削減等を進めていく必要があります。

幼児教育・保育の現場では、障がいのあるこども等支援を必要とするこどもの受入れが増加するとともに、医療的ケアが必要なこどもの受入体制の整備が急務となっています。加えて、家庭環境の問題などから、こどもだけでなく保護者も含めて支援が必要な家庭が増加するなど、支援ニーズは増加し、かつ多様化しています。

また、幼児教育・保育の担い手である保育士、保育教諭等の人材育成・確保、その処遇改善や現場の負担軽減が課題となっています。

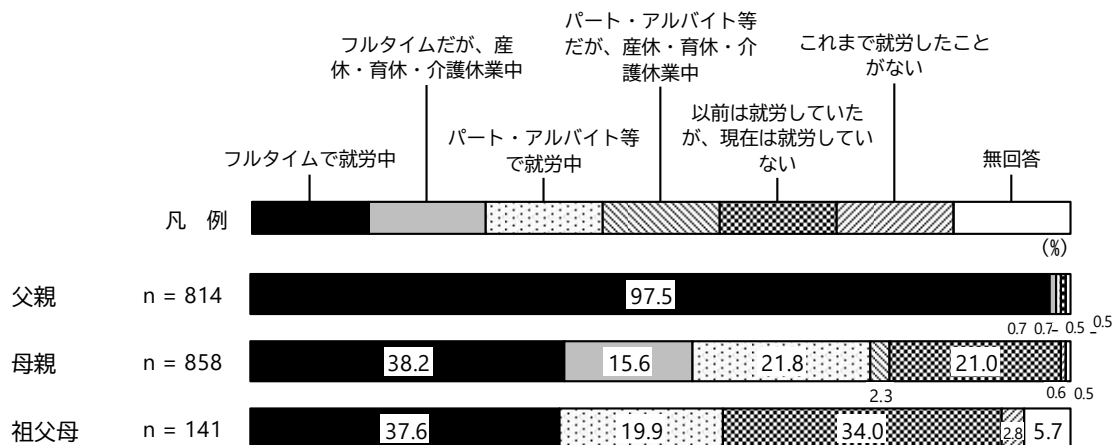
こうしたこどもや幼児教育・保育の現場などを取り巻く環境の変化と諸課題に適切に対応していくことが求められています。

■ニーズ調査（未就学児）問18 教育・保育事業の利用状況

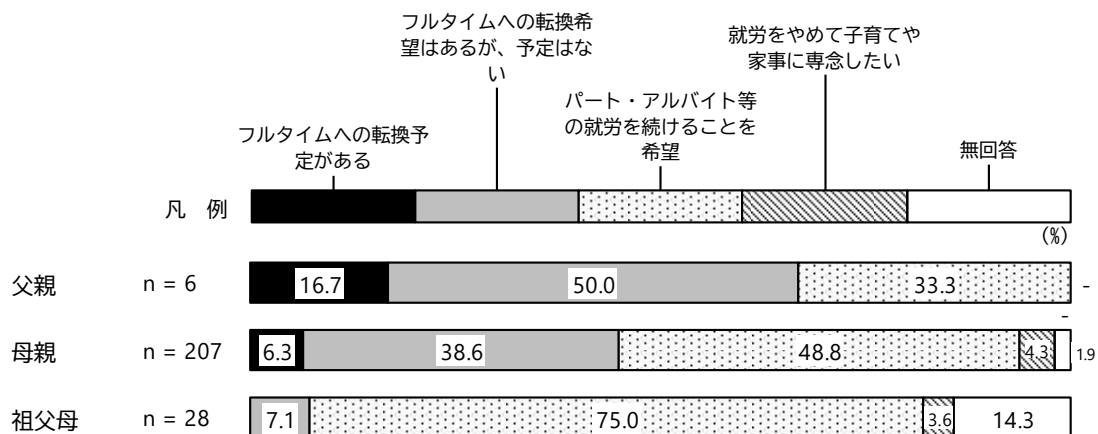


Ⅲ 本市における課題

■ニーズ調査（未就学児）問7 保護者の就労状況



■ニーズ調査（未就学児）問9 フルタイムへの転換希望



2 放課後の児童の居場所についての課題

国では、『放課後児童対策パッケージ』において、「こどもまんなか」な放課後を実現するため、放課後児童クラブの待機児童解消を目指すこととしています。

今回のアンケート調査結果では、保護者の就労状況について、小学生の父親では「フルタイムで就労中」が 96.8%と最も高くなっていますが、母親でも「フルタイムで就労中」が 48.5%と最も高くなっています。また、放課後の過ごし方について、未就学児で5歳以上のこどもを持つ保護者では「市が行っている放課後児童クラブ」を希望する割合が低学年で5割を超えている状況です。

本市の女性の就業状況は、2020（令和2）年の国勢調査によると、本市女性の労働力率が 54.38%と、全国女性の労働力率 53.45%よりも高いことから、児童クラブの利用ニーズも比例して高い水準にあると考えられます。

そのため、本市では、保護者負担の軽減を図るとともに、民間放課後児童クラブの安定的な運営支援を図るため、2021（令和3）年度から民間放課後児童クラブに対する補助を開始し、民間放課後児童クラブと連携した受入枠確保に取り組んでいます。2024（令和6）年4月現在、公立と民間の放課後児童クラブ定員合計は 4,853 人であり、民間放課後児童クラブとの連携開始前の 2020（令和2）年度の定員合計 2,780 人と比べて、約 1.7 倍に拡充しています。

今後の学校別の児童数推計においては宅地造成等により在校児童数が増加を続ける学校もあるため、近隣の民間放課後児童クラブとの連携と併せて、低学年の受入枠が確保できるよう対応していく必要があります。それとともに、市全体としての児童数減少による将来的な需要減少及び将来的な費用負担を見据えて検討していく必要があります。

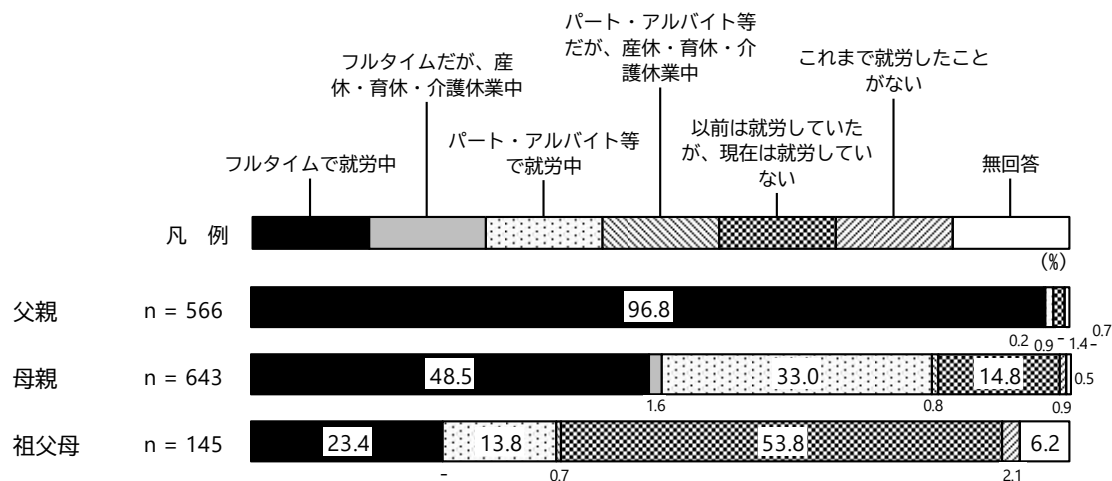
併せて、放課後児童クラブの量的拡充だけでなく、質的拡充も課題であり、放課後児童クラブの活動においては、「子どもの権利条約」第 12 条ではこどもの「意見を表す権利」を掲げ、「こどもの居場所づくりに関する指針」で「こどもの声を聴き、こどもの視点に立ち、こどもとともにつくる居場所」が重視されていることを考慮することも重要です。

本市では、民間事業者等が有するノウハウやアイデアを活用することにより、住民サービスの質の向上を図り、施設の設置目的を効果的に達成するため、2024（令和6）年度から公立放課後児童クラブで指定管理者制度を導入したところであり、事業規模の拡大に対応した質的拡充を図り、持続可能な事業運営に取り組んでいく必要があります。

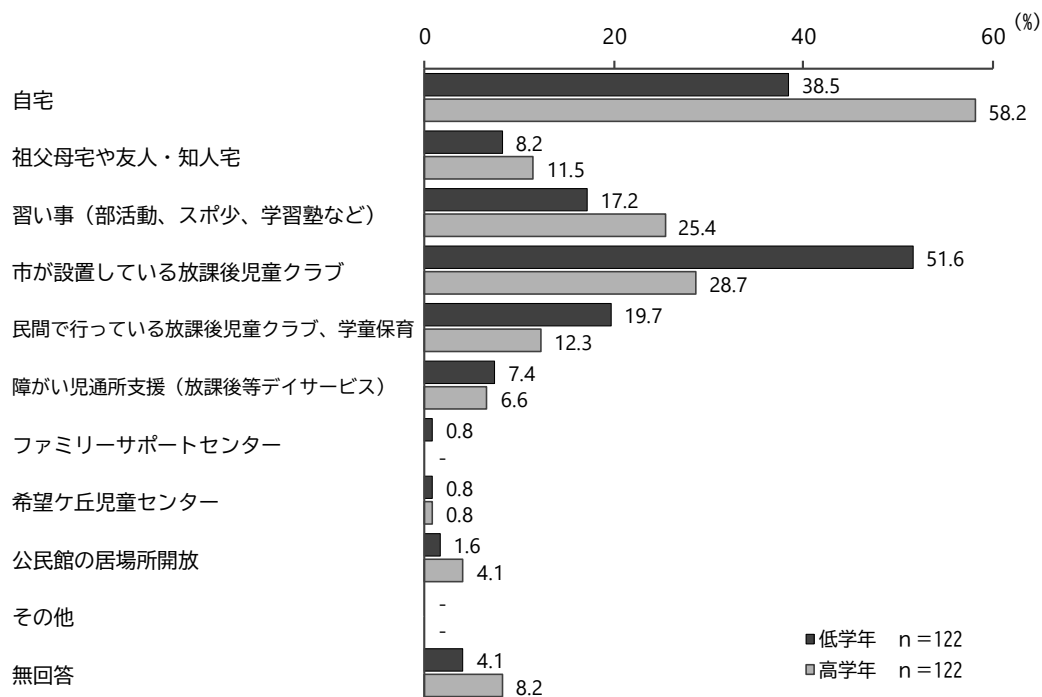
また、本市の待機児童は、放課後児童クラブの受入枠拡充により、2020（令和2）年度の 245 人から 2024（令和6）年度の 72 人と減少していますが、待機児童の多くが4年生であることを踏まえ、高学年の児童の居場所づくりとして多様な放課後の居場所の確保・充実は今後も重要な課題です。

Ⅲ 本市における課題

■ニーズ調査（小学生）問7 保護者の就労状況



■ニーズ調査（未就学児）問39 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望



3 切れ目のない支援についての課題

子育てしやすい環境を整えるためには、教育・保育施設を利用することの家庭のみならず、在宅の子育て家庭を含むすべての家庭を対象として、地域のニーズに応じた多様かつ総合的な子育て支援を量・質両面にわたり充実させることが必要です。

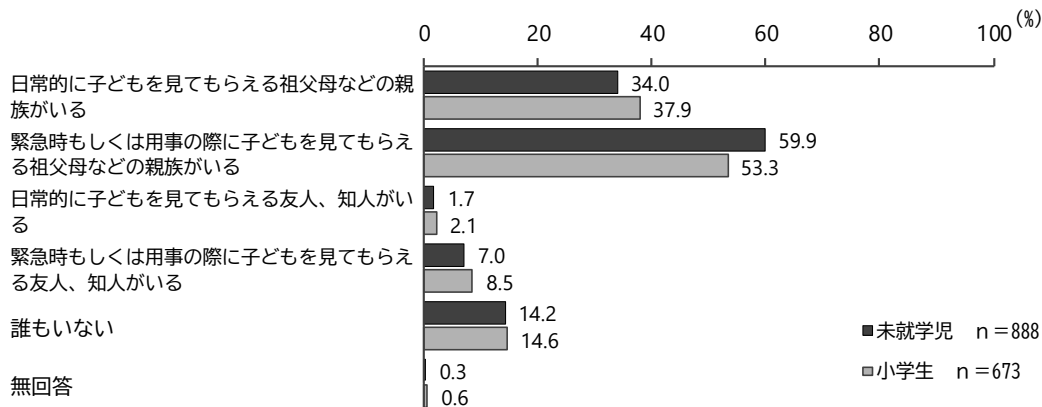
本市では、2020（令和2）年3月に策定した『第2期郡山市ニコニコ子ども・子育てプラン』において「切れ目なく子育てを支援する視点」を基本的な視点の1つとして、妊娠・出産期から子育て期まで切れ目のない支援を図ってきました。

今回のアンケート調査結果では、緊急時等に子どもを見てもらえる親族・知人が誰もいない割合は未就学児保護者が14.2%、小学生保護者が14.6%となっています。核家族化により、身近に子どもを見てもらえる親族等がいない人が増えている可能性が考えられます。

また、未就学児保護者の17.6%、小学生保護者の24.4%が「相談する場所がない」と回答しており、保健センターや行政センター、児童相談所、子育てサロン等の公的な場所での相談割合が少なくなっています。

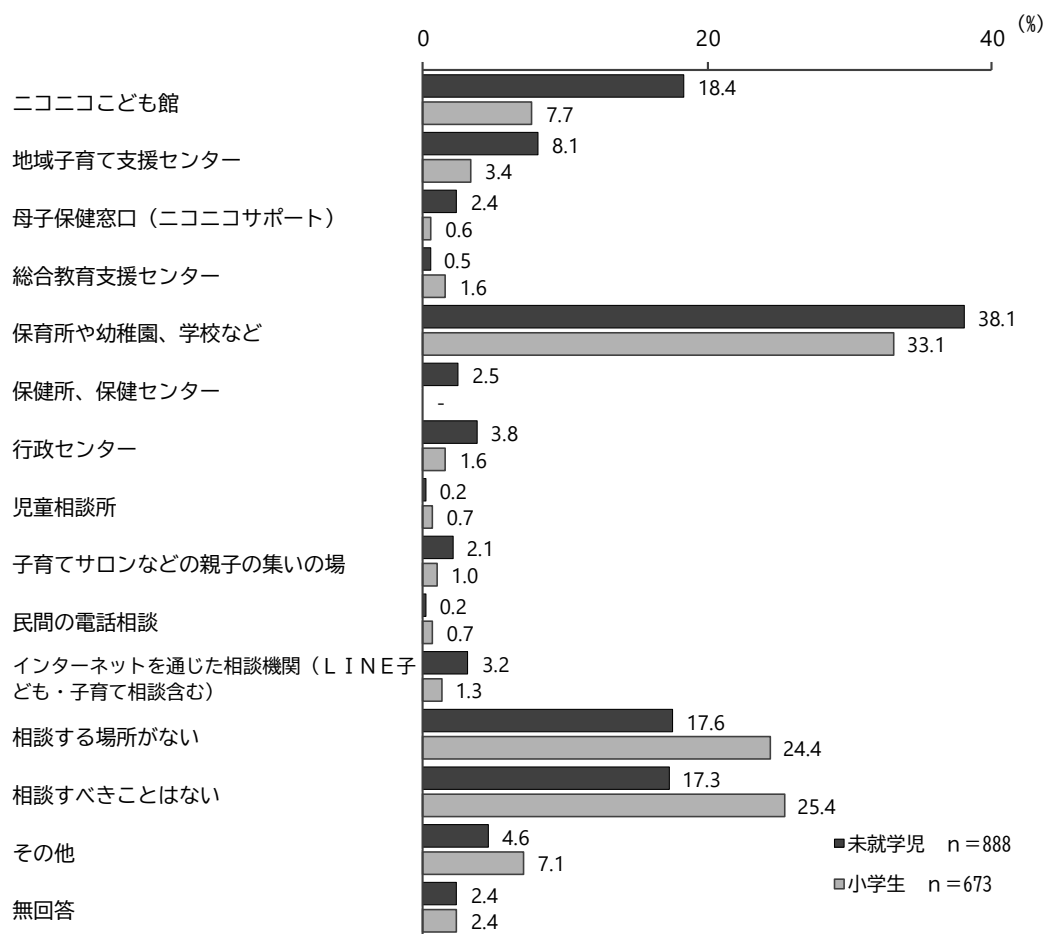
保護者が不安を抱えることなく子どもを健やかに育てることができる環境を整備するためには、切れ目のない相談や支援を行い、スムーズに福祉サービスや専門相談機関につなげ、保護者の育児不安・負担の軽減を図り、安心して産み育てることができる取組が必要です。さらに、今後は「こどもまんなか」社会の実現を目指すため、妊娠・出産期から子育て期までのみではなく、その先の学童期・思春期・青年期等も含め、子ども・若者の状況に応じた切れ目のない支援の充実を図り、個々の状況に寄り添いながら支援していくことが重要です。

■ニーズ調査（未就学児・小学生）問47〔問32〕子どもを見てもらえる親族・知人の有無



Ⅲ 本市における課題

■ニーズ調査（未就学児・小学生）問 46〔問 31〕子育てについての相談場所



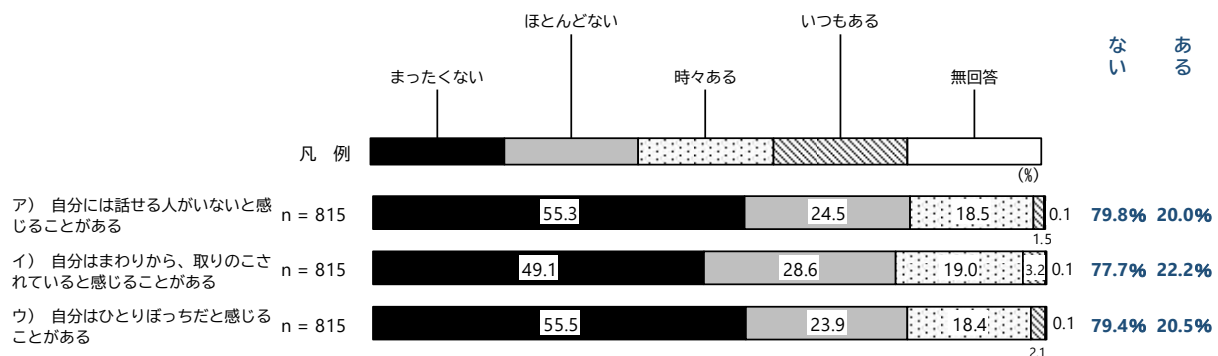
4 生きづらさ等の問題を抱える子どもについての課題

全国的に不登校の児童生徒数は増加傾向にあります。本市においても同様の傾向が見られ、公立学校における不登校児童数は小学校・中学校とも増加傾向にあります。

今回のアンケート調査結果では、10～14歳において、「自分には話せる人がいないと感じることがある」「自分はまわりから、取りのこされていると感じることがある」「自分はひとりぼっちだと感じることがある」について、全体で2割程度が『ある』（「時々ある」＋「いつもある」）と回答しています。

悩みを抱えている児童・生徒に対して、相談先の周知方法の工夫や安心して相談できるような環境づくり、辛い・苦しい経験をした際に子ども自らが相談でき、子どもにとって一番良い解決方法を一緒に考える仕組みを検討していくことが重要です。また、相談支援体制等の充実にあたっては、庁内の関係部署間での十分な連携に加え、関係機関・団体等とも連携し情報共有を図りながら総合的に支援する必要があります。

■子ども・若者調査（10～14歳）問10 孤独感の有無



■子ども・若者調査（10～14歳）問10 孤独感の有無（年齢別）

【自分には話せる人がいないと感じることがある】

区分	調査数 (件)	単位：%					『ない』『ある』	
		まったく ない	ほとん どない	時々 ある	いつも ある	無回 答	『ない』	『ある』
10歳	206	65.0	21.8	11.7	1.5	-	86.8	13.2
11歳	184	54.9	28.8	14.1	2.2	-	83.7	16.3
12歳	155	54.8	20.0	23.2	1.9	-	74.8	25.1
13歳	141	47.5	24.8	26.2	1.4	-	72.3	27.6
14歳	125	48.0	28.8	22.4	-	0.8	76.8	22.4

※着色した数値は、各行の最大値

Ⅲ 本市における課題

【自分はまわりから、取りのこされていると感じることがある】

単位：％

区分	調査数 (件)	まったく ない	ほとん どない	時々 ある	いつも ある	無回 答
10歳	206	59.7	23.8	14.1	2.4	-
11歳	184	50.5	30.4	17.4	1.6	-
12歳	155	41.9	33.5	21.9	2.6	-
13歳	141	43.3	25.5	26.2	5.0	-
14歳	125	43.2	32.0	18.4	5.6	0.8

『ない』	『ある』
83.5	16.5
80.9	19.0
75.4	24.5
68.8	31.2
75.2	24.0

※着色した数値は、各行の最大値

【自分はひとりぼっちだと感じることはある】

単位：％

区分	調査数 (件)	まったく ない	ほとん どない	時々 ある	いつも ある	無回 答
10歳	206	65.5	18.9	13.1	2.4	-
11歳	184	58.7	26.1	14.1	1.1	-
12歳	155	50.3	25.8	21.9	1.9	-
13歳	141	50.4	21.3	26.2	2.1	-
14歳	125	44.8	30.4	20.8	3.2	0.8

『ない』	『ある』
84.4	15.5
84.8	15.2
76.1	23.8
71.7	28.3
75.2	24.0

※着色した数値は、各行の最大値

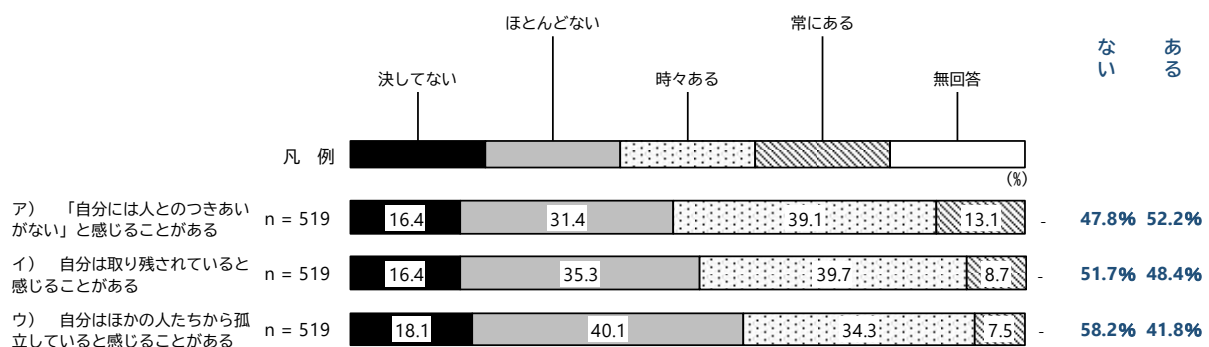
5 若者への支援についての課題

今回のアンケート調査結果では、15～39 歳において、「自分には人とのつきあいがないと感じる」「自分は取り残されていると感じる」「自分はほかの人たちから孤立していると感じる」について、全体で4割～5割程度が『ある』（「時々ある」＋「いつもある」）と回答しています。

若者の困難な状況は、病気や健康、人間関係、家族関係、就職・進路等、多岐にわたり、複合性・複雑性を有しているといえます。不安を抱えている若者やその家族に対する相談体制の充実を図ることに加え、相談先や必要な支援がわからないという事態に陥らないよう、相談支援やサービスに関する情報等について学生を含む若者に周知することが重要であると考えられます。

また、15～39 歳においては、自分の将来に対する明るい希望の有無で肯定的な回答が多いものの、否定的な回答も全体で約4割となりました。こども・若者が自らの将来に希望を持ち、自らの意思で主体的に将来のライフプランを選択することができるよう、それを支援する担い手の育成や地域ネットワークの強化にも取り組んでいく必要があります。

■こども・若者調査（15～39 歳）問 10 孤独感の有無



■こども・若者調査（15～39 歳）問 10 孤独感の有無（年代別）

【自分には人とのつきあいがないと感じる】

区分	調査数 (件)	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある	無回答	単位：%	
							「ない」	「ある」
15歳～19歳	111	26.1	42.3	24.3	7.2	-	68.4	31.5
20歳～24歳	64	10.9	34.4	43.8	10.9	-	45.3	54.7
25歳～29歳	101	19.8	27.7	36.6	15.8	-	47.5	52.4
30歳～34歳	100	12.0	29.0	43.0	16.0	-	41.0	59.0
35歳～39歳	139	11.5	26.6	47.5	14.4	-	38.1	61.9

※着色した数値は、各行の最大値

Ⅲ 本市における課題

【自分を取り残されていると感じる】

区分	調査数 (件)	決して ない	ほとん どない	時々 ある	常に ある	無回 答
15歳～19歳	111	22.5	40.5	33.3	3.6	-
20歳～24歳	64	14.1	48.4	28.1	9.4	-
25歳～29歳	101	16.8	32.7	37.6	12.9	-
30歳～34歳	100	10.0	32.0	49.0	9.0	-
35歳～39歳	139	16.5	28.8	46.0	8.6	-

※着色した数値は、各行の最大値

単位：％

『 ない 』	『 ある 』
63.0	36.9
62.5	37.5
49.5	50.5
42.0	58.0
45.3	54.6

【自分はほかの人たちから孤立していると感じる】

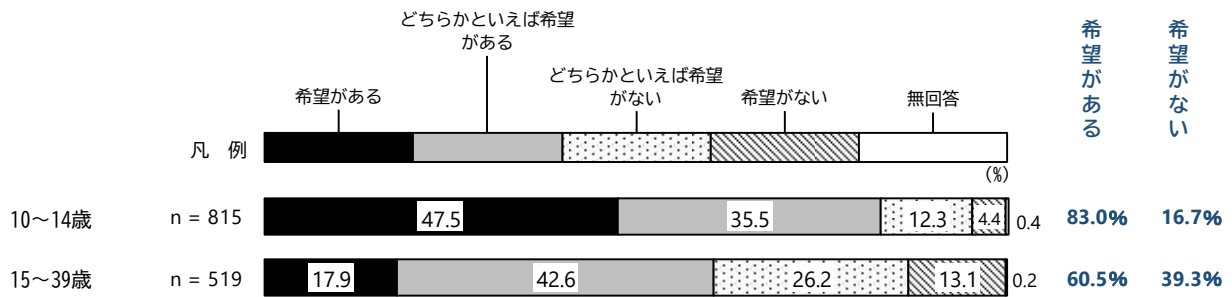
区分	調査数 (件)	決して ない	ほとん どない	時々 ある	常に ある	無回 答
15歳～19歳	111	23.4	44.1	30.6	1.8	-
20歳～24歳	64	20.3	43.8	29.7	6.3	-
25歳～29歳	101	18.8	41.6	28.7	10.9	-
30歳～34歳	100	11.0	37.0	40.0	12.0	-
35歳～39歳	139	17.3	36.0	40.3	6.5	-

※着色した数値は、各行の最大値

単位：％

『 ない 』	『 ある 』
67.5	32.4
64.1	36.0
60.4	39.6
48.0	52.0
53.3	46.8

■こども・若者調査（10～14歳・15～39歳）問17〔問24〕 将来への希望



■こども・若者調査（10～14歳・15～39歳）問17〔問24〕 将来への希望（年齢・年代別）

【10～14歳】

区分	調査数（件）	希望がある	どちらかといえば希望がある	どちらかといえば希望がない	希望がない	無回答	単位：%	
							希望がある	希望がない
10歳	206	55.3	31.6	10.2	2.4	0.5	86.9	12.6
11歳	184	52.2	36.4	9.2	2.2	-	88.6	11.4
12歳	155	45.2	35.5	12.9	5.8	0.6	80.7	18.7
13歳	141	40.4	32.6	17.7	9.2	-	73.0	26.9
14歳	125	38.4	44.0	13.6	4.0	-	82.4	17.6

※着色した数値は、各行の最大値

【15～39歳】

区分	調査数（件）	希望がある	どちらかといえば希望がある	どちらかといえば希望がない	希望がない	無回答	単位：%	
							希望がある	希望がない
15歳～19歳	111	29.7	42.3	18.9	9.0	-	72.0	27.9
20歳～24歳	64	17.2	37.5	31.3	14.1	-	54.7	45.4
25歳～29歳	101	13.9	43.6	27.7	14.9	-	57.5	42.6
30歳～34歳	100	9.0	45.0	24.0	22.0	-	54.0	46.0
35歳～39歳	139	18.0	42.4	30.9	7.9	0.7	60.4	38.8

※着色した数値は、各行の最大値

IV 使用した調査票

1 子育てしやすい環境づくりアンケート（未就学の保護者の方へ）

「子育てしやすい環境づくりアンケート」
(未就学児の保護者の方へ)

～調査票について～

○ このアンケートは、令和6年6月10日現在、本市に住民登録のある未就学児（平成30年4月2日以降生まれ）の中から2,000人を抽出し、その保護者様にお願ひするものです。

○ 送られた封筒にある「あて名のお子さん」についてお答えください。

○ このアンケートは、無記名です。調査票にお名前を書いていただく必要はありません。

○ 皆様からいただいたご回答は、調査の目的以外で使用することはありません。

○ アンケートにある施設や事業の詳細につきましては、本市ウェブサイトをご参照ください。

○ 回答方法は次の2つのうちどちらか1つの方法で、
7月26日（金）までにご回答をお願いします（所要時間は25分程度です）。

1 パソコン・スマートフォン等によりインターネットで回答

右の二次元コードまたは下記URLより回答画面にアクセスし、
「整理番号（数字6ケタ）」をご入力の上、画面の指示に従って
ご回答ください。

URL

https://src2.webcas.net/form/pub/src1/koriyama-kodomo1

整理番号



インターネットでの
回答が便利です！

※整理番号を誤りた
めの場合は、問
6の欄で必ず
訂正してください

2 アンケート用紙（この冊子）に直接記入し、郵送により回答

▶ ご回答は、「〇は1つ」「〇はいくつでも」などの表記に従って、該当する
番号に〇をつけてください。（一部、数字をご記入いただく設問もございます。）

▶ 「その他」に〇をつけた場合は、その後の（ ）内に具体的な内容をご記入ください。

▶ ご記入いただきましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストにご投函ください。

調査実施者

郡山市 子ども部 子ども総務企画課 子ども企画係

※本調査は、株式会社サードパーティセンターに委託して実施しています。

アンケートに関するお問合せ先

子ども・若者調査事務局（株式会社サードパーティセンター 東北事務所内）

電話：0120-965-341

お問合せ期間：2024年7月1日（月）～8月2日（金） 土日祝日を除く 10時～17時 ※12時～13時給食中

お住まいの地域

問1 お住まいの地区はどちらですか。
(〇は1つ)

1. 富田

2. 大槻

3. 安積

4. 三穂田

5. 逢瀬

6. 片平

7. 喜久田

8. 日和田

9. 富久山

10. 湖南

11. 熱海

12. 田村

13. 西田

14. 中田

15. 1～14以外の中心部

あて名のお子さんご家族の状況

問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。
(〔 〕内に数字で記入)

西暦

〔 〕年

〔 〕月

生まれ

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
あて名のお子さんからみた関係でお答えください。
(〇は1つ)

1. 母親

2. 父親

3. その他 ()

問4 この調査票にご回答いただいている方の婚姻状況についてお答えください。
(〇は1つ)

1. 結婚している（再婚・事実婚を含む）

2. 結婚していない（別居中）

3. 離別・死別

4. 未婚

問5 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。
(〇は1つ)

1. 両親ともに

2. 主に母親

3. 主に父親

4. 主に祖父母

5. その他 ()

問6 お子さんと同居しているご家族の構成はどのようになっていますか。お子さんからみた関係でお答えください。また、お子さんに兄弟姉妹がいる場合、その内訳もご記入ください。
(〇はいくつでも、〔 〕内は数字を記入)

1. 父親

2. 母親

3. 兄弟姉妹〔 〕人（内訳）未就学児〔 〕人、小学生〔 〕人、中学生〔 〕人

4. 祖父〔 〕人

5. 祖母〔 〕人

6. その他〔 〕人（具体的に記入ください例：曾祖母 など）

188

あて名のお子さんの保護者の就労状況

問7 あて名のお子さんの同居している保護者の、現在の就労状況（自営業・家族従事者含む）についてお答えください。
（父親・母親・祖父母それぞれのあてはまる項目1つに○）

項目	父親	母親	祖父母
①フルタイム（※1）で就労中	1	1	1
②フルタイムだが、産休・育休・介護休業中	2	2	2
③パート・アルバイト等（※2）で就労中	3	3	3
④パート・アルバイト等だが、産休・育休・介護休業中	4	4	4
⑤以前は就労していたが、現在は就労していない	→問10A	5	5
⑥これまで就労したことがない	→問10A	6	6

※1 「フルタイム」：1日8時間程度・1週5日程度の就労を指します。
※2 「パート・アルバイト等」：「フルタイム」以外の就労を指します。

【問7で①～④（就労している）を選んだ方のみ、お答えください。】

問8 1週あたりの「就労日数、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時刻、「帰宅時刻」をお答えください。それぞれ一定でない方は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
（それぞれ数字で記入。「家を出る時刻」、「帰宅時刻」は24時間制（例：午後6時→18時）で記入）

項目	父親	母親	祖父母
①1週あたりの就労日数	日	日	日
②1日あたりの就労時間（残業時間を含む）	時間	時間	時間
③家を出る時刻	時	時	時
④帰宅時刻	時	時	時

【問7で③または④（パート・アルバイト等で就労している）を選んだ方のみ、お答えください。】

問9 フルタイムへの転換希望はありますか。（父親・母親・祖父母それぞれのあてはまる項目1つに○）

項目	父親	母親	祖父母
①フルタイムへの転換予定がある	1	1	1
②フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない	2	2	2
③パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	3	3	3
④就労をやめて子育てや家事に専念したい	4	4	4

【問7で⑤または⑥（就労していない）を選んだ方のみ、お答えください。】

問10 就労したいという希望はありますか。（父親・母親・祖父母それぞれのあてはまる項目1つに○）

項目	父親	母親	祖父母
①子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）→問12A	1	1	1
②すぐに、または1年以内に就労したい	2	2	2
③1年より先に就労したい	3	3	3

【問10で②または③（就労したい）を選んだ方のみ、お答えください。】

問11 どのような就労を希望しますか。
（父親・母親・祖父母それぞれのあてはまる番号1つに○、[]内は数字を記入）

父親	母親	祖父母
1. フルタイム	1. フルタイム	1. フルタイム
2. パート・アルバイト等 1週あたり[]日、 1日あたり[]時間程度	2. パート・アルバイト等 1週あたり[]日、 1日あたり[]時間程度	2. パート・アルバイト等 1週あたり[]日、 1日あたり[]時間程度

あなたの現在の家計の状況

問12 令和5年中の、世帯を合わせた年収（手取りの収入。副業や各種手当も含む。）は、およそどのくらいですか。
（○は1つ）

1. 50万円未満	2. 50～100万円未満	3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満	5. 200～250万円未満	6. 250～300万円未満
7. 300～400万円未満	8. 400～500万円未満	9. 500～600万円未満
10. 600～700万円未満	11. 700～800万円未満	12. 800万円以上

問13 世帯の家計で最も負担となっているものは何ですか。
（○は1つ）

1. 子育て費用（教育費含む）	2. 医療費	3. 家賃・住宅ローン
4. 衣料品・食費・雑貨費	5. 水道光熱費	6. 交際費
7. 生命保険・損害保険の保険料	8. 「3」以外の返済	9. 通信費（電話、インターネットなど）
10. その他（ ）		

問14 子育て費用のうち、最も支出の大きい項目はなんですか。
（○は1つ）

1. 育児費（食費、医療費）	
2. 子ども用品、衣料費（衣類、生活用品、器具、消耗品、おもちゃ、文具等）	
3. 保育・教育費（保育所や幼稚園、学校など）	
4. 「3」以外の保育・教育費（習い事、家庭教育用品、通信教育など）	
5. 子どものための預貯金・保険	
6. その他（ ）	

平日の「定期的な教育・保育事業」の利用状況、利用希望

「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している施設や事業を指します。各施設や各事業の詳しい内容は、別紙の「定期的な教育・保育事業実施状況」をご覧ください。

問15 あて名のお子さんについて、(1)、(2)それぞれの項目についてお答えください。

- (1)現在、平日に定期的に利用している教育・保育事業
(2)現在、利用している・利用していないにかかわらず、平日の教育・保育事業として今後定期的に利用したいもの

※現在ご利用中または今後利用希望の施設（事業）がどれにあてはまるかは、市ウェブサイトでご確認いただけます。



	(1) 現在利用 している	(2) 今後 利用したい
①幼稚園 (小学校前の幼児教育を行う学校)	1	1
②幼稚園の預かり保育 (幼稚園で利用する延長保育 ※定期的な利用のみ)	2	2
③幼稚園の一時預かり保育 (幼稚園での2歳児を対象にした1日8時間程度の預かり保育)	3	3
④認可保育所 (就労する保護者等に代わって乳幼児の保育を行う施設 ※市の認可を受けた保育所および公立保育所を含む)	4	4
⑤認可外保育施設 (就労する保護者等に代わって乳幼児の保育を行う施設 ※市の認可を受けていない施設)	5	5
⑥認定こども園 (幼稚園と保育所の機能をあわせ持つ施設)	6	6
⑦小規模保育施設 (6～19人程度の少人数を対象に、乳幼児を預かる施設)	7	7
⑧家庭的保育施設 (5人以下の少人数を対象に、乳幼児を預かる施設)	8	8
⑨居宅訪問型保育事業 (障がいなどで個別のケアが必要な場合等に応じて、保護者の自宅で1対1の保育を行う事業)	9	9
⑩事業所内保育施設 (会社の事業所の保育施設などで、従業員の子どもと地域の子どもと一緒に保育する施設のうち、市の認可を受けたもの)	10	10
⑪企業主導型保育施設 (会社の事業所の保育施設などで、従業員の子どもと地域の子どもと一緒に保育する施設のうち、市の認可を受けていないもの)	11	11
⑫ファミリーサポートセンター (会員相互に子どもを預けたり預けたりする事業)	12	12
⑬障がい児児通所支援 (障がい児が教育機関に通ったり、保育所等へ支援員の訪問を受ける事業)	13	13
⑭利用していない（利用しない）	14	14

【問15の(2)で①又は②を選び、かつ③～⑬のいずれかを選んだ方のみ、お答えください。】

問16 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。

(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

【問15の(1)で①～⑬のいずれかを選んだ方のみ、お答えください。】

問17 現在、利用している教育・保育事業はどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。複数選択している場合は、その合計の日数と時間を記入してください。
(「」内は数字を記入、時間は24時間制 (例：午後6時～18時) で記入)

現在の利用状況	1日あたり【 1日あたり【	1日 時間【	1分【	1時【	1分～【	1時【	1分
利用希望	1日あたり【 1日あたり【	1日 時間【	1分【	1時【	1分～【	1時【	1分

【問15の(1)で①～⑬のいずれかを選んだ方のみ、お答えください。】

問18 現在、利用している教育・保育事業は、施設の場所や利用時間について希望どおり利用できていますか。(○は1つ)

1. 希望どおり利用できている 2. ほほ、希望どおり利用できている
3. 希望どおり利用できないことが多い 4. 希望どおり利用できていない

【問15の(1)で①～⑬のいずれかを選んだ方のみ、お答えください。】

問19 現在、利用している教育・保育事業の地区はどこですか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 富田	2. 大槻	3. 安積	4. 三穂田
5. 逢瀬	6. 片平	7. 喜久田	8. 日和田
9. 富久山	10. 湖南	11. 熱海	12. 田村
13. 西田	14. 中田	15. 1～14以外の中心部	16. 郡山市外

【問15の(2)で①～⑬のいずれかを選んだ方のみ、お答えください。】

問20 選んだ教育・保育事業を今後どのくらい利用したいですか。

(「」内は数字を記入、時間は24時間制 (例：午後6時～18時) で記入)

利用希望	1日あたり【 1日あたり【	1日 時間【	1分【	1時【	1分～【	1時【	1分
------	------------------	-----------	-----	-----	------	-----	----

【問15の(2)で①～③のいずれかを選んだ方のみ、お答えください。】
 問21 選んだ教育・保育事業を利用したい地区はどこですか。また、その地区を選んだ理由は何ですか。以下から選び、第1希望から第5希望までそれぞれ選択肢の数字をご記入ください。

	第1希望	第2希望	第3希望	第4希望	第5希望
地区	[]	[]	[]	[]	[]
理由	[]	[]	[]	[]	[]

【地区】	1. 富田 5. 連瀬 9. 富久山 13. 西田	2. 大槻 6. 片平 10. 湖南 14. 中田	3. 安横 7. 喜久田 11. 熱海 15. 1～14以外の中心部	4. 三穂田 8. 日和田 12. 田村
------	------------------------------------	------------------------------------	---	----------------------------

【理由】	1. 自宅に近い 4. 通勤途中にあるため	2. 親族の住居に近い 5. 保育環境が良い	3. 職場に近い 6. その他
------	--------------------------	---------------------------	--------------------

【問15の(1)で④を選んだ方のみ、お答えください。】
 問22 現在、利用していない理由をお答えください。〔あてはまる番号すべてに○、〔内は数字を記入〕〕

1. 子どもの父母が見ている
 2. 子どもの祖父母や親戚の人が見ている
 3. 近所の人や父母の友人・知人が見ている
 4. 利用したいが、経済的な理由で施設に空きがない
 5. 利用したいが、保育所・幼稚園等の施設で利用できない
 6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
 7. 利用したいが、満足できる施設がない
 8. 子どもがまだ小さいため（〔 〕歳くらいになったら利用しようと考えている）
 9. その他（ ）

「子ども誰でも通園制度」の概要
 現在、国では、保護者の就労要件に関わらず、保育所や認定子ども園などに通っていない子どもが保育施設等を利用できる「子ども誰でも通園制度」について、令和8年度からの本格実施を見据えた検討を進めています。
 対象児：生後6か月から2歳までの未就園児
 利用要件：保護者の就労は問わない（理由は問いません）
 利用時間：月10時間を上限とし、時間単位で利用可能
 対象施設：認可保育所、認定子ども園、小規模保育園などの空きスペースを利用
 利用料：1時間300円程度
 ただし、この内容はあくまでも現時点での国の政策方針であり、今後、変更される可能性があります。

【問15の(1)で④を選んだ方のみ、お答えください。】
 問23(1) 「子ども誰でも通園制度」をご存じですか。 (○は1つ)

1. 知っている 2. 知らない (○は1つ)

【問15の(1)で④を選んだ方のみ、お答えください。】
 問23(2) 「子ども誰でも通園制度」が実施された場合、ご利用になりますか。 (○は1つ)

1. 利用したい 2. 利用しない 3. どちらでもない

問24 小学校入学前の教育を受けさせたいと思いますか。 (○は1つ)

1. 幼稚園で、希望する教育内容を受けさせたい
 2. 保育所での看護・教育の保育内容を受けさせたい
 3. 小学校入学前の教育は不要
 4. その他（ ）

土曜や休日、長期休暇中の「定期的な教育・保育事業」の利用希望

問25 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日、祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。〔2〕または〔3〕を選ぶ方は、利用したい時間帯もご記入ください。
 ※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。
 (○は1つ、〔内は数字を記入、時間は24時間制（例：午後6時～18時）で記入〕)

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
 2. ほほ毎週利用したい
 3. 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯
 []時 []分～[]時 []分

(2) 日曜日、祝日

1. 利用する必要はない
 2. ほほ毎週利用したい
 3. 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯
 []時 []分～[]時 []分

【問25の(1)、(2)のいずれかで〔3〕を選んだ方のみ、お答えください。】
 問26 その理由はなんですか。 (あてはまる番号すべてに○)

1. 月に数回仕事が入るため（土・日・祝日が休みの仕事ではないため）
 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
 3. 親族の介護や手伝いが必要のため
 4. 日常の子育てからのリフレッシュのため
 5. その他（ ）

【あて名のお子さんが「幼稚園」を利用されている方のみ、お答えください。】
 問27 幼稚園の夏休み、冬休みなど長期休暇期間中に、教育・保育事業の利用を希望しますか。〔2〕または〔3〕を選ぶ方は、利用したい時間帯もご記入ください。
 (○は1つ、〔内は数字を記入、時間は24時間制（例：午後6時～18時）で記入〕)

1. 利用する必要はない
 2. 休みの期間中、ほほ毎日利用したい
 3. 休みの期間中、週に数日利用したい

利用したい時間帯
 []時 []分～[]時 []分

【問27で「3」を選んだ方のみ、お答えください。】
問28 その理由はなんですか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 日帯の子育てからのリフレッシュのため
5. その他 ()

病気の療の対応 (平日の定期的な教育・保育事業を利用している方のみ)

【問15の(1)で①～③のいずれかを選んだ方のみ、お答えください。】

問29 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことはありましたか。

(○は1つ)

1. あった
2. なかった →問35へ

【問29で「1」を選んだ方のみ、お答えください。】

問30 その時、どのような対応を、何日行いましたか。半日程度の対応の場合も1日とカウントしてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○、【 】内は数字を記入)

1年間の対応方法	日数
1. 父親が休んだ	【 】日
2. 母親が休んだ	【 】日
3. 親族・知人(同居者を含む)に子どもを見てもらった	【 】日
4. 父親又は母親のうち就労していない方か子どもを見た	【 】日
5. 病児・病後児保育事業を利用した (病気の子どもを小児科併設の施設で一時的に預かる事業)	【 】日
6. フレミリーサポートセンターを利用した	【 】日
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	【 】日
8. その他 ()	【 】日

【問30で「1」または「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

問31 その際、「できれば病児・病後児保育事業を利用したい」と思いましたか。「1」を選んだ場合、希望する日数もご記入ください。

※病児・病後児保育事業の利用には、一定の利用料がかかります。利用前に医師の診断が必要となります。

(○は1つ、【 】内は数字を記入)

1. できれば病児・病後児保育事業を利用したい ⇒【 】日
2. 利用したいとは思わない

【問31で「1」を選んだ方のみ、お答えください。】

問32 病児・病後児保育施設等について、利用したい地区はどこですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 富田	2. 大槻	3. 安積	4. 三穂田
5. 達瀬	6. 片平	7. 喜久田	8. 日和田
9. 富久山	10. 湖南	11. 熱海	12. 田村
13. 西田	14. 中田	15. 1～14以外の中心部	16. 郡山市外

【問31で「1」を選んだ方のみ、お答えください。】
問33 問32で回答した地区を選んだ理由をお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 自宅に近いため
2. 親族の住居に近いため
3. 職場に近いため
4. 通勤途中で利用できるため
5. 通っている保育所や幼稚園などから近いから
6. その他 ()

【問31で「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

問34 その理由はなんですか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 事業の質に不安がある
4. 事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
9. その他 ()

不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用状況

問35 あて名のお子さんについて、保護者の私用、通院、不特定の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか(子どもや保護者の病気は除きます)。

また、あてはまる番号それぞれについて、1年間のおおよその利用日数はどのくらいですか。半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。(あてはまる番号すべてに○、【 】内は数字を記入)

	利用している事業・日数(年間)
1. 一時的な預かり保育 (私用など理由を問わずにニコニコ子ども館や保育所で一時的に子どもを保育する事業)	【 】日
2. 保育所の延長保育 (通常の保育時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ)	【 】日
3. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ)	【 】日
4. フレミリーサポートセンター (会員同士が子どもを預けたり預かったりする事業)	【 】日
5. 子育て短期支援事業 (保護者の病気等の理由で一時的に子どもの養育が困難になった場合に、施設等で一時預かりする事業)	【 】日
6. その他 ()	【 】日
7. 利用していない	

【問35で「7」を選んだ方のみ、お答えください。】
問36 その理由はなんですか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 事業の質に不安がある	4. 利便性（立地や利用可能時間、日数）がよくない
5. 利用料がかかると、高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかどうかかわらない	8. 事業の利用方法（手続等）がわからない
9. 事業自体あることを知らない	10. その他（ ）

問37 あて名のお子さんについて、問35にある不定期に利用する事業の利用希望についてお答えください。
また、「1」を選ぶ方は、目的ごとに年間何日利用したいかもご記入ください。
※事業の利用にあたっては一定の利用料がかかります。

(あてはまる番号、記号すべてに○、【 】内は数字を記入)

1. 利用したい	合計	1日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	年間【 】	1日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹）や親の通院など	年間【 】	1日
ウ. 不定期の就労	年間【 】	1日
エ. その他（ ）	年間【 】	1日
2. 利用する必要はない		

問38 あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで家族以外に預けたいと思うことはありますか。
施設等で一時的に子どもを養育・保護する、「子育て短期支援事業」（ショートステイ）の利用希望について、目的ごとに年間何泊利用したいかもご記入ください。
※事業の利用にあたっては一定の利用料がかかります。

(あてはまる番号、記号すべてに○、【 】内は数字を記入)

1. 利用したい	合計	1泊
ア. 冠婚葬祭	年間【 】	1泊
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	年間【 】	1泊
ウ. 保護者や家族の病気	年間【 】	1泊
エ. その他（ ）	年間【 】	1泊
2. 利用する必要はない		

小学校就学後の放課後の過ごし方

【あて名のお子さんが5歳以上の方のみ、お答えください。】

問39 お子さんが小学校（入学し、低学年（1～3年生）の時、高学年（4～6年生）になった時のそれぞれの時期に、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、利用を希望する日数（14）、15を、選ぶ方は利用希望時間（例：午後6時～10時）で記入。
(あてはまる項目すべてに○、【 】内は数字を記入、時間は24時間制)

放課後の居場所	低学年	高学年
①自宅	週【 】日程度	週【 】日程度
②祖父母宅や友人・知人宅	週【 】日程度	週【 】日程度
③習い事（部活動、スポーツ、学習塾など）	週【 】日程度	週【 】日程度
④市が設置している放課後児童クラブ	週【 】日程度 →下校時～ 【 】時【 】分	週【 】日程度 →下校時～ 【 】時【 】分
⑤民間で行っている放課後児童クラブ、学童保育	週【 】日程度 →下校時～ 【 】時【 】分	週【 】日程度 →下校時～ 【 】時【 】分
⑥障がい児通所支援（放課後等デイサービス）	週【 】日程度	週【 】日程度
⑦ファミリーサポートセンター	週【 】日程度	週【 】日程度
⑧希望ヶ丘児童センター	週【 】日程度	週【 】日程度
⑨公民館の居場所開放	週【 】日程度	週【 】日程度
⑩その他（ ）	週【 】日程度	週【 】日程度

地域の子育て支援事業の利用状況、利用希望

問40 あて名のお子さんは、現在、ニコニコ子ども館及び各地域子育て支援センターをどのくらい利用していますか。また、「6」を選ぶ方は理由もご記入ください。
(あてはまる番号すべてに○、【 】内は数字を記入)

1. ニコニコ子ども館	→1週あたり【 】回、または1ヶ月あたり【 】回程度
2. 東部地域子育て支援センター	→1週あたり【 】回、または1ヶ月あたり【 】回程度
3. 西部地域子育て支援センター	→1週あたり【 】回、または1ヶ月あたり【 】回程度
4. 南部地域子育て支援センター	→1週あたり【 】回、または1ヶ月あたり【 】回程度
5. 北部地域子育て支援センター	→1週あたり【 】回、または1ヶ月あたり【 】回程度
6. 利用していない（理由： ）	

問41 問40にある子育てを支援する施設について、今は利用していないが今後利用したい、あるいは利用日数を増やしたいと思いませんか。

(○は1つ、[]内は数字を記入)

1. 利用していないが、今後利用したい →1週あたり[]回、または1ヶ月あたり[]回程度
2.すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい →1週あたり更に[]回、または1ヶ月あたり更に[]回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問42 以下の事業などについて、(1)、(2)、(3)それぞれの項目についてお答えください。

- (1)知っているもの
(2)これまでに利用したことがあるもの
(3)今後、利用したいと思うもの

(あてはまる項目すべてに○)

	(1) 知っている	(2) 利用した	(3) 利用したい
①子育て世代包括支援センター (妊娠、出産、子育てに関する相談窓口です)	1	1	1
②ニコニコファミリー (子育て情報も発信できる子育て支援アプリです)	2	2	2
③母親教室、育児教室など子育てに関する学習や相談の場 (お母さんお父さんやそのご家族のための教室です)	3	3	3
④養育支援家庭訪問事業 (産後ヘルパーの派遣や家庭訪問を行う事業です)	4	4	4
⑤ファミリーサポートセンター (会員同士が子どもを預けたり預けたりする事業です)	5	5	5
⑥保育所・幼稚園の地域開放 (保育所などの行事に地域の方にも参加してもらう事業です)	6	6	6
⑦子育てサロンなど身近な地域における親子の集いの場 (わくわくつとひのひろば、リズとからたのあそび、 子育て移動サロンなどを行っています)	7	7	7
⑧子育て支援サイト (子育てに関する情報をまとめている市ウェブサイトです)	8	8	8
⑨子育てハンドブック等の子育て情報誌	9	9	9

問43 以下の施設について、(1)、(2)、(3)それぞれの項目についてお答えください。

- (1)知っているもの
(2)これまでに利用したことがあるもの
(3)今後、利用したいと思うもの

(あてはまる項目すべてに○)

	(1) 知っている	(2) 利用した	(3) 利用したい
①ニコニコこども館 (子どもや保護者の交流の場、遊び場)	1	1	1
②東部地域子育て支援センター (ニコニコこども館のサテライト施設。 子どもや保護者の交流の場、遊び場)	2	2	2
③西部地域子育て支援センター (ニコニコこども館のサテライト施設。 子どもや保護者の交流の場、遊び場)	3	3	3
④南部地域子育て支援センター (ニコニコこども館のサテライト施設。 子どもや保護者の交流の場、遊び場)	4	4	4
⑤北部地域子育て支援センター (ニコニコこども館のサテライト施設。 子どもや保護者の交流の場、遊び場)	5	5	5
⑥希望ヶ丘児童センター (子どもに運動や遊びを通じて、 協調性や社会性を養ってもらう場)	6	6	6
⑦ベジキッズこおりやま (屋内子どもの遊び場)	7	7	7

家庭の子育てについて

問44 子育てをどのように感じていますか。

(○は1つ)

1. 喜びや楽しさが大きい
2. どちらかというと、喜びや楽しみの方が大きい
3. どちらかというと、不安や負担の方が大きい
4. とても不安や負担を感じている

問45 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる相手はいいますか。

（あてはまる番号すべてに○）

1. 配偶者、パートナー	2. その他の親族（親、兄弟姉妹など）
3. 近所の人、地域の知人、友人	4. 保育所や幼稚園、学校などの保護者
5. 子育てサークルの仲間	6. 保育所や幼稚園、学校などの先生
7. 医療機関の専門職 （医師、保健師、看護師、栄養士など）	8. 行政の専門職 （保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士など）
9. 職場の同僚、先輩、後輩	10. 民生・児童委員、主任児童委員
11. 相談する相手かいない	12. 相談すべきことはない
13. その他（ ）	

問46 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる場所がありますか。

（あてはまる番号すべてに○）

1. ニコニコこども館	2. 地域子育て支援センター
3. 母子保健窓口（ニコニコサポート）	4. 総合教育支援センター
5. 保育所や幼稚園、学校など	6. 保健所、保健センター
7. 行政センター	8. 児童相談所
9. 子育てサロンなどの親子の集いの場	10. 民間の電話相談
11. インターネットを通じて相談機関 （LINE子ども・子育て相談含む）	12. 相談する場所がない
13. 相談すべきことはない	14. その他（ ）

問47 日頃、あて名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいいますか。

（あてはまる番号すべてに○）

1. 日常的に子どもを見てもらえる祖父母などの親族がいる
2. 緊急時もしくは用事の際に子どもを見てもらえる祖父母などの親族がいる
3. 日常的に子どもを見てもらえる友人、知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際に子どもを見てもらえる友人、知人がいる
5. 誰もいない

問48 子育てに関して、悩みや心配ごとはありませんか。上位3つまで選んでください。

（あてはまる番号3つまで○）

1. 子どもの病気や発育・発達	2. 子どもの食事や栄養
3. 子どもの勉強や進学	4. 子どもの友人関係
5. 子どもと触れ合う時間の確保	6. 育児やしつけの方法
7. 子どもとの接し方	8. 配偶者の協力
9. 子育てにかかる経済的な負担	10. 自分の自由な時間の確保
11. 子育てについて相談できる仲間	12. 仕事をする時間の確保
13. その他（ ）	

問49 家事や子育てに対して不安や負担を感じ、ヘルパー等に家事や育児の支援をお願いしたいと思うことはありませんか。ある場合は、具体的にどのようなことをお願いしたいですか。

（あてはまる番号、記号すべてに○）

1. 思うことがある
ア. 食事の準備（調理）、配膳、後片づけ
イ. 洗濯、洗濯物を干す、タンス等への片づけ、アイロンかけ
ウ. リビング、寝室、台所、トイレ等の簡易な掃除
エ. 生活必需品の買い物（スーパー、コンビニ等で購入可能な食材や日用品等の買い物）
オ. 授乳（ミルク）、哺乳瓶の洗浄・煮沸、粉ミルクの調合
カ. おむつ交換
キ. 沐浴準備、沐浴、片づけ、着替え
ク. 子どもの遊び相手（居宅内）
コ. 育児に対する悩み相談
ク. その他（ ）
2. 思うことはない

問50 子どもとの関わり方や子育てに悩みや不安があり、親子の関係性や発達に応じた子どもとの関わり方をより良くするため、講義やグループなどの研修を行ったり、同じ悩みを抱える親同士で情報交換をしたりできる機会があれば参加したいと思いませんか。参加したいと思う場合は、具体的にどのような活動に参加したいですか。

（あてはまる番号、記号すべてに○）

1. 思う
ア. 講義の受講
イ. グループワーク（数人程度のグループに分かれて意見や考えを出し合い結果をまとめる）
ウ. ロールプレイ（ある場面を想定し、役割を演じることでスキルを身に付ける学習）
エ. 親同士が互いに悩みや不安を相談、共有し、情報交換を行う
オ. その他（ ）
2. 思わない

問51 あなたは、あて名のお子さんと1日にどのくらいスキンシップしていますか？（食事などの世話以外の、遊びや読み聞かせなど）

（○は1つ）

1. 2時間未満	2. 2～3時間	3. 3～4時間	4. 4～5時間	5. 5時間以上
----------	----------	----------	----------	----------

【問54で「2」を選んだ方のみ、お答えください。】
問55 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。復帰した方は、お子さんが何歳何ヶ月のときに復帰したかもお答えください。

(父親・母親それぞれのあてはまる項目1つに○、〔〕内は数字を記入)

項目	父親	母親
①家族で保育が可能となったときに復帰した	1	1
②保育所や幼稚園などに入ることができたときに復帰した	2	2
③育児休業中や休業期間を満了した時に退職した	3	3

父親が復帰した時期	子どもが〔 〕歳〔 〕ヶ月のとき
母親が復帰した時期	子どもが〔 〕歳〔 〕ヶ月のとき

地域の子育て支援

問56 あなたのお住まいの地区は、子育てしやすい環境だと感じますか。(○は1つ)

1. 子育てしやすいと思う	2. まあまあ子育てしやすいと思う
3. どちらともいえない	4. あまり子育てしやすいとは思わない
5. 子育てしやすいとは思わない	

問57 子育てをするにあたって、地域の方々に求めることはありますか。上位3つまで選んでください。(あてはまる番号3つまで○)

1. 子育ての相談や情報交換をしたい
2. 危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい
3. 遊びの相手やスポーツを一緒にしてほしい
4. 子ども会やお祭りなど、子どもが参加できる活動や行事を実施してほしい
5. 緊急時に子どもを預かってほしい
6. 地域で子どもを見守り育てるという気持ちを持つてほしい
7. ともに子育てできるグループやサークル、仲間がほしい
8. その他 ()
9. 特にない

今後の市の取組について

問58 市の子育て支援の取組について、(1)、(2)、(3)それぞれの項目について上位3つまで選んでください。

- (1)現状として満足している取組
(2)現状として満足していない取組
(3)今後、重要だと思う取組

(それぞれあてはまる項目3つまで○)

	(1) 満足している	(2) 満足していない	(3) 重要だと思う
①待機児童の解消 (保育所や幼稚園、児童クラブなどの整備)	1	1	1
②保育所や幼稚園などの費用軽減 (保育料の無料化・軽減など)	2	2	2
③地域の保育・教育サービスの充実 (地域子育て支援センターや放課後児童クラブなど)	3	3	3
④子どもが安心して遊べる施設の整備 (公園や遊び場の整備など)	4	4	4
⑤母親や子どもの健康確保 (母子保健や食育、医療体制の強化など)	5	5	5
⑥子育てに困った時に相談できる体制の整備 (子育て世代包括支援センターなど)	6	6	6
⑦子育てに関する情報の提供 (ニコパブアプリや子育てハンドブックなど)	7	7	7
⑧仕事と子育ての両立の推進 (育児休職の取得促進やワークライフバランスなど)	8	8	8
⑨子育てについて学べる機会の提供 (育児教室や子育て講座など)	9	9	9
⑩子どもの健全育成 (児童虐待やいじめ防止、非行防止など)	10	10	10
⑪子どもの教育環境の整備 (学校教育や家庭教育、世代間交流など)	11	11	11
⑫子どもの安全の確保 (防犯・交通事故防止など)	12	12	12
⑬家庭や子どもの状況に応じたきめ細やかな取組 (ひとり親家庭支援や障がい児への支援など)	13	13	13

問59 市の子育て支援についてのご意見・ご提案をご自由にお書き下さい。

アンケート調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
郵送でご回答いただく場合、
回答済アンケートは切手を貼らずに同封の封筒に入れ、郵便ポストへご投函ください。

2 子育てしやすい環境づくりアンケート（小学生の保護者の方へ）

「子育てしやすい環境づくりアンケート」

（小学生の保護者の方へ）

～調査票について～

- このアンケートは、令和6年6月10日現在、本市に住民登録のある小学生（平成24年4月2日～平成30年4月1日生まれ）の中から1,500人を抽出し、その保護者様にご希望するものです。
- 送られた封筒にある「あて名のお子さん」についてお答えください。
- このアンケートは、無記名です。調査票にお名前を書いていただく必要はありません。
- 皆様からいただいたご回答は、調査の目的以外で使用することはありません。
- アンケートにある施設や事業の詳細につきましては、本市ウェブサイトをご参照ください。
- 回答方法は次の2つのうちどちらか1つの方法で、**7月26日（金）まで**にご回答をお願いします（所要時間は20分程度です）。

1 パソコン・スマートフォン等によりインターネットで回答

右の二次元コードまたは下記URLより回答画面にアクセスし、「登録番号（数字6ケタ）」をご入力の上、画面の指示に従ってご回答ください。

URL <https://src2.webcas.net/form/pub/src1/koriyama-kodomo2>

登録番号



インターネットでの回答が便利です！

※電話番号を記入するための欄です。個人を特定する欄ではありません。

2 アンケート用紙（この冊子）に直接記入し、郵送により回答

- ▶ ご回答は、「〇は1つ」「〇はいくつでも」などの表記に従って、該当する番号に〇をつけてください。（一部、数字をご記入いただく設問もございます。）
- ▶ 「その他」に〇をつけた場合は、その後の（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- ▶ ご記入いただきましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストにご投函ください。

調査実施者

郡山市 子育て部 子ども総務企画課 子ども企画係
※本調査は、株式会社サードパーティセンターに委託して実施しています。

アンケートに関するお問合せ先

子ども・若者調査事務局（株式会社サードパーティセンター東北事務所内）
電話：0120-965-341
お問合せ期間：2024年7月1日（月）～8月2日（金） 土日祝日を除く 10時～17時 ※17時～13時を除く

お住まいの地域

問1 お住まいの地区はどちらですか。

（〇は1つ）

- | | | | |
|--------|--------|----------------|--------|
| 1. 富田 | 2. 大槻 | 3. 安積 | 4. 三穂田 |
| 5. 逢瀬 | 6. 片平 | 7. 喜久田 | 8. 日和田 |
| 9. 富久山 | 10. 湖南 | 11. 熱海 | 12. 田村 |
| 13. 西田 | 14. 中田 | 15. 1～14以外の中心部 | |

あて名のお子さんご家族の状況

問2 あて名のお子さんの令和6年度の学年をご記入ください。

小学 [] 年生

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。（〇は1つ）

- | | | |
|-------|-------|----------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他（ ） |
|-------|-------|----------------|

問4 この調査票にご回答いただいている方の婚姻状況についてお答えください。（〇は1つ）

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. 結婚している（再婚、事実婚を含む） | 2. 結婚している（別居中） |
| 3. 離別・死別 | 4. 未婚 |

問5 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にやっているのはどなたですか。（〇は1つ）

お子さんからみた関係でお答えください。

- | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|----------------|
| 1. 両親ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他（ ） |
|----------|---------|---------|----------|----------------|

問6 お子さんと同居しているご家族の構成はどのようになっていますか。お子さんからみた関係でお答えください。また、お子さんに兄弟姉妹がいる場合、その内訳もご記入ください。（〇はいくつでも、[]内は数字を記入）

- | | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------------|--|
| 1. 父親 | 2. 母親 | 3. 兄弟姉妹 []人（内訳） | 未就学児 []人、小学生 []人、中学生 []人 |
| 4. 祖父 []人 | 5. 祖母 []人 | 6. その他 []人 | 具体的にご記入ください例：曾祖母 など |

あて名のお子さんの保護者の就労状況

問7 あて名のお子さんの同居している保護者の、現在の就労状況（自営業・家族従事者含む）についてお答えください。
（父親・母親・祖父母それぞれのあてはまる番号1つに○）

項目	父親	母親	祖父母
①フルタイム（※1）で就労中	1	1	1
②フルタイムだが、産休・育休・介護休業中	2	2	2
③パート・アルバイト等（※2）で就労中	3	3	3
④パート・アルバイト等だが、産休・育休・介護休業中	4	4	4
⑤以前は就労していたが、現在は就労していない	→問10A	5	5
⑥これまで就労したことがない	→問10A	6	6

※1「フルタイム」：1日8時間程度・1週5日程度の就労を指します。
※2「パート・アルバイト等」：「フルタイム」以外の就労を指します。

【問7で①～④（就労している）を選んだ方のみ、お答えください。】

問8 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（就業時間を含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。それぞれ一定でない方は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
（それぞれ数字で記入。「家を出る時刻」、「帰宅時刻」は24時間制（例：午後6時→18時）で記入）

項目	父親	母親	祖父母
①1週あたりの就労日数	日	日	日
②1日あたりの就労時間（就業時間を含む）	時間	時間	時間
③家を出る時刻	時	時	時
④帰宅時刻	時	時	時

【問7で③または④（パート・アルバイト等で就労している）を選んだ方のみ、お答えください。】

問9 フルタイムへの転換希望はありますか。（父親・母親・祖父母それぞれのあてはまる番号1つに○）

項目	父親	母親	祖父母
①フルタイムへの転換予定がある	1	1	1
②フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない	2	2	2
③パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	3	3	3
④就労をやめて子育てや家事に専念したい	4	4	4

【問7で⑤または⑥（就労していない）を選んだ方のみ、お答えください。】

問10 就労したいという希望はありますか。（父親・母親・祖父母それぞれのあてはまる番号1つに○）

項目	父親	母親	祖父母
①子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）→問12A	1	1	1
②すこい、または1年以内に就労したい	2	2	2
③1年より先に就労したい	3	3	3

【問10で②または③（就労したい）を選んだ方のみ、お答えください。】

問11 どのような就労を希望しますか。
（父親・母親・祖父母それぞれのあてはまる番号1つに○、[]内は数字を記入）

父親	母親	祖父母
1. フルタイム	1. フルタイム	1. フルタイム
2. パート・アルバイト等 1週あたり[]日、 1日あたり[]時間程度	2. パート・アルバイト等 1週あたり[]日、 1日あたり[]時間程度	2. パート・アルバイト等 1週あたり[]日、 1日あたり[]時間程度

あなたの現在の家計の状況

問12 令和5年中の、世帯を合わせたの年収（手取りの収入。副業や各種手当も含む。）は、およそどのくらいですか。
（○は1つ）

1. 50万円未満	2. 50～100万円未満	3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満	5. 200～250万円未満	6. 250～300万円未満
7. 300～400万円未満	8. 400～500万円未満	9. 500～600万円未満
10. 600～700万円未満	11. 700～800万円未満	12. 800万円以上

問13 世帯の家計で最も負担となっているものは何ですか。
（○は1つ）

1. 子育て費用（教育費含む）	2. 医療費	3. 家賃・住宅ローン
4. 衣料品・食費・雑貨費	5. 水道光熱費	6. 交際費
7. 生命保険・損害保険の保険料	8. 「3」以外の返済	9. 通信費（電話・インターネットなど）
10. その他（ ）		

問14 子育て費用のうち、最も支出の大きい項目はなんですか。
（○は1つ）

1. 食費、医療費	2. 子ども用品、衣料費（衣類、生活用品、器具、消耗品、おもちゃ、文具等）
3. 保育・教育費（保育所や幼稚園、学校など）	4. 「3」以外の保育・教育費（習い事、家庭教育用品、通信教育など）
5. 子どものための預貯金・保険	6. その他（ ）

放課後等の過ごし方

問15 市が設置する放課後児童クラブに対してどのように感じていますか。
（○はいくつでも）

1. 定員を増やしてほしい	2. 利用時間を延長してほしい
3. 施設設備を改善してほしい	4. 指導内容を工夫してほしい
5. 利用（育成）料が高い	6. その他（ ）
7. 現在のままでよい	8. わからない

問16 あて名のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、利用している日数（14、15）を連が方は利用時間（も）をご記入ください。
（あてはまる番号すべてに○、□内は数字を記入、時間は45分単位（例：午後6時→18時）で記入）

放課後の過ごし方		日数・時間
1. 自宅		週[]日程度
2. 祖父母宅や友人・知人宅		週[]日程度
3. 習い事（部活動、スポーツ、学習塾など）		週[]日程度
4. 市が設置している放課後児童クラブ		週[]日程度 →下校時～[]時[]分
5. 民間で行っている放課後児童クラブ、学童保育		週[]日程度 →下校時～[]時[]分
6. 障がい児通所支援（放課後等デイサービス）		週[]日程度
7. フラミリーサポートセンター事業の利用		週[]日程度
8. 希望ヶ丘児童センター		週[]日程度
9. 公民館の居場所開放		週[]日程度
10. その他（ ）		週[]日程度

問17 あて名のお子さんが、低学年（1～3年生）と高学年（4～6年生）のそれぞれの時期に、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、利用を希望する日数（14、15）を連が方は利用希望時間（も）はどのくらいですか。
現在、お子さんが低学年の場合は、低学年・高学年の両方を、お子さんが高学年の場合は、高学年のみをご記入ください。
（あてはまる項目すべてに○、□内は数字を記入、時間は24時間制（例：午後6時→18時）で記入）

放課後の過ごし方	低学年		高学年	
	週[]日程度		週[]日程度	
①自宅	週[]日程度		週[]日程度	
②祖父母宅や友人・知人宅	週[]日程度		週[]日程度	
③習い事（部活動、スポーツ、学習塾など）	週[]日程度		週[]日程度	
④市が設置している放課後児童クラブ	週[]日程度 →下校時～[]時[]分		週[]日程度 →下校時～[]時[]分	
⑤民間で行っている放課後児童クラブ、学童保育	週[]日程度 →下校時～[]時[]分		週[]日程度 →下校時～[]時[]分	
⑥障がい児通所支援（放課後等デイサービス）	週[]日程度		週[]日程度	
⑦フラミリーサポートセンター事業の利用	週[]日程度		週[]日程度	
⑧希望ヶ丘児童センター	週[]日程度		週[]日程度	
⑨公民館の居場所開放	週[]日程度		週[]日程度	
⑩その他（ ）	週[]日程度		週[]日程度	

問18 あて名のお子さんについて、土曜・休日や長期休暇中または不定期に、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、利用を希望する1年間の希望日数はどのくらいですか。
（あてはまる項目すべてに○、□内は数字を記入）

	土曜・休日や長期休暇中	不定期の利用
①自宅	[]日程度	[]日程度
②祖父母宅や友人・知人宅	[]日程度	[]日程度
③習い事（部活動、スポーツ、学習塾など）	[]日程度	[]日程度
④市が設置している放課後児童クラブ	[]日程度	[]日程度
⑤民間で行っている放課後児童クラブ、学童保育	[]日程度	[]日程度
⑥障がい児通所支援（放課後等デイサービス）	[]日程度	[]日程度
⑦フラミリーサポートセンター事業の利用	[]日程度	[]日程度
⑧希望ヶ丘児童センター	[]日程度	[]日程度
⑨公民館の居場所開放	[]日程度	[]日程度
⑩その他（ ）	[]日程度	[]日程度

問19 あて名のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか（子どもや保護者の病気の病気は除きます）。
また、あてはまる番号それぞれについて、1年間のおおよその利用日数はどのくらいですか。半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。
（あてはまる番号すべてに○、□内は数字を記入）

利用している事業・日数（年間）	
1. フラミリーサポートセンター事業（会員同士が子どもを預けたり預ったりする事業）	[]日
2. 子育て短期支援事業（保護者の病気の理由で一時的に子どもの養育が困難になった場合に、施設等で一時預かりする事業）	[]日
3. その他（ ）	[]日
4. 利用していない	

【問19で「4」を選んだ方のみ、お答えください。】
問20 その理由はなんですか。 (あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1. 特に利用する必要がない | 2. 利用したい事業が地域にない |
| 3. 事業の質に不安がある | 4. 利便性（往復や利用可能時間、日数）がよくない |
| 5. 利用料がかかると高い | 6. 利用料がわからない |
| 7. 自分が事業の対象者になるかどうか知らない | 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない |
| 9. 事業自体あることを知らない | 10. その他（ ） |

問21 あて名のお子さんについて、問19にある不定期に利用する事業の利用希望についてお答えください。
また、「1」を選ぶ方は、目的ごとに年間何日利用したいかもご記入ください。
※事業の利用にあたっては一定の利用料がかかります。
(あてはまる番号、記号すべてに○、【】内は数字を記入)

- | | | |
|-------------------------------------|----|----|
| 1. 利用したい | 合計 | 1日 |
| ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹）や親の習い事等）、リフレッシュ目的 | 年間 | 1日 |
| イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹）や親の通院など | 年間 | 1日 |
| ウ. 不定期の就労 | 年間 | 1日 |
| エ. その他（ ） | 年間 | 1日 |
| 2. 利用する必要はない | | |

問22 あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、子育て疲れや子育て不安、病気など）により、泊りかけで家族以外に預けたいと思うことはありますか。
施設等で一時的に子どもを養育・保護する、「子育て短期支援事業」（ショートステイ）の利用希望について、目的ごとに年間何泊利用したいかもご記入ください。
※事業の利用にあたっては一定の利用料がかかります。
(あてはまる番号、記号すべてに○、【】内は数字を記入)

- | | | |
|--------------------|----|----|
| 1. 利用したい | 合計 | 1泊 |
| ア. 冠婚葬祭 | 年間 | 1泊 |
| イ. 保護者や家族の子育て疲れ、不安 | 年間 | 1泊 |
| ウ. 保護者や家族の病気 | 年間 | 1泊 |
| エ. その他（ ） | 年間 | 1泊 |
| 2. 利用する必要はない | | |

病気の際の対応

問23 この年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはありましたか。 (○は1つ)

- | | | |
|--------|---------|-------|
| 1. あった | 2. なかった | →問29へ |
|--------|---------|-------|

【問23で「1」を選んだ方のみ、お答えください。】
問24 その時、どのような対応を、何日行いましたか。 半日程度の対応の場合も1日とカウントしてお答えください。
(あてはまる番号すべてに○、【】内は数字を記入)

- | 1年間の対応方法 | 日数 |
|--|------|
| 1. 父親が休んだ | 【 】日 |
| 2. 母親が休んだ | 【 】日 |
| 3. 親族・知人（同居者を含む）に子どもを見てもらった | 【 】日 |
| 4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た | 【 】日 |
| 5. 病児・病後児の保育を利用した
(病児の子どもを小児科併設の施設で一時的に預かる事業) | 【 】日 |
| 6. フレミリーサポートセンターを利用した | 【 】日 |
| 7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | 【 】日 |
| 8. その他（ ） | 【 】日 |

【問24で「1」または「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

問25 その際、「できれば病児・病後児保育事業を利用したい」と思いましたか。「1」を選ぶ場合、希望する日数もご記入ください。
※病児・病後児保育事業の利用には、一定の利用料がかかります、利用前に医師の診断が必要となります。
(○は1つ、【】内は数字を記入)

- | | |
|-------------------------|-------|
| 1. できれば病児・病後児保育事業を利用したい | ⇒【 】日 |
| 2. 利用したいとは思わない | |

【問25で「1」を選んだ方のみ、お答えください。】

問26 病児・病後児保育事業について、利用したい地区はどこですか。 (○はいくつでも)

- | | | | |
|--------|--------|----------------|----------|
| 1. 富田 | 2. 大槻 | 3. 安漢 | 4. 三穂田 |
| 5. 達瀬 | 6. 片平 | 7. 喜久田 | 8. 日和田 |
| 9. 富久山 | 10. 湖南 | 11. 熱海 | 12. 田村 |
| 13. 西田 | 14. 中田 | 15. 1～14以外の中心部 | 16. 郡山市外 |

【問25で「1」を選んだ方のみ、お答えください。】
問27 問26で回答した地区を選んだ理由をお答えください。 (○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 自宅に近いため | 2. 親族の住居に近いため |
| 3. 職場に近いため | 4. 通勤途中で利用できるため |
| 5. 通っている小学校などから近いため | 6. その他 () |

【問25で「2」を選んだ方のみ、お答えください。】
問28 その理由はなんですか。 (○はいくつでも)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 特に利用する必要がない |
| 2. 利用したい事業が地域にない |
| 3. 事業の質に不安がある |
| 4. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない |
| 5. 利用料がかかる・高い |
| 6. 利用料がわからない |
| 7. 自分が事業の対象者になるのかわからない |
| 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない |
| 9. その他 () |

家庭の子育てについて

問29 子育てをどのように感じていますか。 (○は1つ)

- | |
|--------------------------|
| 1. 喜びや楽しみが大きい |
| 2. どちらかというと、喜びや楽しみの方が大きい |
| 3. どちらかというと、不安や負担の方が大きい |
| 4. とても不安や負担を感じている |

問30 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる相手はいますか。 (○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 配偶者、パートナー | 2. その他の親族（親、兄弟姉妹など） |
| 3. 近所の人、地域の知人、友人 | 4. 保育所や幼稚園、学校などの保護者 |
| 5. 子育てサークルの仲間 | 6. 保育所や幼稚園、学校などの先生 |
| 7. 医療機関の専門職 | 8. 行政の専門職 |
| （医師、保健師、看護師、栄養士など） | （保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士など） |
| 9. 職場の同僚、先輩、後輩 | 10. 民生・児童委員、主任児童委員 |
| 11. 相談する相手がいらない | 12. 相談すべきことはない |
| 13. その他 () | |

問31 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる場所がありますか。 (○はいくつでも)

- | | |
|--|----------------|
| 1. ニコニコこども館 | 2. 地域子育て支援センター |
| 3. 母子保健窓口（ニコニコサポート） | 4. 総合教育支援センター |
| 5. 保育所や幼稚園、学校など | 6. 保健所 |
| 7. 行政センター | 8. 児童相談所 |
| 9. 子育てサロンなどの親子の集いの場 | 10. 民間の電話相談 |
| 11. インターネットを通じた相談機関
（LINE子ども・子育て相談含む） | 12. 相談する場所がない |
| 13. 相談すべきことはない | 14. その他 () |

問32 日頃、あて名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。 (○はいくつでも)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 日常的に子どもを見てもらえる祖父母などの親族がいる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際に子どもを見てもらえる祖父母などの親族がいる |
| 3. 日常的に子どもを見てもらえる友人、知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際に子どもを見てもらえる友人、知人がいる |
| 5. 誰もいない |

問33 子育てに関して、悩みや心配ごとがありますか。上位3つまで選んでください。
(○は3つまで)

1. 子どもの病気や発育・発達	2. 子どもの食事や栄養
3. 子どもの勉強や進学	4. 子どもの友人関係
5. 子どもと触れ合う時間の確保	6. 子育てやしつけの方法
7. 子どもとの接し方	8. 配偶者の協力
9. 子育てにかかる経済的な負担	10. 自分の自由な時間の確保
11. 子育てについて相談できる仲間	12. 仕事をする時間の確保
13. その他 ()	

問34 家事や子育てに対して不安や負担を感じ、ヘルパー等に家事や子育ての支援をお願いしたいと思うことはありますか。ある場合は、具体的にどのようなことをお願いしたいですか。
(あてはまる番号、記号すべてに○)

1. 思うことがある
ア. 食事の準備 (調理)、配膳、後片づけ
イ. 洗濯、洗濯物を干す、タンス等への片づけ、アイロンがけ
ウ. リビング、寝室、台所、トイレ等の簡易な掃除
エ. 生活必需品の買い物 (スーパー、コンビニ等で購入可能な食材や日用品等の買い物)
オ. 子育てに対する悩み相談
カ. その他 ()
2. 思うことはない

問35 子どもとの関わり方や子育てに悩みや不安があり、親子の関係性や発達に応じた子どものかかわり方をより良くするため、講座やグループワークなどの研修を行ったり、同じ悩みを抱える親同士で情報交換をしたりできる機会があれば参加したいと思いますか。参加したいと思う場合は、具体的にどのような活動に参加したいですか。
(あてはまる番号、記号すべてに○)

1. 思う
ア. 講座の受講
イ. グループワーク (数人程度のグループに分かれて意見や考えを出し合い結果をまとめる)
ウ. ロールプレイ (ある場面を想定し、役割を演じることでスキルを身に付ける学習)
エ. 親同士が互いに悩みや不安を相談、共有し、情報交換を行う
オ. その他 ()
2. 思わない

問36 あなたは、あて名のお子さんと家で過ごす時間はどれくらいありますか。(就寝時間を除く)
(それぞれ○は1つ)

(1) 学校がある日	1. 2時間未満	2. 2～3時間	3. 3～4時間	4. 4～5時間	5. 5時間以上
(2) 学校が休みの日	1. 2時間未満	2. 2～3時間	3. 3～4時間	4. 4～5時間	5. 5時間以上

問37 あなたは、あて名のお子さんと家で一緒に過ごす時間のうち、どのくらいお子さんと会話をしていますか。
(それぞれ○は1つ)

(1) 学校がある日	1. 30分未満	2. 1時間未満	3. 2時間未満	4. 2時間以上
(2) 学校が休みの日	1. 30分未満	2. 1時間未満	3. 2時間未満	4. 2時間以上

仕事と子育ての両立について

問38 お子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。「3」を選ぶ方は、点線の枠から、その理由にあてはまる記号をすべてご記入ください。
(父親・母親それぞれのあてはまる番号1つに○、【 】内にあてはまる記号すべて記入)

父親	母親
1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中を含む) 3. 取得していない →取得していない主な理由【 】	1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中を含む) 3. 取得していない →取得していない主な理由【 】

フ. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった

イ. 仕事が忙しかった

ウ. 産休後に仕事に早く復帰したかった

エ. 仕事に戻るのが難しかった

オ. 昇級・昇格などが遅れそうだった

カ. 収入減となり、経済的に苦しくなる

キ. 保育所などに預けることができた

ク. 配偶者が育児休業制度を利用した

ケ. 配偶者や親族に見てもらえるなど、制度を利用する必要がなかった

コ. 子育てや家事に専念するため退職した

サ. 職場に育児休業の制度がなかった

シ. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった

【問38で「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

問39 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。復帰した方は、お子さんが何歳何ヶ月のときに復帰したかもお答えください。

(父親・母親それぞれのあてはまる項目1つに○、【 】内は数字を記入)

項目	父親	母親
①家族で保育が可能となったときに復帰した	1	1
②保育所や幼稚園などに入ることができたときに復帰した	2	2
③育児休業中や休業期間を満了した時に退職した	3	3

父親が復帰した時期	子どもが【 】歳【 】ヶ月のとき
母親が復帰した時期	子どもが【 】歳【 】ヶ月のとき

地域の子育て支援

問40 あなたのお住まいの地区は、子育てしやすい環境だと感じますか。

(○は1つ)

1. 子育てしやすいと思う	2. まあまあ子育てしやすいと思う
3. どちらともいえない	4. あまり子育てしやすいとは思わない
5. 子育てしやすいとは思わない	

問41 子育てをするにあたって、地域の方々に求めることはありますか。上位3つまで選んでください。

(○は3つまで)

1. 子育ての相談や情報交換をしたい

2. 危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい

3. 遊びの相手やスポーツと一緒にしてほしい

4. 子ども会やお祭りなど、子どもが参加できる活動や行事を実施してほしい

5. 緊急時に子どもを預かってほしい

6. 地域で子どもを見守り育てるといふ気持ちを持つてほしい

7. ともに子育てできるグループやサークル、仲間がほしい

8. その他 ()

9. 特にない

問42 学校は、子どもが安全に安心して過ごすことができる、子どもにとって大切な居場所の1つであると思いますか。

(○は1つ)

1. とてもそう思う	2. どちらかというと思う
3. どちらかというとそう思わない	4. そうは思わない
5. わからない	

今後の市の取組について

問43 市の子育て支援の取組について、(1)、(2)、(3)それぞれの項目について上位3つまで選んでください。

- (1)現状として満足している取組
- (2)現状として満足していない取組
- (3)今後、重要だと思う取組

	(それぞれ〇は3つまで)		
	(1) 満足している	(2) 満足していない	(3) 重要だと思う
①待機児童の解消 (保育所や幼稚園、児童クラブなどの整備)	1	1	1
②保育所や幼稚園などの費用軽減 (保育料の無料化・軽減など)	2	2	2
③地域の保育・教育サービスの充実 (地域子育て支援センターや放課後児童クラブなど)	3	3	3
④子どもが安心して遊べる施設の整備 (公園や遊び場の整備など)	4	4	4
⑤母親や子どもの健康確保 (母子保健や食育、医療体制の強化など)	5	5	5
⑥子育てに困った時に相談できる体制の整備 (子育て世代包括支援センターなど)	6	6	6
⑦子育てに関する情報の提供 (ニコソプラリや子育てイベントブックなど)	7	7	7
⑧仕事と子育ての両立の推進 (育児休暇の取得促進やワークライフバランスなど)	8	8	8
⑨子育てについて学べる機会の提供 (子育て教室や子育て講座など)	9	9	9
⑩子どもの健全育成 (児童虐待やいじめ防止、非行防止など)	10	10	10
⑪子どもの教育環境の整備 (学校教育や家庭教育、世代間交流など)	11	11	11
⑫子どもの安全の確保 (防犯・交通事故防止など)	12	12	12
⑬家庭や子どもの状況に応じたきめ細やかな取組 (ひとり親家庭支援や障がい児への支援など)	13	13	13

問44 市の子育て支援についてのご意見・ご提案を自由に書き下さい。

アンケート調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
郵送でご回答いただく場合、
回答済みアンケートは切手を貼らずに同封の封筒に入れ、郵便ポストへご投函ください。

3 こども・若者に関するアンケート調査（10歳～14歳の方向け）

こおりやまし
郡山市

こども・若者に関するアンケート調査

(10歳～14歳の方向け)

このアンケートは、令和6年4月1日現在、郡山市に住んでいる10歳～14歳の方の中からバラバラに選んだ2,000人の方にお願ひするものです。

○ アンケートには、あて名のご本人がお答えください。

○ 名前は、書かないでください。

○ このアンケートは調査の目的以外には使用しません。また、名前を書かないので、どのように答えたかはだれにもわかりません。

○ 回答方法は次の2つのうちどちらか1つの方法で、
7月26日（金）までに回答をお願いします（回答にかかる時間は20分くらいです）。

1 バイコン・スマートフォン等によりインターネットで回答

右の3次元コードまたは下記URLより回答画面にアクセスし、
「保護番号（数字6ケタ）」をご入力の上、画面の指示に従って
ご回答ください。

URL

https://stc2.webcas.net/10m/pub/stc1/kotiyama-wakamonol

保護番号

※保護番号は必ず
あなたの携帯電話の
番号と一致するように入力
してください。

インターネットでの
回答が便利です！

2 アンケート用紙（この冊子）に直接記入し、郵送により回答

ページの順に、矢印等に従って読み、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。○を1つだけつける質問と○をいくつもつけてよい質問があります。（←前、数字を記入する質問もあります。）

▶ 「その他」に○印をつけた場合は、（ ）の中に自分の考えを書いてください。

▶ ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、郵便ポストに出してください。

調査実施者

郡山市 こども部 こども総務企画課 こども企画係

*本調査は、株式会社バーベリサーチセンターに委託して実施しています。

アンケートに関するお問合せ先

こども・若者調査事務局（株式会社バーベリサーチセンター 東北事務所内）

電話：0120-965-341

お問合せ期間：2024年7月1日（月）～8月2日（金） 平日宛日を除く10時～17時 ※2時～1時を除く

1 あなた自身のことやご家族についてうかがいます

問1 あなたの性別をお答えください。 (○は1つ)

1. 男

2. 女

3. その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）

問2 あなたの年齢についてお答えください。
令和6年4月1日のとときにあなたは何歳でしたか。（数字で記入してください。）

歳

問3 現在、あなたといっしょに住んでいる方をお答えください。 (○はいくつでも)

1. お父さん

2. お母さん

3. きょうだい

4. おいさん・おばあさん

5. その他親せき

6. その他（ ）

問4 現在、あなたが通っている学校はどれですか。 (○は1つ)

1. 小学校

2. 中学校

3. その他（ ）

2 あなたの気持ちや考え、生活についてうかがいます

問5 あなた自身について、次のことかどのくらいあてはまりますか。 (それぞれ○は1つ)

	あてはまる	あてはまるくらい	あてはまるくらい	あてはまる
ア) 今の自分が好きだ	1	2	3	4
イ) 自分の親（保護者）から愛されていると思う	1	2	3	4
ウ) うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む	1	2	3	4
エ) 自分は役に立たないと強く感じる	1	2	3	4

問6 あなたは、今、自分が幸せだと思えますか。あなたの実感をお答えください。 (○は1つ)

1. そう思う

2. どちらかといえば、そう思う

3. どちらかといえば、そう思わない

4. そう思わない

206

問7 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）になっていますか。

(それぞれ〇は1つ)

	とても 悪い	どちらか とどろい せ	どちらか とどろい せ	とても 悪い	なにか あるもの はない
ア) 自分の部屋	1	2	3	4	5
イ) 家族（親せきの家を含む）	1	2	3	4	5
ウ) 学校	1	2	3	4	5
エ) 図書館や公民館や公園など、現在住んでい る近所にある場所や建物など	1	2	3	4	5
オ) インターネット空間（SNS、YouTube やオン ラインゲームなど）	1	2	3	4	5

問8 あなたは、どのような“居場所”があればいいと思いますか。

(〇はいくつでも)

1. 一人で自由に過ごせる場所
2. 友だち、仲間と過ごせる場所
3. 学校以外で同じくらしい年頃の人と出合える場所
4. 大人やおとしより、小さい子どもなど、いろいろな年頃の人と交流できる場所
5. みんなと一緒に遊ぶことができる場所（子ども食堂）
6. 放課後に様々な体験・活動ができる場所（放課後児童クラブ）
7. 自主学習ができる場所
8. 勉強を教えてくれる人がいる場所
9. スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所
10. 仲間と同じの目標のため活動できる場所
11. 問題や悩みを相談できる場所
12. その他（
13. わからない
14.今のままで満足している

「子ども食堂」ってどんなところ？

郡山市には、34か所に「子ども食堂」があります。

無料や安い料金を食事ができ、お家とも学校とも違う、なんでも楽しい場所。

行ってみたいと思ったら、学校の先生や

お家のとくに聞いてみてください。



問9 次のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）になっている場所を教えてください。

問10 次のア～ウ)の項目について、あなたはどのくらいよく感じていますか。（それぞれ〇は1つ）

	まったく ない	ほとんど ない	時々 ある	いつも ある
ア) 自分には話せる人がいないと感じることがある	1	2	3	4
イ) 自分まわりから、 取りのこされていると感じることがある	1	2	3	4
ウ) 自分はひとりぼっちだと感じることもある	1	2	3	4

問11 家族・親せきとあなたのかかわりは、どのようなものですか。

(それぞれ〇は1つ)

	とても 悪い	どちらか とどろい せ	どちらか とどろい せ	とても 悪い
ア) 何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
イ) こまったときは助けてくれる	1	2	3	4
ウ) いっしょにいる時は、自分らしくいられる	1	2	3	4

問12 学校で出会った友だち（現在通っている学校やこれまでに通っていた学校の友だちなど）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。

(それぞれ〇は1つ)

	とても 悪い	どちらか とどろい せ	どちらか とどろい せ	とても 悪い
ア) 何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
イ) こまったときは助けてくれる	1	2	3	4
ウ) いっしょにいる時は、自分らしくいられる	1	2	3	4

問13 地域の^ア（住所の^ア、^イや^ロい^ニ事での^ハだちなど）と、あなたのかかりは、どのようなのですか。（それぞれ○は1つ）

	そう思う	どちらかといえば	どちらかといえば	そう思わない
ア) 何でも ^ロ みを相談できる ^ア がいる	1	2	3	4
イ) こまったときは助けてくれる	1	2	3	4
ウ) いっしょにいる時は、自分らしくいられる	1	2	3	4

問14 インターネット^ウ上における^アやグループ（^イには^ハったことかあったり、または、^ロか^ハったことはあっても、ほとんどインターネット^ウ中心の^アやグループ）と、あなたのかかりは、どのようなのですか。（それぞれ○は1つ）

	そう思う	どちらかといえば	どちらかといえば	そう思わない
ア) 何でも ^ロ みを相談できる ^ア がいる	1	2	3	4
イ) こまったときは助けてくれる	1	2	3	4
ウ) いっしょにいる時は、自分らしくいられる	1	2	3	4

問15 あなたは、だれとでもすぐに仲良くなれる方ですか。（○は1つ）

1. そう思う	2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない	4. そう思わない

問16 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。（○は1つ）

1. そう思う	2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない	4. そう思わない

問17 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。（○は1つ）

1. 希望がある	2. どちらかといえば希望がある
3. どちらかといえば希望がない	4. 希望がない

問18 ふだん^ハ（働いている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。（○はいくつでも）

1. テレビを見る	2. ラジオを聴く
3. 本を読む	4. 新聞を読む
5. ゲームをする（オンラインゲームを含む）	6. 勉強をする
7. 家のお手伝いをする	8. 家族の看病をしたり、お世話をする
9. インターネットをする（YouTube、SNSを含む）	10. あてはまるものはない

問19 あなたは普段どのくらい外に出かけますか。（○は1つ）

1. 学校で平日は毎日、外に出かける→問25へ	2. 学校で週に3～4日、外に出かける→問25へ
3. 遊びなどでよく外に出かける→問25へ	4. 人と会うためにときどき外に出かける→問25へ
5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外に出かける	6. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
7. 自分の部屋からは出るが、家からは出ない	8. 自分の部屋からほとんど出ない

【問19で「5」～「8」を選んだ方のみ、お答えください。】

問20 あなたの外出状況（外に出かける回数）が今のようになっているから、どのくらいいますか。（○は1つ）

1. 1～3か月くらいまで	2. 3か月～6か月
3. 6か月～1年	4. 1年～2年
5. 2年～3年	6. 3年～5年
7. 5年以上	

【問20で「3」～「7」を選んだ方のみ、お答えください。】

問21 あなたの外出状況（外に出かける回数）が今のようになったのは、いくつの頃ですか。（数字で記入ください。）

歳

【問20で「3」～「7」を選んだ方のみ、お答えください。】

問22 あなたの外出状況（外に出かける回数）が今のようになった理由は何か。（〇はいくつでも）

1. 学校にうまくなじめなかったこと
2. 小中学生のときの未登校
3. 中学生のときの未登校
4. 勉強についていけなかったこと（受験がうまくいかなかったこと）
5. まわりの人とのつき合いがうまくいかなかったこと
6. 自分の病気（病名： ）
7. 家族の看病やお世話をするようになったこと
8. 新型コロナウイルスが流行したこと
9. その他（ ）
10. 特に理由はない
11. わからない

【問22で「1」～「9」を選んだ方のみ、お答えください。】

問23 あなたの外出状況（外に出かける回数）が今のようになった一番大きな理由は何か。（〇は1つ）

1. 学校にうまくなじめなかったこと
2. 小中学生のときの未登校
3. 中学生のときの未登校
4. 勉強についていけなかったこと（受験がうまくいかなかったこと）
5. まわりの人とのつき合いがうまくいかなかったこと
6. 自分の病気（病名： ）
7. 家族の看病やお世話をするようになったこと
8. 新型コロナウイルスが流行したこと
9. その他（ ）
10. 特に理由はない
11. わからない

【問20で「3」～「7」を選んだ方のみ、お答えください。】

問24 最近6か月間に、家族以外の人と会話しましたか。（〇は1つ）

1. よく会話した
2. ときどき会話した
3. ほとんど会話しなかった
4. まったく会話しなかった

問25 あなたは今までに、ものごとがうまくいかず落ち込んだ経験があったと思いますか。

または、最近、ありますか。

（〇は1つ）

1. あった（または、最近ある）
2. どちらかといえば、あった（ある）
3. どちらかといえば、なかった（ない）
4. なかった（ない）
5. わからない、答えられない

【問25で「1」または「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

問26 あなたは今までに、ものごとがうまくいかず落ち込んだ状態から元にもどった経験があったと思いますか。最もあてはまるものを選んでください。（〇は1つ）

1. あった
2. どちらかといえば、あった
3. どちらかといえば、なかった
4. なかった
5. わからない

【問26で「1」または「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

問27 落ち込んだ状態から元にもどったのは、どのようなことがきっかけだったと思いますか。（〇はいくつでも）

1. 家族や親せきの助け
2. 友人の助け
3. 学校の先生に相談したこと
4. スクールカウンセラーなど学校にいる専門家に相談したこと
5. 近所の人への助け
6. 病院に行って相談したこと
7. 相談できる場所に行って相談したこと
8. 電話相談を利用したこと
9. SNSやメール相談などを利用したこと
10. 同じようにうまくいかなかった経験をした人に話してみたこと
11. 趣味の活動に参加したこと
12. 時間がたつて状況が変化したこと
13. 自分の努力で乗りこえたこと
14. その他（ ）
15. わからない、答えられない

3 悩みごとや相談先について

問 28 あなたはいま、どんなことに悩んだり困ったりしていますか。 (○はい▽つても)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 勉強 | 2. 家族 |
| 3. 友人や仲間との関係 | 4. 自分の外見や性格 |
| 5. 自分の将来 | 6. 健康 |
| 7. その他 () | 8. 悩みや困りごとはない |

問 29 あなたが、ものごとがうまくいかず落ち込んだときに、どういった人なら、相談したり、助けてもらったりしやすいと感じますか。 (○はい▽つても)

- | | |
|----------------------------------|-------------------------------|
| 1. 家族や親せき | 2. 学校の友だち |
| 3. 近所の友だち | 4. 先輩や後輩 |
| 5. 学校の先生 | 6. 児童クラブの先生 |
| 7. スクールカウンセラーなど学校にいる専門家 | 8. 近所の〆 |
| 9. 病院や相談できる場所などにいる専門家 (学校以外の専門家) | 10. 同じように落ち込んだ経験をした人たち |
| 11. その他 () | 12. 誰にも相談したり、助けてもらったりしように思わない |
| 13. わからない | |

【問 29 で「12」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 30 「誰にも相談したり、助けてもらったりしように思わない」と思う理由は何ですか。 (○はい▽つても)

- | |
|------------------------------|
| 1. 相談しても解決できないと思うから |
| 2. 自分ひとりで解決するべきだと思うから |
| 3. 誰にも知られたくないことだから |
| 4. 自分が変な人に思われるのではないかと不安だから |
| 5. 自分の失敗や失敗を隠く言われそうだから |
| 6. 相手かどんな人かわからないから |
| 7. 何を聞かれるか不安に思うから |
| 8. 嫌なこと、できないことをするように言われそうだから |
| 9. 相手にうまく伝えられないから |
| 10. 裏切られたり、失望するのが嫌だから |
| 11. お金がかかると思うから |
| 12. その他 () |
| 13. 特に理由はない、わからない |

問 31 あなたは、家族や学校以外で、悩みやこまりごとなどを相談できる場所があることを知っていますか。 (○はい▽)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

4 その他

問 32 あなたが、学校やお家の人、地域や郡山市に対して思っていること (好きなところ、いやなところ、もっとこうなったらいいなと思うこと) など、ご自由にお書きください。

アンケート調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

郵送でご回答いただく場合、

回答済みアンケートは切手を貼らずに同封の封筒に入れ、郵便ポストに投函してください。

4 こども・若者に関するアンケート調査（15歳～39歳の方向け）

郡山市 子ども・若者に関するアンケート調査
(15歳～39歳の方向け)

～調査票について～

○ このアンケートは、令和6年4月1日現在、本市に住民登録のある15歳～39歳の方の中から無作為に抽出した2,000人の方にお願ひするものです。
○ 送られた封筒にある、あて名の方にお答へください。
○ このアンケートは、無記名です。調査票にお名前を書いていただく必要はありません。
○ 届いた後からいただいたご回答は、調査の目的以外で使用することはありません。
○ 回答方法は次の2つのうちどちらか1つの方法で、
7月26日（金）までにご回答をお願いします（所要時間は20分程度です）。

1 パソコン・スマートフォン等によりインターネットで回答

右の二次元コードまたは下記URLより回答画面にアクセスし、
「調査番号（数字6桁）」をご入力の上、画面の指示に従って
ご回答ください。

URL <https://src2.webcasts.net/form/dmub/src1/KoriYama-wakamono2>

調査番号



インターネットでの
回答が便利です！

※重要回答を促すた
めの番号です。個人
を特定する番号では
ありません

2 アンケート用紙（この冊子）に直接記入し、郵送により回答

▶ ご回答は、「〇は1つ」「〇はいくつでも」などの表記に従って、該当する
番号に〇をつけてください。（一部、数字をご記入いただく設問もございます。）
▶ 「その他」に〇をつけた場合は、その後の（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
▶ ご記入いただきましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストにご投函ください。

調査実施者 郡山市 こども部 こども総務企画課 こども企画係
※本調査は、株式会社サードパーティセンター委託して実施しています。

アンケートに関するお問合せ先
こども・若者調査事務局（株式会社サードパーティセンター 東支事務所内）
電話：0120-965-341
お問合せ期間：2024年7月1日（月）～8月2日（金） 土日祝日を除く 10時～17時 ※12時～13時を除く

1 あなたの自身のことやご家族の状況についてうかがいます

問1 あなたの性別をお答えください。 (〇は1つ)
1. 男 2. 女
3. その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）

問2 あなたの年齢についてお答えください。
※令和6年4月1日現在の年齢をお答えください。（数字でご記入ください。）
歳

問3 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。 なら、「配偶者」（夫・妻）には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。 (〇は1つ)
1. 未婚 2. 配偶者あり 3. 配偶者と別居中
4. 配偶者と死別 5. 配偶者と離別（離婚）

問4 現在、あなたと同居している方をお答えください。 (〇はいくつでも)
1. 父 2. 母 3. きょうだい
4. 祖父母 5. 配偶者・パートナー 6. あなたの子
7. その他親族 8. その他（ ） 9. 同居している人はいない

問5 あなたの家の生計について、以下の（1）と（2）のそれぞれにお答えください。
（1）生計を支えている方は主にどなたですか、また、仕送りや生計を立てている方は、その仕送りを主にしている人をお答えください。 (〇は1つ)
1. あなた自身 2. 父 3. 母
4. あなたの配偶者 5. きょうだい 6. あなたの子
7. その他（ ） 8. わからない・答えられない

（2）主に生計を支えている方の主な収入源は何ですか。 (〇は1つ)
1. 就労、事業による収入 2. 預金やその利息、財産からの収入
（農業収入を含む）（株の配当や不動産賃料など）
3. 年金 4. 生活保護
5. その他（ ） 6. わからない、答えられない

問6 あなたの暮らし向き（衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準）は、世間一般と比べてみて、上から下までのどれにあたりと思いますか。あなたの実感をお答えください。 (〇は1つ)
1. 上 2. 中の上 3. 中の中
4. 中の下 5. 下

211

問7 あなたが最後に卒業（中退を含む）した学校はどこですか。
在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。

1. 中学校	2. 高等学校
3. 専修学校・専門学校	4. 高等専門学校・短期大学
5. 大学・大学院	6. その他（ ）

問8 あなたの現在の仕事をお答えください。

1. 学生・生徒（予備校生などを含む）	2. パート・アルバイト
3. 派遣社員	4. 契約社員・嘱託
5. 正規の社員・職員・従業員	6. 会社などの役員
7. 自営業・自由業	8. 家族従業員・内職
9. 専業主婦・主夫	10. 家事手伝い
11. 無職（仕事を探している）	
12. 無職（仕事を探していない）	
13. その他	

【問8で11 無職（仕事を探している）、12 無職（仕事を探していない）を選んだ方のみお答えください。】

問9 就労することに関して、あなたはどのような支援であれば利用してみたいと思いますか。
（〇はい×つても）

1. 不規則な生活を整えるための支援
2. 気晴しに立ち寄れて同じような立場の人と交流できる場の提供
3. 就職に関する悩みや不安の相談
4. 個人の状態やペースに寄り添った、ある程度の期間をとおした相談支援
5. メンタルヘルスに関わる講座
6. キャリアカウンセリングや進路決定の情報提供
7. コミュニケーションやビジネスマナーの講座
8. 仕事を体験する機会の提供
9. 面接等の練習
10. 求人情報の紹介
11. その他（ ）
12. 特になし

問10 あなたの就業経験（仕事に就いて働く経験）についてお答えください。（パート・アルバイトを含む）
（〇は1つ）

1. 現在、就業している
2. 現在、就業しているが、休職や休業中である
3. 現在は就業していないが、過去に就業経験がある
4. これまでに就業経験はない

2 あなたの日頃の意識と生活についてうかがいます

問11 あなた自身について、次のことかどのくらいあてはまりますか。

（それぞれ〇は1つ）

	あてはまる	どちらかといえば	どちらかといえば	あてはまらない
ア) 自分には自分らしさというものがあと思う	1	2	3	4
イ) 自分の欲しいものをがまんすることが苦手だ	1	2	3	4
ウ) 今の自分を変えたいと思う	1	2	3	4
エ) 将来よりも今の生活を楽しまたい	1	2	3	4
オ) 努力すれば希望する職業につくことができる	1	2	3	4
カ) 自分の将来は運やチャンスによって決まると思う	1	2	3	4
キ) 人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う	1	2	3	4
ク) 他人に迷惑がかららない限り、自分の自由だと思う	1	2	3	4
ケ) どんな考えや行動をしようが、自分の自由だと思う	1	2	3	4
コ) 今の自分が好きだ	1	2	3	4
ク) 自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ	1	2	3	4
サ) 自分の親（保護者）から愛されていると思う	1	2	3	4
シ) うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む	1	2	3	4
ス) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	1	2	3	4
セ) 自分自身に満足している	1	2	3	4
ソ) 自分は役に立たないと強く感じる	1	2	3	4

問12 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。

（〇は1つ）

1. そう思う
2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない
4. そう思わない

問13 あなたは、あなたの生活にどのくらい満足していますか。

（まったく満足していない」を0点、「十分に満足している」を10点として、1つに〇）

0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

問14 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所など）になっていますか。（それぞれ〇は1つ）

	とても悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば良い	とても良い	わからないものはなし
ア) 自分の部屋	1	2	3	4	5
イ) 家庭（実家や親族の家を含む）	1	2	3	4	5
ウ) 学校（卒業した学校を含む）	1	2	3	4	5
エ) 職場（過去の職場を含む）	1	2	3	4	5
オ) 地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）	1	2	3	4	5
カ) インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）	1	2	3	4	5

問15 次にについて、あなたはどのくらいの頻度で感じますか。（それぞれ〇は1つ）

	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある
ア) 「自分には人とのつきあいがいい」と感じることもある	1	2	3	4
イ) 自分を取り残されていると感じることがある	1	2	3	4
ウ) 自分とはほかの人たちから孤立していると感じることがある	1	2	3	4

問16 あなたはどの程度、孤独であると感じていますか。（〇は1つ）

1. 決してない

2. ほとんどない

3. たまにある

4. 時々ある

5. しばしばある・常にある

問17 家族・親族とあなたのかわりには、どのようなものですか。（それぞれ〇は1つ）

	とても悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば良い	とても良い
ア) 会話やメール等をよくしている	1	2	3	4
イ) 何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
ウ) 楽しく話せる時がある	1	2	3	4
エ) 困ったときは助けてくれる	1	2	3	4
オ) 一緒にいる時は、自分らしくいられる	1	2	3	4
カ) いつもつながりを感じている	1	2	3	4

問18 学校で出会った友人（現在通っている学校の友人、かつての同級生など）と、あなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。（それぞれ〇は1つ）

	とても悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば良い	とても良い
ア) 会話やメール等をよくしている	1	2	3	4
イ) 何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
ウ) 楽しく話せる時がある	1	2	3	4
エ) 困ったときは助けてくれる	1	2	3	4
オ) 一緒にいる時は、自分らしくいられる	1	2	3	4
カ) いつもつながりを感じている	1	2	3	4

【問10で「1 現在、就業している」、「2 現在、就業しているが、休職や休業中である」、「3 現在は就業していないが、過去に就業経験がある」を選んだ方のみ、お答えください。】

問19 職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）と、あなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。（それぞれ○は1つ）

	よく思っている	どちらかといえばよく思っている	どちらかといえばよく思わない	よく思わない
ア) 会話やメール等をよくしている	1	2	3	4
イ) 何でも悩みを相談できる人かいる	1	2	3	4
ウ) 楽しく話せる時がある	1	2	3	4
エ) 困ったときは助けられる	1	2	3	4
オ) 一緒にいる時は、自分らしくいられる	1	2	3	4
カ) いつもつながりを感じている	1	2	3	4

問20 地域の人（近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加しているNPO法人など）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。（それぞれ○は1つ）

	よく思っている	どちらかといえばよく思っている	どちらかといえばよく思わない	よく思わない
ア) 会話やメール等をよくしている	1	2	3	4
イ) 何でも悩みを相談できる人かいる	1	2	3	4
ウ) 楽しく話せる時がある	1	2	3	4
エ) 困ったときは助けられる	1	2	3	4
オ) 一緒にいる時は、自分らしくいられる	1	2	3	4
カ) いつもつながりを感じている	1	2	3	4

問21 インターネット上における人やグループ（実際に会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。（それぞれ○は1つ）

	よく思っている	どちらかといえばよく思っている	どちらかといえばよく思わない	よく思わない
ア) 会話やメール等をよくしている	1	2	3	4
イ) 何でも悩みを相談できる人かいる	1	2	3	4
ウ) 楽しく話せる時がある	1	2	3	4
エ) 困ったときは助けられる	1	2	3	4
オ) 一緒にいる時は、自分らしくいられる	1	2	3	4
カ) いつもつながりを感じている	1	2	3	4

問22 あなたは、他の人と付き合う時、次のようなことかどのくらいあてはまりますか。（それぞれ○は1つ）

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
ア) 誰とでもすぐ仲良くなれる	1	2	3	4
イ) 表情やしぐさで相手の思っていることがわかる	1	2	3	4
ウ) 親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る	1	2	3	4
エ) その場に合った行動がとれる	1	2	3	4
オ) 表情が豊かである	1	2	3	4
カ) 気持ちを抑えようとしても、顔に出してしまう	1	2	3	4
キ) 人にぶつかっても、あやまらないことがある	1	2	3	4

問 23 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。 (○は1つ)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえば、そう思う |
| 3. どちらかといえば、そう思わない | 4. そう思わない |

問 24 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。 (○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 希望がある | 2. どちらかといえば希望がある |
| 3. どちらかといえば希望がない | 4. 希望がない |

問 25 普段ご自宅（暮らししている場所）にいたるときは、どんなことに時間を使っていますか。 (○はいくつでも)
よくしていることをすべて選んでください。

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1. テレビを見る | 2. ラジオを聴く |
| 3. 本を読む | 4. 新聞を読む |
| 5. ゲームをする (オンラインゲームを含む) | 6. 勉強をする |
| 7. 仕事をする | 8. 家事をする |
| 9. 育児をする | 10. 介護・看護をする |
| 11. インターネットをする (YouTube、SNSを含む) | 12. あてはまるものはない |

問 26 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことにしてお答えください。 (○は1つ)

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1. 仕事や学校で平日は毎日外出する → 問 32へ | 2. 仕事や学校で週に3～4日外出する → 問 32へ |
| 3. 遊び等で頻繁に外出する → 問 32へ | 4. 人づきあいのために時々外出する → 問 32へ |
| 5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する | 6. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどに7. 自宅からは出るが、家からは出ない |
| 8. 自宅からほとんど出ない | |

【問 26で「5」～「8」を選んだ方のみ、お答えください。】
問 27 あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい続きますか。 (○は1つ)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 3か月未満 → 問 32へ | 2. 3か月～6か月未満 → 問 32へ |
| 3. 6か月～1年未満 | 4. 1年～2年未満 |
| 5. 2年～3年未満 | 6. 3年～5年未満 |
| 7. 5年～7年未満 | 8. 7年～10年未満 |
| 9. 10年～15年未満 | 10. 15年～20年未満 |
| 11. 20年～25年未満 | 12. 25年～30年未満 |
| 13. 30年以上 | |

【問 27で「3」～「13」を選んだ方のみ、お答えください。】
問 28 あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。 (数字でご記入ください)

歳

【問 27で「3」～「13」を選んだ方のみ、お答えください。】
問 29 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。 (○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 学校になじめなかったこと | 2. 小学校時代の不登校 |
| 3. 中学校時代の不登校 | 4. 高校時代の不登校 |
| 5. 大学（専門学校、短期大学等を含む）時代の不登校 | 6. 受験に失敗したこと（高校・大学等） |
| 7. 就職活動がうまくいかなかったこと | 8. 職場になじめなかったこと |
| 9. 人間関係がうまくいかなかったこと | 10. 病気（病名：) |
| 11. 妊娠したこと | 12. 退職したこと |
| 13. 介護・看護を担うことになったこと | 14. 新型コロナウイルス感染症が流行したこと |
| 15. その他 () | 16. 特に理由はない |
| 17. わからない | |

【問 29で「1」～「15」を選んだ方のみ、お答えください。】
問 30 あなたの外出状況が現在の状態になった最も大きな理由は何か。 (○は1つ)

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 学校になじめなかったこと | 2. 小学校時代の不登校 |
| 3. 中学校時代の不登校 | 4. 高校時代の不登校 |
| 5. 大学（専門学校、短期大学等を含む）時代の不登校 | 6. 受験に失敗したこと（高校・大学等） |
| 7. 就職活動がうまくいかなかったこと | 8. 職場になじめなかったこと |
| 9. 人間関係がうまくいかなかったこと | 10. 病気（病名：) |
| 11. 妊娠したこと | 12. 退職したこと |
| 13. 介護・看護を担うことになったこと | 14. 新型コロナウイルス感染症が流行したこと |
| 15. その他 () | 16. 特に理由はない |
| 17. わからない | |

【問27で「3」～「13」を選んだ方のみ、お答えください。】

問31 最近6か月間に、家族以外の人と会話ししましたか。

(○はい 1つ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. よく会話しした | 2. ときどき会話しした |
| 3. ほとんど会話しなかった | 4. まったく会話しなかった |

問32 あなたは今までに、社会生活や日常生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送っていない状況がありますか。

(○はい 1つ)

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 今までに経験があった (または、現在ある) | 2. どちらかといえば、あった (ある) |
| 3. どちらかといえば、なかった (ない) → 問36へ | 4. なかった (ない) → 問36へ |
| 5. わからない、答えられない → 問36へ | |

【問32で「1」又は「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

問33 そうした問題を経験した、又は現在経験している主な原因は何ですか。

以下の (1) ~ (4) のそれぞれにお答えください。

(1) 自分自身について

(○はい 1つでも)

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. 人づきあいが苦手 | 2. 精神的な病気 |
| 3. 身体的な病気・ケガ | 4. 妊娠 |
| 5. 何事も否定的に考えてしまう | 6. 勉強が苦手 |
| 7. 悩みや不安などが相談できない | 8. その他 () |
| 9. 特にない | 10. わからない |

(2) 家族・家庭について

(○はい 1つでも)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 家族内の不和や離別 (離婚) | 2. 家庭内での孤立 |
| 3. 親 (保護者) の過度な期待 | 4. 親 (保護者) の放任 |
| 5. 親 (保護者) の厳しいしつけ | 6. 親 (保護者) の虐待 |
| 7. 親 (保護者) の過干渉 | 8. 親 (保護者) の甘やかし |
| 9. 親 (保護者) への反発 | 10. 家庭が貧しい |
| 11. 家庭が裕福で生活の心配がない | 12. 看護・介護 (自分が担い手) |
| 13. その他 () | 14. 特にない |
| 15. わからない | |

(3) 学校について

(○はい 1つでも)

- | | |
|-------------------------------|--|
| 1. 成績が悪い、授業についていけない | |
| 2. 先生との関係が悪い | |
| 3. 友達との関係が悪い | |
| 4. 校則に合わせるのが嫌 | |
| 5. 集団行動が苦手 | |
| 6. いじめを受けた | |
| 7. 体罰やハラスメントを受けた | |
| 8. 小学校時代の不登校 | |
| 9. 中学校時代の不登校 | |
| 10. 高校時代の不登校 | |
| 11. 大学 (専門学校、短期大学等を含む) 時代の不登校 | |
| 12. 大学、短大、高専、専門学校、高校の中途 | |
| 13. 中学受験の失敗 | |
| 14. 高校受験の失敗 | |
| 15. 大学受験の失敗 | |
| 16. 不意な入学 | |
| 17. その他 () | |
| 18. 特にない | |
| 19. わからない | |

(4) 仕事・職場について

(○はい 1つでも)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 職場になじめない | 2. 上司や同僚との関係が悪い |
| 3. 就職に失敗 | 4. 職場を退職 |
| 5. 職場を解雇 | 6. 仕事上のミス |
| 7. 仕事の量や内容が自分の能力を超えている | 8. いじめを受けた |
| 9. ハラスメントを受けた | 10. 働きたくない |
| 11. いわゆる「充電」の期間が必要 | 12. 仕事が自分に向いていない |
| 13. 自分の才能や特技を生かせる仕事でない | 14. 本心に自分がやりたい仕事ではない |
| 15. その他 () | 16. 特にない |
| 17. わからない | |

【問32で「1」又は「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

問34 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありましたか。最もあてはまるものを選んでください。(〇は1つ)

1. あった	2. どちらかといえば、あった
3. どちらかといえば、なかった	4. なかった
5. わからない	

【問34で「1」又は「2」を選んだ方のみ、お答えください。】

問35 状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 家族や親戚の助け
2. 友人の助け
3. 学校の先生に相談したこと
4. スクールカウンセラーなど学校にいる専門家に相談したこと
5. 地域の人の助け
6. 病院に行って相談したこと
7. 相談できる場所に行って相談したこと
8. 電話相談を利用したこと
9. SNS やメール相談などを利用したこと
10. 同じようにうまくいかなかった経験をした人に話してみたこと
11. 就職・転職したこと
12. 趣味の活動に参加したこと
13. 時間がたつて状況が変化したこと
14. 自分の努力で乗りこえたこと
15. その他 ()
16. わからない、答えられない

3 悩みごとや相談先について

問36 あなたはいま、どんなことに悩んだり困ったりしていますか。(〇はいくつでも)

1. 仕事	2. 就職
3. 家計・金銭	4. 学業
5. 家庭・家族	6. 友人や仲間との関係
7. 恋愛・結婚	8. 自分の外見や性格
9. 自分の将来	10. 性
11. 健康	12. 地域や社会
13. その他 ()	14. 悩みや困りごとはない

問37 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある
2. 相手が同世代である
3. 相手が同性である
4. 匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる
5. 電話で相談できる
6. SNS やメールなどで相談できる
7. 曜日・時間帯を気にせずに相談できる
8. 相談できる場所が自宅から近い
9. 相手が自宅に来てくれる
10. 無料で相談できる
11. 相手先が公的な支援機関である
12. 相手先が民間の支援団体（NPO など）である
13. 相手が医師である
14. 相手がカウンセラーなど心理学の専門家である
15. その他 ()
16. 誰にも相談したくない

【問37で「16.誰にも相談したくない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問38 相談したくないと思う理由は何ですか。

(○はいくつでも)

1. 相談しても解決できないと思うから
2. 自分ひとりで解決するべきだと思うから
3. 誰にも知られたくないことだから
4. 自分が変な人と思われるのではないかと不安だから
5. 自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから
6. 相手がどんな人かわからないから
7. 何を聞かれるか不安に思うから
8. 嫌なこと、できないことをするように言われそうだから
9. 相手にうまく伝えられないから
10. 裏切られたり、失望するのが嫌だから
11. お金がかかると思うから
12. その他 ()
13. 特に理由はない、わからない

問39 あなたは、子ども、若者を対象とした相談支援機関等を知っていますか。

(○はいくつでも)

知っている相談支援機関等をすべて選んでください。

1. 保健所 (こころの相談)
2. ひきこもり相談支援センター
3. 発達障害者支援センター
4. 福祉まるごと相談窓口 (生活のこと、福祉全般)
5. 児童相談所・福祉事務所などの児童福祉機関
6. 教育支援センター (適応指導教室「ふれあい学級」)
7. 職業安定所 (ハローワーク)・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関
8. 児童館 (希望ヶ丘児童センター)
9. フリースクール (フリースペース)
10. 通信制高校のサポート校
11. 若者の自主的な活動を支援する施設 (ユースセンター)
12. その他民間の機関 (自然体験活動、学習支援、就労支援、ひきこもりの支援)
13. どれも知らない

【問39で「1」～「12」を選んだ方のみ、お答えください。】

問40 これらの機関を利用したことはありますか。

(○は1つ)

1. ある
2. ない

問41 問39にある機関等について利用したいと思いませんか。

(○は1つ)

1. 利用したいと思う
2. どちらかといえば利用したいと思う
3. どちらかといえは利用したいと思わない
4. 利用したいと思わない

4 郡山市の施策などについてうかがいます

問42 あなたは郡山市に今後住みたいと思いますか。または、一時期市外に転出して将来的には郡山市に住みたいと思いますか。

(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえはそう思わない
4. そう思わない

問43 あなたが今後も郡山市に住み続けるために、重要なことは次のうちどれですか。上位3つを番号でお答えください。

(回答欄に番号をそれぞれご記入ください。)

1. 就職先の選択肢が豊富であること
2. 子育ての環境が整っていること
3. 自然環境が豊かであること
4. 商業施設が充実していること
5. 教育・スポーツ・文化施設が充実していること
6. 楽しく遊べる場所が充実していること
7. 交通機関が便利であること
8. 家賃等の住宅にかかる費用が手頃であること
9. 地域との交流が活発であること
10. その他 ()

《回答欄》

1 番目に重要	2 番目に重要	3 番目に重要

問44 郡山市の子ども・若者に対する支援についてのご意見・ご提案を、ご自由にお書きください。

アンケート調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
郵送でご回答いただく場合、
回答済みアンケートは切手を貼らずに同封の封筒に入れ、郵便ポストへご投函ください。